LAN DISK A
Network Attached Storage

HDL-A シリーズ

画面で見るマニュアル

E11

もくじ

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示	
⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味	
	禁止
	指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因となります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない

火災・感電の原因となります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行う

電源プラグを抜かずに行うと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使用を中止する

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、接続しない

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない

電源コードから発煙したり火災の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない

発熱、火災の恐れがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない

火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器に接続しない

添付の電源コードおよび AC アダプターは本機専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因となることがあります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない

火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

長時間にわたり一定個所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。

安全設定機関の仕様に準拠するように設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。ただし、長時間にわたり一定個所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

使用上のご注意

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」を行ってください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。
本製品では、以下のソフトウェアでバックアップを行うことができます。

Sync with、EasySaver LE

※ソフトウェアは、弊社ホームページからダウンロードできます。（http://www.iodata.jp/kaiteki）
※〈レグザ〉、スカパー！、Wooo 等で保存した番組データはバックアップできません。

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

故障を防ぐために以下にご注意ください。

●本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

《使用時 / 保管時》
・振動や衝撃の加わる場所　・直射日光のあたる場所　・湿気やホコリが多い場所
・温度差の激しい場所　・熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
・強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
・水気の多い場所（台所、浴室など）　・傾いた場所
・腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_X など）　・静電気の影響の強い場所

《使用時のみ》
・保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
・製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

●本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
・落としたり、衝撃を加えない
・本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
・重いものを上にのせない
・本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
●本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

お手入れについて

●本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

廃棄や譲渡の際のご注意

データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。

●ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェアについて

ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使用上のご注意

■ NTFS フォーマットの USB ハードディスクを USB ポートに接続し、「共有モード」で使用する場合、NTFS の各種属性（暗号ファイル、圧縮ファイルなど）には、対応しておりません。また、NTFS フォーマットの USB ハードディスクは読み取り専用となり、パーティションサイズは 2T バイトまでの対応となります。

■設定画面で表示されるハードディスク使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当てしてプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。

■ Windows と Mac OS で共有する場合、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダーが見える場合があります。これは、Mac OS で、フォルダーを作成したりファイルをコピーした際に、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

■システム初期化を行う場合、本製品内に保存されているデータはすべて消去されます。事前に、必要なデータは必ずバックアップしてください。

■本製品に AC アダプターと電源コードを接続してから、電源を入れる際は５秒以上お待ちください。

■本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。

■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、「Remote Link 2」のみの動作保証となります。

本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。

■同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の [IP アドレス] を別のものに変更する必要があります。

■複数のパソコンを接続する場合は、ハブ (ルーターなど) が必要となります。

■無線 LAN で接続する場合は、無線アクセスポイントと無線 LAN アダプターを接続したパソコンが必要となります。

■本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。

■本製品の内蔵ハードディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くかかる場合があります。

■本製品の動作中は AC アダプターを抜かないでください。録画中やデータ転送中にも本製品の電源を切らないでください。故障の原因となったり、データを消失するおそれがあります。

■本製品に接続する USB ハードディスクに複数のパーティションがある場合、本製品で使用できるのは本製品が認識可能な最初のパーティションのみとなります。

■ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137 ～ 139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。

セットアップする

ご注意

●設定は一度のみ行ってください。本製品をいったんネットワークに導入すると、他のパソコンからも利用できます。

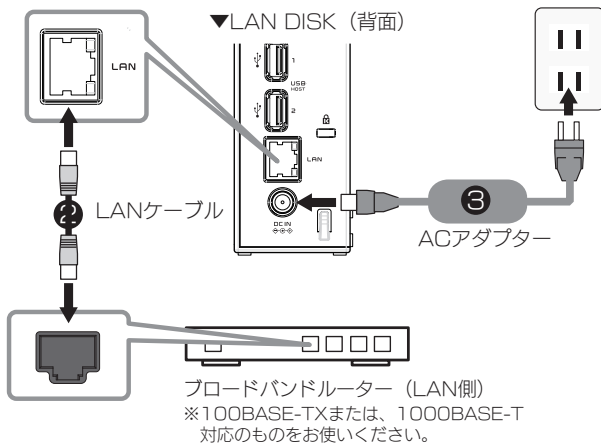
設置する

1 ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。

2 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。

ご注意

●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

3 AC アダプターと電源コードを接続し、本製品とコンセントに接続します。

ご注意

電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
電源の切り方については、【重要　電源を切るときは…】(2-26 ページ)をご覧ください。

4 本製品背面の電源ボタンを押します。
「ピポ」と音が鳴り STATUS ランプが緑色に約 3 分点滅します。完全に起動するまでお待ちください。
※「ピー」と音がなり、STATUS ランプが緑点灯となれば起動完了です。

これで設置は完了しました。
次に、【設定する】(2-9 ページ)へお進みください。

設定する

1 本製品添付の CD-ROM をパソコンにセットします。

2 本製品を検索します。

▼ Windows の場合

※ (Windows 10/8 のみ)
画面に表示された
メッセージをクリックします。

※操作の選択画面が表示された
場合は、[HDL-A support
soft menu] を選択します。

サポート CD のメニュー画面が表示されたら、
[Magical Finder] ボタンをクリックします。

ご注意

●以下のような画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]
または、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

サポート CD のメニュー画面が表示されない

● Windows 10 の場合

①[スタート] → [エクスプローラー] をクリックします。

②[PC] をクリックします。

③ 本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 8 の場合

①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

② [コンピューター] アイコンをクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 7/Vista/XP の場合

[スタート] → [コンピューター※] をクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

※ Windows Vista は［コンピュータ］、XP は［マイコンピュータ］と表示されています。

ご注意

●本製品が見つからない場合は以下をご確認ください。

→ 30 秒ほど待ってから、[情報の更新] ボタンをクリックしてください。

→セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤウォール機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティー機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

→本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。

→本製品の電源が入っていることをご確認ください。

▼ Mac OS の場合

①デスクトップに表示された
CD-ROM のアイコンを
ダブルクリックします。

HDLA_xxx

② [MAC] フォルダーを
ダブルクリックします。

MAC

③ [MagicalFinder_for_
Mac_xxx.dmg] を
ダブルクリックします。

MagicalFinder_for_Mac_xxx
.dmg

④ [Magical Finder]
アイコンをダブルクリ
ックします。

ご注意

●認証画面が表示された場合は、お使いのパソコンに設定してある
パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

▼

ご注意

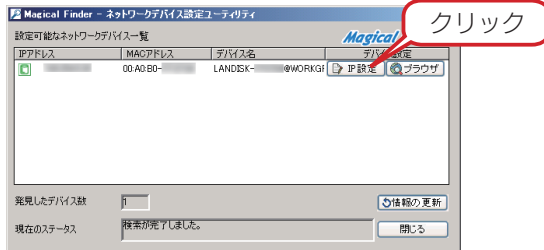
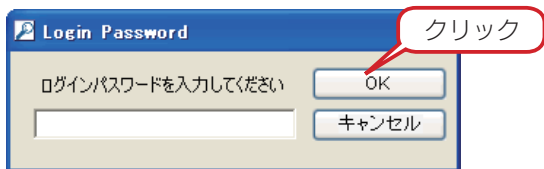
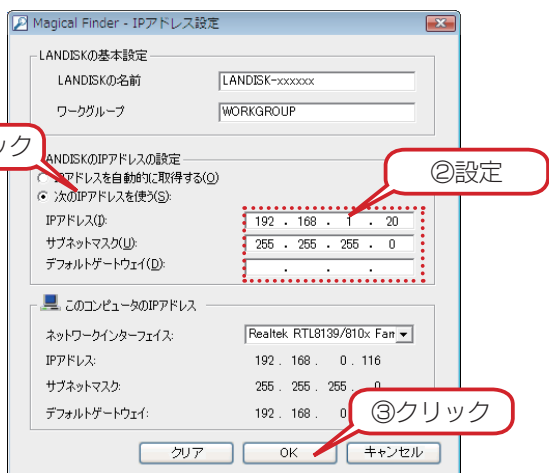
●本製品が見つからない場合は以下をご確認ください。
→ 30 秒ほど待ってから、[情報の更新] ボタンをクリックして
ください。
→セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤウォール機能
を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリ
ティー機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリ
ティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
→本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認く
ださい。
→本製品の電源が入っていることをご確認ください。

3

IP アドレスを設定します。
ルーターから IP アドレスを自動取得する場合は、手順 4 へお進みください。
IP アドレスを固定設定する必要がある場合のみ、以下をご確認ください。

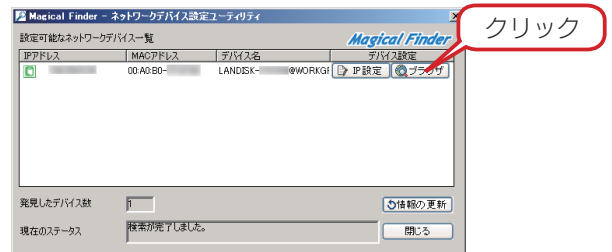
IP アドレスを固定設定する場合

※以下は、Windows の画像で説明していますが、操作手順は Mac OS の場合も同じです。

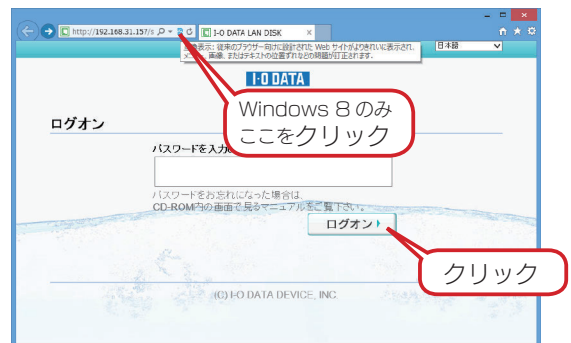
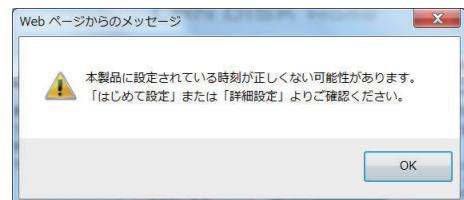
① [IP 設定] ボタンをクリックします。

②下の画面では、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。

③ [LAN DISK の名前][ワークグループ] 確認後、IP アドレスを設定します。
「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」は、お使いのネットワークに
合わせたアドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックしてください。
※本製品の IP アドレスは、設定用パソコンの IP アドレスと同じサブネット上に設定してください。
※設定用パソコンの IP アドレスは、同画面の「このコンピュータの IP アドレス」で確認できます。

ご注意

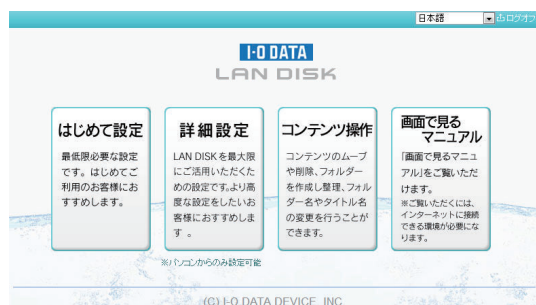
● [LAN DISK] の名前について
本製品は、出荷時設定として製品ごとに [LANDISK-xxxxxx] の名前が設定されています。（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）
MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

4

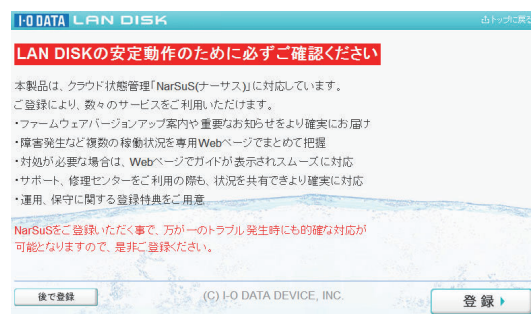
[ブラウザ] ボタンをクリックします。

5

[ログオン] 画面で、何も入力せず [ログオン] ボタンをクリックします。
※Windows 10 の Microsoft Edge の場合は、… をクリックし、Internet Explorer で開いてください。
※ Windows 8 の場合は、ログオンする前に Web ブラウザーの互換表示を有効にしてご利用ください。

ご注意

以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻とパソコンの時刻にズレがあります。パソコンの時刻を正確に合わせたうえで、設定画面から時刻設定を行ってください。

このあと、表示される画面によって手順が異なります。以下の該当するページへお進みください。

HDL-A シリーズの場合

設定画面のトップページが表示されます。

【はじめて設定をする】(2-19 ページ) へお進みください。

HDL-AH シリーズの場合

「NarSuS 設定」画面が表示されます。

【NarSuS に登録する】(2-13 ページ) へお進みください。

NarSuS に登録する

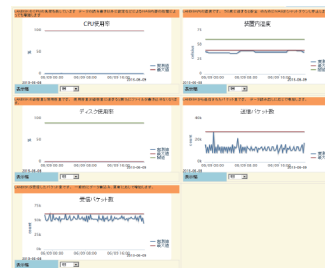
NarSuS（ナーサス）とは？

お使いの NAS 製品の状態を、インターネットで管理するクラウドサービスです。
パソコンやタブレットの種類など機器を問わず、インターネット接続環境であれば、どこからでも状態管理ができます。
また、NarSuS の管理に使用するステータス情報のみを、登録した NAS からクラウドに送信・集積するため、セキュリティを気にすることなくお使いいただけます。

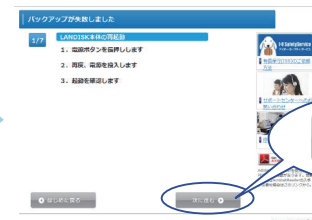
NarSuS の機能

■イベントログの照会
RAID 構築状態やバックアップ実行状況、ハードウェアの異常やスケジュール動作の完了などのイベント情報を表示します。

■各種通知
本製品の安全運用のためにも、常に最新ファームウェアでのご利用をお願いしております。最新ファームウェアが公開された場合、ご登録いただいたメールアドレスに通知します。

■環境をグラフ表示
NAS の温度、ディスク使用量、CPU 負荷、通信状態をグラフで表示します。

■トラブル時の対処法を表示
表示にしたがって操作を進めれば、バックアップや RAID のトラブルなど、どなたでも NAS の復旧をおこなえます。

①異常発生時、メールでお知らせ NarSuS で内容を確認

②正しい対処法が確認できます。

NarSuS 登録ユーザー様だけの特典付き！

特典❶ 専用ダイヤル、土日もサポート

NarSuS に登録いただいたお客様のみが利用できるサポートダイヤルを設置しております。土日も対応しているので、より安心して NAS 製品をお使いいただけます。

受付時間：9:00 ～ 17:00
サポート内容：電話によるサポート　※電話番号については NarSuS 管理ページ内にて告知しています。

特典❷ 有償修理料金を20%引き

保証期間が切れた場合など、有償修理時の料金を 20%引きいたします。
※ NarSuS 管理画面から取得できる専用の修理依頼書からお申込みください。

登録方法は、二通りあります

●初期設定時に登録する場合は、【初期設定時の NarSuS 登録方法】(2-14 ページ) へお進みください。
●初期設定時に、本製品からのユーザー登録を済ませている場合は、【本製品からのユーザー登録を済ませている場合の NarSuS 登録方法】(2-18 ページ) へお進みください。

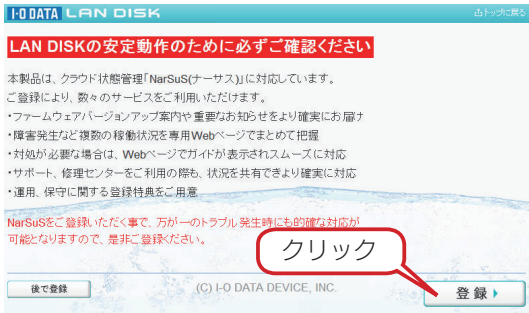
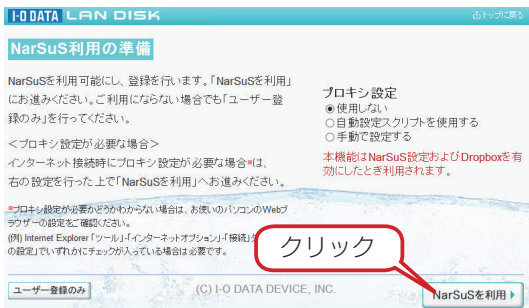
初期設定時の NarSuS 登録方法

ご注意

●本機能を利用するためには、常時ネットワークに接続しておく必要があります。

●インターネットに接続できる場合

※インターネット接続できない環境に本製品を設置している場合は、【●インターネットに接続できない環境に本製品を設置する場合】(2-16 ページ)をご覧ください。

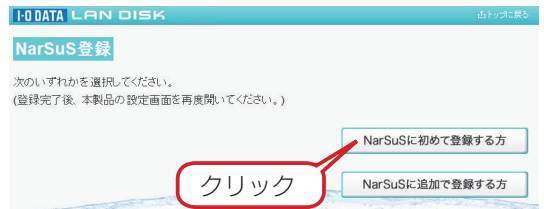
1 以下の画面が表示されたら、[登録] ボタンをクリックします。
※登録をすぐに行わない場合は、[後で登録] ボタンをクリックすると、設定画面に進みます。

2 [NarSuS を利用] ボタンをクリックします。

プロキシの設定が必要な場合

[自動設定スクリプトを使用する] または [手動で設定する] にチェックをつけ、プロキシの設定を入力して [NarSuS を利用] ボタンをクリックしてください。

※指定する URL、HTTP アドレス、HTTP ポートについては、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。

使用しない	プロキシ設定を使用しません。
自動設定スクリプトを使用する	[自動設定スクリプト URL] を入力します。 プロキシ設定 ○使用しない ◉自動設定スクリプトを使用する ○手動で設定する 自動設定スクリプトURL http://192.168.123.
手動で設定する	プロキシサーバーの［HTTP アドレス］と［HTTP ポート］を入力します。 プロキシ設定 ○使用しない ○自動設定スクリプトを使用する ◉手動で設定する HTTPアドレス 192.168.123.234 HTTPポート 1234

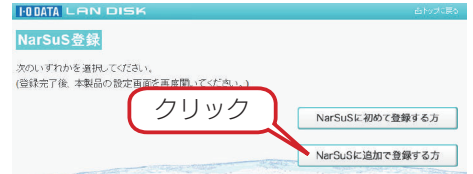
3 内容を確認し、[設定する] ボタンをクリックします。

4 はじめて NarSuS に登録する場合は、[NarSuS に初めて登録する方] をクリックします。

参考 別製品で NarSuS 登録をしている場合

●LAN DISK を一元管理したい場合は、[NarSuS に追加で登録する方] をクリックします。

●LAN DISK を別管理したい場合は、[NarSuS に初めて登録する方] をクリックします。

NarSuS に追加で登録をする場合

① [NarSuS に追加で登録する方] をクリックします。

② NarSuS ログイン画面が表示されますので、すでに登録済みの [ID]、[パスワード] を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

③画面左下の [製品追加登録] ボタンをクリックします。

次ページの手順 5 へお進みください。

5 画面の指示にしたがって必要事項を入力し、[登録 / 更新] ボタンをクリックします。
※画面例は、新規登録の場合です。

6 内容を確認し、[この内容で登録する] ボタンをクリックします。
※追加登録の場合は、[OK] ボタンをクリックします。
※画面例は、新規登録の場合です。

7 登録完了画面が表示されますので、[NarSuS へ] ボタンをクリックします。
別途、登録通知がメールアドレスに送付されますので、保管しておいてください。

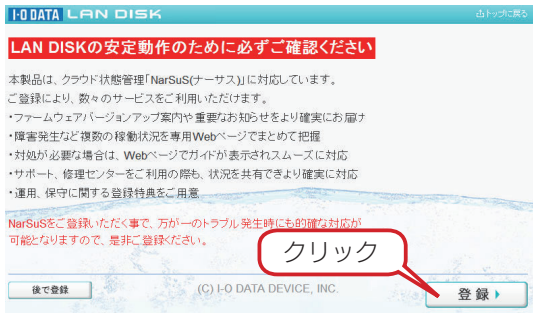
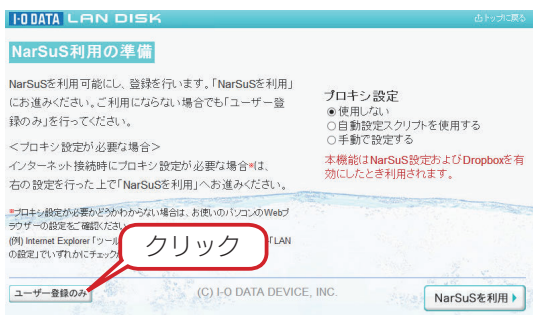
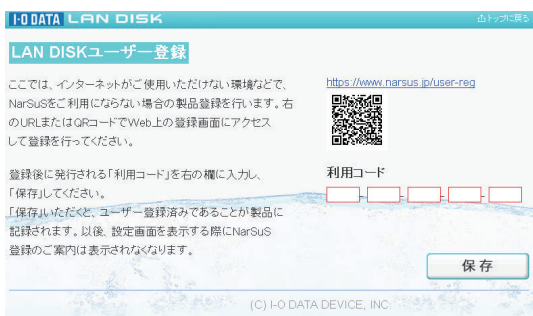
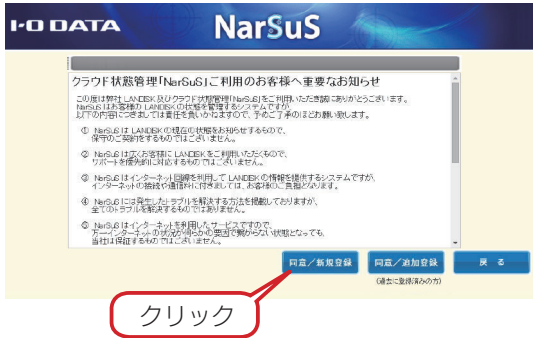
ご注意

- 設定変更に失敗した場合、本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されているか、LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。
  また、プロキシを介してインターネットへ接続が必要な場合には、本製品のプロキシ設定が正しく設定されているか確認してください。
- NarSuS 登録に失敗した場合、お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。
- 事前に【インターネットに接続できない環境に本製品を設置する場合】（次ページ）の手順でユーザー登録済みの場合は、【本製品からのユーザー登録を済ませている場合の NarSuS 登録方法】(2-18 ページ) の手順で、NarSuS 設定を有効にしてください。

以上で NarSuS 登録は完了です。

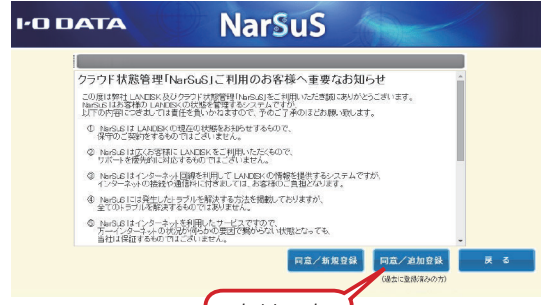
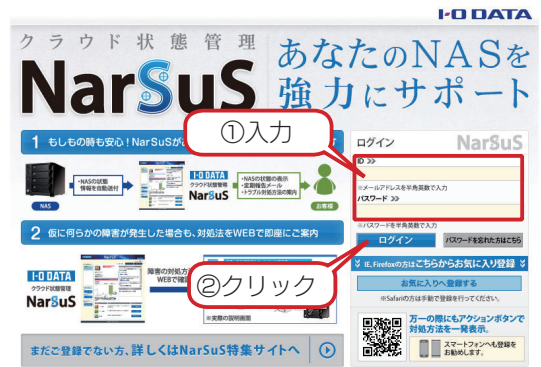
設定画面を開き、本製品のセットアップをつづけます。
【はじめて設定をする】(2-19 ページ) へお進みください。

●インターネットに接続できない環境に本製品を設置する場合

1 以下の画面が表示されたら、[登録] ボタンをクリックします。
※登録をすぐに行わない場合は、[後で登録] ボタンをクリックすると、設定画面に進みます。

2 [ユーザー登録のみ] ボタンをクリックします。

3 **インターネットに接続できる環境から、**Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスします。
※ QR コードを利用してアクセスすることもできます。
https://www.narsus.jp/user-reg

4 はじめて NarSuS に登録する場合は、[同意／新規登録] ボタンをクリックします。

参考 別製品で NarSuS 登録をしている場合

● LAN DISK を一元管理したい場合は、[追加登録] をクリックします。
● LAN DISK を別管理したい場合は、[新規登録] をクリックします。

NarSuS に追加で登録をする場合

① [同意／追加登録] ボタンをクリックします。

② NarSuS ログイン画面が表示されますので、すでに登録済みの [ID]、[パスワード] を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

次ページの手順５へお進みください。

5	画面の指示にしたがって必要事項を入力し、[登録 / 更新] ボタンをクリックします。 ※画面例は、新規登録の場合です。

6	内容を確認し、[この内容で登録する] ボタンをクリックします。 ※追加登録の場合は、[OK] ボタンをクリックします。 ※画面例は、新規登録の場合です。

7	登録完了画面が表示されますので、利用コードをメモします。 別途、登録通知がメールアドレスに送付されますので、保管しておいてください。

8	本製品の以下の画面にメモした利用コードを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

ご注意

● NarSuS 登録に失敗した場合、お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

設定画面が開きました。

以上でユーザー 登録は完了です。

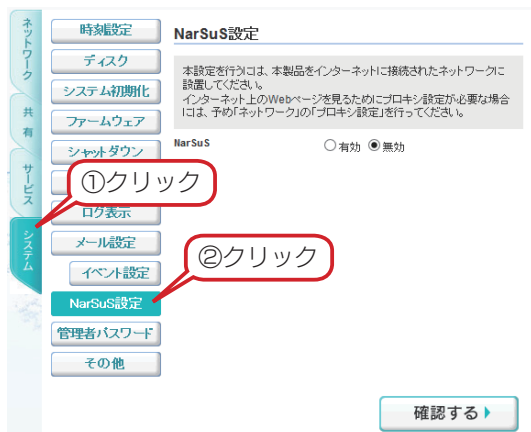
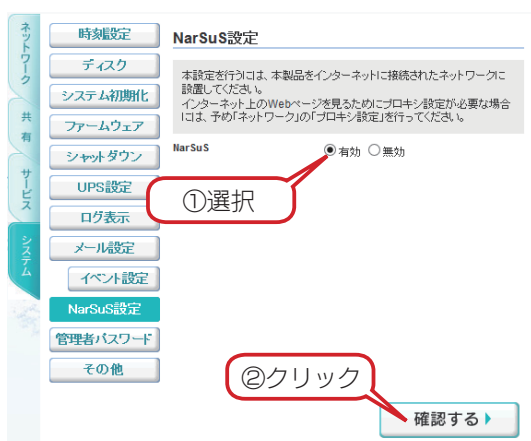
本製品のセットアップを続けます。

【はじめて設定をする】(2-19 ページ) へお進みください。

本製品からのユーザー登録を済ませている場合の NarSuS 登録方法

ご注意

●本機能を利用するためには、常時ネットワークに接続しておく必要があります。

1 設定画面の［システム］タブ→［NarSuS 設定］をクリックします。

2 ［NarSuS 設定］の［有効］を選択して、［確認する］をクリックします。

3 設定を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

これで有効になりました。

ご注意

●設定変更に失敗した場合、本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されているか、LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。
　また、プロキシを介してインターネットへ接続が必要な場合にはプロキシが正しく設定されているか確認してください。

● NarSuS 登録に失敗した場合、お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

はじめて設定をする

1 [はじめて設定] をクリックします。

2 本製品の名前を変えることができます。
「LAN DISK」などお好きな名前に変更します。
[次へ] ボタンをクリックします。

3 本製品の IP アドレスを設定できます。
初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。
[次へ] ボタンをクリックします。

4 時刻設定と省電力モードの設定ができます。
時刻設定は同期するにチェックをつけます。
省電力モードを使用する場合は、[有効] にチェックを付け、省電力モードに入るまでの時間を選択します。
※省電力モードとは、一定時間アクセスがない場合にハードディスクのモーターを停止させ、電力消費を抑えるモードです。液晶テレビなどに直結させる場合は省電力モードを無効にしてください。
[次へ] ボタンをクリックします。

5 設定した内容の確認をして、[設定する] ボタンをクリックします。
※設定中は電源を切らないでください。

次の画面が表示されたら、設定完了です。

これで初期設定は完了です。
次に【アクセスしてみよう】にお進みください。

サポートソフトのインストールについて

必要に応じて各種ソフトウェアをインストールしてください。

【Windows の場合】

①パソコンを起動し、添付 CD-ROM をセットします。

※ (Windows 10/8 のみ)

画面に表示されたメッセージをクリックします。

DVD RW ドライブ (H:) HDLA_
タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。

※操作の選択画面が表示された場合は、[HDL-A support soft menu] を選択します。

②サポート CD のメニュー画面が表示されたら、[サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。

サポート CD のメニュー画面が表示されない

● Windows 10 の場合

①[スタート] → [エクスプローラー] をクリックします。

②[PC] をクリックします。

③ 本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 8 の場合

①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

② [コンピューター] アイコンをクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 7/Vista/XP の場合

[スタート] → [コンピューター※] をクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

※ Windows Vista は［コンピュータ］、XP は［マイコンピュータ］と表示されています。

③表示された画面から、必要に応じて各種ソフトウェアをインストールしてください。

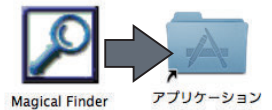
【Mac OS の場合】

①パソコンを起動し、添付 CD-ROM をセットします。

②デスクトップに表示された CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

③ [MAC] フォルダーをダブルクリックします。

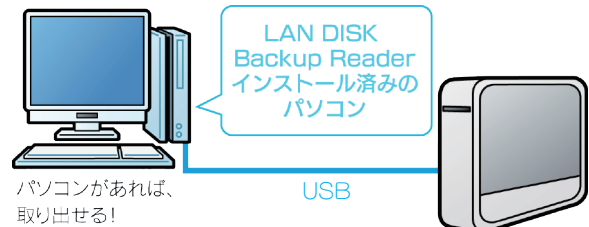
④ [MagicalFinder_for_Mac_xxx.dmg] をダブルクリックします。

⑤ [Magical Finder] アイコンを、[アプリケーション] フォルダーへドラッグ＆ドロップします。

● Magical Finder

本製品を検索したり、IP アドレスの設定を行うことができるソフトウェアです。

● LAN DISK Backup Reader（Windows のみ対応）

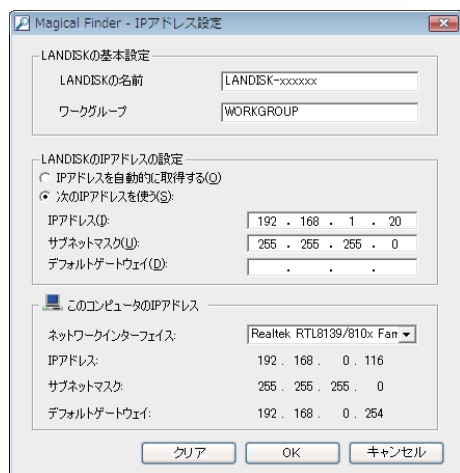
「LAN DISK Backup Reader」は、専用フォーマットされた増設ハードディスクにバックアップしたデータを、パソコンにつないで簡単に読み出せるリードツールです。

本製品が起動しない場合などの緊急事態でもバックアップしたファイルの取り出しが可能になります。

※「LAN DISK Backup Reader」は、読み取り専用です。書き込みには対応しておりません。

●対応 OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista
- Windows XP（32 ビット版のみ）
- Windows 2000 Professional

※ Windows XP、2000 で「LAN DISK Backup Reader」をご利用になる場合、バックアップ HDD に作成されたフォルダー数の合計が 約 40000 個を超えますと一部フォルダーを参照できなくなることがあります。その場合は Windows Vista より後の対応 OS で、データの参照をお試しください。

Magical Finder　IP アドレス設定画面

LAN DISK の基本設定		
LAN DISK の名前		ネットワーク上（[マイネットワーク］あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ)をご覧ください。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。 ※複数の LAN DISK を同じネットワークに設置する場合、LAN DISK の名前は異なる名前に設定してください。
ワークグループ		" ワークグループ " はパソコンの " ワークグループ名 " と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。） ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ)をご覧ください。
LAN DISK の IP アドレス設定		
IP アドレスを自動的に取得する		ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合にチェックします。
次の IP アドレスを使う		固定の IP アドレスを使う場合にチェックします。
	IP アドレス	本製品に設定する IP アドレスを入力します。 ※使用しているネットワークのセグメント (IP アドレスのグループ) をご確認の上、他のネットワーク機器やパソコンの IP アドレスと重複しないように設定してください。
	サブネットマスク	パソコンと同じサブネットマスクを入力します。 画面の[このコンピュータのIP アドレス]欄の[サブネットマスク]と同じ値を入力します。
	デフォルトゲートウェイ	パソコンと同じデフォルトゲートウェイを入力します。 画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［デフォルトゲートウェイ］と同じ値を入力します。表示されていない場合、入力する必要はありません。
このコンピュータの IP アドレス		
ネットワークインターフェイス		パソコンのネットワークインターフェイス（LAN アダプター名など）を表示します。
IP アドレス		パソコンの IP アドレスを表示します。
サブネットマスク		パソコンのサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ		パソコンのデフォルトゲートウェイを表示します。通常、ルーターの IP アドレスが設定されています。設定されていない場合、表示されません。

ご注意

● [LAN DISK] の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [LANDISK-xxxxxx] の名前が設定されています。（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。

※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

アクセスしてみよう

アクセス方法は OS により異なりますので、下記のご使用の OS を参照してください。

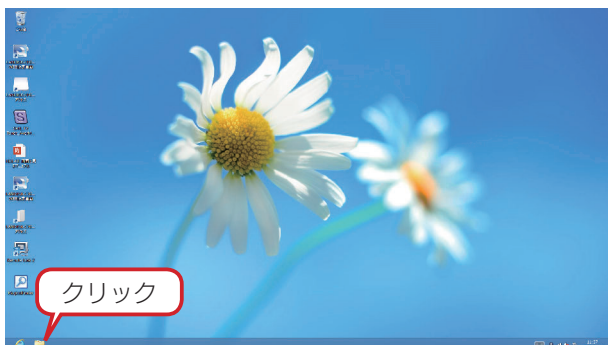
【Windows 10、8、7 からアクセスする】（2-22 ページ）
【Windows Vista からアクセスする】（2-23 ページ）
【Windows XP からアクセスする】（2-24 ページ）
【Mac OS からアクセスする】（2-25 ページ）

Windows 10、8、7 からアクセスする

※ Windows 8 の場合は、デスクトップモードにします。

Windows 8でデスクトップモードにする

スタート画面上の [デスクトップ] アイコンをクリックします。

1 クイックバーの [エクスプローラー] をクリックします。

2 エクスプローラーのアドレスへ「¥¥landisk-xxxxxx」と入力し、[→]（または［Enter］キー）を押します。
検索された「landisk-xxxxxx」を選択します。
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。
※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

3 →本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

ご注意

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒【（Windows）［コンピューターの検索］で [landisk-xxxxxx] が見つからない】（24-186 ページ）をご覧ください。

Windows Vista からアクセスする

1	［スタート］をクリックし、［検索の開始］へ「¥¥landisk-xxxxxx」と入力します。 検索された「landisk-xxxxxx」を選択します。 ※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。 ※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

▼

ご注意

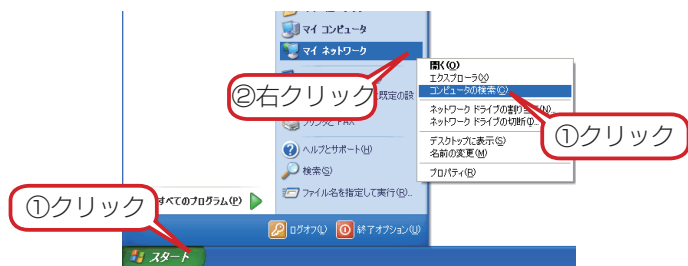
LANDISK-xxxxxx が検索されない！

⇒【(Windows)［コンピューターの検索］で [landisk-xxxxxx] が見つからない】(24-186 ページ) をご覧ください。

2	→本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。 表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。 このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

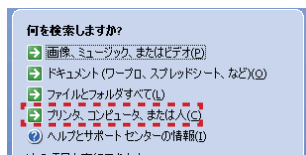
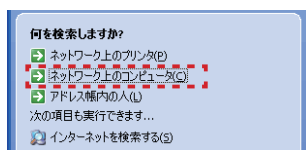
正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

Windows XP からアクセスする

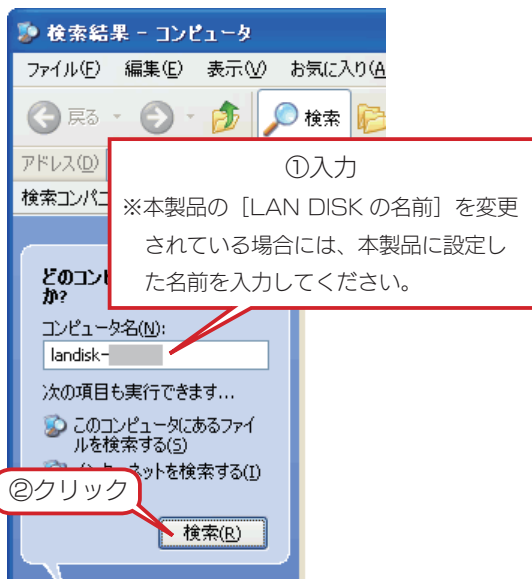
1 ［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。

表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

①［スタート］→［検索］をクリックします。

※ Windows Search 画面が起動した場合、[ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。] を選択してください。

②"何を検索しますか？"で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。

③"何を検索しますか？"で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。

2 [コンピュータ名] に「landisk-xxxxxx」と入力し、[検索] ボタンをクリックします。

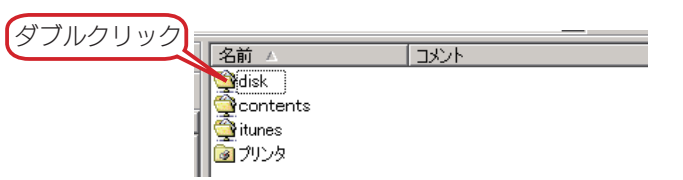
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。

【● [LAN DISK] の名前について】（2-21 ページ）を参照してください。

3 LAN DISK が検索されますので、ダブルクリックします。

ご注意

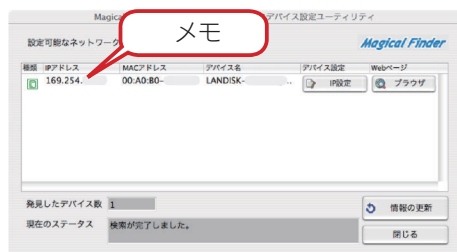
LANDISK-xxxxxx が検索されない！

⇒【(Windows)［コンピューターの検索] で [landisk-xxxxxx] が見つからない】（24-186 ページ）をご覧ください。

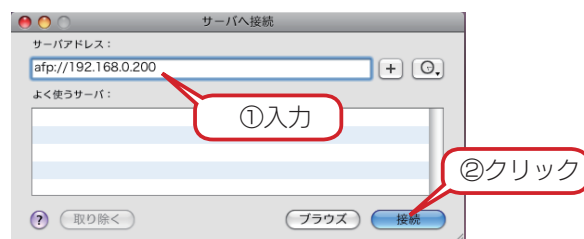
4 [disk] フォルダーをダブルクリックします。

正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

Mac OS からアクセスする

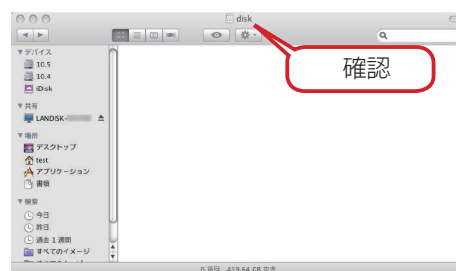
[ステップ 1] 本製品の IP アドレスを確認します

	本製品の IP アドレスをメモしてください。 [Magical Finder] の [IP アドレス] の項目に表示されている内容が、本製品の IP アドレスです。

[ステップ 2]IP アドレスを指定してアクセスします

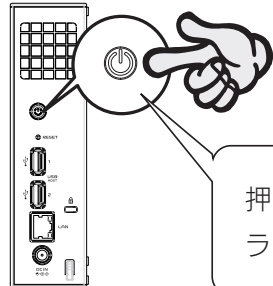
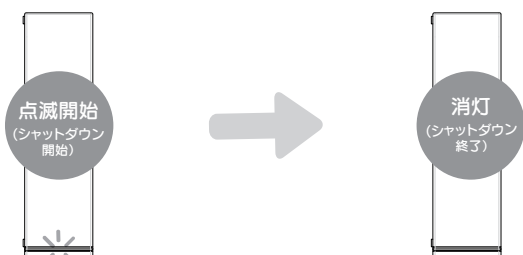
1	[移動] メニュー→ [サーバへ接続] をクリックします。

2	[サーバへ接続] 画面が表示されますので、以下を [サーバーアドレス] へ入力後、[接続] ボタンをクリックします。 afp:// 本製品の IP アドレス / ※画面は、本製品の IP アドレスが [192.168.0.200] での例です。

3	[ゲスト] を選択し、[接続] をクリックします。

4	[disk] を選択し、[OK] をクリックします。

5	本製品の共有フォルダー（[disk]）が表示されます。

正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

重要　電源を切るときは…

1	背面の電源ボタンを「ピッ」と音がなるまで押し続けます。 ※誤操作防止のため、軽く押してすぐに放しただけでは動作しないようになっています。 → STATUS ランプが緑点滅します。

2	STAUTS ランプが消灯し、しばらくすると自動的に電源が切れます。

ご注意

●長期間使用しない場合
電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

設定画面を開く

パソコンから開く

1	本製品添付の CD-ROM をパソコンにセットします。

2	Magical Finder を起動します。

▼ Windows の場合

※ (Windows 10/8 のみ)
　画面に表示された
　メッセージをクリックします。

※操作の選択画面が表示された
　場合は、[HDL-A support
　soft menu] を選択します。

サポート CD のメニュー画面が表示されたら、
[Magical Finder] ボタンをクリックします。

ご注意

●以下のような画面が表示された場合は、[アクセスを許可する] または、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

サポート CD のメニュー画面が表示されない

● Windows 10 の場合

①[スタート] → [エクスプローラー] をクリックします。

②[PC] をクリックします。

③ 本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 8 の場合

①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

② [コンピューター] アイコンをクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

● Windows 7/Vista/XP の場合

[スタート] → [コンピューター※] をクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

※ Windows Vista は［コンピュータ］、XP は［マイコンピュータ］と表示されています。

ご注意

●本製品が見つからない場合は以下をご確認ください。

→ 30 秒ほど待ってから、［情報の更新] ボタンをクリックしてください。

→セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤウォール機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティー機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

→本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。

→本製品の電源が入っていることをご確認ください。

▼ Mac OS の場合

①デスクトップに表示された
CD-ROM のアイコンを
ダブルクリックします。

② [MAC] フォルダーを
ダブルクリックします。

③ [MagicalFinder_for_
Mac_xxx.dmg] を
ダブルクリックします。

④ [Magical Finder]
アイコンをダブルクリ
ックします。

ご注意

●認証画面が表示された場合は、お使いのパソコンに設定してある
パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

▼

ご注意

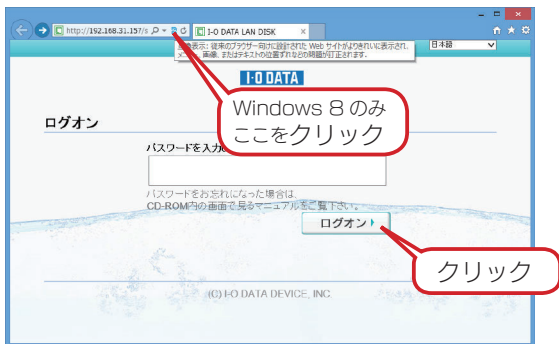
●本製品が見つからない場合は以下をご確認ください。
→ 30 秒ほど待ってから、[情報の更新] ボタンをクリックして
ください。
→セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤウォール機能
を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリ
ティー機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリ
ティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
→本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認く
ださい。
→本製品の電源が入っていることをご確認ください。

3 [ブラウザ] ボタンをクリックします。

4 [ログオン] 画面で、何も入力せず [ログオン] ボタンをクリックします。

※Windows 10のMicrosoft Edgeの場合は、… をクリックし、Internet Explorer で開いてください。

※ Windows 8 の場合は、ログオンする前に Web ブラウザーの互換表示を有効にしてご利用ください。

※管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力します。

ご注意

以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻とパソコンの時刻にズレがあります。パソコンの時刻を正確に合わせたうえで、設定画面から時刻設定を行ってください。

ご注意 (HDL-AH シリーズの場合)

● NarSuS に登録を行っていない場合は、以下の画面が表示されます。【NarSuS に登録する】(2-13 ページ) へお進みください。

これで設定画面が開きました。

※設定画面の表示言語を日本語から他言語へ変更した場合の使用は、サポート対象外となります。

〈レグザ〉から開く

1 リモコンの [レグザリンク] を押します。

2 [録画番組を見る]※にカーソルを合わせ、[決定] を押します。
※Z1 シリーズの例となります。機種により異なります。

3 [LAN-S LANDISK-xxxxxx] にカーソルを合わせ、[クイック] を押します。

4 クイックメニューの [機器情報] を選択し、本製品の [IP アドレス] の値を確認し、メモします。

5 〈レグザ〉取扱説明書内の「インターネットで情報を見る」の手順にしたがって、アドレスの入力画面を開きます。
手順４でメモした IP アドレスにしたがって、アドレス (URL) を入力します。
例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のようにアドレス (URL) を入力します。
http://192.168.0.200/

これで設定画面が開きました。
※設定画面の表示言語を日本語から他言語へ変更した場合の使用は、サポート対象外となります。
※パソコン以外から設定画面にアクセスした場合は、[詳細設定][画面で見るマニュアル] ボタンは表示されません。

Wooo から開く

1 リモコンの [Wooo リンク] を押します。

2 [AV ネットワーク] を選択し、[決定] を押します。

3 LANDISK-xxxxxx[LAN DISK] を選択し、[決定] を押します。

4 [Folders] または [フォルダー] を選択し、[決定] を押します。

5 [info] を選択し、[決定] を押します。

6 画面内のタイトルに表示された [IP アドレス] の値を確認し、メモします。

7 Wooo 取扱説明書内の「アドレスを入力してホームページを表示するには」の手順にしたがって、アドレスの入力画面を開きます。
手順６でメモした IP アドレスにしたがって、アドレス (URL) を入力します。
例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のようにアドレス (URL) を入力します。
http://192.168.0.200/

これで設定画面が開きました。
※設定画面の表示言語を日本語から他言語へ変更した場合の使用は、サポート対象外となります。
※パソコン以外から設定画面にアクセスした場合は、[詳細設定][画面で見るマニュアル] ボタンは表示されません。

番組をムーブする

コンテンツ操作について

スカパー！プレミアムサービス、〈レグザ〉から録画した番組や、Wooo からダビングした番組をムーブしたり、お気に入りのコンテンツをフォルダーごとに整理することができます。また、本製品の [contents] フォルダーに保存されている動画、写真、音楽ファイルなどのファイルも、他の機器にコピーしたり、整理することができます。

ここでは、コンテンツの以下の操作について説明しています。※録画・ダビング方法については、本製品添付の各ガイドをご覧ください。

【コンテンツを他の機器にムーブする (ネットワーク転送)】(3-33 ページ)

【フォルダーを作成する】(3-36 ページ)

【フォルダー名 / タイトル名を変更する】(3-38 ページ)

【フォルダー / コンテンツを削除する】(3-42 ページ)

【コンテンツを移動する】(3-46 ページ)

※ [コンテンツ操作] 画面の各ボタン表示については、【コンテンツ操作画面のようす】(3-48 ページ) をご覧ください。

ご注意

- 〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載の Web ブラウザーから操作する場合と、パソコンから操作する場合で、画面が異なります。
- テレビに搭載の Web ブラウザーからの操作は、テレビ側の機種やファームウェアにより動作が異なる可能性がございます。そのような場合はパソコンから操作されることをおすすめします。
- パソコンで操作する場合、コンテンツ操作ツールは JavaScript を使用しています。Web ブラウザーの環境設定で、[JavaScript の使用] を [許可] に設定してください。

文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	14 文字以下	設定画面上で使用できる文字 半角英数文字 (0 ～ 9 A ～ Z a ～ z) アンダーバー _ ハイフン - (数字やハイフン - で始まる文字列は不可)
ファイルや フォルダー名	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 Windows 7、Vista では他の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。 よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows 7、Vista と他の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004) 対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をする必要があります。 ●設定画面で使用できない文字（フォルダー名のみ） \ / : * ? " < > ¦ . .(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。
タイトル	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	設定画面で使用できない文字 .(ドット) のみ .(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」のご案内

デジタル放送の録画番組は、通常は録画した機器でしか再生できませんが、お持ちのパソコンに「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」をインストールすれば、ホームネットワークを介して本製品に録画した地デジ番組をパソコンでも視聴することができます。
本製品をお買い求めいただきましたお客様に、「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」を無償でダウンロード提供しております。

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の主な特徴

「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」は、DLNA サーバー (RECBOX や対応したハードディスクレコーダー) に保存された地上波デジタルやスカパー ! プレミアムサービスといったデジタルハイビジョン番組をパソコンで再生できるソフトウェアです。
お使いのパソコン※にインストールすると、本製品に保存されたコンテンツを離れた部屋でいつでも楽しむことができます。
※アナログ RGB および HDCP 未対応のデジタル（DVI 等）ディスプレイが接続されたパソコンでの視聴には未対応です。同時に 1 台のパソコンにのみ、インストールいただけます。

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の入手方法

下記よりダウンロードいただけます。

http://www.iodata.jp/lib/

※ Windows を 8 や 10 へアップグレードしたユーザーは、それぞれの対応バージョンの再インストールが必要となります。

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」に関するお問い合わせ

弊社では、「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」に関するサポートはおこなっておりません。
DiXiM Digital TV plus for I-O DATA の使い方や不明な点は、株式会社アスクにお問合せください。
問い合わせ方法については、インターネットによるサポートのみとなります。下の「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

・お問い合わせフォーム	http://www.ask-support.com/askware/?page_id=373
・メール	support@ask-digital.co.jp
・ホームページ	http://www.ask-support.com/askware/

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の動作環境

対応 OS	・Windows 10(Home/Pro)※1,2 ・Windows 8(Windows 8/Windows 8 Pro)※1,2 ・Windows 8.1 (Windows 8.1/Windows 8.1 Pro)※1,2 ・Windows 7(Home Premium, Professional, Ultimate)※3 ※ 1　「ハイコントラストテーマ」選択時は再生ができません。 ※ 2　デスクトップアプリケーションであり、Modern UI 上での動作はいたしません。 ※ 3　Windows Aero 動作が必須です。 ※ .NET Framework3.5 SP1 がインストールされている必要があります。 ※ 以下のような動作環境での使用については動作保証およびサポートの対象外となります。 ・Windows 7 Professional および Ultimate 上の Windows XP Mode での使用 ・各種リモートデスクトップ環境での使用 ・Intel Mac や各種仮想環境ソフトウェアにより構成された Windows 環境での使用
CPU	インテル Core i3 2.0GHz 以上 インテル Pentium U5x00/P6x00/G6x00 以上 インテル Celeron U3x00/P4xxx 以上 ※インテル Atom プロセッサーでは動作いたしません。
グラフィックス (GPU)	Intel HD Graphics 以上 ※ Intel 製 GPU でのみ動作します。（NVIDIA 製や AMD 製などの GPU、グラフィックカードでは動作しません。） ※ COPP が利用できるグラフィック環境が必要です。 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 出力に対応している必要があります。（アナログ RGB 接続ではできません）
メモリー	2G バイト以上推奨
メディアドライブ機器	ハードディスク必須
ハードディスク必要容量	100MB 以上 ※お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は多少異なります。
サウンドデバイス	Microsoft MME または WDM に準拠した Windows 互換サウンドデバイス必須
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color 以上 ※ DVI-D もしくは HDMI 接続の場合は、HDCP 対応ディスプレイが必要です。（アナログ RGB 接続には対応しておりません）
インターネット接続環境	必須。 ※ ブロードバンド接続推奨。保護されたデジタル番組の再生許可のためのアクティベーションに利用します。
対応コンテンツ形式について	デジタルテレビ番組 DTCP-IP で著作権保護されたデジタルテレビ番組
マルチディスプレイについて	1 台のパソコンで複数のディスプレイをお使いの場合は、プライマリーのディスプレイ以外は再生できません。 また、2 つの画面に同じ内容を表示する「ミラーモード」ではプライマリーディスプレイであっても再生できません。

コンテンツを他の機器にムーブする (ネットワーク転送)

〈レグザ〉、Wooo などから LAN DISK へダビングしたコンテンツを、他の機器にムーブすることができます。
また、[contents] フォルダーに保存されている動画、写真、音楽などのファイルも、他の機器にコピーすることができます。
※ [contens] フォルダーについては、[共有フォルダーを使う] → [ネットワーク上での本製品の表示] をご覧ください。

ご注意

●コンテンツのムーブ（コピー）は、フォルダー単位で行うことはできません。
●動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

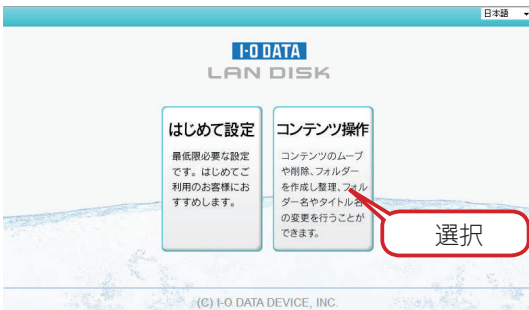
ネットワーク転送（アップロード）可能なフォーマット一覧

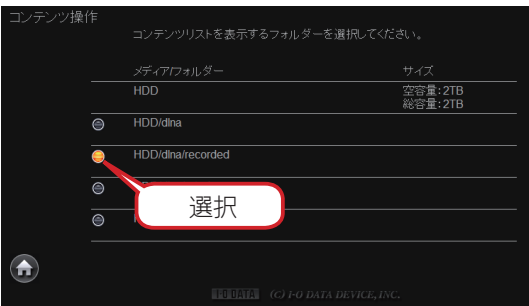
※拡張子が一致していても、形式が異なるコンテンツやファイルは、ネットワーク転送できない場合があります。

動画	mpg	mpe	mpeg	m2p	vob	tts	mts	m2ts	wmv
画像	jpg	jpeg							
音楽	mp3	wma	lpcm	pcm					

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。

※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の〇がオレンジ色になります。

3 ムーブするコンテンツを選択し、[ネットワーク転送] を押します。

※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の〇がオレンジ色になります。

4 ムーブ先を選択します。

対象機器が複数表示されている場合は、ムーブ先の機器を選択します。

※ムーブ先として選択した機器は、機器名の頭の〇がオレンジ色になります。

※レグザブルーレイ RD-BZ700 の場合

5 保存先を選択します。

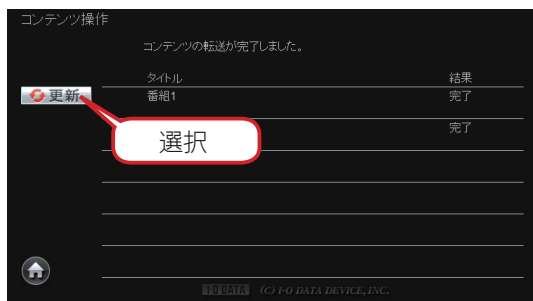
※選択した保存先は、保存先の頭の〇がオレンジ色になります。

ムーブ先に弊社製 HVL-AVS シリーズを選択した場合

●手順 4 でムーブ先に HVL-AVS シリーズを選択した場合、保存先に「Cartridge」も表示されます。カートリッジにコンテンツをムーブする場合は、iVDR スロットにカートリッジを挿入した状態で、「Cartridge」を選択してください。

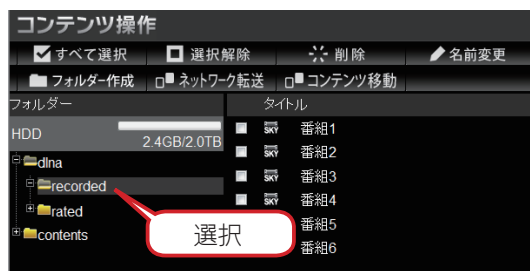
6 内容を確認し、[実行] を押します。
ムーブを開始し、状況が表示されます。(STATUS ランプ : 橙点灯)
ムーブ中は本製品および転送先の機器の電源を OFF にしないでください。

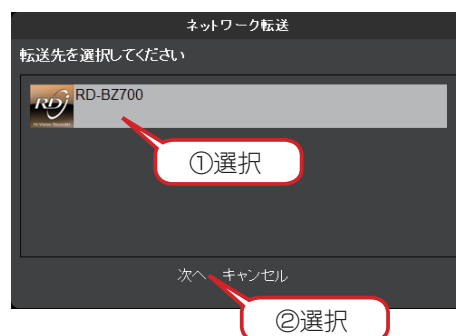
▼

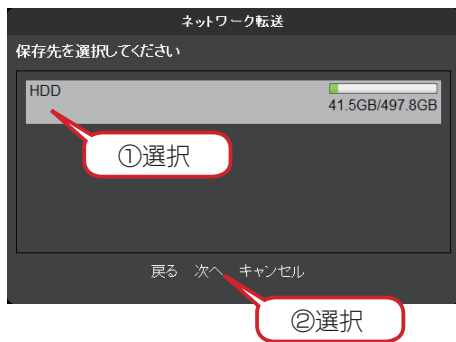
7 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、ムーブは完了です。
転送先の機器にコンテンツがムーブされていることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3 ムーブするコンテンツにチェックを付け、[ネットワーク転送] を選択します。

4 ムーブ先を選択します。
対象機器が複数表示されている場合は、ムーブ先の機器を選択して、[次へ] を選択します。

※レグザブルーレイ RD-BZ700 の場合

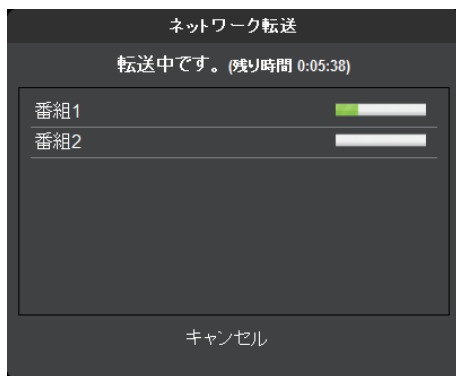
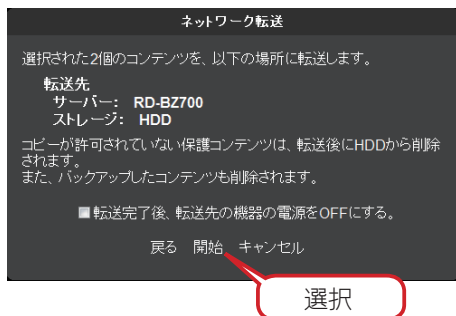
5 保存先を選択し、[次へ] を選択します。

ムーブ先に弊社製 HVL-AVR シリーズを選択した場合

●手順 4 でムーブ先に HVL-AVR シリーズを選択した場合、保存先に「カートリッジ」も表示されます。カートリッジにコンテンツをムーブする場合は、REC-iN スロットにカートリッジを挿入した状態で、「REC-iN」を選択してください。

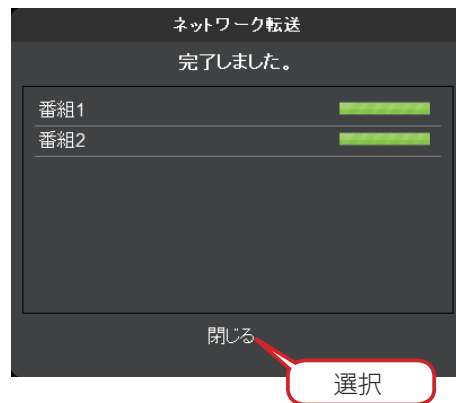
6 内容を確認し、[開始] を選択します。

ムーブを開始し、状況が表示されます。(STATUS ランプ：橙点灯)

ムーブ中は本製品および転送先の機器の電源を OFF にしないでください。

▼

レグザブルーレイや〈ヴァルディア〉を転送先としてムーブする場合

● [転送完了後、転送先の機器の電源を OFF にする。] にチェックを付け、[開始] を選択すると、ムーブが終了後に転送先のレグザブルーレイや〈ヴァルディア〉の電源が自動的に OFF になります。

7 「完了しました」と表示されたら、[閉じる] を選択します。

これで、ムーブは完了です。

転送先の機器にコンテンツがムーブされていることを確認してください。

フォルダーを作成する

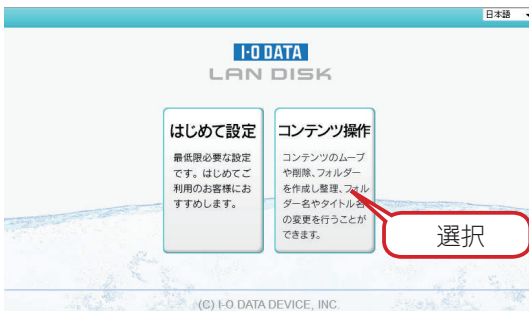
フォルダーを新規で作成します。

ご注意

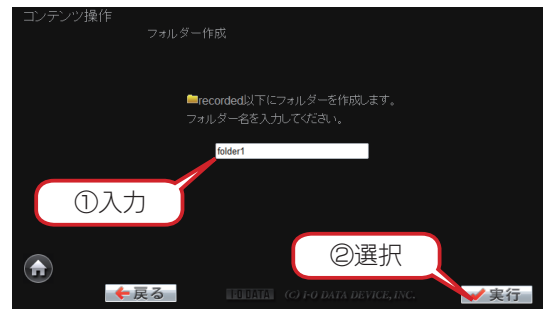
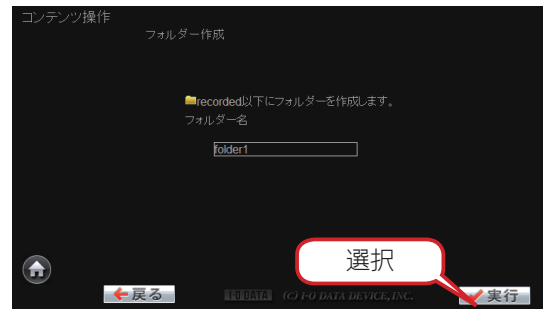
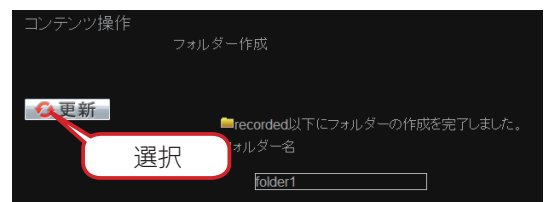
●本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
フォルダー名に使用できない文字　：¥ / : ＊ ? ″ < > | .
.(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。

※以下の手順は、[dlna] フォルダーの中にある [recorded] フォルダー内に、[folder1] というフォルダーを新規作成する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、新規フォルダーの作成場所を選択します。
※作成場所として選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

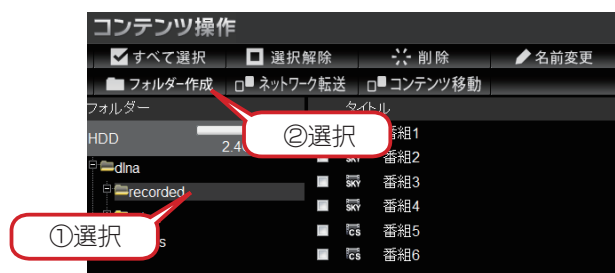
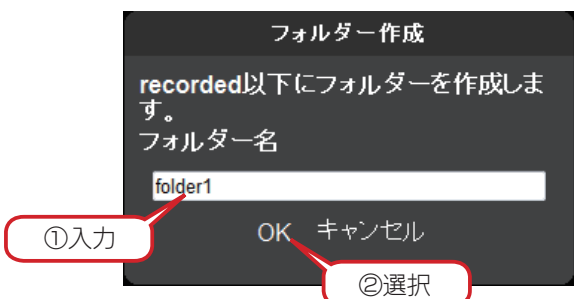
3 [フォルダー作成] を押します。

4 フォルダー名を入力し、[実行] を押します。
※文字には制限があります。
【文字制限】(3-25 ページ) をご覧ください。

5 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、フォルダーの作成は完了です。
フォルダーが作成されていることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、新規フォルダーの作成場所を選択し、[フォルダー作成] を選択します。

3	フォルダー名を入力し、[OK] を選択します。 ※文字には制限があります。 【文字制限】(3-26 ページ) をご覧ください。

これで、フォルダーの作成は完了です。
フォルダーが作成されていることを確認してください。

フォルダー名 / タイトル名を変更する

フォルダー名、またはコンテンツのタイトル名を変更することができます。

ご注意

●複数のフォルダーやコンテンツを選択して、変更することはできません。

フォルダー名を変更する

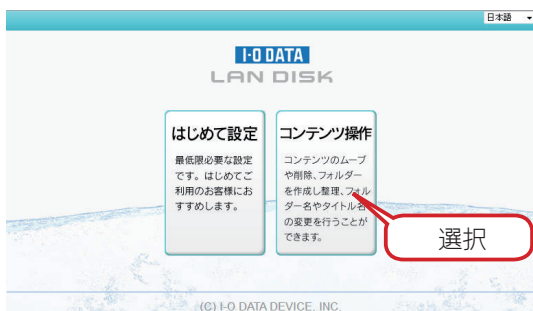
ご注意

●以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。
[dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]

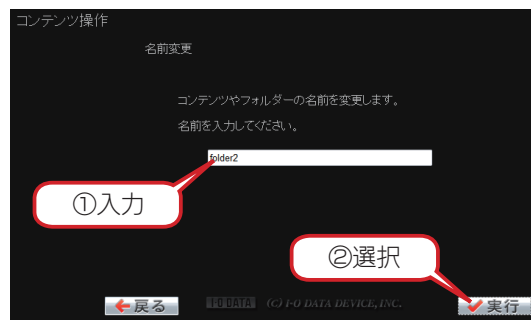
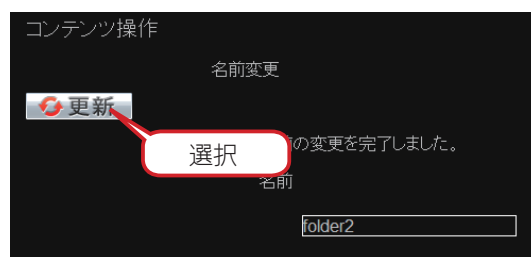
●本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
フォルダー名に使用できない文字　：¥ / ：＊？″＜＞ | .
.(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。

※以下の手順は、[folder1] から [folder2] へフォルダー名を変更する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

3 変更するフォルダーを選択し、[名前変更] を押します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

4 変更するフォルダー名を入力し、[実行] を押します。
※文字には制限があります。
【文字制限】(3-27 ページ) をご覧ください。

5 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、フォルダー名の変更は完了です。
フォルダー名が変更されていることを確認してください。

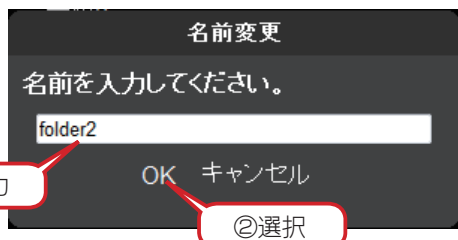
パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3	変更するフォルダーにチェックを付け、[名前変更] を選択します。

4	変更するフォルダー名を入力し、[OK] を選択します。 ※文字には制限があります。 【文字制限】(3-28 ページ) をご覧ください。

これで、フォルダー名の変更は完了です。
フォルダー名が変更されていることを確認してください。

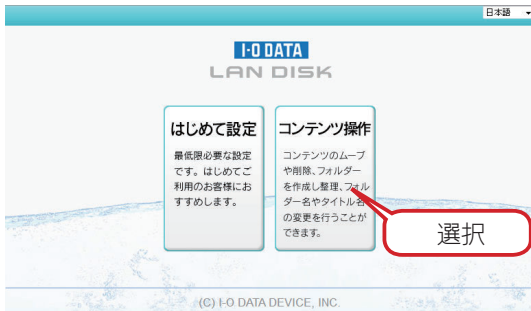
コンテンツのタイトル名を変更する

ご注意

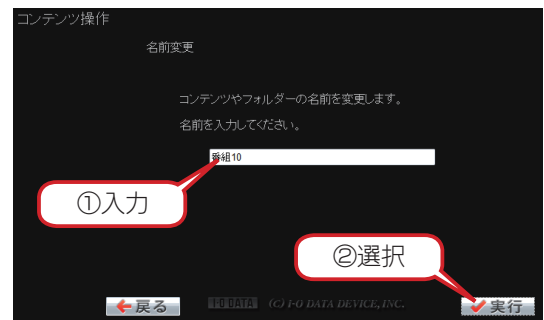
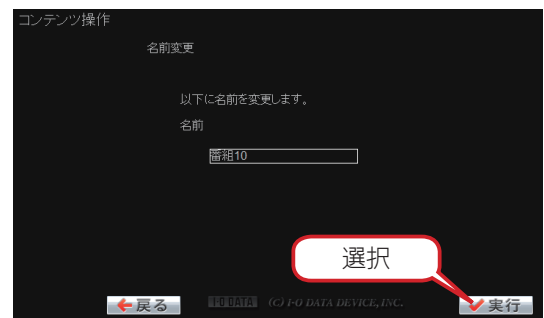
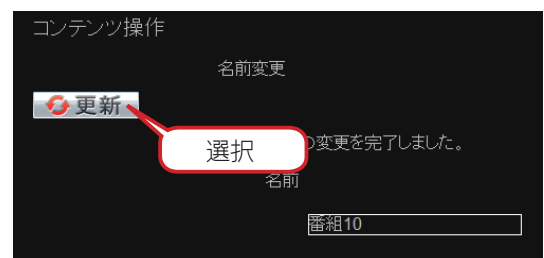
●本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
　文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
　タイトル名に使用できない文字：. (ドット) のみ
　.(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

※以下の手順は、タイトル名 [番組 1] から [番組 10] へ変更する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

3 変更するコンテンツを選択し、[名前変更] を押します。
※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

4 変更するタイトル名を入力し、[実行] を押します。
※文字には制限があります。
【文字制限一覧】(22-141 ページ) をご覧ください。

5 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

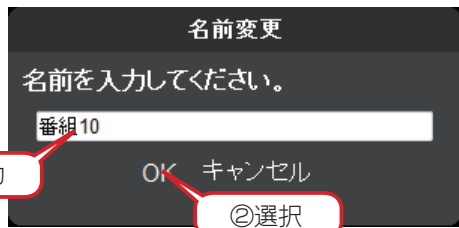
これで、コンテンツのタイトル変更は完了です。
タイトル名が変更されていることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3	変更するコンテンツにチェックを付け、[名前変更] を選択します。

4	変更するタイトル名を入力し、[OK] を選択します。 ※文字には制限があります。 【文字制限一覧】(22-141 ページ) をご覧ください。

これで、コンテンツのタイトル変更は完了です。
タイトル名が変更されていることを確認してください。

フォルダー / コンテンツを削除する

フォルダー名、またはコンテンツのタイトル名を変更することができます。

ご注意

- NTFS フォーマットのハードディスク内のフォルダーやコンテンツは削除できません。
- フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。
- コンテンツ操作画面では、ごみ箱機能は無効となり、コンテンツは削除されます。

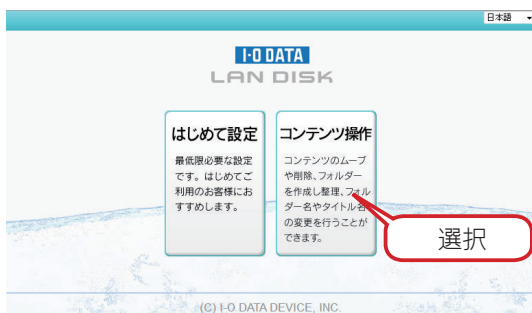
フォルダーを削除する

ご注意

- 以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。
  [dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]

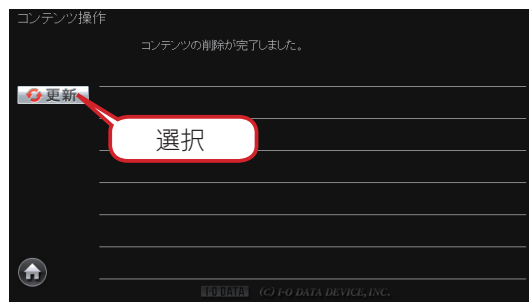
※以下の手順は、フォルダー [folder1] を削除する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

3 削除するフォルダーを選択し、[削除] を押します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

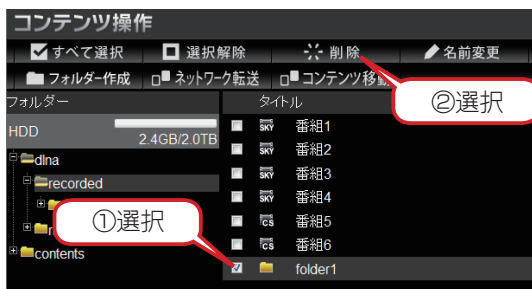
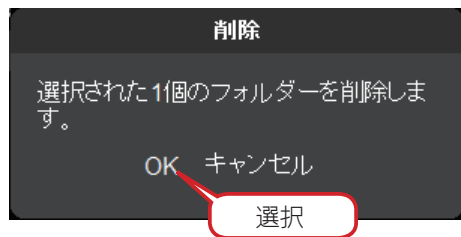
4 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

5 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、フォルダーの削除は完了です。
フォルダーが削除されていることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3	削除するフォルダーにチェックを付け、[削除] を選択します。

4	確認画面が表示されますので、確認後、[OK] を選択します。

これで、フォルダーの削除は完了です。

フォルダーが削除されていることを確認してください。

コンテンツを削除する

ご注意

●本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。

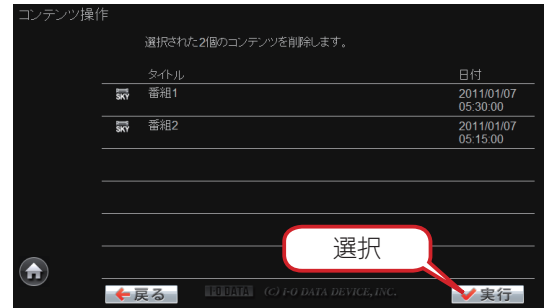
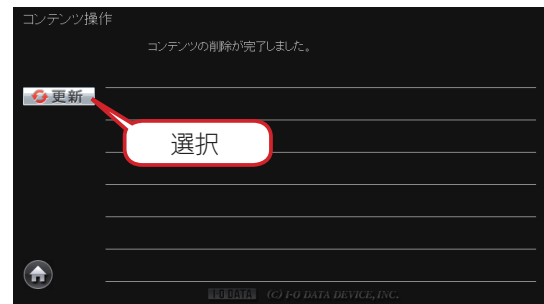
※以下の手順は、内蔵 HDD の [recorded] フォルダー内のコンテンツ「番組 1」、「番組 2」を削除する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

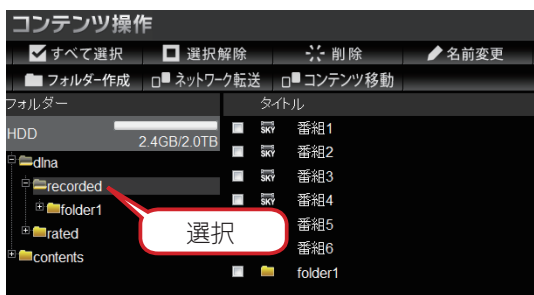
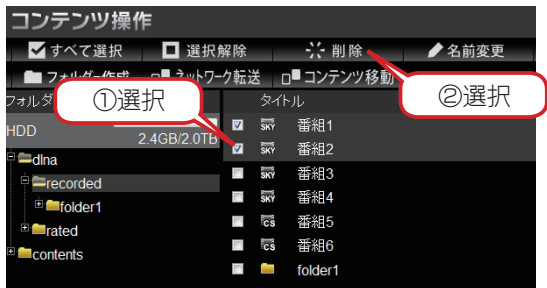
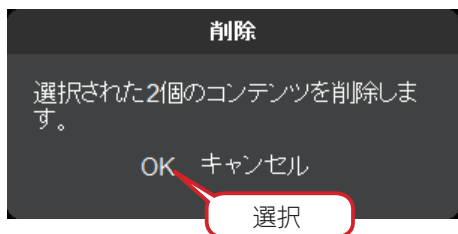
2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の〇がオレンジ色になります。

3 削除するコンテンツを選択し、[削除] を押します。
※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の〇がオレンジ色になります。

4 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。
→選択したコンテンツの削除が開始されますので、しばらくお待ちください。

5 完了画面が表示されますので、確認後、[更新] を選択します。

これで、コンテンツの削除は完了です。
コンテンツが削除されていることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3	削除するコンテンツを選択し、[削除] を選択します。

4	確確認画面が表示されますので、確認し [OK] をクリックします。 →選択したコンテンツの削除が開始されますので、しばらくお待ちください。

これで、コンテンツの削除は完了です。
コンテンツが削除されていることを確認してください。

コンテンツを移動する

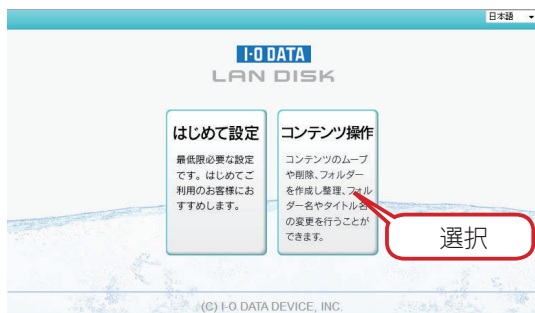
LAN DISK 内蔵 HDD 内のフォルダー間でコンテンツを移動することができます。
USB 機器から、内蔵 HDD に対して、コンテンツの移動もできます。

ご注意

- 本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。
- 〈レグザ〉から直接録画し [disk] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。〈レグザ〉のリモコンから、本製品の「LAN-S」へ一度ダビングする必要があります。ダビングの方法は、別紙の【録画ガイド 〈レグザ〉】をご覧ください。
- 内蔵 HDD から、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
- USB 機器から内蔵 HDD に対しコンテンツの移動を行う場合、あらかじめ、接続する USB ポートのモードを [共有モード] に設定しておく必要があります。USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください。

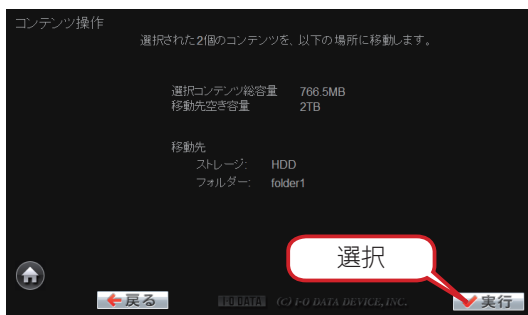
※以下の手順は、[dlna] フォルダーにあるコンテンツを、[dlna] フォルダー内のフォルダー [folder1] へ移動する場合の例です。

〈レグザ〉や Wooo から操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。
※フォルダーの意味については、【[コンテンツ操作] 画面について】内【テレビの場合】の「フォルダー」項目 (3-35 ページ) をご覧ください。

3 移動するコンテンツを選択し、[コンテンツ移動] を押します。
※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

4 移動先のフォルダーが表示されます。コンテンツの移動先を選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

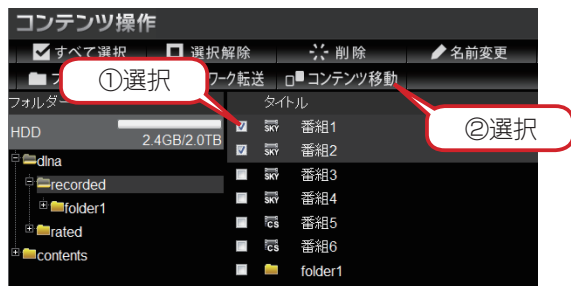
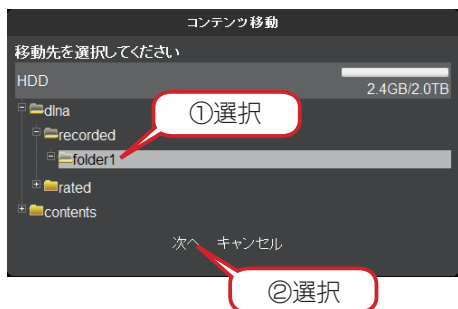
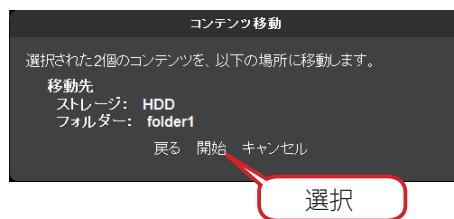
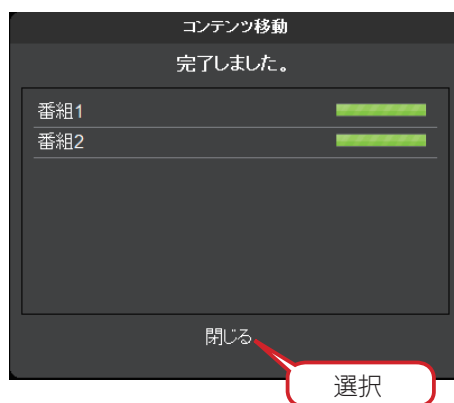
5 移動するコンテンツが表示されますので、確認し [実行] を押します。
→選択したコンテンツの移動が開始されますので、しばらくお待ちください。

6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これでコンテンツの移動は完了です。
コンテンツが移動していることを確認してください。

パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(3-21 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※フォルダーの意味については、【[コンテンツ操作] 画面について】内【パソコンの場合】の「フォルダー」項目 (3-36 ページ) をご覧ください。

3	移動するコンテンツにチェックを付け、[コンテンツ移動] を選択します。

4	移動先のフォルダーを選択し、[次へ] をクリックします。

5	確認画面が表示されます。 移動先を確認後、[開始] をクリックします。 →選択したコンテンツの移動が開始されますので、しばらくお待ちください。

6	完了画面が表示されます。 確認後、[閉じる] をクリックします。

これで、コンテンツの移動は完了です。
移動先へ、コンテンツが移動していることを確認してください。

コンテンツ操作画面のようす

▼テレビの場合

テレビの場合

<table>
<tr><td>すべて選択</td><td colspan="2">「タイトル」内に表示されたコンテンツ全てを選択します。</td></tr>
<tr><td>選択解除</td><td colspan="2">選択したコンテンツの選択を解除します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">選択したフォルダー、コンテンツを削除します。(【フォルダー / コンテンツを削除する】(3-42 ページ) 参照)
※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。
※ NTFS フォーマットのハードディスクに入ったフォルダーやコンテンツは削除できません。
※以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。
[dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]
※フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。
※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。</td></tr>
<tr><td>名前変更</td><td colspan="2">コンテンツ、またはフォルダーのタイトル名の編集します。(【フォルダー名 / タイトル名を変更する】(3-38 ページ) 参照)
※文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) を参照してください。
※複数コンテンツを選択してタイトル編集を行うことはできません。
※以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。
[dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]</td></tr>
<tr><td>フォルダー作成</td><td colspan="2">フォルダーを新規に作成します。(【フォルダーを作成する】(3-36 ページ) 参照)
※文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) を参照してください。</td></tr>
<tr><td>コンテンツ移動</td><td colspan="2">内蔵 HDD 内のフォルダー間で、コンテンツを移動します。(【コンテンツを移動する】(3-46 ページ) 参照)
USB 機器から、内蔵 HDD に対して、コンテンツの移動もできます。
※コンテンツの移動は、フォルダー単位で行うことはできません。
※〈レグザ〉から直接録画し [disk] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。
※内蔵 HDD から、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク転送</td><td colspan="2">選択したコンテンツを指定の機器にムーブします。(【コンテンツを他の機器にムーブする (ネットワーク転送)】(3-33 ページ) 参照)
また、複数のコンテンツを一括ムーブできます。
※コンテンツのムーブは、フォルダー単位で行うことはできません。</td></tr>
<tr><td>ホーム</td><td colspan="2">設定画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">フォルダー</td><td>HDD</td><td>内蔵 HDD 内のフォルダーやコンテンツを表示します。</td></tr>
<tr><td>USB</td><td>USB 機器内のフォルダーやコンテンツが表示されます。
※ USB 機器を、本製品に接続している場合のみ表示されます。
※ USB 機器から、内蔵 HDD に対してコンテンツの移動は可能ですが、内蔵 HDD から、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
※ USB ポートの設定が「共有モード」の場合のみ表示されます。(【USB ポートの動作モードを変更する】(6-73 ページ) 参照)</td></tr>
<tr><td>dlna</td><td>デジタル対応機器や地デジ対応パソコンからのダビングやムーブされたコンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>recorded</td><td>視聴年齢制限以外の録画コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>rated</td><td>視聴年齢制限の録画コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>contents</td><td>パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>タイトル</td><td colspan="2">コンテンツの一覧が表示されます。</td></tr>
<tr><td>ページ移動ボタン
(画面右側)</td><td colspan="2">1 画面に 6 行まで表示できます。6 行を超える場合は、ページ移動ボタンを押し、ページを移動させ表示します。</td></tr>
</table>

▼パソコンの場合

パソコンの場合

<table>
<tr><td>すべて選択</td><td colspan="2">「タイトル」内に表示されたコンテンツすべてを選択します。</td></tr>
<tr><td>選択解除</td><td colspan="2">選択したコンテンツの選択を解除します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">選択したフォルダー、コンテンツを削除します。(【フォルダー / コンテンツを削除する】(3-42 ページ) 参照)
※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。
※ NTFS フォーマットのハードディスクに入ったフォルダーやコンテンツは削除できません。
※以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。
[dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]
※フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。
※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。</td></tr>
<tr><td>名前変更</td><td colspan="2">コンテンツ、またはフォルダーのタイトル名の編集します。(【フォルダー名 / タイトル名を変更する】(3-38 ページ) 参照)
※文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) を参照してください。
※複数コンテンツを選択してタイトル編集を行うことはできません。
※以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。
[dlna]-[recorded]、[rated]、[contents]</td></tr>
<tr><td>フォルダー作成</td><td colspan="2">フォルダーを新規に作成します。(【フォルダーを作成する】(3-36 ページ) 参照)
※文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) を参照してください。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク転送</td><td colspan="2">選択したコンテンツを指定の機器にムーブします。(【コンテンツを他の機器にムーブする (ネットワーク転送)】(3-33 ページ) 参照)
また、複数のコンテンツを一括ムーブできます。
※コンテンツのムーブは、フォルダー単位で行うことはできません。</td></tr>
<tr><td>コンテンツ移動</td><td colspan="2">内蔵 HDD 内のフォルダー間で、コンテンツの移動を行います。(【コンテンツを移動する】(3-46 ページ) 参照)
USB 機器から、内蔵 HDD に対して、コンテンツの移動もできます。
※コンテンツの移動は、フォルダー単位で行うことはできません。
※〈レグザ〉から直接録画し [disk] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。
※内蔵 HDD から、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。</td></tr>
<tr><td>ホーム</td><td colspan="2">設定画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">フォルダー</td><td>HDD</td><td>内蔵 HDD 内のフォルダーやコンテンツを表示します。</td></tr>
<tr><td>USB</td><td>USB 機器内のフォルダーやコンテンツが表示されます。
※ USB 機器を、本製品に接続している場合のみ表示されます。
※ USB 機器から、内蔵 HDD に対してコンテンツの移動は可能ですが、内蔵 HDD から、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
※ USB ポートの設定が「共有モード」の場合のみ表示されます。(【USB ポートの動作モードを変更する】(6-73 ページ) 参照)</td></tr>
<tr><td>dlna</td><td>デジタル対応機器や地デジ対応パソコンからのダビングやムーブされたコンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>recorded</td><td>視聴年齢制限以外の録画コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>rated</td><td>視聴年齢制限の録画コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>contents</td><td>パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。</td></tr>
<tr><td>タイトル</td><td colspan="2">コンテンツの一覧が表示されます。</td></tr>
<tr><td>ページ移動ボタン
(画面下部)</td><td colspan="2">コンテンツは 1 画面に 20 行まで表示できます。20 行を超える場合は複数のページに分割されて表示されますので、ページ移動ボタンを選択し、ページを移動させ表示します。</td></tr>
</table>

コンテンツのアイコン表示

	地上波デジタルコンテンツ
	CS コンテンツ
	BS コンテンツ
	スカパー ! コンテンツ
	ビデオ　コンテンツ　(著作権保護あり) アクトビラダウンロードセルコンテンツ、Wooo で TSXn (n は数字) と表記された録画モードで録画したコンテンツなど。
	ビデオ コンテンツ (著作権保護なし)
	写真コンテンツ
	音楽コンテンツ
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れたビデオ。※
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れた写真。※
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れた音楽コンテンツ。※

※ コンテンツの移動は可能ですが、他の機器へコンテンツをムーブすることはできません。

対応ファイルフォーマット

本製品は、以下のファイルフォーマットに対応しています。ただし、再生にはプレーヤー側も該当のファイルフォーマットの再生に対応している必要があります。また、拡張子が一致していても、形式が異なるコンテンツやファイルは、ネットワーク転送できない場合があります。DLNA 再生を行うためには、再生を行う各ファイルが DLNA 規格に合致した形式である必要があります。

動画	3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p	mpe	mpeg	vob	tts	ts
	asf	dvr-ms	wmv	mts	m2ts								
画像	bmp	gif	jpg	jpeg	png	tiff	tif						
音楽	ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma	flac				

共有フォルダーを使う

共有フォルダーのアクセス権

本製品の設定画面上で作成できる「共有」(アクセス権限)には以下の種類があります。

全員共有

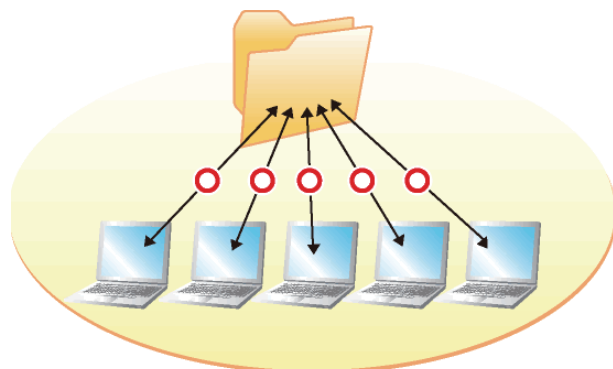
ネットワークに接続されているすべてのパソコンから自由にファイルの読み書きができる共有です。
ネットワークにログオン時のユーザー名やパスワードに関係なく、そのままでアクセスできますので、ユーザー管理やグループ管理を行う必要がありません。
本製品に初期設定で登録されている「disk」フォルダーも全員共有のフォルダーになります。

詳細アクセス権設定

各共有フォルダーに対し、ユーザー・グループごとにアクセス権限を設定することができます。

詳細アクセス権設定　◉有効 ◎無効

ユーザー許可設定

グループ許可設定

ご注意

● DLNA 共有への DLNA クライアントからのアクセス制御は、共有フォルダーのアクセス権設定では行えません。
方法については、【アクセスできるメディアプレーヤーを制限する】(8-96 ページ)をご覧ください。

<アクセス権限の優先順位について>
アクセス権の設定の優先順位は以下の①②③の順に優先される設定になります。
● Microsoft ネットワーク共有・FTP 共有・リモートアクセス共有
①共有フォルダーの読み取り専用設定
②詳細アクセス権設定の読み書き設定(グループ・ユーザー)
③詳細アクセス権設定の読み取り設定(グループ・ユーザー)
● AppleShare ネットワーク共有
①共有フォルダーの読み取り専用設定
②詳細アクセス権設定の読み取り設定(グループ・ユーザー)
③詳細アクセス権設定の読み書き設定(グループ・ユーザー)

AppleShare ネットワーク共有と他の共有サービスを組み合わせて使用する場合に、詳細アクセス権設定でグループ、ユーザーごとに個別にアクセス権を設定するには、以下のいずれかの方法ですべての共有サービスからのアクセス権限を統一できます。
・ユーザーとユーザーが属するグループに対して異なるアクセス権を設定しない
・詳細アクセス権設定をすべてユーザーで指定する

設定例

以下のグループにアクセス権を設定する場合（※ user2 が重複していることに注意）

グループ名	所属するユーザー
ROgroup	user1,user2
RWgroup	user2,user3

例 1　グループ全体を読み取り権限に設定するが、グループ内の特定ユーザーのみを読み書き権限とする場合

共有フォルダー　　share1　（フォルダーの読み取り専用チェックなし、詳細設定有効）

許可したユーザー　　[読み書き] user1

許可したグループ　　[読み取り] ROgroup（user1、user2 がグループメンバー）

上記の設定を行った場合、Microsoft ネットワーク共有・FTP 共有では各ユーザーによる共有フォルダー share1 へのアクセスは以下のようになります。

user1 読み書き

user2 読み取り

※ user1 は、ユーザー指定によって読み書き指定、グループ指定によって読み取り指定と、両方の権限が指定されていますが、読み取り指定よりも読み書き指定の方が優先のため、読み書きのアクセスとなります。

※ user2 は、グループ指定によって読み取り指定されていますので、読み取りのアクセスとなります。

AppleShare ネットワーク共有では以下のようになります。

user1 読み取り

user2 読み取り

※ user1 は、ユーザー指定によって読み書き指定、グループ指定によって読み取り指定と、両方の権限が指定されていますが、読み書き指定よりも読み取り指定の方が優先のため、読み取りのアクセスとなります。

※ user2 は、グループ指定によって読み取り指定されていますので、読み取りのアクセスとなります。

例 2　ユーザーおよびユーザーが属するグループに異なるアクセス権を付与した場合

共有フォルダー　　share1（フォルダーの読み取り専用チェックなし、詳細設定有効）

許可したユーザー　　[読み書き] user1

[読み書き] user3

許可したグループ　　[読み取り] ROgroup（user1、user2 がグループメンバー）

[読み書き] RWgroup（user2、user3 がグループメンバー）

上記の設定を行った場合、Microsoft ネットワーク共有・FTP 共有では各ユーザーによる共有 share1 へのアクセスは以下のようになります。

user1 読み書き

user2 読み書き

user3 読み書き

※ user1 は、グループ指定によって読み取り、ユーザー指定によって読み書きと両方の指定がされていることになりますが、読み取り指定よりも読み書き指定の方が優先のため読み書き可能となります。

※ user2 は、グループ指定によって、読み取りと読み書きの両方の指定がされていますが、読み取り指定よりも読み書き指定の方が優先のため読み書き可能となります。

※ user3 は、グループ指定によって読み書き、ユーザー指定においても読み書きの両方の指定がされているので読み書き可能となります。

AppleShare ネットワーク共有の場合は以下のようになります。

user1 読み取り

user2 読み取り

user3 読み書き

※ user1 は、グループ指定によって読み取り、ユーザー指定によって読み書きと両方の指定がされていることになりますが、読み書き指定よりも読み取り指定の方が優先のため読み取りのみとなります。

※ user2 は、グループ指定によって、読み取りと読み書きの両方の指定がされていますが、読み書き指定よりも読み取り指定の方が優先のため読み取りのみとなります。

※ user3 は、グループ指定によって読み書き、ユーザー指定においても読み書きの両方の指定がされているので読み書き可能となります。

例 3　複数グループにまたがるユーザーが存在し、かつ、それぞれのグループに異なるアクセス権を付与した場合

共有フォルダー　　share1（フォルダーの読み取り専用チェックなし、詳細設定有効）

許可したグループ　　[読み取り] ROgroup（user1、user2 がグループメンバー）

[読み書き] RWgroup（user2、user3 がグループメンバー）

Microsoft ネットワーク共有・FTP 共有での各ユーザーによる共有 share1 へのアクセスは以下のようになります。

user1 読み取り

user2 読み書き

user3 読み書き

※ user2 は、グループ指定によって、読み取りと読み書きの両方の指定がされていることになりますが、読み取り指定よりも読み書き指定の方が優先のため読み書き可能となります

AppleShare ネットワーク共有の場合は以下のようになります。

user1 読み取り

user2 読み取り

user3 読み書き

※ user2 は、グループ指定によって、読み取りと読み書きの両方の指定がされていることになりますが、読み書き指定よりも読み取り指定の方が優先のため読み取りのみとなります。

例 4　共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけた場合

詳細アクセス権の設定なし、および、詳細アクセス権設定でユーザー、グループに対してどのような設定を実施しても、共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけると、許可されたユーザーによるアクセスは読み取りとなります。

共有フォルダー使用上のご注意

本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる［disk］という共有フォルダーがあります。
新規に共有フォルダーを作成することもできます。

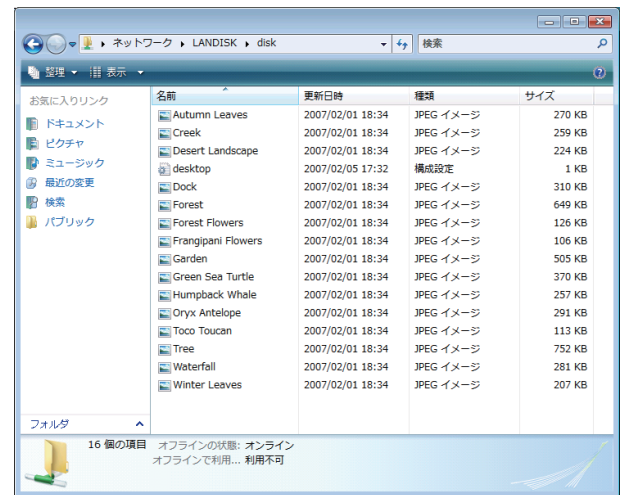
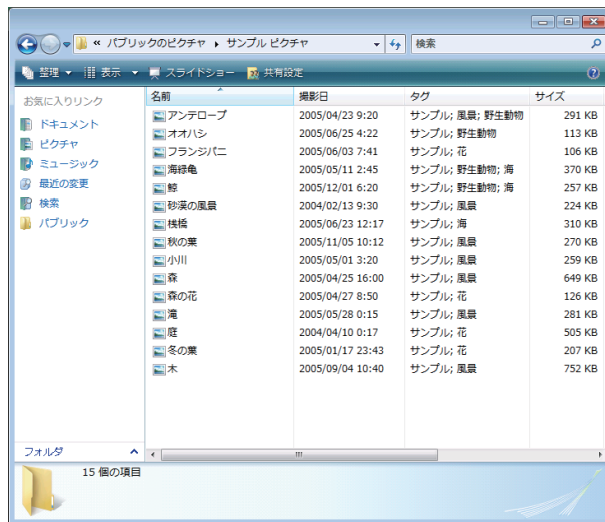
●本製品に作成する共有には、「指定ユーザー」および「指定グループ」に、読み書きのアクセス制限を個別に設定できます。

●本製品に登録可能なユーザー数は最大 100 個、グループ数は最大 100 個までとなります。
1 グループに登録可能なユーザーは 100 ユーザーまでとなります。
※登録するユーザー情報（ユーザー名、パスワード）は、Windows または Mac OS へログオン時のユーザー情報と一致したものを登録する必要があります。

●設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。以下をご覧ください。
【文字制限一覧】（22-141 ページ）

●本製品に登録可能な共有フォルダー数は最大 100 個（出荷時設定の共有フォルダーを含む）までとなります。

● Windows 7、Vista の「ファイルのバックアップ」機能について
付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダーを指定することはできません。

● Windows 7、Vista 上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意
標準インストールされるサンプルピクチャーフォルダーのファイルは、Windows 7、Vista 上では画面例 (左) のように表示されています。画面例左のサンプルピクチャーを共有フォルダー上にコピーすると、画面例（右）のように全く名前が異なって表示されます。

LAN DISK 共有フォルダーで表示されるアルファベット文字が実ファイル名ですが、Windows 7、Vista 上のサンプルピクチャーのフォルダーはファイルのデフォルト表示設定が、実ファイル名を表示しない設定がデフォルト設定となっています。
このように名前＝ファイル名ではないフォルダー表示設定が可能ですので、注意してください。

●本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により制限があります。以下をご確認ください。
【文字制限一覧】（22-141 ページ）

●本製品に接続の USB 機器のフォーマット形式が NTFS の場合、共有フォルダーへは読み取り専用となります。

●共有フォルダーの作成や詳細アクセス権の変更など、共有フォルダーに変更を加える際は、すべての共有フォルダーへアクセスできません。

ネットワーク上での本製品の表示

本製品や本製品に接続した増設ハードディスクへのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク上から行います。
ネットワーク上から本製品に作成した、または作成されている共有フォルダーを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。

共有フォルダー名	説明
disk	本製品出荷時にあらかじめ作成されている内蔵ディスクの共有フォルダーです。 アクセス権限は全員共有として設定されており、詳細アクセス権が無効となっていますので、すべてのユーザーからアクセスできます。
itunes	本製品出荷時にあらかじめ作成されている内蔵ディスクの共有フォルダーです。 アクセス権限は全員共有として設定されており、詳細アクセス権が無効となっていますので、すべてのユーザーからアクセスできます。iTunes で公開用の共有フォルダーです。
usb1,usb2	本製品の [USB ポート 1][USB ポート 2] に接続した USB ハードディスクです。 FAT、NTFS、専用形式の場合は、接続すれば、この共有フォルダーが表示されます。アクセス権限は全員共有です。 アクセス権限は全員共有として設定されており、詳細アクセス権が無効となっていますので、すべてのユーザーからアクセスできます。 ※ usb1 ボリュームを共有モード（FAT/NTFS/ 専用）に設定時に、USB ハードディスクを［USB ポート 1］に接続した場合は、［usb1］と表示されます。（usb2 の場合も同様です。）
contents	本製品出荷時にあらかじめ作成されている内蔵ディスクの共有フォルダーです。 アクセス権限は全員共有として設定されており、詳細アクセス権が無効となっていますので、すべてのユーザーからアクセスできます。DLNA 対応テレビなどからアクセスできる共有フォルダーです。
プリンタと FAX （プリンタ）	削除することはできません。 ※表示されない場合もあります。

ご注意

増設ハードディスクの使い方については、以下をご覧ください。

【ハードディスクを増設する】（6-71 ページ）

ごみ箱機能

ごみ箱機能が有効となっている共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐにファイルがなくなるわけではなく、いったん[TrashBox] フォルダーに保管されます。ごみ箱機能は、初期設定で無効となっています。

設定は［共有］→［共有フォルダー設定］画面で行います。新しく［ごみ箱機能］を有効 / 無効にする共有フォルダーを作成したり、すでに作成済みの共有フォルダーに［ごみ箱機能］を有効 / 無効に設定することもできます。

ご注意

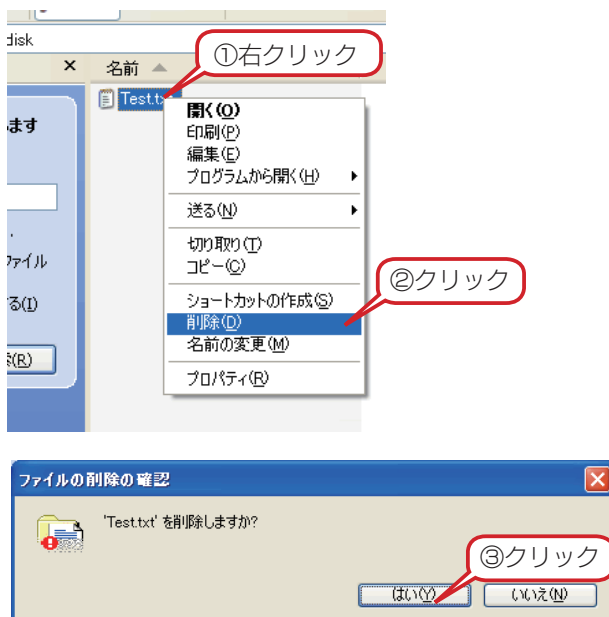
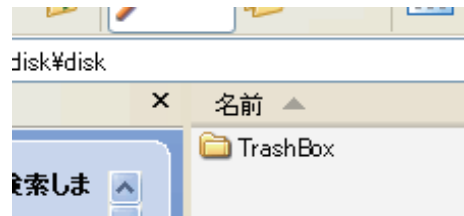
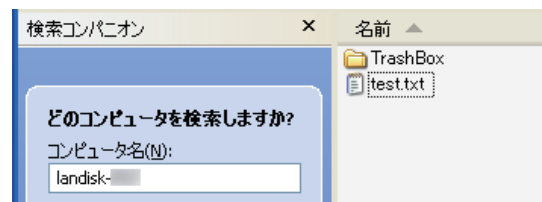
- 新規で［ごみ箱機能］を有効にする共有フォルダーを作成する場合は、【共有フォルダーを作成・変更・削除する】（4-60 ページ）をご覧ください。
- すでに作成済みの共有フォルダーに［ごみ箱機能］を有効・無効にする場合は、【共有フォルダーを作成・変更・削除する】（4-60 ページ）をご覧ください。
- [TrashBox] フォルダーからファイルを戻す手順は、以下をご覧ください。
  【[TrashBox] フォルダーからファイルを戻す】（本ページ以下）
- Windows（Microsoft ネットワーク共有ユーザー）でのみ利用できます。
- [TrashBox] フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに [TrashBox] フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの空き領域が減っていくことがあります。定期的に [TrashBox] フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。
- [TrashBox] フォルダー内のファイルを削除すると、該当ファイルはハードディスクから完全に消去されますのでご注意ください。
- [TrashBox] フォルダーは、ファイルを消去してはじめて表示されます。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。[TrashBox] フォルダーに大量にファイルが存在する場合、通信速度の低下やバックアップ失敗につながることがあります。
  知らない内に [TrashBox] フォルダーにファイルが大量に存在している場合がありますので、定期的に [TrashBox] フォルダー内を確認することをおすすめします。
- [Trash Box] フォルダーからファイルを戻すことはできますが、フォルダーを戻すことはできません。

[TrashBox] フォルダーからファイルを戻す

ごみ箱機能を設定した [disk] フォルダーからファイル（Test.txt）を削除後、[TrashBox] フォルダーから [disk] フォルダーにファイル（Test.txt）を戻す手順について説明します。

※画面は Windows XP を例にしています。

1 ネットワーク上から本製品の［disk］共有フォルダーにアクセスします。

2 ファイルを削除します。

3 ［disk］フォルダーからファイルが削除されると、[TrashBox] フォルダーが作成されます。（表示されていない場合は［F5］キーを押して更新してください。）[TrashBox] フォルダーをダブルクリックして、ファイルを移動（またはコピー）します。

4 [TrashBox] フォルダー内の削除したファイルを［disk］フォルダーに移動（またはコピー）します。［disk］フォルダーにファイルを戻すことができます。

以上で完了です。

ユーザーを登録・変更・削除する

特定のユーザーのみがアクセスできる共有フォルダーを作成する場合は、ご利用パソコンのOSログオン時に使用する[ユーザー名]と［パスワード]を確認し、メモしておきます。(確認した［ユーザー名］と［パスワード］を、後で設定画面に登録します。)

ユーザーを登録する

1	本製品の設定画面を開き、[新規ユーザー]をクリックします。

2	はじめにメモした[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワード(確認)]を入力し、[設定する]ボタンをクリックします。

ユーザー名	メモしたユーザー名を入力します。
パスワード	メモしたパスワードを入力します。
パスワード（確認）	確認のため再度パスワードを入力します。

ご注意

●ユーザーは本製品に100人まで登録することができます。

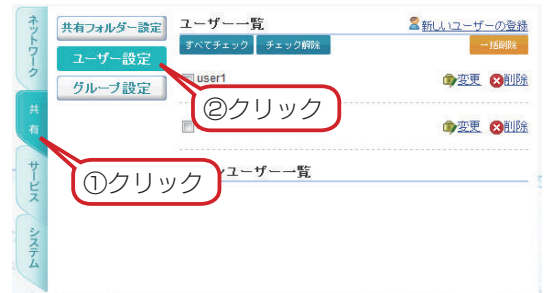
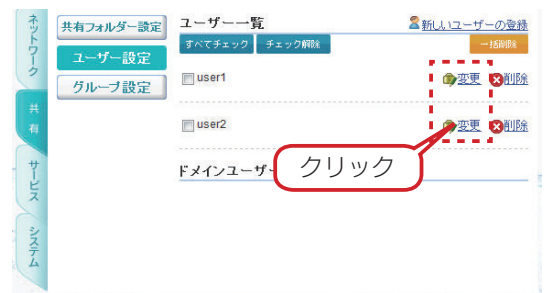
●[ユーザー名][パスワード]を設定できる文字には、以下の制限があります。

【文字制限一覧】(22-141 ページ)

3	ユーザー追加結果の画面が表示されます。 ユーザーが追加されていることをご確認ください。

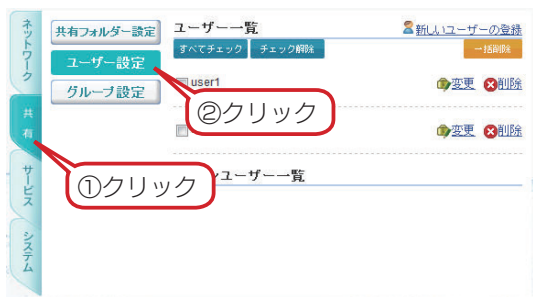
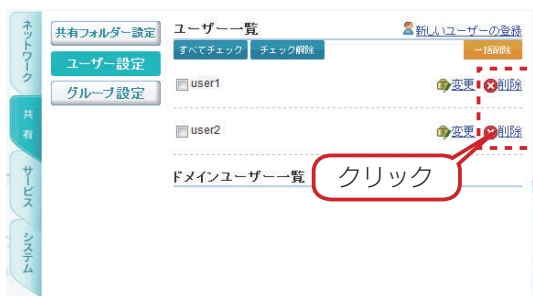
これで、ユーザーが本製品に登録されました。

ユーザーを変更する

1	本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、［ユーザー設定］ボタンをクリックします。

2	変更するユーザーの[変更]ボタンをクリックします。

3	設定を変更し、[設定する]ボタンをクリックします。

これで、ユーザーの設定が変更されました。

ユーザーを削除する

1	本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、［ユーザー設定］ボタンをクリックします。

2	変更するユーザーの [削除] ボタンをクリックします。

3	削除するユーザーを確認後、［OK］ボタンをクリックします。

結果画面が表示されたら、ユーザーの削除は完了です。

ご注意

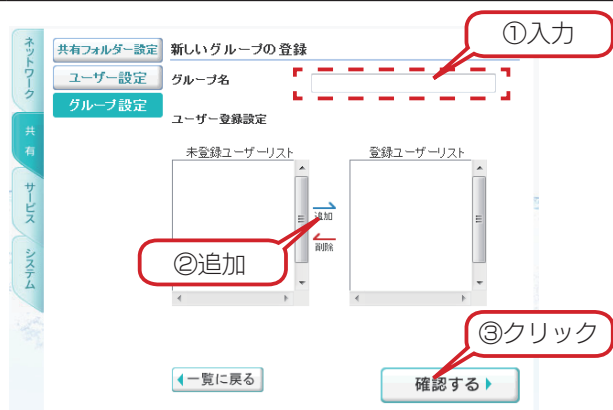
●共有フォルダーのアクセス許可に設定されているユーザーは、削除ができません。

グループを登録・変更・削除する

複数のユーザーに対して同一のアクセス権設定を行う場合は、あらかじめグループを作成し、グループに対するアクセス権を設定することで、グループに属するすべてのユーザーに同一の権限を設定することができます。

グループを登録する

1	本製品の設定画面を開き、[新規グループ] をクリックします。

2	[グループ名] を入力後、[ユーザー登録設定] でグループに追加するユーザーを追加し、[確認する] ボタンをクリックします。

グループ名	作成するグループ名を入力します。
ユーザー登録設定	作成するグループに所属するユーザーの登録を行います。

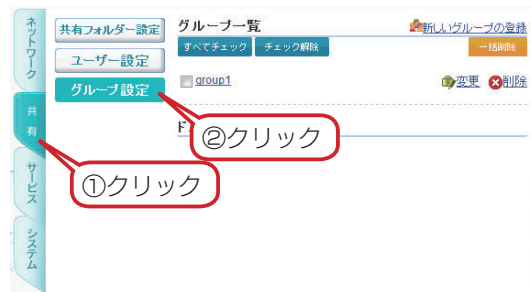
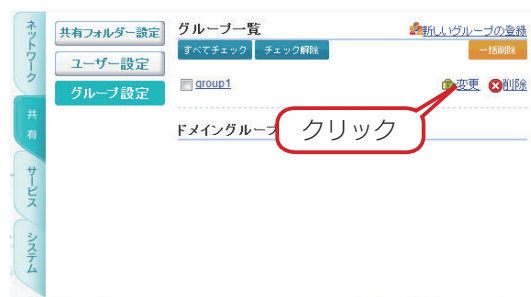
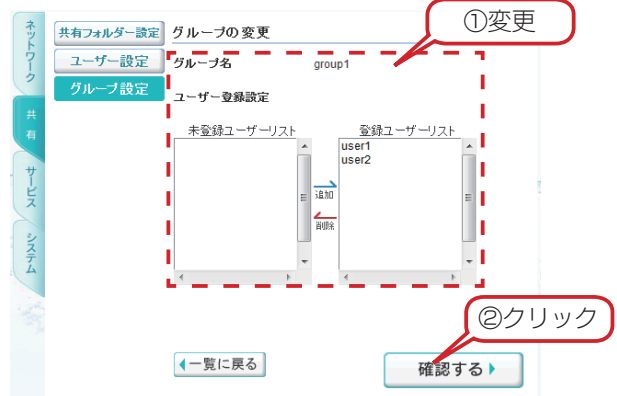
ご注意

- ●グループは本製品に 100 組まで登録することができます。
- ● 1 グループに登録可能なユーザー数は 100 までとなります。
- ●グループ名で使用できる文字には、制限があります。
  以下をご覧ください。
  【文字制限一覧】(22-141 ページ)

3	グループ追加結果の画面が表示されます。 グループが追加されていることをご確認ください。

これで、グループが本製品に登録されました。

グループを変更する

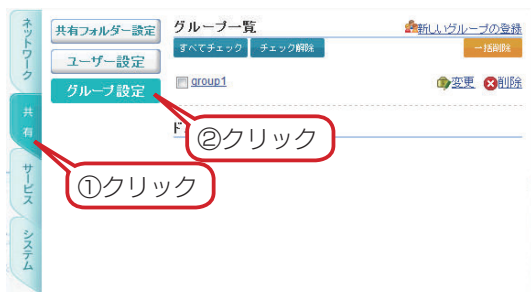
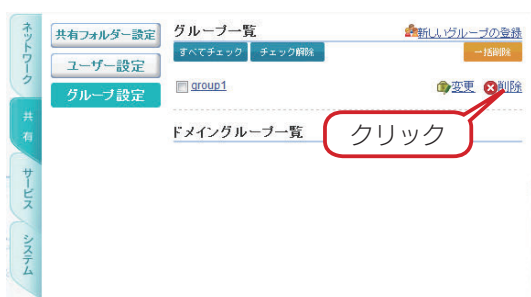
1	本製品の設定画面を開き、[共有] タブをクリックし、[グループ設定] ボタンをクリックします。

2	変更するグループの [変更] ボタンをクリックします。

3	設定を変更し、[確認する] ボタンをクリックします。

4	設定内容を確認し、[設定する] ボタンをクリックします。

これで、グループの設定が変更されました。

グループを削除する

ご注意

●共有フォルダーのアクセス許可に設定されているグループは、削除ができません。

1 本製品の設定画面を開き、[共有] タブをクリックし、[グループ設定] ボタンをクリックします。

2 削除するグループの [削除] ボタンをクリックします。

3 削除するグループを確認後、[OK] ボタンをクリックします。

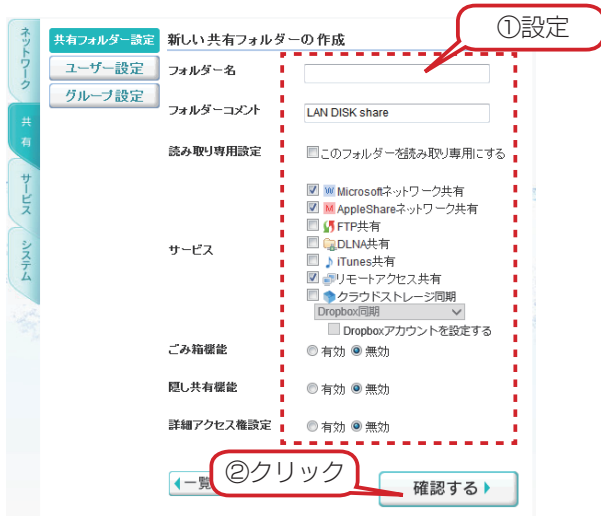
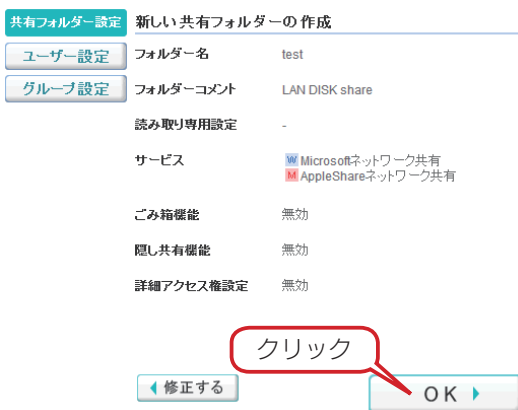
これで、グループが削除されました。

共有フォルダーを作成・変更・削除する

特定のユーザーのみがアクセスできる共有フォルダーを作成します。あらかじめユーザーを登録しておく必要があります。

共有フォルダーを作成する

1 本製品の設定画面を開き、[新規共有] をクリックします。

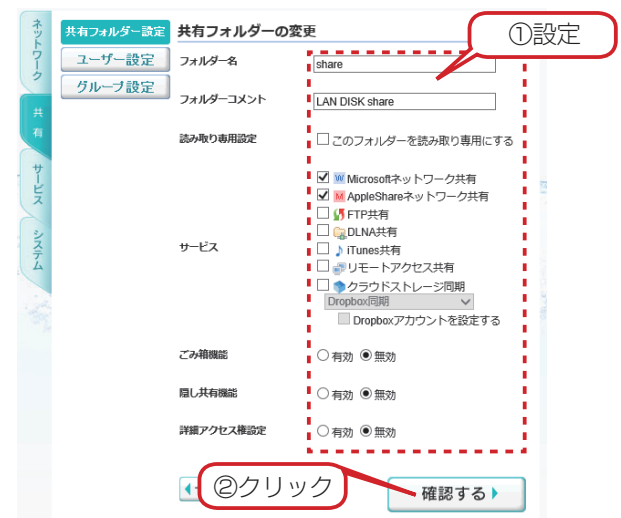
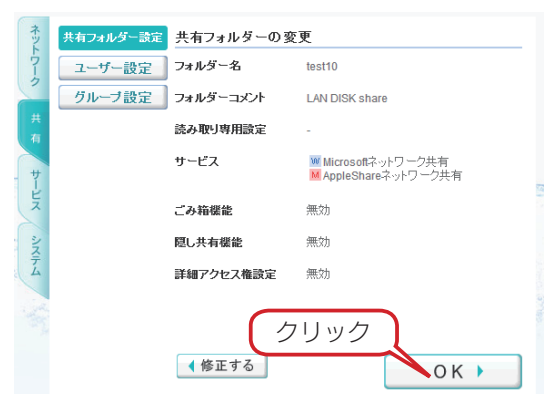
2 作成する共有フォルダーを設定し、[確認する] ボタンをクリックします。
各項目の設定内容については、【共有フォルダー設定】(23-151 ページ) をご覧ください。

3 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、共有フォルダーが作成されました。

共有フォルダーを変更する

ご注意

●本製品出荷時にあらかじめ作成されている共有フォルダー [usb1]、[usb2] のフォルダー名は変更できません。

1 本製品の設定画面を開き、[共有] タブをクリックして、設定を変更する共有フォルダーの [変更] をクリックします。

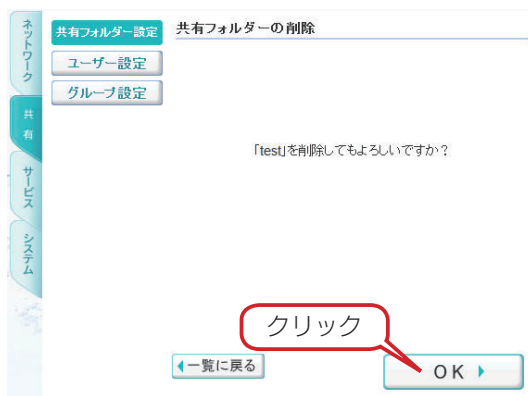
2 設定を変更し、[確認する] ボタンをクリックします。
各項目の設定内容については、【共有フォルダー設定】(23-151 ページ) をご覧ください。

3 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、共有フォルダーの設定が変更されました。

共有フォルダーを削除する

ご注意

- 本製品出荷時にあらかじめ作成されている共有フォルダー[usb1]、[usb2] は削除できません。
- 共有フォルダーを削除すると、共有フォルダー内のデータも同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。
- 削除しようとしている共有フォルダー内のファイルを編集などに使用している場合、削除後、保存先が見つからないなどのエラーとなります。削除前に、削除する共有フォルダーにアクセスしているユーザーがいないかご確認ください。
- 削除するフォルダーが以下で設定されている場合には、あらかじめ設定を変更する必要があります。変更後、共有フォルダーを削除してください。

1 本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックして、削除する共有フォルダーの［削除］をクリックします。

2 削除する共有フォルダーを確認後、［OK］ボタンをクリックします。

これで、共有フォルダーを削除しました。

管理者が共有フォルダーへアクセスする

ネットワークにログオンする際に、ユーザー名（admin）、本製品の管理者パスワード（出荷時は未設定）のユーザーでログオンすれば、すべての共有フォルダーにアクセスできます。(Microsoft ネットワーク共有サービスのみ)
※管理者は、管理者以外の他のユーザー専用・グループ専用として作成した共有フォルダーにもアクセスできます。

ご注意

●管理者以外の場合も、本製品の管理者パスワードが分かれば、すべての共有フォルダーにアクセスできることになりますので、必ず、管理者パスワードを変更してください。【管理者パスワードを変更する】（19-125 ページ）
●このアクセスを行う場合は本製品をワークグループモードでご利用ください。ドメインモードではすべてのユーザーにアクセスを許可した共有フォルダー以外は、アクセスできません。

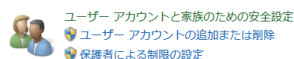
1	設定画面を開く際のパスワードを設定します。 以下をご覧ください。 【管理者パスワードを変更する】（19-125 ページ） ※すでに設定済みの場合は設定の必要はありません。

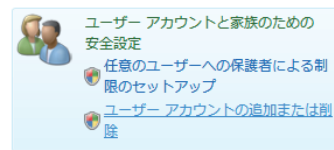
2	以下の［ユーザー名］［パスワード］のログオンユーザーを作成します。 ユーザー名　：　admin パスワード　：　手順 1 で設定したパスワード

Windows 10/8

①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。表示されたメニューの［コントロールパネル］をクリックします。
②［ユーザーアカウント（とファミリー セーフティ）］→［ユーザーアカウント］で、上記ユーザーアカウントを作成します。

Windows 7

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウントと家族のための安全設定］→［ユーザーアカウントの追加または削除］で上記ユーザーアカウントを作成します。

Windows Vista

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウントと家族のための安全設定］→［ユーザーアカウントの追加または削除］で上記ユーザーアカウントを作成します。

Windows XP

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］で上記ユーザーアカウントを作成します。

外出先から本製品にアクセスする (Remote Link 2)

Remote Link 2 の設定をする

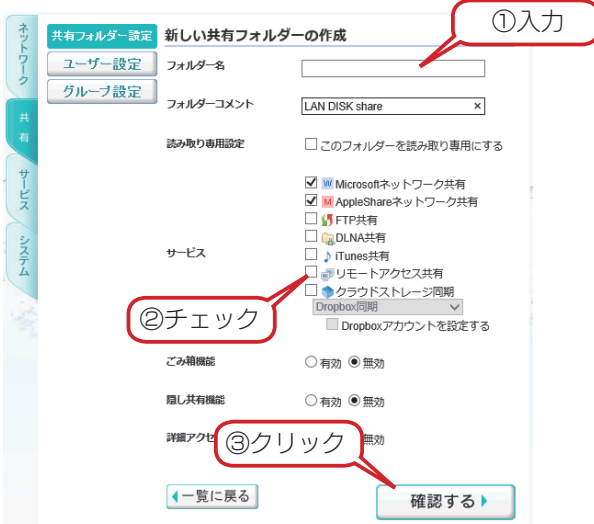
ステップ 1　公開するフォルダーを設定する

ご注意

●あらかじめ本製品にユーザー登録をしておく必要があります。
Remote Link 2 を使って本製品にアクセスする際に「ユーザー名」と「パスワード」が必要になります。（パスワード無しではアクセスできません。パスワードも設定してください。）
ユーザー登録は、【ユーザーを登録する】（4-56 ページ）をご覧ください。

※以下は新規に公開するフォルダーを作成する場合の例です。

1 本製品の設定画面を開き、[新規共有] をクリックします。

2 公開フォルダーを設定します。
①[フォルダー名] を入力します。
②サービスの [リモートアクセス共有] をチェックします。
③[確認する] ボタンをクリックします。

公開するフォルダーへアクセス制限を設ける場合

●[詳細アクセス権設定] を [有効] にします。
[詳細アクセス権設定] については、【共有フォルダーのアクセス権】（4-51 ページ）をご覧ください。

3 確認画面で入力内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、共有フォルダーが作成されました。

ステップ2　Remote Link 2 を設定する

ご注意

●本製品と接続するルーターの UPnP が有効に設定されている必要があります。

1 本製品の設定画面を開き、[サービス] タブをクリックして、[Remote Link2 設定] をクリックします。

2 ①各設定項目について設定します。
設定項目については、次ページをご確認ください。
②[確認する] ボタンをクリックします。

iobb.net へ登録・更新	［有効］を選択します。
ポート番号（1,2）	通常は変更の必要はありません。 ※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。 ※ Remote Link 2 ではポートを 2 つ使用します。
接続名	任意の名前を入力します。 設定した名前がダイナミック DNS サービスの接続名になります。
パスワード パスワード（確認）	パスワードを設定します。 確認のため2ヵ所に入力してください。
UPnP 機能	［使う］を選択します。
外部ポート設定	通常は、［ しない ］を選択します。
	する：本製品が公開するポートは［ポート番号 1］［ポート番号 2］、ルーターが外部に公開するポートは［外部ポート番号 1］［外部ポート番号 2］と設定されます。
	しない：本製品が公開するポートとルーターが外部に公開するポートは共に［ポート番号 1］［ポート番号 2］を使用します。

ソフトバンクのスマートフォンをお使いの場合

ソフトバンクの Android スマートフォンで 3G 網をお使いの場合、設定が異なります。

iobb.net へ登録・更新	［有効］を選択します。
ポート番号（1,2）	通常は変更の必要はありません。 ※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。 ※ Remote Link 2 ではポートを 2 つ使用します。
接続名	任意の名前を入力します。 設定した名前がダイナミック DNS サービスの接続名になります。
パスワード パスワード（確認）	パスワードを設定します。 確認のため2ヵ所に入力してください。
UPnP 機能	［使う］を選択します。
外部ポート設定	ソフトバンクの Android スマートフォンで 3G 網をお使いの場合、［ する ］に設定します。その際［外部ポート番号 1］は 80、［外部ポート番号 2］は 443 に設定する必要があります。

ソフトバンクのスマートフォンをお使いの場合（つづき）

外部ポート 1	通常、初期設定値から変更する必要はありません。 ※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。
外部ポート 2	通常、初期設定値から変更する必要はありません。 ※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。

3 確認画面で入力内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで Remote Link 2 の設定は完了です。

ご注意

● Remote Link 2 にアクセスできない場合は、【Remote Link 2 にアクセスができない】（24-203 ページ）をご覧ください。

スマートフォンで外出先から本製品にアクセスする

※本製品と同じ LAN 内からアクセスする方法も、同手順となります。

ご注意

●スマートフォンからアップロードすることはできません。
●スマートフォンにダウンロードすることはできません。
●再生可能なコンテンツは、機種により異なります。あらかじめお使いのスマートフォンで再生可能なファイル形式に変換しておく必要があります。
●再生可能なファイル形式でも、通信環境によって再生できなかったり、コマ落ちが発生する場合があります。
● iTunes Store で購入された音楽ファイルなど、著作権保護（DRM）されたコンテンツは再生できません。
●スマートフォンに対応していないフォントがファイル名に含まれていた場合、文字化けすることがあります。
● SSL 暗号化を使用するに設定した場合、フォルダー内のファイルによっては再生できない場合があります。
●以下は iPhone の画面ですが、操作方法については他のスマートフォンについても同じです。

アクセスする

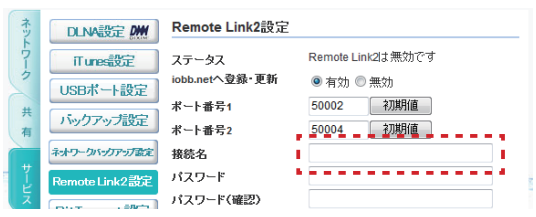
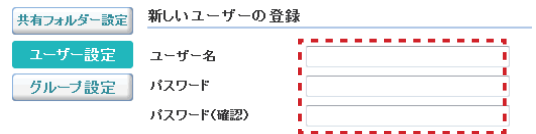
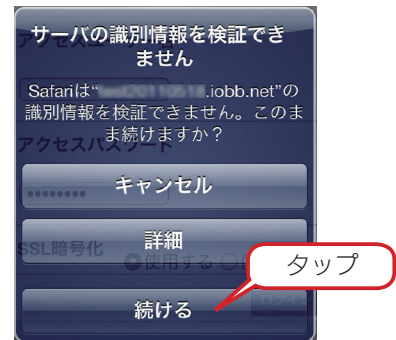
1	Web ブラウザーを起動し、 http://rm2.iobb.net/ にアクセスします。

2	Remote Link2 にアクセスします。 ①【ステップ2の2】で設定した [接続名] を入力します。 ② [接続する] ボタンをタップします。 → login 画面が表示されます。

接続先	本製品の設定画面の [Remote Link 2] で設定した [接続名] を入力します。

3	本製品にアクセスします。 ① LAN DISK のユーザー登録で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。 ② [ログイン] ボタンをタップします。

ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の [ユーザー作成] で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

ご注意

● [SSL 暗号化] を [使用する] にした場合は、下の画面が表示されますので、[続ける] をタップします。
※ Web ブラウザーや機種により表示は異なります。

● Active Directory ユーザー、NT ドメインユーザーでログインする場合、ユーザー名は以下の形式で入力してください。
［ドメイン名］＠［ドメインユーザー名］
（例） DOMAIN@user01
●お使いのスマートフォン搭載 OS で表示されない文字を使用したファイル名は表示できません。
●公開するフォルダーへ詳細アクセス権設定した場合、ログイン時のユーザーに対するアクセス権を設定した共有フォルダーのみ表示されます。

4	【ステップ1】で公開設定をした共有フォルダーをタップします。

これで、本製品にアクセスできました。

Remote Link 2 にアクセスができない場合

お使いのルーターが、UPnP 対応かを以下のサイトでご確認ください。

▼ UPnP 対応ルーター
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm#list4

上記サイトに記載が無い場合は、以下の手順で改善する場合があります。

① LAN DISK の IP アドレスを固定にします。(【設定する】(2-9 ページ)参照)

② Remote Link 2の設定で、UPnP 機能を [使わない] に設定します。
(【Remote Link 2 の設定をする】(5-63 ページ)参照)

③ご利用のルーターの設定で、LAN DISK の IP アドレスの
ポート番号 1(初期値 50002)、
ポート番号 2(初期値 50004)を開放します。
※方法は、ルーターの取扱説明書等でご確認ください。

ファイル名を変更する

1 [ファイル選択] ボタンをタップします。

2 変更するファイルの先頭のチェックボックスにチェックをつけ、[リネーム] ボタンをタップします。

3 ファイル名を入力し、[OK] をタップします。

これで、ファイル名が変更されました。

メールを送信する

Remote Link 2 で公開設定している共有フォルダーに保存されているデータを、スマートフォンからメールで送信することができます。

※あらかじめ、本製品のメール設定をする必要があります。
設定方法は、【メールを送信する】(19-128 ページ)の手順 3 以降をご覧ください。

・制限一覧

添付ファイル最大サイズ	メールサーバーによる
添付ファイル最大個数	100 個
メール本文最大文字数	1024 バイト
宛先履歴保持数	10 件
宛先同時指定数	10 件

1 [ファイル選択] ボタンをタップします。

2 メールで送信するファイルの先頭のチェックボックスにチェックをつけ、[メール] ボタンをタップします。

3 [アドレス] をタップし、送信先のメールアドレスを入力して、[完了] ボタンをタップします。

4 メッセージを入力後、[確認] ボタンタップします。

5 内容を確認し、[送信] ボタンをタップします。

これで、メール送信されました。

パソコンで外出先から本製品にアクセスする

※本製品と同じ LAN 内からアクセスする方法も、同手順となります。

アクセスする

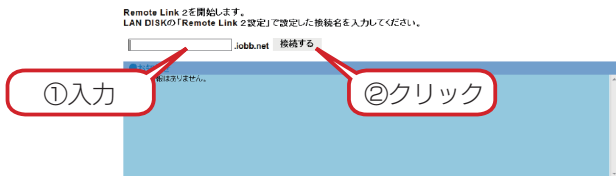
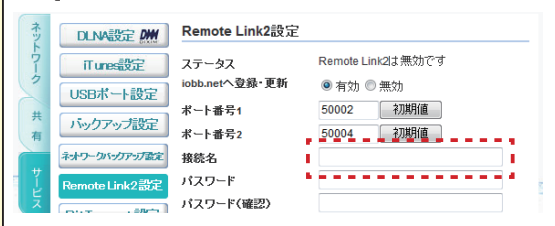
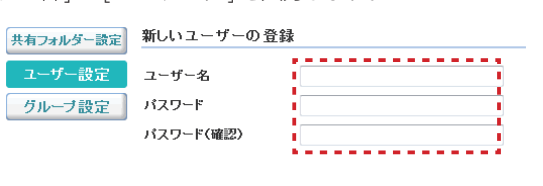
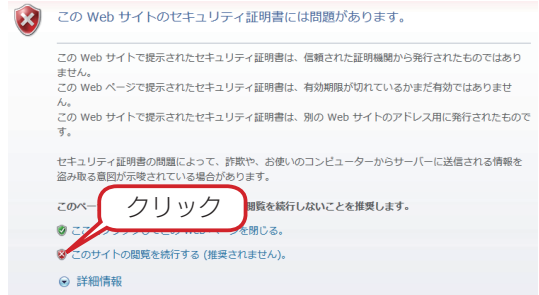
1 Web ブラウザーを起動し、http://rm2.iobb.net/ にアクセスします。

2 Remote Link2 にアクセスします。
①【ステップ2の2】で設定した [接続名] を入力します。
② [接続する] ボタンをタップします。
→ login 画面が表示されます。

接続先	本製品の設定画面の [Remote Link 2] で設定した [接続名] を入力します。

3 本製品にアクセスします。
① LAN DISK のユーザー登録で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
② [ログイン] ボタンをタップします。

ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の [ユーザー作成] で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

ご注意

● [SSL 暗号化] を [使用する] にした場合は、下の画面が表示されますので、[このサイトの閲覧を実行する] をクリックします。
※ Web ブラウザーにより表示は異なります。

● Active Directory ユーザー、NT ドメインユーザーでログインする場合、ユーザー名は以下の形式で入力してください。
[ドメイン名]@[ドメインユーザー名]

●公開するフォルダーへ詳細アクセス権設定した場合、ログイン時のユーザーに対するアクセス権を設定した共有フォルダーのみ表示されます。

4 【ステップ 1】で公開設定をした共有フォルダーをクリックします。

これで、本製品にアクセスできました。

Remote Link 2 にアクセスができない場合

お使いのルーターが、UPnP 対応かを以下のサイトでご確認ください。

▼ UPnP 対応ルーター
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm#list4

上記サイトに記載が無い場合は、以下の手順で改善する場合があります。

① LAN DISK の IP アドレスを固定にします。(【設定する】(2-9 ページ) 参照)
② Remote Link 2の設定で、UPnP 機能を [使わない] に設定します。
(【Remote Link 2 の設定をする】(5-63 ページ) 参照)
③ご利用のルーターの設定で、LAN DISK の IP アドレスのポート番号 1(初期値 50002)、ポート番号 2(初期値 50004)を開放します。
※方法は、ルーターの取扱説明書等でご確認ください。

ファイルをアップロードする

外出先のパソコンから本製品にファイルを転送します。

ご注意

●ファイル名が同じ場合は、上書き保存されますので、ご確認の上アップロードしてください。
●アップロード可能な 1 ファイルのサイズは、以下までがサポート範囲となります。
Windows の場合　約 2G バイト（2,097,152,000 バイト）
Mac OS の場合　1G バイト

1 ファイルをアップロードする場所（共有フォルダー）を指定します。

2 [アップロード] ボタンをクリックします。

3 アップロードするファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
※複数ファイルのアップロードは、100 ファイルまで選択できます。
→アップロードを開始します。

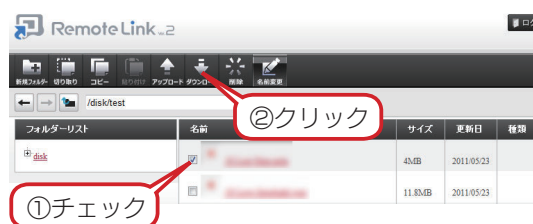
これで、ファイルがアップロードされました。

ファイルをダウンロードする

公開フォルダー内のファイルを外出先のパソコンに保存します。

ご注意

●ダウンロードするファイルは zip 形式に圧縮されてダウンロードされます。
● Internet Explorer バージョン 7.0 の場合、Web ブラウザーの仕様により 4G バイト以上のダウンロードは行えません。
●ダウンロード可能容量は、圧縮後のファイルサイズとなります。
●ダウンロード後は、UTF-8 に対応した解凍ソフトで展開してください。

1 ダウンロードするファイルにチェックし、[ダウンロード] ボタンをクリックします。

2 保存先を指定し、[保存] ボタンをクリックします。

これで、ファイルがダウンロードされました。

操作ボタン（パソコンから本製品にアクセス時）

<table>
<tr><td>新規フォルダー</td><td>共有フォルダーを作成します</td></tr>
<tr><td>切り取り</td><td>選択したファイルを切り取ります。（複数のファイルを選択できます。）</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td>選択したファイルをコピーします。（複数のファイルを選択できます。）</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td><td>切り取り、またはコピーされたファイルを貼り付けます。</td></tr>
<tr><td>アップロード</td><td>ファイルのアップロードを行います。
アップロード可能なファイルサイズは、以下までがサポート範囲となります。
<table>
<tr><td>Windows</td><td>約 2G バイト（2,097,152,000 バイト）</td></tr>
<tr><td>Mac OS</td><td>1G バイト</td></tr>
</table>
※Remote Link 2 にアクセスするWeb ブラウザーによっては､複数ファイルを同時にアップロードすることができます。
・Remote Link 2 のログイン画面で、SSL 暗号化を「使用しない」を選択した場合
<table>
<tr><td>Internet Explorer 7 以降</td><td>複数のファイルを選択できます。</td></tr>
<tr><td>Safari 3.0 以降</td><td>複数のファイルを選択できます。</td></tr>
</table>
・Remote Link 2 のログイン画面で、SSL 暗号化を「使用する」を選択した場合
<table>
<tr><td>Internet Explorer 7 以降</td><td>複数のファイルを選択できます。</td></tr>
<tr><td>Safari 3.0 以降</td><td>複数のファイルを選択できません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>選択したファイルのダウンロードを行います。（複数のファイルを選択できます。）</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>選択したファイルの削除を行います。（複数のファイルを選択できます。）</td></tr>
<tr><td>名前変更</td><td>選択したファイルの名前変更を行います。</td></tr>
</table>

アイコン（パソコン、スマートフォン共通）

	フォルダ	
	ワード	doc、docx
	エクセル	xls、xlsx
	パワーポイント	ppt、pptx
	PDF	pdf
	画像	gif、png、jpeg、jpg、bmp、tif、tiff
	動画	mpg、mpeg、avi、asf、wmv、flv、m4v、mov、mp4、3gp、3g2
	音楽	m4a、mp3、wav、aif、aiff
	その他ファイル	txt、rtf、key、pages、numbersなど

※再生可能ファイルについては、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

ハードディスクを増設する

増設できるハードディスク

USB ポートに増設できるハードディスクについて

動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

ご注意

- ●バスパワーモードのハードディスクは接続できません。
  ハードディスクを接続する場合は、セルフパワーモードでご利用ください。
- ● USB ハブは接続できません。
- ●省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。（省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。）
- ● iSPIS 対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS 機能は使用できません。
- ● USB ポートにパソコンを接続して使用することはできません。

増設ハードディスクのフォーマット形式と使い方

増設ハードディスクで使用可能なフォーマット形式と読み書き制限については以下をご覧ください。

対応フォーマット形式	FAT※1	NTFS※2	専用
本製品に接続して使用	読み書き可	読み込みのみ可	読み書き可
本製品のバックアップ機能で使用	読み書き可	読み込みのみ可	読み書き可
パソコンに接続して使用※3	読み書き可	読み書き可	読み込みのみ可※4
本製品でのフォーマット時間（2TB USB HDD での目安）	約 3 分	（フォーマット不可）	約 30 分

※ 1 FAT 形式のフォーマットでは、2T バイト以上の容量を使用することはできません。
本製品で 2T バイトより大きい容量のハードディスクを FAT 形式フォーマットする場合は、2T バイトのパーティションを作成してフォーマットされます。
FAT32 フォーマットでご使用いただける 1 ファイルの最大サイズは 4G バイトまでです。4G バイトを越えるファイルを保存する場合は、専用形式でフォーマットする必要があります。

※ 2 NTFS 形式のフォーマットでは、2T バイト以上の容量を使用することはできません。
本製品で NTFS 形式のフォーマットをすることはできません。ご利用のパソコンでフォーマットしてお使いください。

※ 3 2T バイトより大きい容量のハードディスクは、Windows 10、Windows 8、Windows 7、Windows Vista でのみご利用になれます。

※ 4 添付の「LAN DISK Backup Reader」を使用する必要があります。「LAN DISK Backup Reader」については、【データを読み出す（LAN DISK Backup Reader)】（7-92 ページ）をご覧ください。

増設ハードディスクの接続と取り外しに関する注意

接続時の注意

・本製品の USB ポートには、対応の機器以外の機器は接続しないでください。
（USB ハブも接続できません。最新の対応 USB 機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。）
本製品の USB ポートに増設できる USB 機器については、【USB ポートに増設できるハードディスクについて】（6-71 ページ）もご覧ください。
・USB ポートの出荷時の動作モードは、USB ポート 1、USB ポート 2 で異なります。
USB ポート 1　→　共有モード
USB ポート 2　→　デジカメコピー
・FAT/NTFS/ 専用以外の増設ハードディスク（未フォーマットや、Mac OS でフォーマットしたハードディスクなど）を本製品に接続すると、STATUS ランプが赤く点滅し、ブザーが「ピー（3 回）」と鳴ります。本製品対応フォーマットにフォーマットしてください。ただし、増設ハードディスク内のデータはすべて消去されます。あらかじめバックアップをとってから、フォーマットをしてください。
フォーマット方法は、【フォーマット方法】（6-74 ページ）をご覧ください。
・ファイルコピー中に、USB ポートへ USB 機器を接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。

取り外し時の注意

・ファイルコピー中に、USB ポートへ USB 機器を接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。
・USB ポートに接続した USB 機器の取り外し時は、必ず［USB 取り外し］操作を行ってください。
【増設ハードディスクを取り外す】（6-75 ページ）をご覧ください。

USB ポートの動作モードを変更する

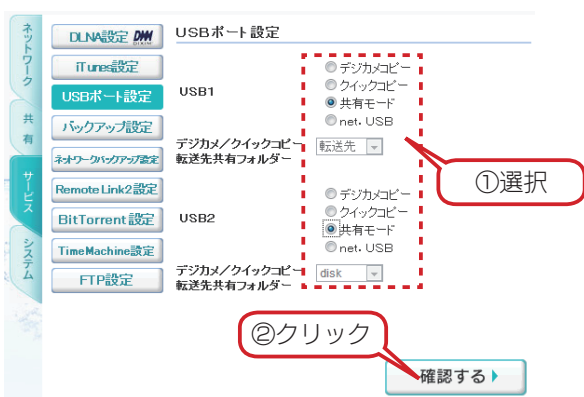
ここでは、USB ポートの設定を変更する方法を説明しています。
USB ポートの出荷時の動作モードは、USB ポート 1、USB ポート 2 でそれぞれ異なった動作モードに設定されています。
USB ポート 1　→　共有モード
USB ポート 2　→　デジカメコピー

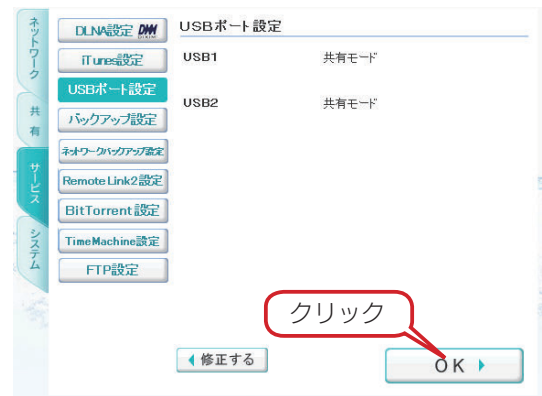
ご注意

● USB ポート 2 へハードディスクを増設する場合は、あらかじめ、USB ポートの動作モードを [共有モード] に設定する必要があります。
● USB ポート 1 、USB ポート 2 の動作モードを、同一モードに設定できないモードがあります。
(同一モードに設定できないモード)
・デジカメコピー
・クイックコピー

※以下の手順は、USB ポート 2 を共有モードに変更する例です。

1 設定画面の [サービス] タブ→ [USB ポート設定] ボタンをクリックします。

2 USB1、2 の動作モードを選択し、[確認する] ボタンをクリックします。

デジカメコピー	デジカメコピー使用時に選択します。
クイックコピー	クイックコピー使用時に選択します。
共有モード	USB 接続 HDD を使用時に選択します。
net.USB	net.USB 使用時に選択します。

3 設定した内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで動作モードを変更が変更されました。
ハードディスクを接続する場合は、次ページをご覧ください。

ハードディスクを増設する

ご注意

●本製品の USB ポートに増設できるハードディスクは、FAT/NTFS/ 専用形式のハードディスクのみです。

1 本製品の電源が入っていることを確認します。
※まだ本製品の USB ポートに増設用ハードディスクを接続しないでください。

2 増設ハードディスクの電源を ON にします。
増設ハードディスクの電源の入れ方については、増設ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

電源連動機能ハードディスクの場合は、電源ボタン（スイッチ）を［AUTO］または［ON］にします。本製品に接続するまで増設ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。
※電源連動機能については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

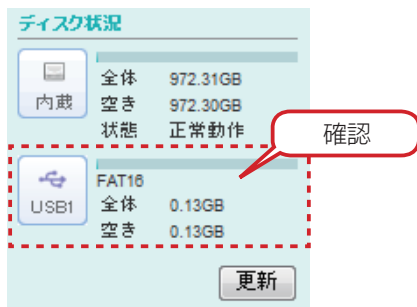
ご注意

●増設ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。

3 本製品の USB ポートに増設用ハードディスクを接続します。

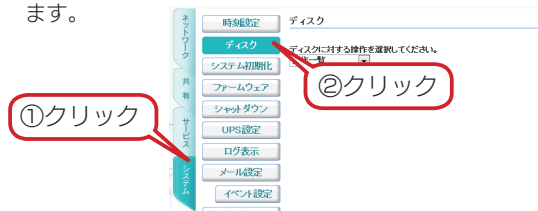
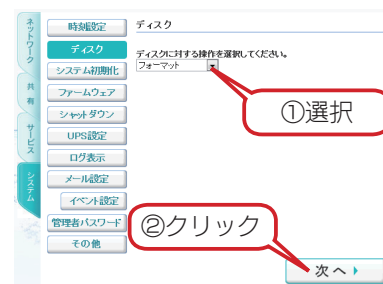
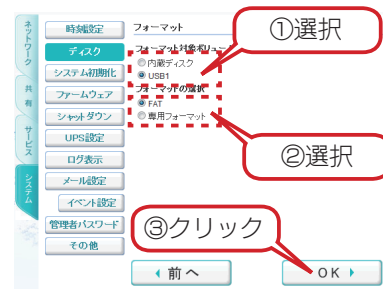
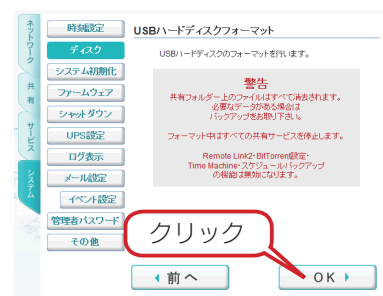
ご注意

●本製品の STATUS ランプが点滅中は、増設ハードディスクを接続しないでください。本製品の電源が入っている状態で接続できますが、STATUS ランプが点滅中（設定画面操作中や本製品にアクセス中）に増設ハードディスクを接続しないでください。
●ブザーが「ピー（3 回）」と鳴り、STATUS ランプが赤点滅した場合は、接続したハードディスクが FAT/NTFS / 専用形式ではありません。右の方法で設定画面にてフォーマットしてください。

4 正しく増設ハードディスクが接続されている場合、本製品の詳細設定画面左側 [ディスク状況] に USB ポートが表示されます。

これで接続は完了です。

フォーマット方法

フォーマットするとデータがすべて削除されます。必要なデータは事前にバックアップしてください。
フォーマット中は、全ての共有サービスを停止します。

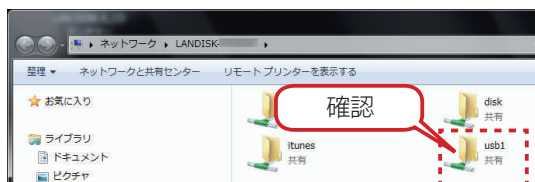
1．設定画面の [システム] タブ→ [ディスク] ボタンをクリックします。

2．［フォーマット] を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

3．[USB1]（または [USB2]）を選択し、フォーマットの選択で [FAT] または [専用フォーマット] を選択後、[OK] ボタンをクリックします。（NTFS でフォーマットする場合は、Windows パソコンに直接つないでフォーマットしてください。）

4．[OK] ボタンをクリックします。

フォーマットの目安時間は、6-71 ページをご覧ください。
フォーマット完了後、「Remote Link 2 設定」「BitTorrent 設定」「バックアップ設定」「ネットワークバックアップ設定」「Time Machine 設定」は、無効になります。
上記機能を使用するには、再度有効にします。

増設ハードディスクにアクセスする

増設したハードディスクにアクセスする手順について説明します。

※以下は、Windows 7での確認例です。

1	ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。

2	USB 接続ハードディスクの場合は、一覧に共有フォルダー［usb1］または［usb2］が表示されます。 これが増設ハードディスクです。 ［usb1］または［usb2］をダブルクリックします。

ネットワーク上での各ハードディスクの表示

ハードディスクの接続先	ネットワーク上での表示
内蔵ディスク	disk、itunes、contents など
USB ポート1	usb1
USB ポート2	usb2

3	ウィンドウが正常に表示されたら、増設ハードディスクのデータを使用できます。

ご注意

●ハードディスクを複数パーティションに分割していた場合は、先頭のパーティションのみしか表示されません。

●増設ハードディスクが読み取り専用の場合は Mac OS から共有にアクセスすることはできません。

● Mac OS でお使いになる場合、本製品では、AFP over TCP/IP による接続のみをサポート対象とします。

増設ハードディスクを取り外す

共有モードの USB ポートへ接続された増設ハードディスクを取り外す場合は、

本製品の設定画面で［USB の取り外し］操作を行う必要があります。取り外し時は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。

取り外し後、バックアップ用として保管したり、パソコンの USB ポートに接続してそのまま使用することができます。

下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

※専用フォーマットされたハードディスクにファイルを保存した場合、パソコンへそのまま接続しても使用することができません。「LAN DISK Backup Reader」をインストールすることで、専用フォーマットされたハードディスクからの読み出しが可能になります。「LAN DISK Backup Reader」については、【データを読み出す（LAN DISK Backup Reader)】（7-92 ページ）をご覧ください。

ご注意

●本製品動作中に以下の手順を行わずに、USB ケーブルを取り外すと、データの破損や本製品や増設ハードディスクの故障の原因になります。何らかの理由で、増設ハードディスクにアクセスが行われている最中に、USB ケーブルを取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や増設ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。

●本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

1	本製品の設定画面の [USB 取り外し] の上でマウスをあてると [USB1 取り外し]、[USB2 取り外し] が表示されますので、取り外したいほうをクリックします。

2	結果の画面が表示されます。 取り外し手順を行った増設ハードディスクの USB ケーブルを本製品から取り外します。

ご注意

●本製品の電源が入っている状態で本製品から取り外すことができます。

3	増設ハードディスクの電源を切ります。 電源連動機能ハードディスクの場合は、USB ケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。 ※増設ハードディスクの電源の切り方については、増設ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。 ※電源連動機能については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

以上で作業は完了です。

バックアップする

データのバックアップについて

万一に備えて、データは定期的にバックアップすることをおすすめします。本製品では、以下のバックアップを行うことができます。
バックアップ中は、ファイル共有などが遅くなる場合があります。

バックアップ	USB 接続の外付ハードディスクを背面の USB ポートにつないでバックアップをとることが可能です。 バックアップは、FAT と専用フォーマットのみです。
ネットワークバックアップ	指定したネットワーク上の共有フォルダーのデータを、本製品上の指定した共有フォルダーへバックアップすることができます。 登録ユーザーやグループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定等は保存することができません。 バックアップ元には、最大 10 個指定することができます。 ・同一 LAN 内にある Windows の共有フォルダーのデータを、本製品の内蔵ハードディスクや、増設ハードディスクにバックアップできます。 ・同一 LAN 内にある他の LAN DISK の共有フォルダーのデータを、本製品の内蔵ハードディスクや、増設ハードディスクにバックアップできます。
デジカメコピー	デジカメコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続することで、USB ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダー内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみコピーすることができます。デジカメコピー機能は、本製品の USB ポートの動作モードが［デジカメコピー］となっている場合のみ動作します。
クイックコピー	クイックコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続することで、USB ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。 クイックコピー機能は、本製品の USB ポートの動作モードが［クイックコピー］となっている場合のみ動作します。
Sync with	Sync with は、パソコンのフォルダーと本製品上のフォルダーの内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。簡単な操作でパソコンのフォルダーと本製品上のフォルダーの内容を同一に保つことができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。
EasySaver LE	EasySaver は、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップすることができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。
Time Machine 機能	Mac OS X（10.5 以降）で使用可能な Time Machine のバックアップ先として、本製品が利用できるようになります。

「バックアップ」と「ネットワークバックアップ」のご注意

●バックアップ中は、ファイル共有などが遅くなる場合があります。
●「バックアップ」機能と「ネットワークバックアップ」機能を、同時に実行することはできません。
● Windows の共有フォルダーをバックアップするには、事前にパソコン側で共有設定しておく必要があります。手順は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
● Mac OS の共有フォルダーをバックアップすることはできません。
●ネットワークバックアップは、同一 LAN 内の LAN DISK および Windows パソコンの共有データのみバックアップできます。
ルーターを越えた（別セグメントの）パソコンおよび LAN DISK のデータをバックアップすることはできません。
●ネットワークバックアップはネットワーク経由でファイルを転送するため、「バックアップ」よりも大きく時間がかかる場合があります。
●増設ハードディスクへのバックアップする場合は、USB ポートの動作モードが、[共有モード] になっている必要があります。
●増設ハードディスクのフォーマットが FAT の場合は、4G バイト以上のファイルをバックアップすることはできません。
●著作権保護コンテンツは、バックアップできません。

●使用できるデジカメや USB メモリーについて

動作確認済みデジカメや USB メモリーについては、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）の製品情報をご覧ください。

使用できるデジカメや USB メモリーは以下のものです。

・USB マスストレージクラスまたは PTP の転送に対応し、かつ、そのモードに設定されているデジカメ
・FAT または NTFS 形式のデジカメ、または USB メモリー

●デジカメコピー機能、クイックコピー機能利用時の注意事項

・デジカメによっては、PTP 転送時に制限事項のあるものがあります。詳しくはお使いのデジカメの取扱説明書をご参照ください。
　また、なかには PTP ではなく、MTP と表記されているデジカメもあります。
・PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。
・マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種は、マスストレージモードでご使用ください。
・利用時には正しくコピーできていることをご確認ください。
・PTP 転送時、デジカメの節電モードが ON の場合、容量が大きいファイルがコピーできないことがあるため、節電モードを OFF にしてください。

●本製品でご利用になる場合の注意

本製品でご利用になる場合は、以下にご注意ください。

・デジカメや USB メモリーは本製品の USB ポートでのみご利用になれます。
・転送先のディスクに空き容量が十分あることをご確認ください。
・バックアップ先が FAT32 形式の場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルはバックアップできません。

本製品のバックアップ機能を利用する

バックアップ方法は、以下の２通りあります。

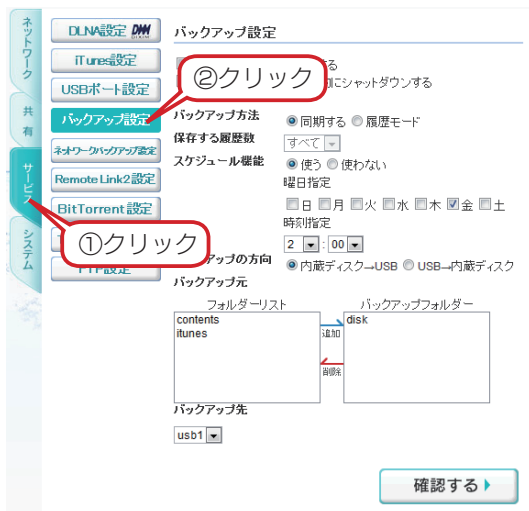
同期する	バックアップ元とバックアップ先が同じになるように反映されます。消去したファイルは消去されます。
履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。

バックアップ元	バックアップ先
内蔵ハードディスク上の指定した共有のファイル	本製品背面の USB ポートに接続した増設ハードディスク
本製品背面の USB ポートに接続した増設ハードディスク	内蔵ハードディスク上の指定した共有

ご注意

- ●あらかじめ、接続する USB ポートのモードを [共有モード] に設定しておく必要があります。USB ポート 1 は、出荷時設定で [共有モード] になっています。
USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください
- ●「バックアップ」機能と「ネットワークバックアップ」機能（【ネットワークバックアップ】（7-81 ページ））を同時に実行することはできません。

今すぐバックアップする

1	本製品の設定画面の [サービス] タブ→ [バックアップ設定] ボタンをクリックします。

2	[バックアップを今すぐ実行する] にチェックをつけ、バックアップ方法を選択して、バックアップ元となる共有の指定とバックアップ先の共有を指定し、[確認する] ボタンをクリックします。 ※「バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする」にチェックをつけておくと、バックアップ完了後シャットダウン処理を行います。

バックアップ方法	同期する	バックアップ元とバックアップ先が同じになるように反映されます。消去したファイルは消去されます。
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。

3	[OK] ボタンをクリックします。 →バックアップを開始します。本製品のブザーが「ピッ」と鳴り、STATUS ランプが緑点滅します。

4	バックアップ完了画面が表示されます。 バックアップが完了するとブザーが「ピッ（3 回）」と鳴ります。

以上でバックアップは完了です。

実際にバックアップしたデータは、【バックアップしたデータを確認する】（7-80 ページ）にてご覧ください。

ご注意

- ●バックアップ中に、ブザーが「ピー（3 回）」となり、STATUS ランプが赤点灯している場合、バックアップに失敗しています。【バックアップ中に、ブザーが「ピー（3 回）」となり、[STATUS] ランプが赤点灯している】（24-195 ページ）をご覧ください。

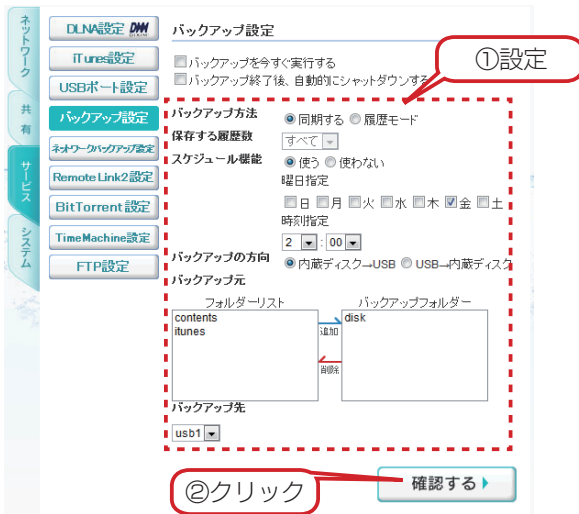
バックアップをスケジュール設定する

以下の例は、スケジュールの設定のみを行う例です。（今すぐバックアップは行いません。）

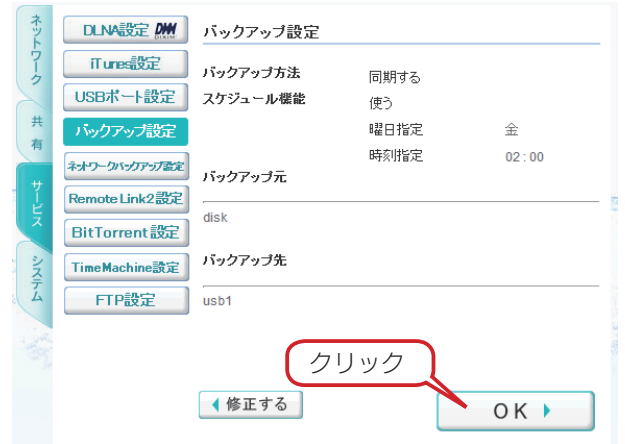
ご注意

- スケジュール設定を行う前に、本製品の時刻が正しいか確認してください。時刻がずれている場合には、正しい時刻に設定してください。【時刻設定】（23-163 ページ）
- 他のスケジュールと重ならないようご注意ください。
- スケジュール設定は、１日に１回のタイミングに限られます。
  １日の間に複数回のバックアップを設定することはできません。

1 本製品の設定画面の [サービス] タブ→ [バックアップ設定] ボタンをクリックします。

2 バックアップ設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

バックアップ方法	同期する	バックアップ元とバックアップ先が同じになるように反映されます。消去したファイルは消去されます。
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。
保存する履歴数	保存する履歴数を「1、2、3、4、5、10、すべて」から選択します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。	
スケジュール機能	［使う］を選びます。	

曜日指定	バックアップする曜日を指定します。 ※複数の指定ができます。
時刻指定	バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例）午後９時の場合は、[21] 時 [00] 分
バックアップ方向	バックアップ元とバックアップ先の機器を選びます。
バックアップ元	バックアップ元に指定するフォルダーを選びます。
バックアップ先	バックアップ先に指定するフォルダーを選びます。

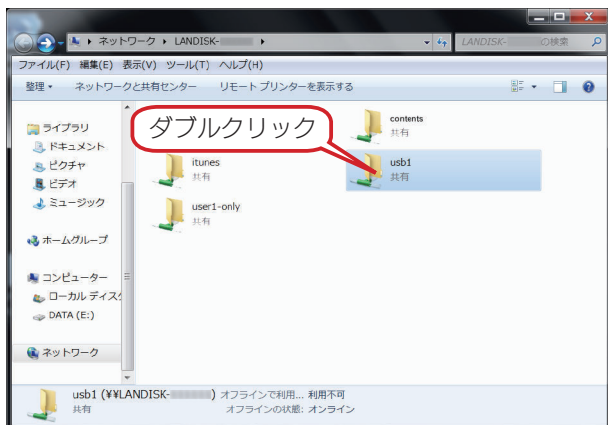
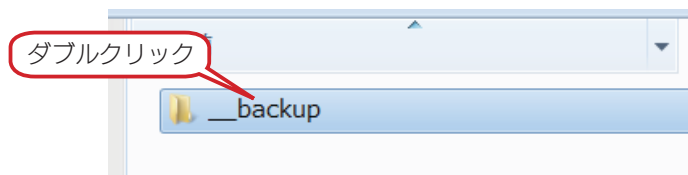
3 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。

これで、スケジュール設定は完了です。

バックアップしたデータを確認する

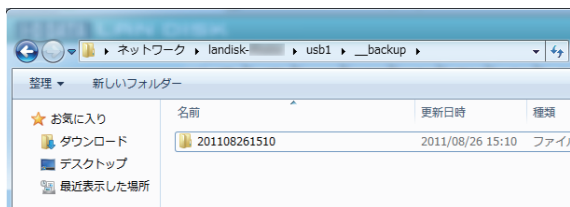
ここでは、内蔵ハードディスクの［disk］共有のデータを増設ハードディスクに履歴モードでバックアップした場合の確認例を説明します。

※以下は、Windows 7 での確認例です。

1	ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。

2	[usb1] フォルダーをダブルクリックします。

3	[__backup] フォルダーが作成されていることを確認後ダブルクリックします。

[__backup] フォルダーとは

バックアップを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

4	年月日時刻のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。 →バックアップしたファイルやフォルダーが表示されます。

年月日時刻フォルダーとは

バックアップを行った場合に、［__backup］フォルダーの下に、コピーを開始した年月日時刻をもとにして、自動で作成されるフォルダーです。

上記画面例（[201108261510]）は、2011 年　8 月 26 日 15 時 10 分にバックアップを開始したときに作成した例です。

以上で完了です。

ご注意

- ［同期モード］でバックアップした場合は、2 回目以降は差分を確認し、バックアップ元フォルダーと同じになるように差分が反映されます。バックアップ元フォルダーから消去したファイルは消去します。(2 回目以降のバックアップ対象、変更したファイル、増えたファイル)
- バックアップデータを見せないようにするには、【バックアップデータを見せないようにしたい】(24-197 ページ) をご覧ください。

ログファイルについて

バックアップの結果は、ログファイルで確認できます。

詳しくは、【バックアップ結果をログで確認したい】(24-196 ページ) をご覧ください。

ネットワークバックアップ

ネットワークバックアップには以下の２通りの方法があります。

差分を上書きする	バックアップ元とバックアップ先を比較し、差分（追加ファイル、編集したファイル）をバックアップします。 また、バックアップ元で消去したファイルも、バックアップ先に残ります。
履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。

バックアップ元	バックアップ先
同一ネットワーク上の ・LAN DISK の共有フォルダー ・Windows の共有フォルダー ※ Windows の共有フォルダーをバックアップするには、事前にパソコン側で共有設定しておく必要があります。 ※ユーザーやグループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定はバックアップできません。	本製品の内蔵ハードディスクや、増設ハードディスク上の共有フォルダー ※増設ハードディスクへのバックアップする場合は、USB ポートの動作モードが、[共有モード] になっている必要があります。 ※増設ハードディスクのフォーマットが FAT の場合は、4G バイト以上のファイルをバックアップできません。

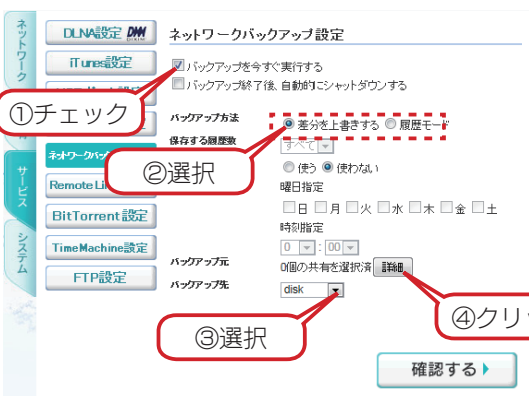
ご注意

●「バックアップ」機能（【本製品のバックアップ機能を利用する】(7-78 ページ)）と「ネットワークバックアップ」機能を同時に実行することはできません。

今すぐネットワークバックアップする

1 本製品の設定画面の [サービス] タブ→ [ネットワークバックアップ設定] ボタンをクリックします。

2 [バックアップを今すぐ実行する] にチェックをつけ、バックアップ方法を選択して、バックアップ先となる共有を指定し、[詳細] ボタンをクリックします。

※ [バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする] にチェックをつけておくと、バックアップ完了後シャットダウン処理を行います。

バックアップを今すぐ実行する	チェックをつけます。 この設定後すぐにバックアップを実行します。	
バックアップ方法	差分を上書きする	バックアップ元とバックアップ先を比較し、差分（追加ファイル、編集したファイル）をバックアップします。 また、バックアップ元で消去したファイルも、バックアップ先に残ります。
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。
バックアップ先	バックアップ先のフォルダーを選択します。	

3 バックアップ元となる共有フォルダーを選択します。

●バックアップ元が LAN DISK の場合、[LAN DISK 検索] ボタンをクリックし、該当する LAN DISK を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

●バックアップ元が Windows の共有フォルダーの場合、バックアップ元ホスト名の項に直接入力します。

各設定を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

※最大 10 個まで追加できます。

▼ LAN DISK が検索された場合

バックアップ元ホスト名	LAN DISK の場合	[LAN DISK 検索] ボタンをクリックしホスト名を指定することができます。
	Windows の共有フォルダーの場合	パソコンの [コンピューター名]、または、[IP アドレス] を入力します。 IP アドレス の入力は、数字と .（ピリオド）のみです。
バックアップ元共有名	バックアップ元共有フォルダーを指定します。	

バックアップ元ユーザー名	アクセス権を設定していない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、ユーザー名は任意のものを使用できます。
バックアップ元パスワード	アクセス権設定をしていない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、パスワードは任意に設定してください。

ご注意

●他の LAN DISK が見つからない場合は､以下をご確認ください。

・電源が入っていること

・LAN ケーブルでネットワークに接続されていること

・同一ネットワーク内にあること

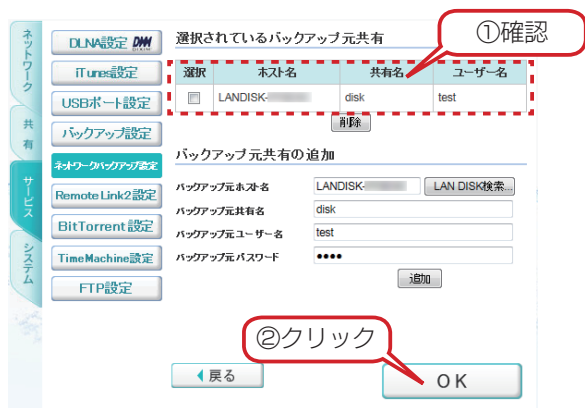
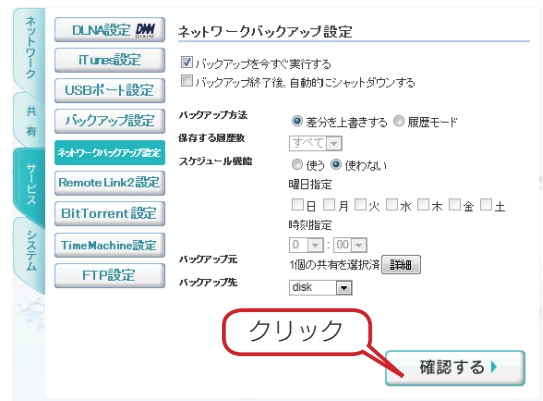
それでも見つからない場合は、[バックアップ元ホスト名] に、バックアップ元の [LAN DISK の名前] か、[IP アドレス] を入力してください。

● DHCP サーバーより IP アドレスを自動取得にしてご利用の場合、DHCP サーバーとなっている機器を再起動したり、バックアップ元の LAN DISK やパソコンを再起動すると、IP アドレスが変更される場合があります。そのため、[バックアップ元ホスト名] を IP アドレス指定する場合は、バックアップ元機器の IP アドレスを固定設定にしてご利用いただくことをおすすめします。

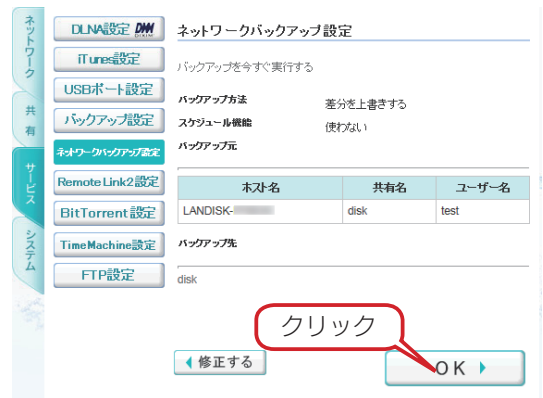
● Active Directory ユーザー、NT ドメインユーザーでログインする場合、ユーザー名は以下の形式で入力してください。

［ドメイン名］＠［ドメインユーザー名］

（例） DOMAIN@user01

4 [選択されているバックアップ元共有] に、設定した内容が追加されていることを確認し。[OK] ボタンをクリックします。

5 [確認する] ボタンをクリックします。

6 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。

→バックアップを開始します。本製品のブザーが｢ピッ｣と鳴り、STATUS ランプが緑点滅します。

7 バックアップ完了画面が表示されます。
バックアップが完了するとブザーが「ピッ（3 回)」と鳴ります。

以上でバックアップは完了です。

ご注意

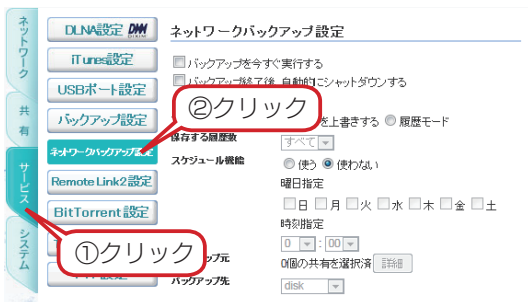
●ネットワークバックアップ中に､ブザーが｢ピー (3 回)｣となり､STATUS ランプが赤点灯している場合、バックアップに失敗しています。【バックアップ中に、ブザーが「ピー（3 回)」となり､[STATUS] ランプが赤点灯している】(24-197 ページ)をご覧ください。

ネットワークバックアップをスケジュール設定する

以下の例は、スケジュールの設定のみを行う例です。（今すぐバックアップは行いません。）

ご注意

- スケジュール設定を行う前に、本製品の時刻が正しいか確認してください。時刻がずれている場合には、正しい時刻に設定してください。【時刻設定】（23-163 ページ）
- 他のスケジュールと重ならないようご注意ください。
- スケジュール設定は、１日に１回のタイミングに限られます。１日の間に複数回のバックアップを設定することはできません。

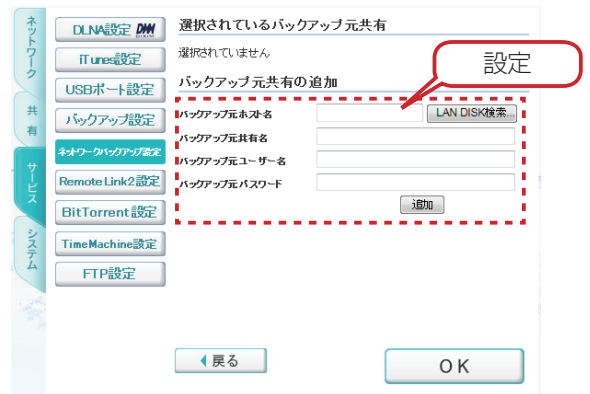
1 本製品の設定画面の [サービス] タブ→ [ネットワークバックアップ設定] ボタンをクリックします。

2 ネットワークバックアップ設定をして、[詳細ボタン] ボタンをクリックします。

バックアップ方法	差分を上書きする	バックアップ元とバックアップ先を比較し、差分（追加ファイル、編集したファイル）をバックアップします。 また、バックアップ元で消去したファイルも、バックアップ先に残ります。
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。

保存する履歴数	保存する履歴数を「1、2、3、4、5、10、すべて」から選択します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。
スケジュール機能	［使う］を選びます。
曜日指定	バックアップする曜日を指定します。 ※複数の指定ができます。
時刻指定	バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例）午後 9 時の場合は、[21] 時 [00] 分
バックアップ先	バックアップ先のフォルダーを選択します。

3 バックアップ元となる共有フォルダーを選択します。

- バックアップ元が LAN DISK の場合、[LAN DISK 検索] ボタンをクリックし、該当する LAN DISK を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- バックアップ元が Windows の共有フォルダーの場合、バックアップ元ホスト名の項に直接入力します。

各設定を入力し、[追加] ボタンをクリックします。
※最大 10 個まで追加できます。

▼ LAN DISK が検索された場合

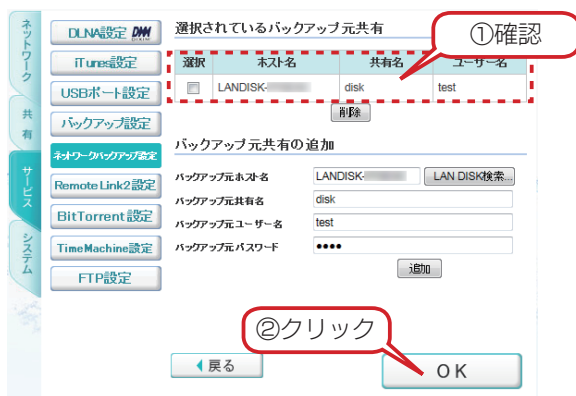
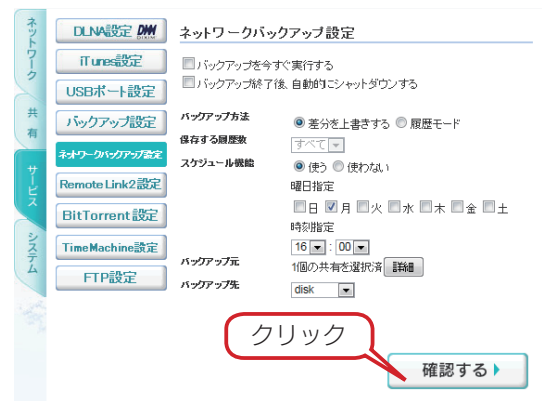
バックアップ元ホスト名	LAN DISK の場合	[LAN DISK 検索] ボタンをクリックしホスト名を指定することができます。
	Windows の共有フォルダーの場合	パソコンの [コンピューター名]、または、[IP アドレス] を入力します。 IP アドレス の入力は、数字と .（ピリオド）のみです。
バックアップ元共有名	バックアップ元共有フォルダを指定します。	
バックアップ元ユーザー名	アクセス権を設定していない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、ユーザー名は任意のものを使用できます。	
バックアップ元パスワード	アクセス権設定をしていない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、パスワードは任意に設定してください。	

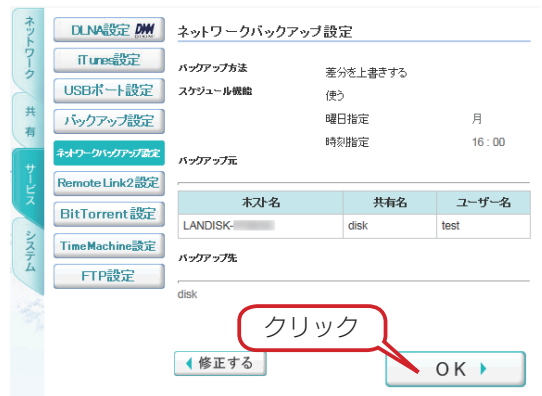
ご注意

● DHCP サーバーより IP アドレスを自動取得にしてご利用の場合、DHCP サーバーとなっている機器を再起動したり、バックアップ元の LAN DISK やパソコンを再起動すると、IP アドレスが変更される場合があります。そのため、[バックアップ元ホスト名] を IP アドレス指定する場合は、バックアップ元機器の IP アドレスを固定設定にしてご利用いただくことをおすすめします。

●他の LAN DISK が見つからない場合は、以下をご確認ください。
・電源が入っていること
・LAN ケーブルでネットワークに接続されていること
・同一ネットワーク内にあること
それでも見つからない場合は、[バックアップ元ホスト名] に、バックアップ元の [LAN DISK の名前] か、[IP アドレス] を入力してください。

● Active Directory ユーザー、NT ドメインユーザーでログインする場合、ユーザー名は以下の形式で入力してください。
［ドメイン名］＠［ドメインユーザー名］
（例） DOMAIN@user01

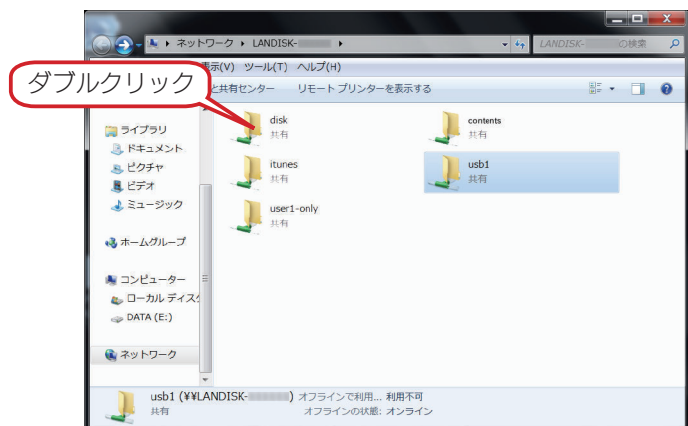
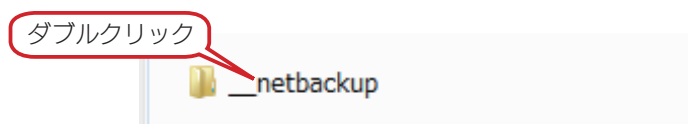
4 ［選択されているバックアップ元共有］に、設定した内容が追加されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

5 [確認する] ボタンをクリックします。

6 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。

これで、スケジュール設定は完了です。

ネットワークバックアップしたデータを確認する

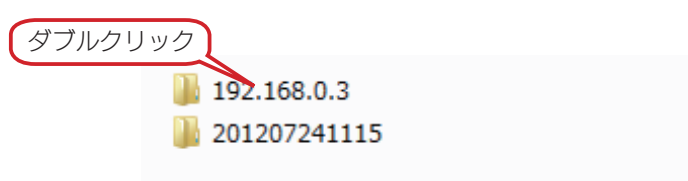
ここでは、データを本製品の共有フォルダー［disk］にバックアップした場合の確認例を説明します。
※以下は、Windows 7 での確認例です。

1 ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。
アクセス方法は OS により異なりますので、下記のご使用の OS を参照してください。
【アクセスしてみよう】(2-22 ページ)

2 バックアップ先のフォルダーをダブルクリックします。
※ここでは、[disk] フォルダーをダブルクリックします。

3 [__netbackup] フォルダーが作成されていることを確認後ダブルクリックします。

[__netbackup] フォルダーとは

ネットワークバックアップを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

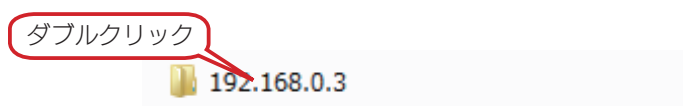
4 ネットワークバックアップ時に設定した [バックアップ方法] に応じたフォルダーをダブルクリックします。

ダブルクリック
192.168.0.3
201207241115

ホスト名または IP アドレスのフォルダーについて

ネットワークバックアップを行った場合に、[バックアップ方法] で [差分を上書きする] を選択した場合に自動で作成されるフォルダーです。このフォルダーは毎回上書きされます。

年月日時刻のフォルダーについて

ネットワークバックアップを行った場合に、[バックアップ方法] で [履歴モード] を選択した場合にバックアップを開始した年月日・時刻をもとに自動で作成されるフォルダーです。
画面例（201207241115）は、2012 年 7 月 24 日 11 時 15 分にバックアップを開始した場合の例です。

5 バックアップ元の IP アドレスのフォルダーが表示されますので、ダブルクリックします。

バックアップしたファイルやフォルダーが表示されます。

ご注意

●バックアップデータを見せないようにするには、【バックアップデータを見せないようにしたい】(24-197 ページ) をご覧ください。

ログファイルについて

ネットワークバックアップの結果は、ログファイルで確認できます。詳しくは、【バックアップ結果をログで確認したい】(24-198 ページ) をご覧ください。

デジカメコピー

USB ポートにデジカメや USB メモリーを挿すだけで、データをコピーすることができます。

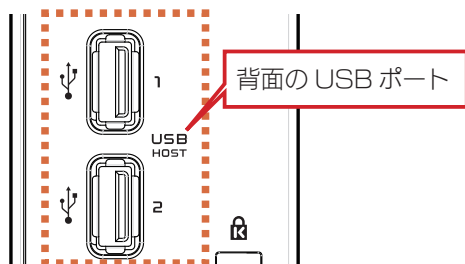
ご注意

●あらかじめ、接続する USB ポートのモードを［デジカメコピー］にしておく必要があります。USB ポート 2 は出荷時設定で［デジカメコピー］モードになっています。
USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください。

隠しファイルのコピーについて

本製品の OS により、ドット（.）で始まるファイルやフォルダーは隠し属性として扱われ、これらのファイルやフォルダーもコピーされます。

デジカメコピーをする

1 本製品の USB ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。STATUS ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。

2 自動的にコピーを開始します。
コピー中は、STATUS ランプが点滅します。
“ピッ（3 回）” と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。

3 STATUS ランプが点灯すると、そのままデジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。

データコピー先について

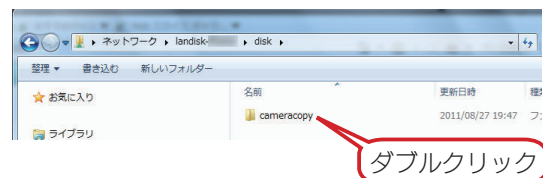
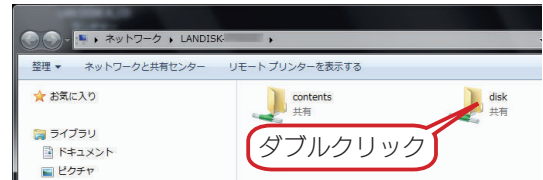
データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダーの下に、自動で作成される［cameracopy］フォルダー内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。
コピー先の共有フォルダーすでに同一ファイル名で、サイズまたは更新時刻が異なるファイルが存在している場合、新規にコピーするファイル名は、3 桁数字をファイル名に追加して新規ファイルをコピーします。
（例：AAA.jpg　→　AAA(001).jpg）
複数のデジカメ・USB メモリーをコピーする場合、「クイックコピー」をご利用ください。

コピーしたデータを確認する

データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダーにコピーした場合での確認例を説明します。
※以下は、Windows 7 での確認例です。

1 ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。

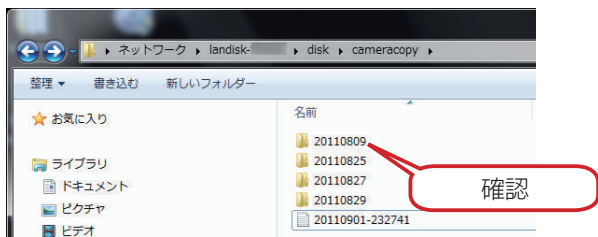
2 [disk] フォルダーをダブルクリックします。

3 [cameracopy] フォルダーが作成されていることを確認し、ダブルクリックします。

[cameracopy] フォルダーとは

デジカメコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

ログファイルについて

デジカメコピーの結果は、ログファイルで確認できます。
詳しくは、【デジカメコピーの結果をログで確認したい】(24-196 ページ）をご覧ください。

4	年月日のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。 →コピーしたファイルが表示されます。

年月日 - 時刻フォルダーについて

コピーを行った場合に、[cameracopy] フォルダーの下に、コピーしたファイルの年月日をもとにして、自動で作成されるフォルダーです。
上記画面の例（[20110809]）は、ファイルの作成日付（または更新日）が、2011 年８月９日のファイルがコピーされた場合の例です。

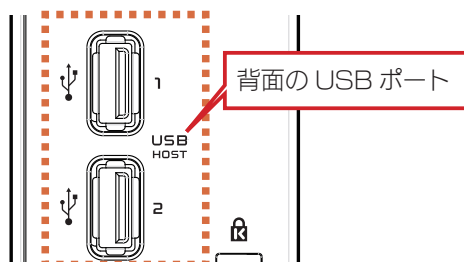
クイックコピー

USB ポートにデジカメや USB メモリーを挿すだけで、あらかじめ指定した共有フォルダーにデータをコピーすることができます。

ご注意

●あらかじめ、接続する USB ポートのモードを［クイックコピー］にしておく必要があります。
USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください。

クイックコピーをする

1 本製品の USB ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。STATUS ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。

2 自動的にコピーを開始します。コピー中は、STATUS ランプが点滅します。
"ピッ（3 回）" と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。

3 STATUS ランプが点灯すると、そのままデジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。

データコピー先について

データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダーの下に、自動で作成される［quickcopy］フォルダー内にコピーされます。
さらにその下に、順に「コピー時点の［年月日 - 時刻］を元にした名前」フォルダーを作成し、接続した USB ポートのフォルダーが作成されます。そのフォルダー内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。

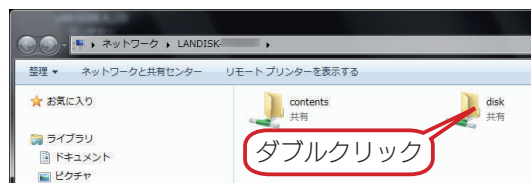
［指定したディスク共有フォルダー］-［quickcopy］-［年月日 - 時刻］-［usb1］または［usb2］

複数のデジカメ・USB メモリーをコピーする場合にも、データは［年月日 - 時刻］フォルダーで区別されますので、上書きされることはありません。

コピーしたデータを確認する

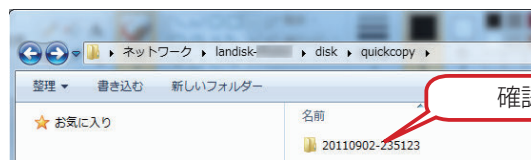
データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダーにコピーした場合での確認例を説明します。
※以下は、Windows 7 での確認例です。

1 ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。

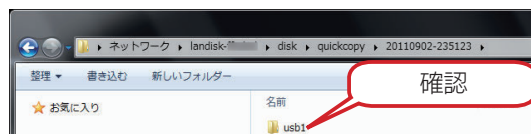
2 [disk] フォルダーをダブルクリックします。

3 [quickcopy] フォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。

[quickcopy] フォルダーとは

クイックコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

4 年月日 - 時刻のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。

年月日 - 時刻フォルダーについて

クイックコピーを行った場合に、［quickcopy］フォルダーの下に、デジカメ、USB メモリーのデータコピーを開始した年月日、時刻をもとにして、自動で作成されるフォルダーです。
上記画面例（[20110902-235123]）は、2011 年 9 月 2 日 23 時 51 分 23 秒にコピーを開始したときに作成した例です。

5 接続した USB ポート番号のフォルダーをダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。
→コピーしたファイルやフォルダーが表示されます。
※以下は、USB ポート 1 に接続した場合の例

Sync with

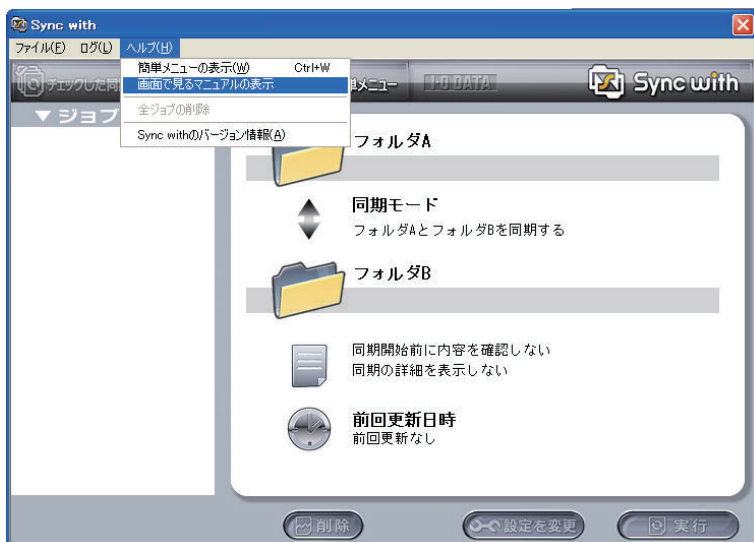
Sync with は2つのフォルダー内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。
簡単な操作でフォルダー内容を更新したり一致させることのできるソフトウェアです。
弊社ホームページ「サポートライブラリ」からダウンロードできます。

<サポートライブラリ>

http://www.iodata.jp/lib/

ご注意

●同期するドライブに十分な容量の空きが必要です。
●同一のフォルダーは指定できません。
●下位のフォルダーとの同期はできません。
● OS が使用しているフォルダーは、同期できないものもあります。
●アクセス権がないものや、ロックやライトプロテクトされているフォルダー・CD-ROM・MO などは同期できません。
●実行中・使用中のファイルの同期はできません。
●隠しファイル (隠しフォルダー) はフォルダーの設定にて「隠しファイルを表示する」となっていた時のみ同期できます。
●W indows 標準の文字コードを使用していないフォルダーやファイルは、設定・同期できません。
●削除したファイル（フォルダー）は同期できません。

使用方法については [ヘルプ] → [画面で見るマニュアルの表示] をクリックして、ご確認ください。

EasySaver LE

本製品は、オートバックアップソフト「EasySaver LE」の無料ダウンロード対象製品です。
EasySaver LE は弊社ホームページ「サポートライブラリ」からダウンロードできます。

＜サポートライブラリ＞
http://www.iodata.jp/lib/

弊社製 EasySaver LE を使用して、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップしたりすることができます。
詳細は、EasySaver LE の取扱説明書を参照してください。

ご注意

EasySaver LE を使用してバックアップする場合、バックアップ元（先）に使用する本製品を事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。
【(Windows）ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（24-213 ページ）

Time Machine

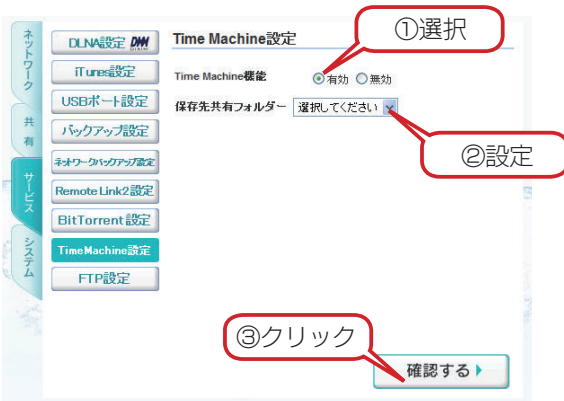
本製品の特定の共有フォルダーを、Mac OS X (10.5 以降) で使用できる Time Machine 機能のバックアップディスクとして使用できるようにします。

ご注意

● Time Machine 設定を行うと、設定した保存先共有フォルダーに次のファイル・フォルダーが自動的に作成されます。
.com.apple.timemachine.supported　(Macintosh のコンピューター名等).sparsebundle
これらのファイル・フォルダーは Time Machine を動作させるために必要ですので、削除しないでください。
● Time Machine 設定を無効にして使用しなくなった場合は、上記のファイルやフォルダーは削除できます。

本製品の設定をする

1 設定画面を開き、[サービス] タブ→ [Time Machine 設定] をクリックします。

2 [Time Machine 機能] の [有効] を選択し、バックアップ先として指定したい共有フォルダーなどを設定し、[確認する] ボタンをクリックします。

Time Machine 機能	有効に設定します。
保存先共有フォルダー	保存先共有フォルダーを指定します。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で、設定は完了です。

Mac OS 側の設定をする

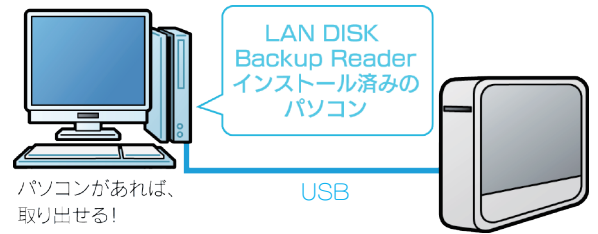
1 [システム環境設定] → [Time Machine] を開きます。

2 スイッチを [入] にします。

3 保存先ディスクを選択する画面が開きますので、本製品の保存先共有フォルダーを指定します。

以上で、設定は完了です。

データを読み出す（LAN DISK Backup Reader）

「LAN DISK Backup Reader」は、専用フォーマットされた増設ハードディスクに保存されたファイルをパソコンで読み出すためのソフトウェアです。本製品に接続しなくても、パソコンのみで専用フォーマットされた増設ハードディスクからファイルを取り出すことができます。

ご注意

● 「LAN DISK Backup Reader」は、読み取り専用です。書き込みには対応しておりません。

●対応 OS

・Windows 10
・Windows 8.1
・Windows 8
・Windows 7
・Windows Vista
・Windows XP（32 ビット版のみ）
・Windows 2000 Professional

※ Windows XP、2000 で「LAN DISK Backup Reader」をご利用になる場合、バックアップ HDD に作成されたフォルダー数の合計が 約 40000 個を超えますと一部フォルダーを参照できなくことがあります。その場合は他の Windows でデータの参照をお試しください。

インストールする

「LAN DISK Backup Reader」のインストール方法は、【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) をご覧ください。

使用する

使用方法は、「LAN DISK Backup Reader 取扱説明書」をご覧ください。

● LAN DISK Backup Reader 取扱説明書の開き方

・Windows 10 の場合

［スタート］→［すべてのアプリ］→［I-O DATA］→［LAN DISK Backup Reader マニュアル］を順にクリックします。

・Windows 8 の場合

①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

②［LAN DISK Backup Reader マニュアル］をクリックします。

・Windows 10、8 以外の場合

[スタート] → [すべてのプログラム] （ または [プログラム]）→ [I-O DATA] → [LAN DISK Tools] → [BackupReader] → [LAN DISK Backup Reader マニュアル] を順にクリックします。

DLNA サーバー機能を利用する

DLNA サーバー機能について

「DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤー」などの DLNA クライアント※1 なら、ネットワーク経由で本製品内のコンテンツをテレビなどで楽しむことができます※2。

※１　DLNA 対応版の弊社製 AveL Link Player や各家電メーカー製の DLNA ガイドライン準拠「ネットワークメディアプレーヤー」

※２　本製品は DLNA の策定するデジタル機器の相互接続性の標準設計ガイドライン「DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.5」に対応しています。

ご注意

●公開しているフォルダー内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダー内のファイルに変化があると、データベースの構築が行われます。この間、クライアントから再生できない場合があります。また、DLNA サーバーで公開している共有フォルダーへのファイルコピーは、公開していないものより遅くなります。

●パスワード機能はありません。

●本製品の設定中は、ネットワークメディアプレーヤーから接続しないでください。

●ネットワークメディアプレーヤーで再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダーを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、DLNA クライアントからの接続に時間がかかります。また、公開中の共有にファイルをコピーしたり削除した場合にも、データベース構築が行われるため、時間がかかる場合があります。ファイル数によっては、数時間かかることもあります。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

● Windows のネットワークに表示されるアイコンについて
本製品の DLNA Server 機能を有効に設定している場合、Windows の [スタート] → [ネットワーク] で開いた画面に追加アイコンが表示される場合があります。ダブルクリックするとメディアプレイヤーが起動する場合がありますが、お使いのパソコンのメディアプレイヤーが DLNA に準拠していない場合は、本製品の共有フォルダー内のコンテンツの再生はできません。

●コンテンツ再生時に MP3 ファイルのタイトル名・アーティスト名などの情報が文字化けして表示される場合があります。その場合は、ID3 タグ情報を編集可能なソフトウェアで、文字コードを Unicode へ変更することををお試しください。文字コード変更をお試しいただいても改善しない場合は、ご利用の DLNA クライアントの仕様によって文字化けが発生している場合があります。

再生できるファイルフォーマット

DLNA クライアントで再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。

※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

種類	ファイル拡張子
動画	3gp avi divx mp4 m4v mov mpg m2p mpe mpeg vob ts tts mts m2ts asf dvr-ms wmv
写真	bmp gif jpg jpeg png tiff tif
音楽	ogg lpcm pcm m4a m4b mp3 m3u wav wma flac

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

ご注意

●ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。

メディアプレーヤーから参照できるようにする

ここでは、DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤーから本製品内のデータを参照できるようにする手順について説明します。
参照できるようにするには、参照させる共有フォルダーの［DLNA 共有］設定を有効にする必要があります。
※本製品には、出荷時すでに［DLNA 共有］設定されている［contents］フォルダーがあります。

ステップ 1　公開する共有フォルダーを確認する

ネットワークメディアプレーヤーから参照できる共有フォルダーを確認します。

1	設定画面の［DLNA 設定］をクリックします。

2	現在ネットワークメディアプレーヤーに公開されている共有フォルダーが表示されます。

ご注意

●一覧に表示されている共有フォルダー以外は、ネットワークメディアプレーヤーで見ることができません。
【参照できる共有フォルダーを追加､削除する】(8-95 ページ)をご覧になり、参照できる共有フォルダーを追加してください。

ステップ2　ネットワークメディアプレーヤーからアクセスする

ネットワークメディアプレーヤーからのアクセス方法については、お持ちの「ネットワークメディアプレーヤー」の取扱説明書を参照してください。

ご注意

●ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない
●ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある
→【ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない】(24-199 ページ)をご覧ください。

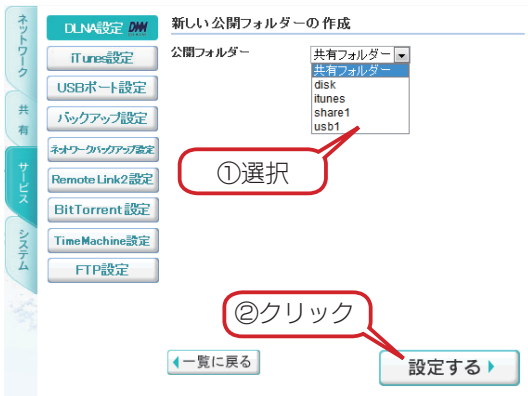
参照できる共有フォルダーを追加、削除する

ネットワークメディアプレーヤーからの本製品内のデータの参照は、共有フォルダー単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダーを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

参照できる共有フォルダーを追加する

1 設定画面の［DLNA 設定］をクリックします。

2 ［公開フォルダーを追加する］をクリックします。

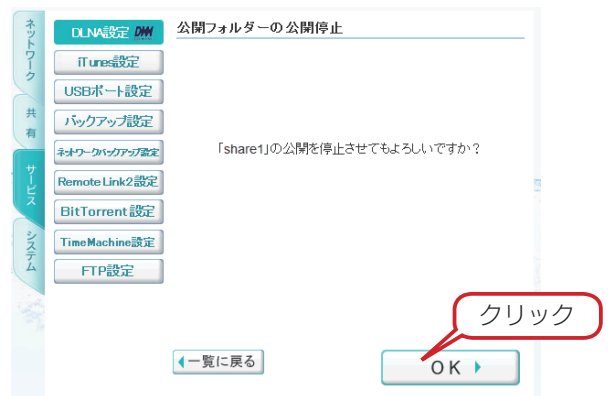
3 公開したいフォルダーを選択し、[設定する] ボタンをクリックします。

4 [一覧に戻る] ボタンをクリックし、公開フォルダー一覧で確認します。
※以下は、share1 を公開フォルダーに追加した例です。

これでフォルダーの追加は完了です。

参照できる共有フォルダーを削除する

1 設定画面の［DLNA 設定］をクリックします。

2 削除したいフォルダーの［削除］をクリックします。

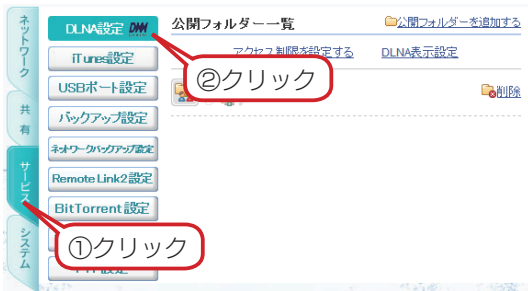
3 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックします。

これで参照できる共有フォルダーの削除は完了です。
(共有フォルダー自体は削除されません。)

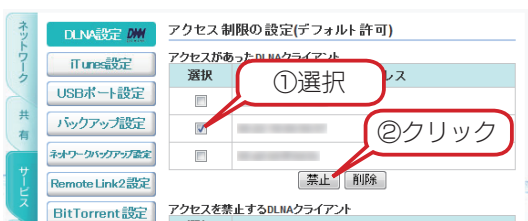
アクセスできるメディアプレーヤーを制限する

本製品の [DLNA 共有] 設定を有効にした場合、同一ネットワーク内のすべての「ネットワークメディアプレーヤー」からデータを再生できるように設定されます。一部の「ネットワークメディアプレーヤー」で再生できなくする（アクセスできなくする）には以下の手順を行います。

ご注意

アクセス制限を行うには、事前に「ネットワークメディアプレーヤー」から一度本製品にアクセスしておく必要があります。

1 設定画面の [サービス] タブ→ [DLNA 設定] をクリックします。

2 [アクセス制限を設定する] をクリックします。

3 アクセス制限をする［DLNA クライアント］を選択し、［禁止］ボタンをクリックします。

4 選択した DLNA クライアントが、［アクセスを禁止する DLNA クライアント］一覧に移動したことを確認します。

これで、選択したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）からは本製品にアクセスできなくなります。

※アクセスを禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を元に戻す（アクセスを許可させる）場合は、画面の禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）横の［選択］ボタンをチェック後、［許可］ボタンをクリックすると戻ります。

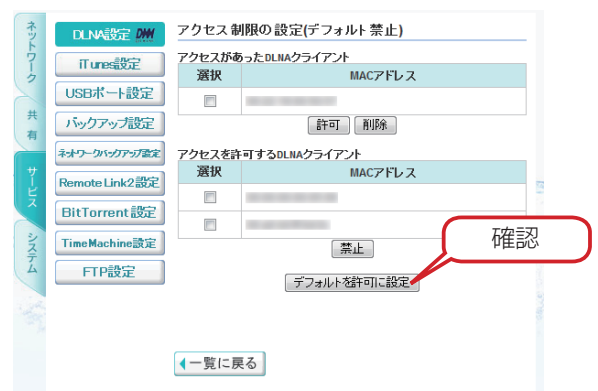
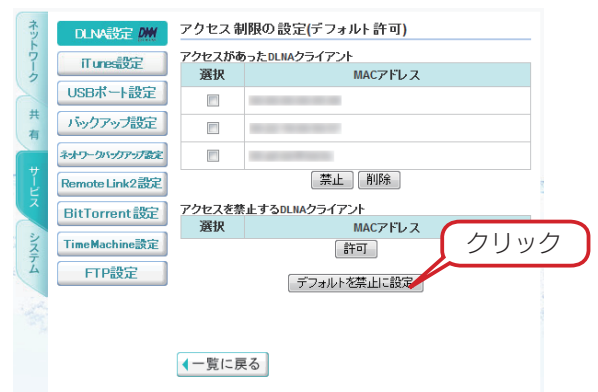
ご注意

上記設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を起動しなおしてください。

初期設定をアクセス禁止に設定する場合

複数のネットワークメディアプレーヤーの内、アクセス禁止よりも、アクセス許可のネットワークメディアプレーヤーの方が少ない場合には、初期設定をアクセス禁止（デフォルトを禁止）にし、許可するネットワークメディアプレーヤーのみを選択することもできます。

1 アクセス設定画面の [デフォルトを禁止に設定] ボタンをクリックします。
→ボタンが [デフォルトを許可に設定] になります。

▼

これで、今後本製品にアクセスする新規のネットワークメディアプレーヤーはすべてアクセス禁止になります。

※以前にアクセスを許可したネットワークメディアプレーヤーは、［アクセスを許可する DLNA クライアント］欄に表示され、許可した設定のままとなります。

設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤーを再起動してください。

［許可］から［禁止］に変更する

［アクセスを許可するDLNAクライアント］一覧から禁止するDNLAクライアント横の［選択］をチェック後、［禁止］ボタンをクリックします。

［禁止］から［許可］に変更する

［アクセスがあったDLNAクライアント］一覧から許可するDNLAクライアント横の［選択］をチェック後、［許可］ボタンをクリックします。

iTunes サーバー機能を利用する

iTunes サーバー機能について

本製品の iTunes サーバー機能で公開した音楽ファイルは、iTunes がインストールされ、ネットワーク接続されたパソコン上で再生できます。

本製品の iTunes サーバー機能を利用するには、以下の iTunes が必要です。

Windows の場合　　iTunes7 以降

Mac OS X の場合　　iTunes7 以降または 6.0.5

iTunes は Apple 社のホームページ（http://www.apple.com/jp/itunes/download/）より入手することができます。

ご注意

●本製品は工場出荷時状態で、iTunesサーバー機能が有効となっています。本機能を利用しない場合は、[iTunes共有]は無効に設定してください。

●公開しているフォルダー内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダー内にファイルの追加・削除を行った場合、最新状態を iTunes に反映するには、データベースの更新操作が必要です。データベースの更新中は、iTunes から再生できません。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、iTunes からの接続に時間がかかる場合があります。

● iTunes 再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダーを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

● MP3 の ID3 タグ情報の文字コードは、Shift-JIS に対応しています。
Shift-JIS 以外の ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。

● iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると、「コンピュータ認証」画面が表示される場合があります。これは、iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータ認証」画面で認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。

公開できるファイルフォーマット

本製品は以下のファイル拡張子のファイルのみ可能です。

種類	ファイル拡張子
音楽	mp3　m4a　m4p

※上記ファイル拡張子でも再生できない場合があります。

iTunes から再生できるようにする

ここでは、iTunes から本製品内の音楽ファイルを再生できるようにする手順について説明します。
再生できるようにするには、iTunes に公開する共有フォルダーの［iTunes 共有］設定を有効にする必要があります。
※本製品には、出荷時すでに［iTunes 共有］設定されている［itunes］フォルダーがあります。

ステップ 1　公開する共有フォルダーを確認する

iTunes から参照できる共有フォルダーを確認します。

1 設定画面の［iTunes 設定］をクリックします。

2 現在 iTunes に公開されている共有フォルダーが表示されます。

ステップ2　データベースを更新する

1 設定画面の［iTunes 更新］をクリックします。

2 iTunes Server のデータベース更新が行われます。

以上で iTunes で再生することができる共有フォルダーの設定は完了です。

ステップ 3　iTunes からアクセスする

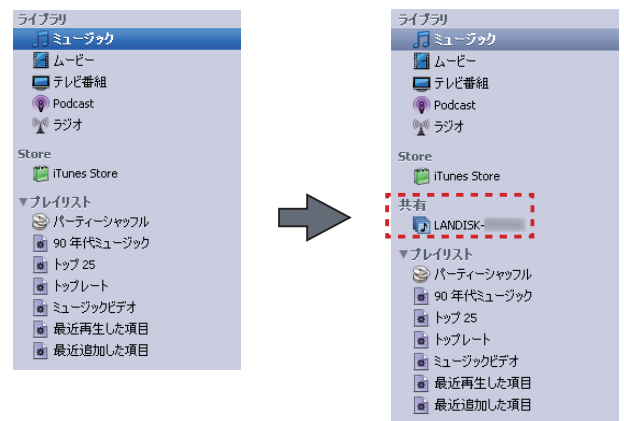
※以下は、アクセス手順の例です。

ご注意

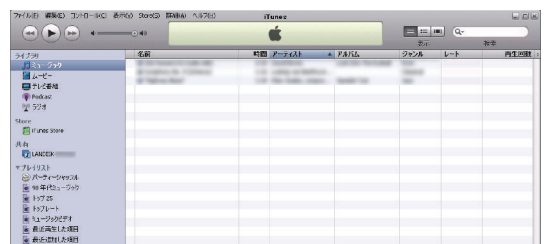
- iTunes で本製品が表示されない
- iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

→【iTunes に本製品が表示されない】(24-201 ページ) をご覧ください。

1 本製品と同じネットワークに接続されたパソコンの iTunes を起動します。

2 iTunes が起動すると、自動的に本製品の LAN DISK の名前が iTunes の共有に表示されます。

ご注意

［LAN DISK の名前］を変更している場合は、変更した名前が表示されます。

3 iTunes に表示された LAN DISK の名前をクリックすると、本製品の iTunes サーバー機能で公開されている音楽ファイルが表示されます。

曲名をダブルクリックするとパソコンで音楽ファイルを再生します。

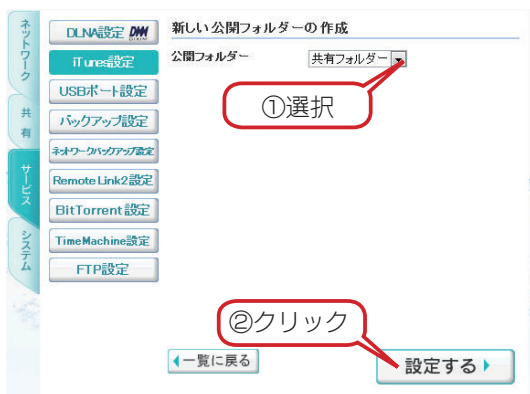
公開する共有フォルダーを追加・削除する

iTunes からの本製品内のデータの参照は、共有フォルダー単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダーを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

共有フォルダーを追加する

1 設定画面の［iTunes 設定］をクリックします。

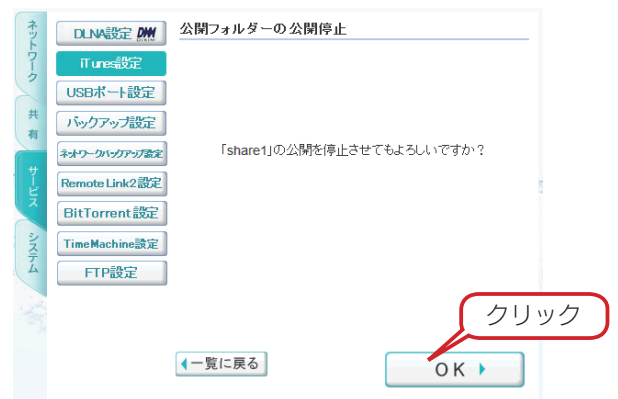
2 ［公開フォルダーを追加する］をクリックします。

3 公開したいフォルダーを選択し、[設定する] ボタンをクリックします。

4 [一覧に戻る] ボタンをクリックし、公開フォルダー一覧で確認します。
※以下は、share1 を公開フォルダーに追加した例です。

共有フォルダーを削除する

1 設定画面の［iTunes 設定］をクリックします。

2 削除したいフォルダーの［削除］をクリックします。

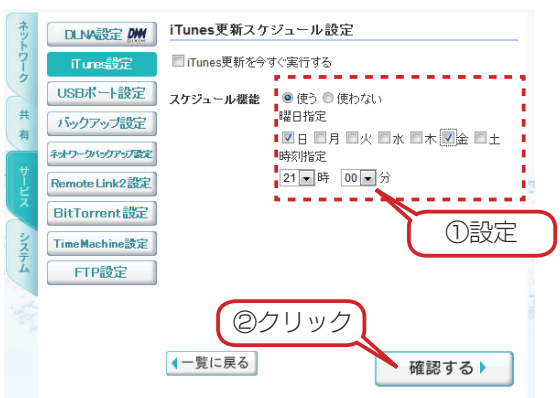
3 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックします。

これで参照できる共有フォルダーの削除は完了です。
（共有フォルダ自体は削除されません。）

iTunes サーバーを更新する

スケジュール設定をしておくことで、iTunes サーバーを自動的に更新します。
以下の例は、スケジュールの設定のみを行う例です。（今すぐ更新は行いません。）

1 設定画面の［サービス］タブ→［iTunes 設定］をクリックします。

2 [iTunes 更新スケジュール設定] をクリックします。

3 更新する曜日と時刻を設定し、[確認する] ボタンをクリックします。

4 確認画面が表示されるので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

ご注意

- スケジュール設定を行う場合は、必ず本製品の時刻設定を行ってください。
- 他のスケジュールと重ならないようご注意ください。
- スケジュール設定は 1 日に 1 回のタイミングに限られます。
  1 日の間に複数回の更新を設定することはできません。

USB 機器を共有する（net.USB）

「net.USB」は本製品に接続したプリンターやスキャナーなどのUSB 機器をネットワークで共有することができるソフトウェアです。
動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

net.USB を使えるようにする

ご注意

●あらかじめ、接続する USB ポートのモードを［net.USB］にしておく必要があります。
USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください。

net.USB をパソコンにインストールする

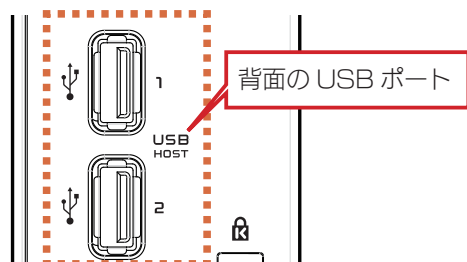
1	弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/r/3354）より「net.USB」をダウンロードします。

2	ダウンロードしたファイルを起動し、画面の指示にしたがってパソコンにインストールします。

これでインストールは完了です。

net.USB を利用する

1	ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。

2	本製品背面の USB ポートに USB 機器を接続します。ご利用になる USB 機器によっては、ドライバーのインストールが必要な場合があります。USB 機器の取扱説明書をご確認の上、接続してください。

3	インストールした [net.USB] を起動します。[スタート] → [すべてのプログラム]（または [プログラム]）→ [I-O DATA] → [net.USB クライアント] を順にクリックします。

「net.USB」の使い方については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

Dropbox と同期する

本製品の共有フォルダーとオンラインストレージサービス「Dropbox」間で、データを同期させることができます。

Dropbox とは

Dropbox は、写真、ドキュメント、ビデオをどこにいてもアクセスできるようにするためのオンラインストレージサービスです。
本製品の共有フォルダーを Dropbox 同期設定すると、指定した Dropbox フォルダー内に共有フォルダー内のデータが自動的に保存されます。
※共有フォルダー名の情報は同期されません。
※あらかじめ Dropbox アカウントを取得する必要があります。
※ Dropbox の 2 段階認証は未対応です。
Dropbox に関する詳細は、Dropbox のホームページをご覧ください。　→　https://www.dropbox.com/
本機能は Dropbox 社のサービスを使用します。サービス状態や通信品質により影響を受ける場合があります。本機能で万一損失が発生しても弊社で責任は負いかねます。ファイルの同期完了は、毎回確認することをおすすめします。

- ● Dropbox 共有の同期はインターネット上のサーバーと通信を行うため、他のローカルネットワーク上のファイル転送と比べると非常に通信に時間がかかります。少ないファイル数の共有フォルダーにてご使用をはじめることをおすすめします。
- ●同期設定を行ったフォルダー内のファイルを直接編集しないでください。同期を行う場合には、他のフォルダーで作成したファイルをコピーしてください。

設置環境、設定に関するご注意

- ●本機能をご利用いただくには、本製品がインターネット環境に接続されている必要があります。
- ●同期設定する前に、時刻設定をタイムサーバーと同期してください。【時刻設定】(23-163 ページ)　時刻がずれていると、正しく同期できません。
- ●複数の共有フォルダーを Dropbox と同期する場合、異なるアカウントをご用意ください。
  同じアカウントを設定した場合、Dropbox を通して、共有フォルダー同士が同期されてしまいます。
- ● Dropbox 共有に増設ハードディスクを設定する場合、専用フォーマットでかつ、USB ポートの動作モードが [共有モード] の場合のみ同期が実行されます。

Dropbox 同期処理に関するご注意

※ Dropbox アカウントでアクセス可能な Dropbox 上のフォルダー全体（ルートから）と、本製品の Dropbox 同期を設定した共有フォルダー内のデータを同期します（共有フォルダー名の情報は同期されません）
Dropbox 上と本製品の Dropbox 共有上に同名のファイルが存在した場合、新しい日付のファイルに同期しますのでご注意ください。
※ Dropbox 共有に追加したファイルの更新日時は、Dropbox と同期が完了後、Dropbox 上の更新時間に更新されます。

- ●実際に同期が開始されるのは、同期対象共有フォルダー内のファイルが更新されなくなってから最短で約 2 分後となります。
  また同期開始までの所要時間は、同期対象の共有フォルダー内のサブフォルダー数が多くなればなるほど長くなります。
- ●非常に多くのファイル・フォルダーが同期している状態では、1 ファイルを追加しただけでも同期完了までに長時間かかる場合があります。
- ●大きなファイルや大量のファイル・フォルダを追加すると、同期完了までに長時間かかることがあります。

同期処理の目安時間について

Dropbox から本製品への同期処理	1 ファイル約 4MB で 500 ファイル 約 2GB の同期所要時間 約 1 時間※
本製品から Dropbox への同期処理	1 ファイル約 4MB で 500 ファイル 約 2GB の同期所要時間 約 2 時間※

※ Dropbox サーバーの状態やネットワーク通信状態、本製品の負荷状態、共有フォルダーのファイル構成により大きく異なる場合があります。

ファイル・フォルダーに関するご注意

- ●本機能で使用する共有フォルダー、Dropbox アカウントのフォルダーにはどちらも、以下の制限があります。必ず制限範囲内でお使いください。
  1 フォルダーの直下に置けるファイル・フォルダー数の合計は 10000 までとなります。
  ※ Dropbox 上の 1 フォルダーの直下に 10000 ファイルを配置すると、Dropbox のブラウザー版では開けない場合があります。
- ●本製品の「ログ表示」に「Dropbox：スキップ：***」が表示される場合は、ファイル名やフォルダー名に Dropbox 共有で使用できない文字が使われている等で同期できなかったことを示します。いったん同期対象フォルダーから除外し、名前を変更後、再度追加してください。
- ●ファイル・フォルダー名に特殊な文字を使用した場合、ファイル・フォルダー名が一部変更される場合があります。

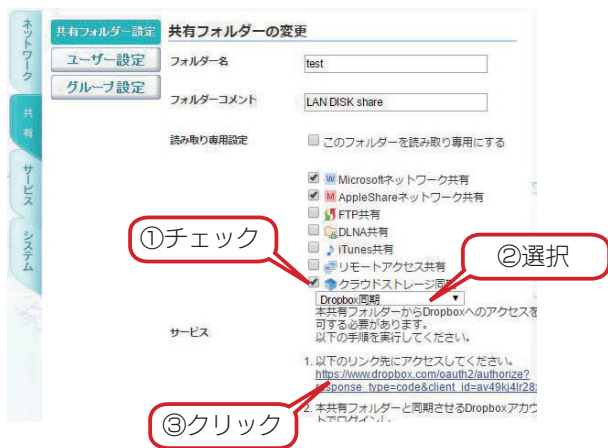
準備する

1	プロキシ設定を確認します。 ●プロキシを介してインターネット接続を行う場合 あらかじめ、本製品のプロキシ設定を有効にしておく必要があります。設定方法は、【プロキシ設定をする】(13-108 ページ) をご覧ください。 その後、手順2へお進みください。 ※ (HDL-AH シリーズのみ)NarSuS 登録時に、プロキシの設定済みであれば、再度設定する必要はありません。 ●プロキシを介してインターネット接続を行わない場合 手順2へお進みください。
2	Dropbox アカウントを取得します。 Dropbox の詳細は、Dropbox ホームページをご覧ください。 **https://www.dropbox.com/**

次に、【Dropbox との同期を有効にする】(11-105 ページ)へお進みください。

Dropbox との同期を有効にする

1 [詳細設定] から、[共有] タブをクリックし、設定を変更する共有フォルダーの [変更] をクリックします。

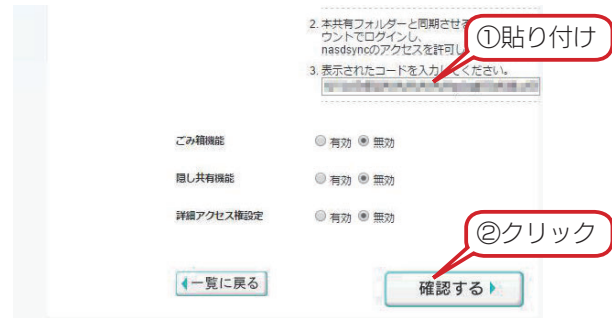
2 [クラウドストレージ同期] にチェックをつけ、[Dropbox 同期] を選びます。
その後、リンクをクリックします。

3 Dropbox ログイン画面が表示されたら、共有フォルダーを同期させたいアカウントでログインします。

4 [許可] ボタンをクリックします。

ご注意

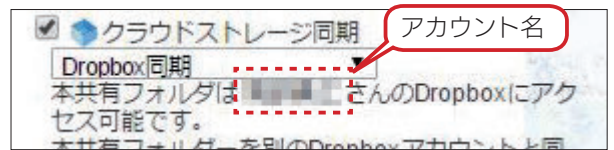
● 「Dropbox サーバーとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る場合は、以下をご覧ください。
【Dropbox 設定時、「Dropbox サーバーとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る】(24-208 ページ)

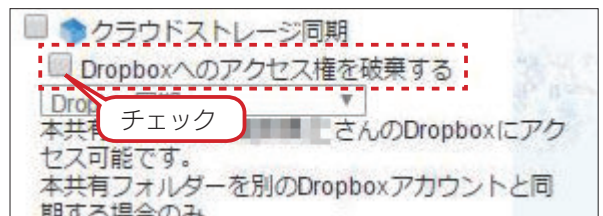
5 コードをコピーします。

6 コードを貼り付け、［確認する］をクリックします。

7 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で設定完了です。

同期先の変更について

Dropbox 同期が設定されている場合、以下のように同期先のアカウントの名前が表示されます。
同期先を変更する場合についても、【Dropbox との同期を有効にする】の手順にしたがってください。

Dropbox アクセス権の削除

Dropbox 同期の設定を無効にしても、アクセスのための情報は保存されています（次に有効にする際に利用します）。この情報を破棄するには、［Dropbox へのアクセス権を破棄する］にチェックを付けて共有フォルダーの設定を変更してください。

フレッツ・あずけ～る と同期する

本製品の共有フォルダーとオンラインストレージサービス「フレッツ・あずけ～る」間で、データを同期させることができます。

フレッツ・あずけ～る とは

「フレッツ・あずけ～る」はお持ちの写真や動画などのデータを、インターネット経由でオンラインストレージに格納し、共有・閲覧を可能とするNTT 東日本およびNTT 西日本のフレッツ光契約者を対象としたサービスです。
本製品の共有フォルダーをフレッツ・あずけ～る同期設定すると、指定したフレッツ・あずけ～るアカウントのフォルダーと自動的に同期されます。
※あらかじめフレッツ・あずけ～る アカウントを取得する必要があります。
※フレッツ・あずけ～る の無料アカウントは、5G バイトまで利用可能です。
フレッツ・あずけ～る に関する詳細は、フレッツ・あずけ～るのホームページをご覧ください。→ NTT 東日本　**https://flets.com/azukeru/**
NTT 西日本　**http://flets-w.com/azukeru/**
本機能は NTT 東日本および NTT 西日本のサービスを使用します。サービス状態や通信品質により影響を受ける場合があります。本機能で万一損失が発生しても弊社で責任は負いかねます。ファイルの同期完了は、毎回確認することをおすすめします。

- ●フレッツ・あずけ～る 共有の同期はインターネット上のサーバーと通信を行うため、他のローカルネットワーク上のファイル転送と比べると非常に通信に時間がかかります。少ないファイル数の共有フォルダーにてご使用をはじめることをおすすめします。
- ●同期設定をおこなったフォルダー内のファイルを直接編集しないでください。同期をおこなう場合には、他のフォルダーで作成したファイルをコピーしてください。

設置環境、設定に関するご注意

- ●本機能をご利用いただくには、本製品がインターネット環境に接続されている必要があります。
- ●フレッツ・あずけ～る 共有の設定を行う前に、本製品の時刻設定が正しいか確認してください。
  時刻がずれている場合には正しい時刻に設定してください。タイムサーバーと同期設定をお勧めします。【時刻設定】（23-163 ページ）
- ●フレッツ・あずけ～る 共有に増設ハードディスクを設定する場合、専用フォーマットでかつ、USB ポートの動作モードが [共有モード] の場合のみ同期が実行されます。

フレッツ・あずけ～る 同期処理に関するご注意

※フレッツ・あずけ～るアカウントの「マイフォルダ」の下に、「LAN DISK フォルダ」を本製品が自動作成し、「LAN DISK フォルダ」全体（ルートから）と、本製品で指定した共有フォルダー（ルートから）を同期します。「LAN DISK フォルダ」の名前を変更したり削除しないでください。シークレットフォルダ機能で「LAN DISK フォルダ」は作成しないでください。
※本機能はファイルとフォルダーを同期する機能ですので、それ以外のフレッツ・あずけ～るの機能（タグ付け、共有等）は同期や引き継ぎされません。
※フレッツ・あずけ～る 共有に追加したファイルの更新日時は、フレッツ・あずけ～る と同期が完了後、フレッツ・あずけ～る 上の更新時間に更新されます。

- ●同期対象ファイル・フォルダーが少ない状態でも、ファイルを更新してから実際に同期が開始されるまで、２分程度のタイムラグがあります。
- ●非常に多くのファイル・フォルダーが同期している状態では、１ファイルを追加しただけでも同期完了までに長時間かかる場合があります。
- ●フォルダー階層が深い場合や、１フォルダーの直下にファイル・フォルダーが多い場合、同期処理に時間がかかります。
- ●大きなファイルや大量のファイル・フォルダを追加すると、同期完了までに長時間かかることがあります。

同期処理の目安時間について

フレッツ・あずけ～る から本製品への同期処理	１ファイル約 4MB で 500 ファイル 約 2GB の同期所要時間 約１時間※
本製品からフレッツ・あずけ～る への同期処理	１ファイル約 4MB で 500 ファイル 約 2GB の同期所要時間 約２時間※

※フレッツ・あずけ～る サーバーの状態やネットワーク通信状態、本製品の負荷状態、共有フォルダーのファイル構成により大きく異なる場合があります。

- ●フレッツ・あずけ～る同期を設定した共有を IP カメラの保存先とする場合は、静止画のみでご使用ください。

ファイル・フォルダーに関するご注意

- ●フレッツ・あずけ～る 同期では、アップロード・ダウンロード可能なファイルサイズは 1G バイトまでです。
- ●本機能で使用する共有フォルダー、フレッツ・あずけ～るアカウントのフォルダーにはどちらも、以下の制限があります。必ず制限範囲内でお使いください。
  ・１ フォルダーの直下に置けるファイル・フォルダー数の合計は 10000 までとなります。
- ●同じフォルダー内に、名前がアルファベットの大文字・小文字違いのみのファイルやフォルダーは置かないでください。
- ●本製品の「ログ表示」に「あずけ～る：スキップ：***」が表示される場合は、ファイル名やフォルダー名に フレッツ・あずけ～る 同期　で使用できない文字が使われている等で同期できなかったことを示します。いったん同期対象フォルダーから除外し、名前を変更後、再度追加してください。

準備する

1 プロキシ設定を確認します。

●プロキシを介してインターネット接続をおこなう場合
あらかじめ、本製品のプロキシ設定を有効にしておく必要があります。設定方法は、【プロキシ設定をする】（13-108 ページ）をご覧ください。
その後、手順2へお進みください。
※（HDL-AH シリーズのみ）NarSuS 登録時に、プロキシの設定済みであれば、再度設定する必要はありません。

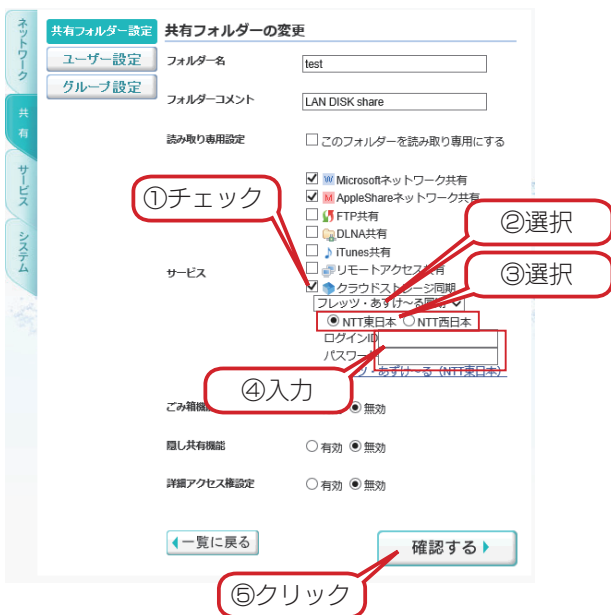
●プロキシを介してインターネット接続を行わない場合
手順2へお進みください。

2 フレッツ・あずけ～る アカウントを取得します。
フレッツ・あずけ～る ホームページをご覧ください。
NTT 東日本　https://flets.com/azukeru/
NTT 西日本　http://flets-w.com/azukeru/

次に、【フレッツ・あずけ～る との同期を有効にする】（12-107 ページ）へお進みください。

フレッツ・あずけ～る との同期を有効にする

1 [詳細設定] から、[共有] タブをクリックし、設定を変更する共有フォルダーの [変更] をクリックします。

2 ①[クラウドストレージ同期]にチェックします。
②[フレッツ・あずけ～る同期]を選びます。
③[NTT東日本]か[NTT西日本]を選びます。
④[ログインID][パスワード]を入力します。
⑤[確認する]ボタンをクリックします。

3 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

ご注意

●「フレッツ・あずけ～るとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る場合は、以下をご覧ください。
【フレッツ・あずけ～る設定時、「フレッツ・あずけ～るサーバーとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る】（24-209 ページ）

以上で設定完了です。
しばらくすると、フレッツ・あずけ～る の ID のフォルダーと、上記で指定した共有のデータが同期されます。
ファイルを変更すると、一定時間後に同期されます。

プロキシ設定をする

インターネットに接続する際に、プロキシを利用する必要がある場合に設定します。
プロキシ設定は、NarSuS 設定※、Dropbox 共有、フレッツ・あずけ～る共有を有効にした場合に利用されます。
※ NarSuS は、HDL-AH シリーズでのみ利用可能な管理機能です。

1 設定画面の [ネットワーク] タブ→ [プロキシ設定] をクリックします。

2 各項目を設定し、[確認する] ボタンをクリックします。

使用しない	プロキシ設定を使用しません。
自動設定スクリプトを使用する	[自動設定スクリプト URL] を入力します。 ※指定する URL については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 プロキシ ○使用しない ◉自動設定スクリプトを使用する ○手動で設定する 自動設定スクリプトURL http://192.168.123.234/proxy
手動で設定する	プロキシサーバーの［HTTP アドレス］と［HTTP ポート］を入力します。 ※指定するアドレス、ポートについては、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 プロキシ ○使用しない ○自動設定スクリプトを使用する ◉手動で設定する HTTPアドレス 192.168.123.234 HTTPポート 1234

3 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で設定完了です。

FTP 共有

FTP 共有フォルダーを作成する

FTP 共有サービスにより、共有フォルダーの設定でサービスを [FTP 共有] に設定した共有フォルダーに、FTP クライアントよりアクセスすることができます。

FTP 共有サービスを利用して本製品にアクセスする際の権限は、共有フォルダーに設定したアクセス権設定により以下のようになります。

本製品の FTP 共有サービスに、 「anonymous」ユーザーでアクセスする場合	・共有フォルダーの詳細アクセス権設定を無効にした共有フォルダーにアクセスできます。 ・共有フォルダーの読み取り専用オプションをチェックしている場合は、ダウンロードのみ可能です。 ・共有フォルダーの読み取り専用オプションを未チェックの場合は、ダウンロード / アップロードができます。
本製品の FTP 共有サービスに、 本製品に登録したユーザーでアクセスする場合	・本製品に登録したユーザー名とパスワードで FTP 共有に接続できます。 ・登録したユーザー名、もしくは、登録したユーザーが含まれるグループ名に設定したアクセス権にしたがってアクセスできます。 読み取り → ダウンロードのみ可能 読み書き → ダウンロード / アップロードが可能 ただし、共有フォルダーの読み取り専用オプションをチェックしている場合は、上記の設定にかかわらず、ダウンロードのみ可能です。

新規フォルダーを作成する場合

1 設定画面の [新規共有] をクリックします。

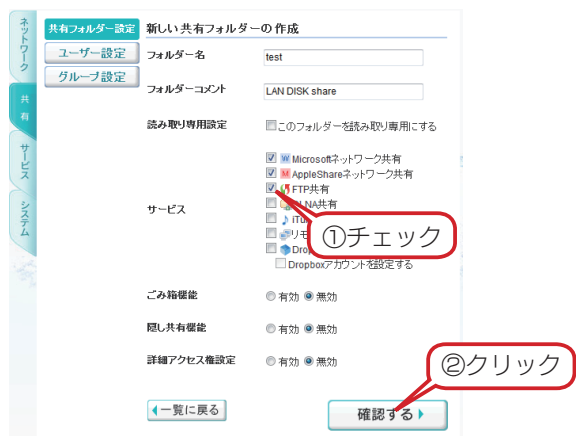
2 [フォルダー名] を入力し、[サービス] の [FTP 共有] にチェックをつけ、[確認する] ボタンをクリックします。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、FTP 共有フォルダーの作成は完了です。

作成済のフォルダーを設定変更する場合

1 設定画面の ［共有］ タブをクリックし、FTP 共有を許可するフォルダーの [変更] をクリックします。

2 [サービス] の [FTP 共有] にチェックをつけ、[確認する] ボタンをクリックします。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、FTP 共有フォルダーの作成は完了です。

FTP クライアントから接続する

FTP クライアントからのご利用について

詳細アクセス権を設定している場合

作成した FTP 用の共有フォルダーに保存されているファイルを FTP 経由でダウンロードできます。アクセス許可設定したユーザー / グループに限りアクセスできます。FTP クライアントから接続するには、下記のユーザー名、パスワードでログオンしてください。
ユーザー名：設定したユーザー名
パスワード：設定したパスワード

詳細アクセス権を設定していない場合

作成した FTP 用の共有フォルダーはネットワーク経由で誰でもデータをダウンロード / アップロードできるようになります。FTP クライアントから接続するには、下記のユーザー名、パスワードでログオンしてください。
ユーザー名：anonymous もしくは ftp
パスワード：任意

公開フォルダーについて

●ログイン直後はフォルダーの最上位階層 (/) が見えます。
このフォルダーにファイルやフォルダーをアップロードすることはできません。
●内蔵ボリューム上に作成した共有フォルダーは、以下のフォルダーに公開されます。
/ 作成した共有フォルダー名
● USB ポート 1 に接続した USB ハードディスクは、FTP で公開すると、以下のようにアクセスできます。
/usb1
● USB ポート 2 に接続した USB ハードディスクは、FTP で公開すると、以下のようにアクセスできます。
/usb2

FTP クライアントソフトについて

本製品に FTP でアクセスするには、FTP クライアントソフトが必要となりますので、別途ご用意ください。なお、Windows 標準の FTP 機能を使用する場合は、以下をご覧ください。

ご注意

ご使用になる FTP クライアントソフトのサポートする文字コードにあわせて、[サービス設定] → [FTP 設定] のエンコードを選択してください。
日本語ファイル名を取り扱う場合は、Shift-JIS もしくは UTF-8 の文字コードに対応した FTP クライアントソフトをご利用ください。

Windows 標準の FTP 機能を使用する場合

※ Windows 標準の FTP 機能の詳細な操作方法や不明点は、各パソコンメーカーへお問い合せください。
ここでは、Windows の FTP コマンドによるアクセスの例を説明します。

1	あらかじめ本製品の [FTP 設定] のエンコードを対応クライアント言語に変更しておいてください。
2	コマンドプロンプトを起動します。 ● Windows 10 の場合 ［スタート］を右クリックし、表示された［コマンドプロンプト］をクリックします。 ● Windows 8 の場合 画面の右上（下）にマウスポインターを移動し､チャームバーが表示されたら、[検索] → [コマンドプロンプト] をクリックします。 ● Windows 7、Vista の場合 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。 ● Windows XP の場合 ［スタート］ → ［(すべての）プログラム］ → ［アクセサリ］ → [コマンドプロンプト] を開きます。
3	コマンドプロンプトのカレントカレントディレクトリを FTP でアップロードするファイルを保存したフォルダー、または FTP でダウンロードしたファイルを保存するフォルダーに移動します。 C: ¥FTP フォルダーにカレントディレクトリを移動する場合 > cd c: ¥ftp
4	コマンドプロンプトに以下のように入力します >ftp xxx.xxx.xxx.xxx ※「xxx.xxx.xxx.xxx」の部分は、同一 LAN 内から接続する場合は本製品の IP アドレスを入力します。

5	ユーザー名、パスワードを入力します。 アクセスする共有フォルダへのアクセス権限を持ったユーザー名とパスワードを入力してください。 ※詳細アクセス権設定していない共有フォルダーへのアクセスには以下のユーザー名とパスワードを入力します。 ユーザー名：anonymous もしくは ftp パスワード：任意

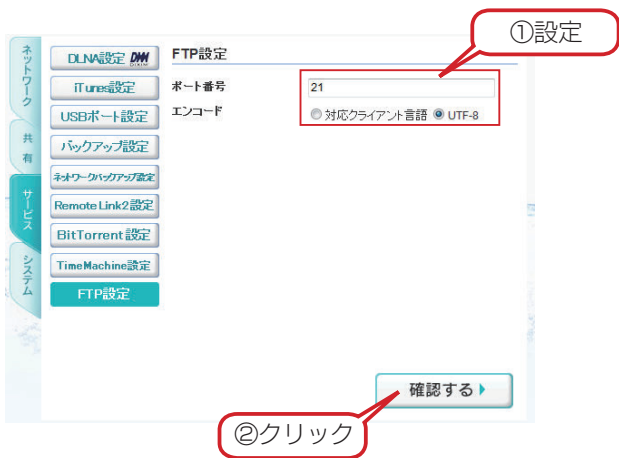
6	FTP によるアクセスを行います。 以下は内蔵ボリューム上の共有フォルダー「disk」に対する操作例です。 ●ファイルのアップロード ftp > cd /disk ftp > put アップロードするファイル名 ●ファイルのダウンロード ftp > cd /disk ftp > get ダウンロードするファイル名 ● FTP アクセスを終了 ftp > bye

ご注意

- エクスプローラまたは、Internet Explorer のアドレスバーで ftp://xxx.xxx.xxx.xxx/（xxx.xxx.xxx.xxx の部分は、本製品の IP アドレス）や ftp://LAN DISK の名前 / でアクセスした場合、全角文字が文字化けした状態で表示される場合があります。これらの FTP クライアントをご利用になる場合は、共有フォルダー名・フォルダー名・ファイル名は、半角英数文字のみご使用ください。
- FTP 共有機能を使用すると、フォルダーやファイル名が文字化けしてしまう場合は、以下をご覧ください。
【FTP 共有機能を使用すると、フォルダーやファイル名が文字化けしてしまう】（24-210 ページ）

FTP 設定を変更する

1 設定画面の［サービス］タブ→［FTP 設定］をクリックします。

2 各項目を設定し、[確認する] をクリックします。

ポート番号	ネットワーク環境に応じて変更してください。通常は変更する必要はありません。
エンコード	接続する FTP クライアントによっては、ファイル名が文字化けする場合があります。使用するクライアントに合わせてエンコードを選択してください。

3 内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で、設定は完了です。

BitTorrent クライアント機能を利用する

BitTorrent クライアント機能について

BitTorrent について

BitTorrent は、ファイルの断片のダウンロードおよびアップロードを同時に行うことにより、高速にダウンロードができるプロトコルです。BitTorrent を利用すると、通常のダウンロードよりも高速かつ低コストでファイルを配信することができるため、大容量で人気のあるファイルを効率よく入手できます。

本製品の BitTorrent クライアント機能について

通常、BitTorrent を利用したファイルのダウンロードおよびアップロードは、パソコンに BitTorrent クライアントソフトウェアをインストールして行います。
本製品の BitTorrent クライアント機能を利用すると、パソコンにソフトウェアをインストールすることなく BitTorrent を利用したファイルのダウンロードおよびアップロードを行うことができます。

ファイルのダウンロードは、入手した Torrent ファイルを本製品のダウンロードマネージャに登録すると、本製品が自動的にファイルのダウンロードを行います。
ダウンロードしたファイルは本製品のダウンロード先に指定された共有フォルダーに保存されます。
Torrent ファイルは、BitTorrent 社のホームページ（http://www.bittorrent.com/）などからダウンロードできます。
Torrent ファイルの利用規約、著作権等は各ホームページにしたがってください。

ご注意

- 著作権で保護されたファイルを、無断でダウンロードし、使用することはできません。
- BitTorrent 再生中に、本製品上の再生中のファイルやファイルのある共有フォルダーの削除 / 移動はしないでください。
- BitTorrent クライアント機能が動作中は、本製品の Web 設定画面に対する操作や、共有フォルダーに対するアクセスに時間がかかる場合があります。
- BitTorrent クライアント機能が動作中は、DLNA サーバー機能、iTunes サーバー機能によるコンテンツの再生でコマ落ちしたり、音飛びが発生することがあります。
- 空き容量以上のファイルのダウンロードは行わないでください。

BitTorrent 機能を設定する

1	設定画面の [サービス] タブをクリックし、[BitTorrent 設定] をクリックします。

2	[BitTorrent] 設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

BitTorrent 機能	[有効] を選びます。
保存先共有フォルダー	ダウンロードしたファイルを保存する共有フォルダーを指定します。
受信ポート番号	BitTorrent 機能で使用するポート番号を指定します。 通常は、初期設定値からの変更は必要ありません。
UPnP 機能	ルーターに対するポート設定を UPnP を利用して行う場合は、[使う] を選択します。ルーターに対するポート設定を手動で設定する場合は、[使わない] を選択します。

ご注意

●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK が BitTorrent 機能を使用する場合は、それぞれの LAN DISK に異なる受信ポート番号を設定してください。

3	確認画面が表示されますので内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で BitTorrent 機能の設定は完了です。

BitTorrent クライアント機能でダウンロードする

1 あらかじめ、ダウンロードするファイルを示す、Torrent ファイルを準備する必要があります。
Torrent ファイルは、BitTorrent 社のホームページ（http://www.bittorrent.com/）などより入手します。

2 設定画面の [サービス] をクリックし、[BitTorrent 設定] をクリックします。
現在の BitTorrent 設定が表示されます。

3 [ダウンロード画面を開く] をクリックします。
別ウィンドウでダウンロード画面が開きます。

4 Torrent ファイルの登録を行います。
以下の 2 つの方法があります。

●方法 1

Torrent ファイルの URL を指定してダウンロードする場合

①「URL から Torrent ファイルを追加」をクリックします。
② URL を入力します。
③ ADD ボタンをクリックします。

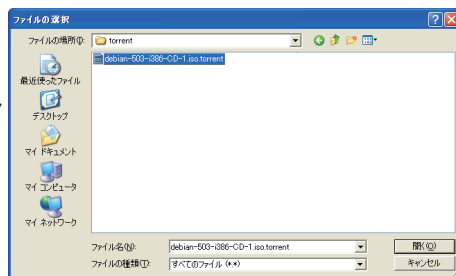
以上で Torrent ファイルの登録は完了です。
ダウンロードが開始されます。進捗が 100% になるとダウンロードは完了です。

ダウンロードしたファイルは「ダウンロード先共有フォルダ」に指定した共有フォルダーに保存されています。

●方法 2

Torrent ファイルを指定してダウンロードする場合

①[ファイルから Torrent ファイルを追加] をクリックします。
② [Browse] ボタンをクリックします。

③あらかじめダウンロードした Torrent ファイルを選択します。

④ [ADD] ボタンをクリックします。

以上で Torrent ファイルの登録は完了です。
ダウンロードが開始されます。進捗が 100% になるとダウンロードは完了です。

ダウンロードしたファイルは「ダウンロード先共有フォルダ」に指定した共有フォルダーに保存されています。

インターネットから操作する

外出先のパソコンやスマートフォンからインターネット経由で操作することもできます。

※あらかじめ、Remote Link 2 設定をする必要があります。設定方法は、【Remote Link 2 の設定をする】(5-63 ページ) をご覧ください。

●初期設定をする

1	設定画面の [サービス] をクリックし、[BitTorrent 設定] をクリックします。 現在の BitTorrent 設定が表示されます。

2	[インターネットからの操作] をクリックします。

3	[インターネットからの操作] を [使う] にチェックし、[Bittorrent パスワード] に任意のパスワードを入力し、[確認する] ボタンをクリックします。

4	設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで初期設定は完了です。

●インターネットからアクセスする

1	Web ブラウザーを起動し、http://rm2.iobb.net/ にアクセスします。

2	Remote Link2 にアクセスします。 ①【ステップ2の2】で設定した [接続名] を入力します。 ② [接続する] ボタンをクリックします。 → login 画面が表示されます。

3	本製品にアクセスします。 ①設定した [BitTorrent パスワード] を入力します。 ② [ログイン] ボタンをクリックします。 別ウィンドウでダウンロード画面が開きます。

ダウンロードマネージャについて

ダウンロードマネージャでは以下の操作が行うことができます。

[Add] ボタン	URL、またはファイルから Torrent ファイルを指定し、[Add] ボタンをクリックすると、ダウンロードリストに追加することができます。
ダウンロードリスト	現在追加された Torrent 情報の一覧が表示されます。 現在のダウンロード、アップロードの状態が表示されています。
[スタート] ボタン	ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[スタート] ボタンをクリックすると、停止していたダウンロードを再開することができます。
[ストップ] ボタン	ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[ストップ] ボタンをクリックすると、ダウンロードを停止することができます。
[削除] ボタン	ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[削除] ボタンをクリックすると、ダウンロードリストより削除することができます。 削除をクリックすると、[ダウンロード先共有フォルダ] に保存したダウンロード中またはダウンロード済みファイルもあわせて削除されますので、必要なファイルはあらかじめコピーしておいてください。
[Search] ボタン	キーワードを入力して BitTorrent.com 内の情報を検索します。

ハードディスクをチェックする

ハードディスクのチェック方法

ここでは、本製品のハードディスクの状態をチェックする方法について説明します。

チェックディスク

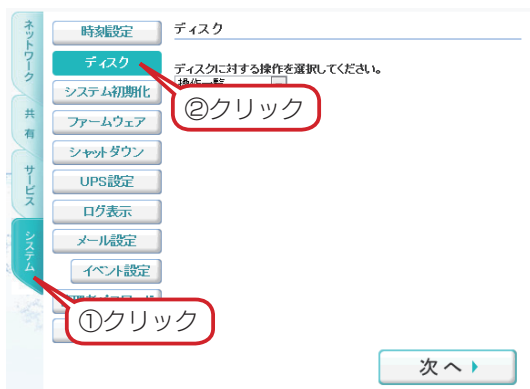
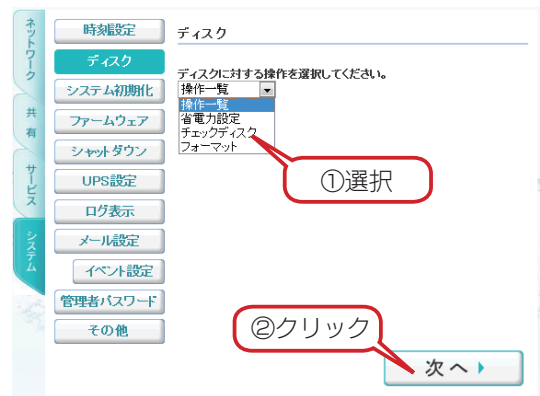
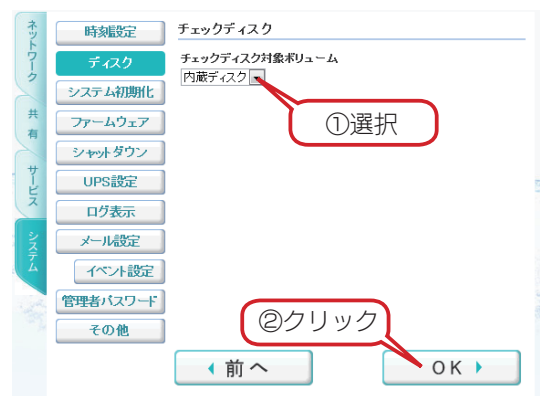
チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復を行います。

・チェックディスク中に電源を切らないでください。完了するまでお待ちください。
・チェックディスク中は、本製品の他の操作を行うことができません。
・購入初期の正常な HDL-A1.0 の場合は、1 分以内で完了します。ご使用の状況によっては、非常に時間が掛かる場合があります。

チェックディスクでチェックする

ご注意

●チェックディスクを中断することはできません。チェックディスク中に電源を切るなどして中断しないでください。システムを破損するおそれがあります。
● FAT/NTFS でフォーマットされているハードディスクは選択できません。（直接パソコンに接続し、Windows 上などでエラーチェックを行ってください。）
●チェックディスクにかかる目安時間は、購入初期の場合、約３分で完了します。ご使用の状況によりチェックディスクの所要時間は大きく変化します。

1 設定画面の［システム］→［ディスク］をクリックします。

2 ［チェックディスク］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

3 チェックディスクするディスクを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

チェックディスクが終了すると完了画面が表示されます。
以上でハードディスクのチェックは終了です。

Active Directory・NT ドメインログオン

Active Directory ログオンとは

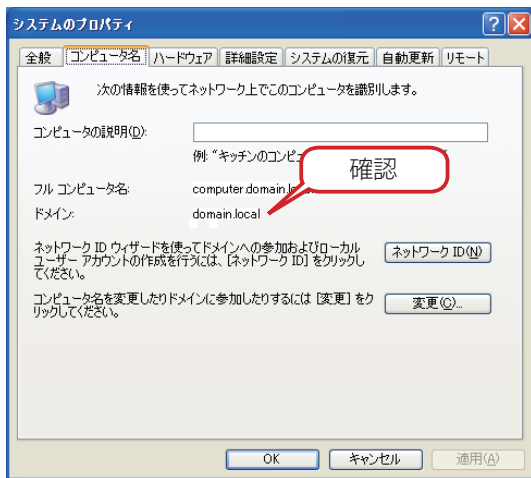
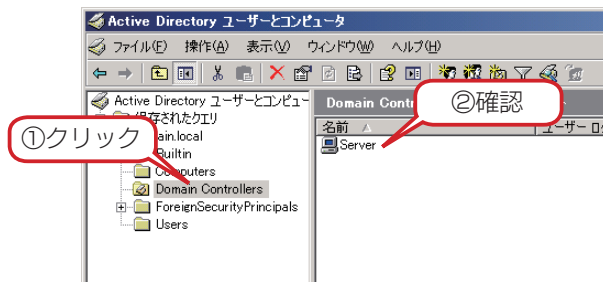
Active Directory が構築された Windows ネットワークに LAN DISK が参加できる機能です。
Active Directory 管理のユーザー情報、グループ情報を利用して LAN DISK 上の共有フォルダーにアクセス権限の設定が行えます。
LAN DISK へユーザー登録を行わずにすむので、ユーザー情報が一元管理できるほか、Active Directory 管理下のユーザーが一度認証すれば同じ Active Directory 内の機器へ認証無しにアクセスできる一元認証機能が利用可能になります。
ドメイン・AD 参加に対応したサーバー OS については、【動作環境】(22-139 ページ)をご覧ください。

ご注意

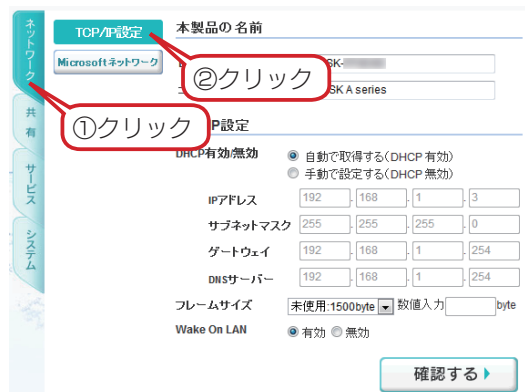
- NT ドメイン・Active Directory ログオン機能は、ドメインユーザー数 1000 人、およびグループ数 100 グループの環境で動作確認を行っております。それ以上の規模のドメインでは、本製品の応答が著しく遅くなったり、正常に動作できないことがあります。
- Mac OS の場合は、利用できません。
- Windows Server 2008 の場合は、NT ドメインは利用できません。
- 詳細アクセス権設定をした共有フォルダーにおいて、登録したユーザー、グループ、ドメインユーザー、ドメイングループは、ワークグループ、NT ドメイン、Active Directory への参加方法を切り替えることで、利用できなくなることがあります。
  ワークグループモードからドメインモード (NT ドメイン、Active Directory) へ切り替えると、詳細アクセス権設定をした共有フォルダーにおいて、本製品に登録したユーザー、グループでは利用できなくなります。また、ドメインモードからワークグループモードへ切り替えると、ドメインユーザー、ドメイングループでは利用できなくなります。
  そのため、各参加方法の切り替えを行う際は、あらかじめ共有フォルダーの詳細アクセス権設定を無効 (すべてのユーザーでアクセスできるよう) にしておくか、切り替え前にデータのバックアップを行うようにしてください。

Active Directory へログオンする

1 ドメインコントローラーとなっているパソコンの時刻を確認してください。
ドメインコントローラーの時刻と本製品の日付と時刻の設定が、５分以上離れていると、ログオンに失敗します。
※本製品の時刻を設定する場合は、[基本設定] → [日付と時刻の設定] で設定してください。

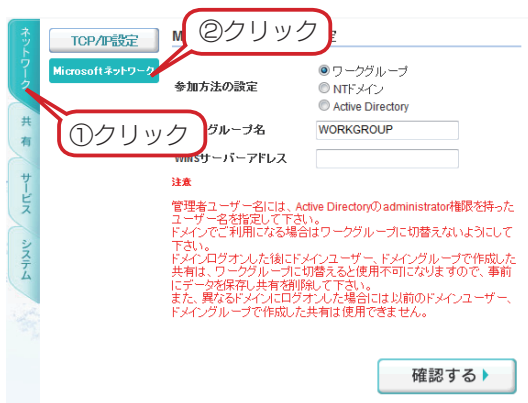
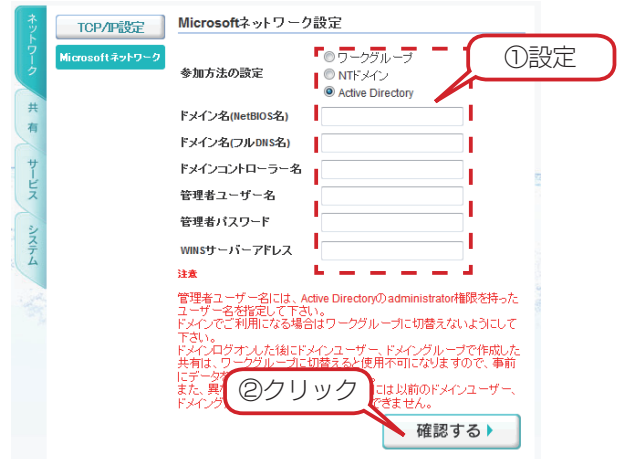
2 参加するドメインコントローラーの「ドメイン名（フル DNS 名）」､「ドメイン名 (NetBIOS 名)」を確認します。
「ドメイン名（フル DNS 名）」､「ドメイン名 (NetBIOS 名)」 はすでに Active Directory に参加しているパソコンから確認できます。(以下は Windows XP の例)
①[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] を開きます。
②[コンピュータ名] タブをクリックします。
③[ドメイン] に表示されている文字列を確認します。
この文字列が「ドメイン名（フル DNS 名）」になります。
ここで「ドメイン名（フル DNS 名）」が [domain.local] の場合は「ドメイン名 (NetBIOS 名)」は「DOMAIN」となります。

3 参加するドメインコントローラーの「ドメインコントローラー名」を確認します。
「ドメインコントローラー名」は、ドメインコントローラーから確認します。
(以下は Windows 2003 Server の例)
① [スタート] → [管理ツール] → [Active Directory ユーザーとコンピュータ] を開きます。
②左のツリー表示より、[Domain Controller] をクリックし、右側に表示されるものが「ドメインコントローラー名」になります。

4 Administrator パスワードを変更します。
※ Active Directory の仕様により、Administrator パスワードが１度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。

5 本製品の LAN ポートに Active Directory の構成されたネットワークへの LAN ケーブルを接続してください。

6 本製品の設定画面を開き、［ネットワーク］ タブ→ [TCP/IP 設定] ボタンをクリックします。

7 [DHCP 有効 / 無効] で [手動で設定する (DHCP 無効)] 選択し、以下の設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	ドメインコントローラーにアクセス可能な値を設定します。
DNS サーバー	ドメインコントローラーの IP アドレスを入力します。 ※ Active Directory の名前解決が行える DNS サーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、その DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

8 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

9 本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックします。

10 Microsoft ネットワーク設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

参加方法の設定	[Active Directory] を選択します。
ドメイン名 (NetBIOS 名)	手順 2 でメモした [ドメイン名 (NetBIOS 名)] を入力します。 ドメインが「domain.local」の場合は、「DOMAI N」となります。
ドメイン名 (フル DNS 名)	手順 2 でメモした [ドメイン名 (フル DNS 名)] を入力します。 ドメインが「domain.local」の場合は、「domain.local」となります。
ドメインコントローラー名	手順 3 でメモした [ドメインコントローラー名] を入力します。
管理者ユーザー名	Active Directory の Administrator 権限を持ったユーザー名を入力します。
管理者パスワード	[管理者ユーザー名] で指定したユーザーのパスワードを入力します。
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、その WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

11 内容を確認し、[OK] ボタンを押します。
しばらくすると、結果画面が表示されます。

以上で設定は完了です。

ご注意

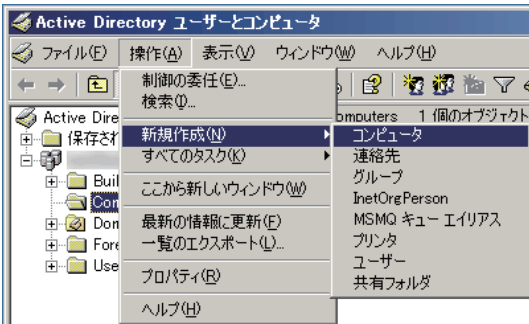
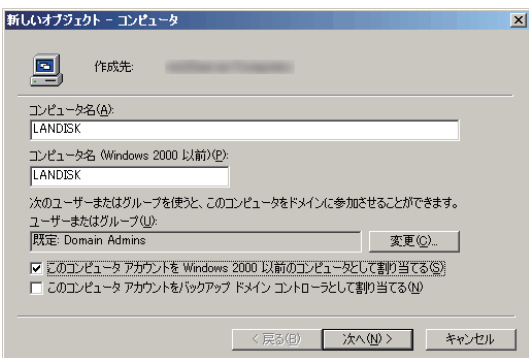
- ドメインコントローラーへの名前解決が行える DNS サーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、その DNS サーバーアドレスを入力します。
- ワークグループ、NT ドメイン、Active Directory の参加方法を切り替えるとそれまで使用していたアクセス権が設定されている共有（ユーザー共有、グループ共有）が利用できなくなります。あらかじめデータをバックアップした後に各参加方法へ切り替えるか、共有のアクセス権を「全てのユーザー」に変更してください。全てのユーザーがアクセスできるよう設定されていた共有フォルダーは Active Directory ログオン後もそのままご利用いただけます。
- Active Directory の仕様により、Administrator パスワードが 1 度も変更されていない場合、ログオンに失敗します。Administrator パスワードを変更してから設定してください。
- ドメインコントローラーの時刻設定と LAN DISK の時刻設定が 5 分以上離れているとログオンは失敗します。両者の時刻設定を合わせてから設定を行ってください。

NT ドメインにログオンする

ここでは、本製品で NT ドメインログオン機能を使用する手順について説明します。
NT ドメインログオン機能を利用する場合は、前もってサーバー（ドメインコントローラー）へ本製品の登録が必要です。
ここでは、Windows Server 2003 の例を示します。
Windows Server 2003 に本製品を登録後、本製品のドメインを設定します。

1 サーバー（ドメインコントローラー）の画面より、[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[Active Directory ユーザーとコンピュータ]をクリックします。

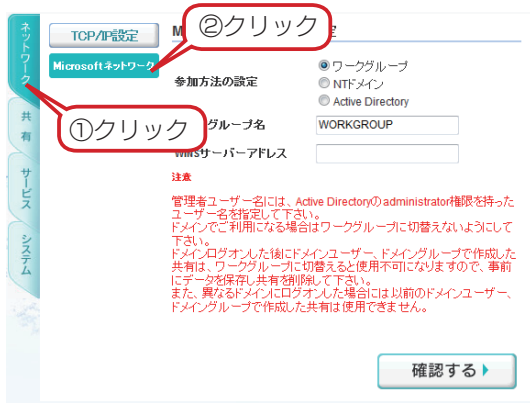
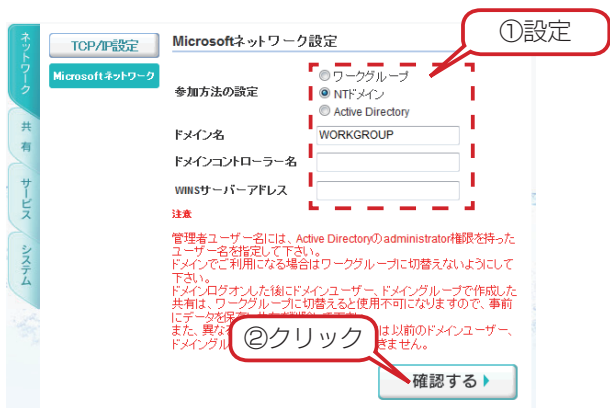
2 表示された画面で [Computers] をクリックします。

3 [操作]→[新規作成]→[コンピュータ]をクリックします。

4 サーバーに本製品を登録します。
① [コンピュータ名] に本製品の名前を入力します。
② [このコンピュータアカウントを Windows 2000 以前のコンピュータとして割り当てる] にチェックを付けます。
③ [次へ] ボタンをクリックします。

5 本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ→[TCP/IP 設定] ボタンをクリックします。

6 [DHCP 有効 / 無効] で [手動で設定する (DHCP 無効)] 選択し、以下の設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

項目	説明
IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	ドメインコントローラーにアクセス可能な値を設定します。
DNS サーバー	ドメインコントローラーの IP アドレスを入力します。 ※ Active Directory の名前解決が行える DNS サーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、その DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

7 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

8	本製品の設定画面を開き、［ネットワーク］タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックします。

9	Microsoft ネットワーク設定をして、[確認する] ボタンをクリックします。

参加方法の設定	[NT ドメイン] を選択します。
ドメイン名	ドメイン名を入力します。
ドメインコントローラー名	ドメインコントローラー名を入力します。
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、その WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

10	内容を確認し、[OK] ボタンを押します。 しばらくすると、結果画面が表示されます。

以上で設定は完了です。

ご注意

- ●ドメインユーザー名、ドメイングループ名に本製品で使用できない文字が含まれている場合は、そのドメインユーザー / ドメイングループは、共有の作成時表示されません。
  詳しくは、【文字制限一覧】(22-141 ページ) をご確認ください。
- ● NT ドメイン機能をご使用になる場合は、Active Directory は「混在モード」の必要があります。ネイティブモードの場合は本製品の「Active Directory 機能」をご使用ください。
- ●サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除し、再度手順 1 から設定を行ってください。

UPS 装置を接続する

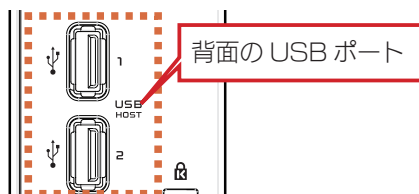
UPS 装置の接続を確認する

UPS 装置を本製品の USB ポートに接続し、UPS 装置の接続を確認します。

ご注意

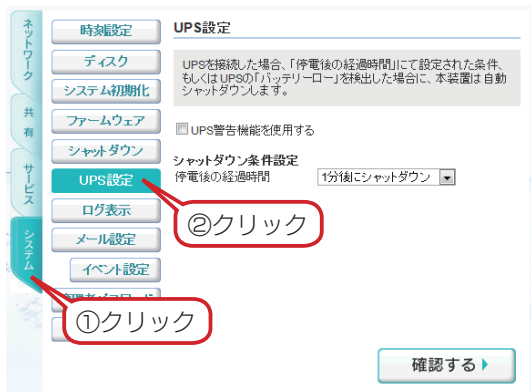
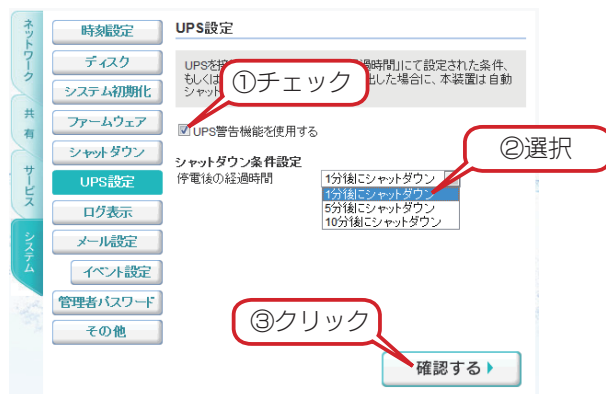
- ●本製品の電源が入っていても入っていなくても接続できます。
- ●あらかじめ、接続する USB ポートを [net.USB] 以外に設定しておく必要があります。
  USB ポート設定の変更方法は、【USB ポートの動作モードを変更する】（6-73 ページ）をご覧ください。
- ●本製品に接続できる UPS 装置については、弊社ホームページをご覧ください。

1 UPS の電源を入れ、UPS が起動することを確認します。

2 本製品背面の USB ポートに UPS を接続します。
USB ポート 1、2 のどちらにでも接続できます。

UPS の接続状態を確認する

UPS 警告機能を有効にする

本製品の起動時や運用時に、UPS の接続が確認できない場合に、ブザーとランプで警告するようにします。

1 設定画面の [システム] タブ→ [UPS 設定] をクリックします。

2 [UPS 警告機能を使用する] にチェックを付け、[シャットダウン条件] を選択してから、[確認する] ボタンをクリックします。

3 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

システムを管理する

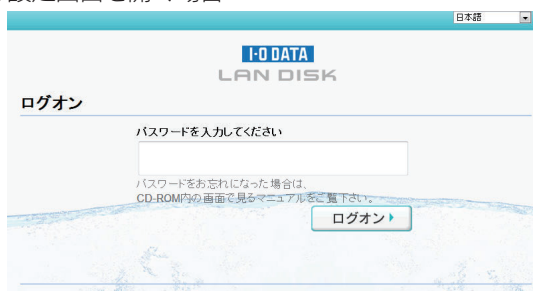
管理者パスワードを変更する

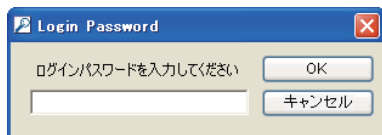
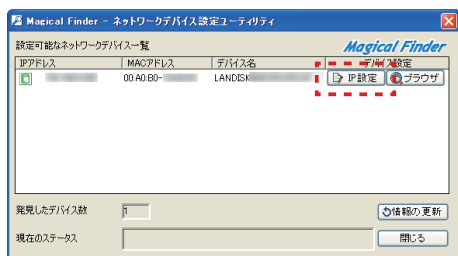
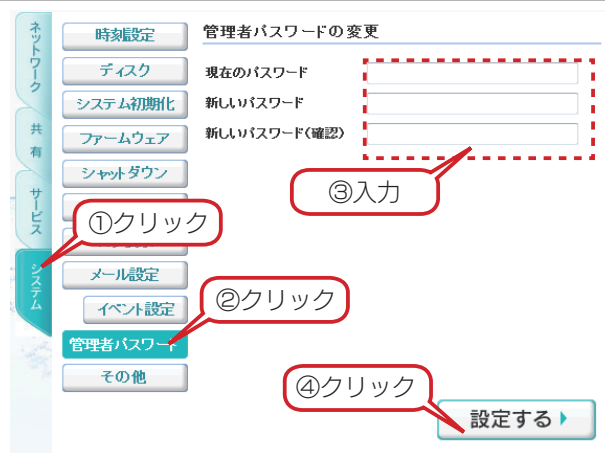
管理者は本製品の設定すべてや、すべての共有（全共有、ユーザー共有）にアクセスできる権限を持っています。
ここでは、管理者用の本製品設定時のパスワードの設定手順について説明します。
※すべての共有にアクセスできるのは Windows からのみです。
　他の人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的にパスワードを変更するようにしましょう。

ご注意

●パスワードは忘れないようしっかり管理しましょう。パスワードを忘れた場合、設定画面を開けなくなります。
　その状態からパスワードを再設定するには、本製品のリセットが必要です。
【方法１　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（20-135 ページ）
●出荷時は、パスワード設定されていません。

管理者パスワードは以下の場合に使用します。

・本製品の設定画面を開く場合

・管理者として共有フォルダーにアクセスする際のパスワード
　※すべての共有にアクセスできるのは Windows からのみです。

・「Magical Finder」から「IP 設定」画面を開く場合

1 本製品の設定画面の［システム］タブをクリックし、［管理者パスワード］をクリックします。
「現在のパスワード」と「新しいパスワード」「新しいパスワード（確認）」を設定後、［設定する］ボタンをクリックします。

現在のパスワード	管理者の現在のパスワードを入力します。 ※出荷時の場合は、設定されていません。（空欄のままにします。）
新しいパスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード（確認）	確認のため管理者の新しいパスワードをもう一度入力します。

ご注意

●パスワードで使用できる文字には、以下の制限があります。
【文字制限一覧】（22-141 ページ）をご覧ください。
●入力するパスワードは、「●●●●●」と表示され、確認できませんので、お間違えないようご注意ください。

2 ［結果］の画面が表示されます。

以上で管理者用パスワードの設定は終了です。

ファームウェアを更新する

ファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。

http://www.iodata.jp/lib/

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。
定期的に弊社サポートライブラリ（http://www.iodata.jp/lib/）を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。
ここでは、ファームウェアの更新手順について説明します。

ご注意

●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。

●ファームウェアの更新後、本製品は自動的に再起動します。再起動完了時、STATUS ランプが緑色で点灯します。

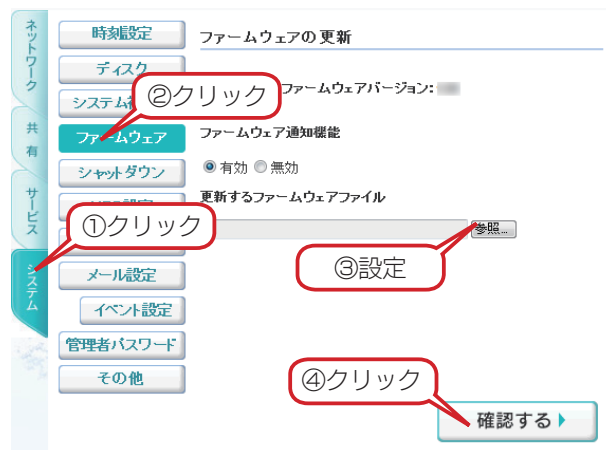
●完全にファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認するか、パソコンと本製品を 1 対 1 で接続して実行してください。

●ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。

●ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、ブラウザーのキャッシュのクリアを行ってください。

ファームウェア通知機能について

本製品は、最新ファームウェアを自動的にチェックし通知する機能を搭載しています。（出荷時設定：有効）
インターネット上の弊社ホームページへの接続が可能な場合、定期的（起動時と 1 日 1 回の 2 つのタイミング）に最新ファームウェアが公開されていないか自動的にチェックをおこない通知します。
最新ファームウェアが公開されている場合、本製品の STATUS ランプが緑点滅（ゆっくり）します。（[ファームウェアの更新] 画面でも、「新しいファームウェアが公開されています。」というメッセージが表示されます。）
本製品の STATUS ランプが緑点滅（ゆっくり）となっている場合は、ファームウェアの更新を行ってください。
※ファームウェア更新の通知を示す STATUS ランプの緑点滅（ゆっくり）は、電源ボタンを短押しすると止まります。

1 本製品の設定画面の [システム] タブをクリックし、[ファームウェア] ボタンをクリックします。
[参照] ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイル名 (update.tgz.enc) を設定し、[確認する] ボタンをクリックします。

2 本製品の STATUS ランプが点滅を開始します。
更新後、本製品が再起動します。
（再起動後に設定画面は自動で変わりません。）
※ファームウェアのファイルサイズおよび本製品の状態により変化しますが、4 ～ 5 分程度かかります。

以上でファームウェアの更新（アップデート）は終了です。

更新後の確認方法

① STATUS ランプが点灯状態に戻ったことを確認後、設定画面を開き直します。
② [システム] タブ→ [ファームウェア] をクリックします。
③現在のファームウェアのバージョン表示が新しいバージョンであることを確認します。

システムログを確認する

本製品の動作履歴がログ情報として記録されています。

1	設定画面の [ログ表示] をクリックします。 システムログが表示されます。 ※以下の画面は一例です。ご利用環境により、表示される内容は異なります。

▼

▼ログ

日付、時間	ログを記録した日時を表示します。
メッセージ	ログ内容を表示します。 ログ内容の詳細については、【ログ一覧】(22-143 ページ)をご覧ください。

ご注意

●ログ情報は、以下のような状況のときに削除されます。

・ログのサイズが一定のサイズを超えた場合

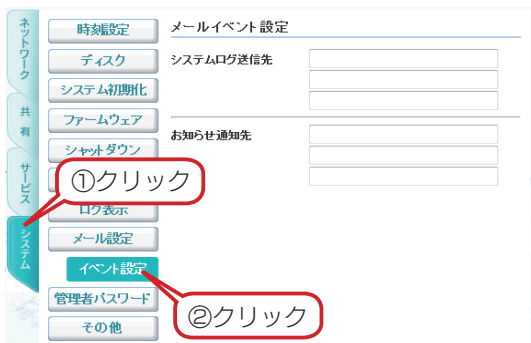
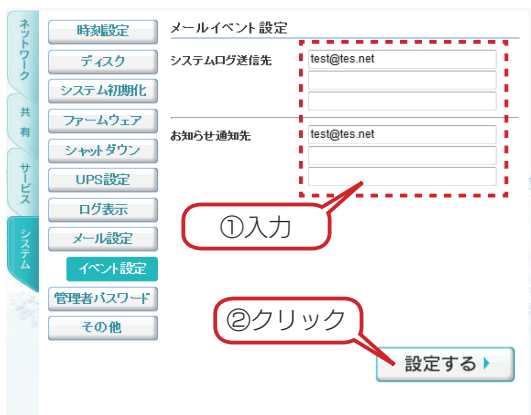
・メール通知の設定で [通知する] にチェックしていて、ログメールが送信された後

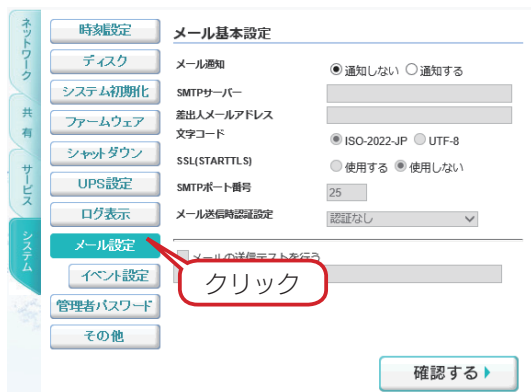
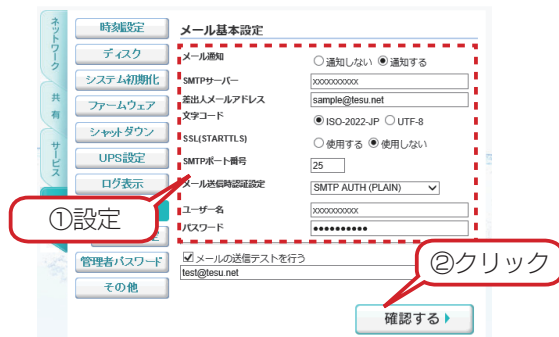
※システムログをメール送信する設定については、【メールを送信する】(19-128 ページ)をご覧ください。

●メッセージが一行で表示しきれない場合は省略表示となります。この場合、文字の上へマウスカーソルを移動すれば、メッセージ全体が表示されます。

メールを送信する

システムログや、お知らせの情報をメール送信することができます。
※システムログの一覧は、【ログ一覧】(22-143 ページ)をご覧ください。
※お知らせの一覧は、【お知らせメール一覧】(22-146 ページ)

1 本製品の設定画面の [システム] タブをクリックし、[イベント設定] ボタンをクリックします。

2 送信先メールアドレスを入力後、[設定する] ボタンをクリックします。
メール送信先を変更する場合は、入力し直して [設定する] ボタンをクリックしてください。

システムログ送信先	システムログを送信する送信先のメールアドレスを入力します。 ※メール送信先は、3 宛先までです。
お知らせ通知先	エラー通知、バックアップの正常終了 / 失敗などを通知するメールアドレスを入力します。 ※メール送信先は、3 宛先までです。

3 [メール設定] ボタンをクリックします。

4 メール送信機能全般の設定をし、[確認する] ボタンをクリックします。

▼メール基本設定

メール通知	[通知する] を選びます。
SMTP サーバー	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダーや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定します。
文字コード	メールの本文のエンコード方式を指定します。 ※通常は、「ISO-2022-JP」を選んでください。
SSL(STARTTLS)	SSL 暗号化通信を使用する / しないを選びます。 ※使用する場合の暗号化方式はSTARTTLS です。
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を入力します。
メール送信時認証設定	メール送信時の認証方式を選びます。
ユーザー名	プロバイダや会社などで、取得したアカウント名を入力します。
パスワード	プロバイダや会社などで、メールアドレス取得時のパスワードを入力します。
メール送信テストを行う	テストメールの送信先を入力します。

Gmail を利用する場合

Gmail のアカウント設定をした後、本製品のメール基本設定をしてください。

● Gmail のアカウント設定(2015 年 6 月時点の手順例)

次の設定 1 または 2 のどちらかを設定します。

○設定 1:[安全性の低いアプリの許可] を有効に設定

Google アカウントでログイン後、[アカウント情報] の [ログインとセキュリティ] から、[接続済みのアプリとサイト] の [安全性の低いアプリの許可] を有効にします。

○設定 2:2 段階認証プロセスを設定

※ 2 段階認証プロセスを設定すると、他の Google アプリ用のパスワードの生成や設定など更に作業が必要になる場合があります。

① Googleアカウントでログイン後、[アカウント情報] の [Google へのログイン] から、[パスワードとログイン方法] の [2 段階認証プロセス] を有効に設定します。

② Googleアカウントでログイン後、[アカウント情報]の［Google へのログイン］から、［パスワードとログイン方法］の［アプリのパスワード］で、本製品用のパスワードを生成します。

●本製品のメール基本設定

メール通知	[通知する] を選びます。
SMTP サーバー	smtp.gmail.com
差出人メールアドレス	任意のメールアドレス （通常は Gmail のメールアドレス） ※送信されたメールの From: は Gmail のメールアドレスになります。
文字コード	[UTF-8] または [ISO-2022JP]
SSL(STARTTLS)	使用する
SMTP ポート番号	587
メール送信時認証設定	[SMTP AUTH(PLAIN)] または [SMTP AUTH(LOGIN)]
ユーザー名	Google アカウントのユーザー名
パスワード	Google アカウントのパスワード （2 段階認証の場合、接続用に生成したパスワード）

5	確認画面が表示されますので、間違いがなければ、[OK]ボタンをクリックします。

6	「設定が完了しました。」と表示されます。 メールの送信テストにチェックをつけていた場合、テストメールが送信されます。 メール受信側のパソコンでは、以下のようなメールが届きます。 ※表示はお使いのメーラーにより異なります。

▼件名

▼内容

差出人: LANDISK 宛先:
件名: [LANDISK-]テストメール 日時: 29 Oct 2007 22:11:11 +0900
テストメールの送信に成功しました。

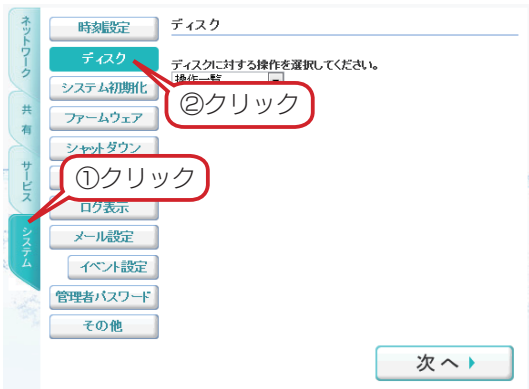
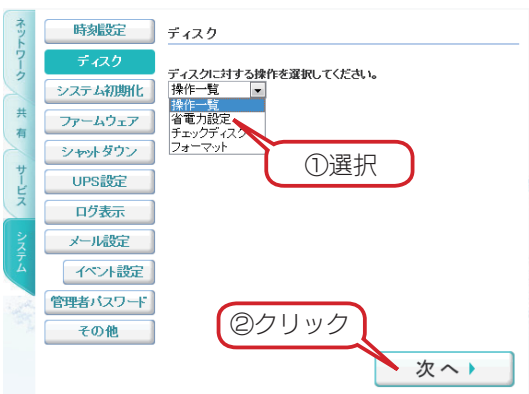
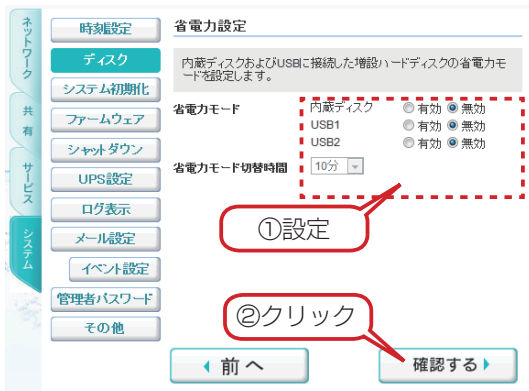
これでシステムログ情報のメール送信設定は終了です。

ご注意

システムログは、LAN DISK 内のログが一定の大きさを超えた場合に送信されます。

省電力機能を使う

ここでは、ハードディスクの省電力機能の設定について説明します。
ハードディスクを省電力設定にすることにより、一定時間アクセスがなければ内蔵ハードディスクの回転を停止します。
これにより電力消費を抑えることができます。
また、USB に接続した増設ハードディスクの省電力設定も行うことができます。

1 設定画面の [システム] タブをクリックし、[ディスク] ボタンをクリックします。

2 [省電力設定] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

3 省電力設定を選択し、[確認する] ボタンをクリックします。

▼**ディスクの省電力設定**

省電力モード設定	内蔵ディスク	内蔵ディスクの省電力モードの有効 / 無効を設定します。
	USB 1	USB 1 に接続したハードディスクの省電力モードの有効 / 無効を設定します。
	USB 2	USB 2 に接続したハードディスクの省電力モードの有効 / 無効を設定します。
省電力モード切換時間	省電力モードにするまでの時間を変更できます。(初期値は「10 分」です。)	

ご注意

●設定時間内にハードディスクにアクセスしなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクは停止しません。
また、ハードディスク停止中に本製品にアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクが回転する場合があります。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

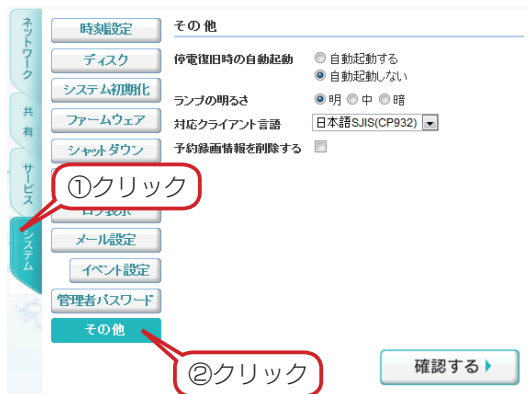
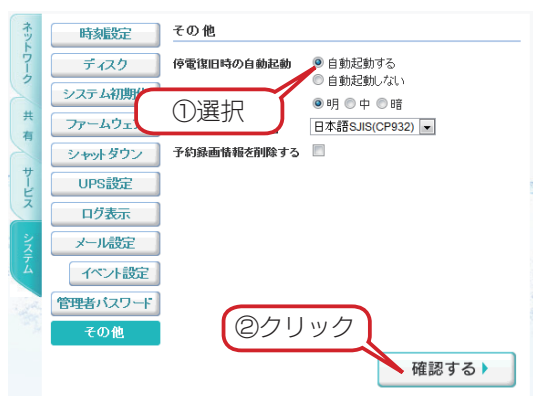
これで、省電力設定は完了です。

ご注意

●本製品を DHCP クライアントモードでご使用の場合、アドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピンアップします。
また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。
DHCP サーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピンアップ間隔も長くできます。
●本製品の Remote Link 2 設定が有効である場合、省電力機能は使用できません。

停電復旧時に自動起動する

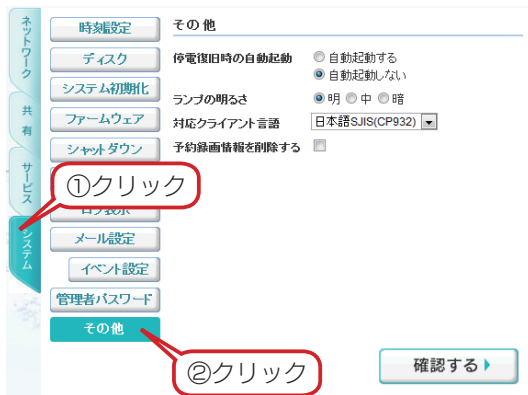
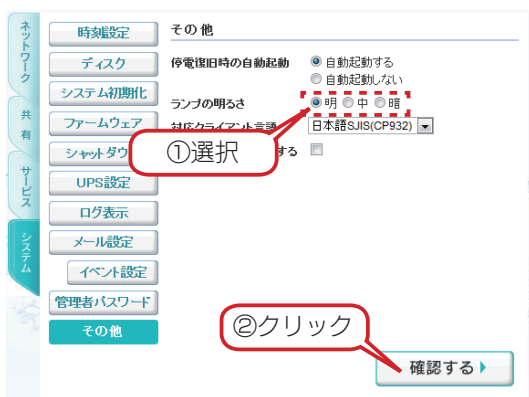
停電から復旧したときに、本製品を自動起動するかどうかを設定します。（出荷設定：自動起動しない）
UPS と併用すると停電時自動シャットダウンし、停電から復旧した時に自動起動させることができます。
以下は、停電復旧時の自動起動の設定を行う場合の例です。

1 設定画面の [システム] タブをクリックし、[その他] ボタンをクリックします。

2 [停電復旧時の自動起動] で [自動起動する] を選択し、[確認する] ボタンをクリックします。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、停電復旧時の自動起動の設定は完了です。

ランプの明るさを設定する

STATUS ランプの明るさを設定します。
（出荷時設定：明）

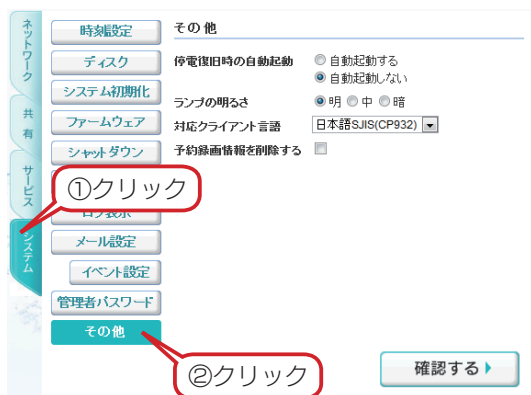
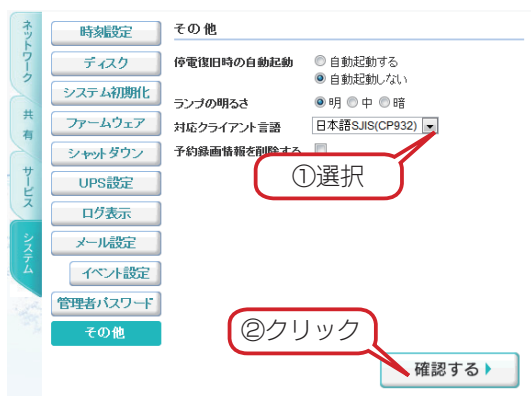
1	設定画面の [システム] タブをクリックし、[その他] ボタンをクリックします。

2	[ランプの明るさ] で明るさを選択し、[確認する] ボタンをクリックします。

明	最も明るい設定です。
中	若干明るさを抑えた設定です。
暗	最も暗い設定です。

3	設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これでランプの明るさの設定は完了です。

対応クライアント言語を変更する

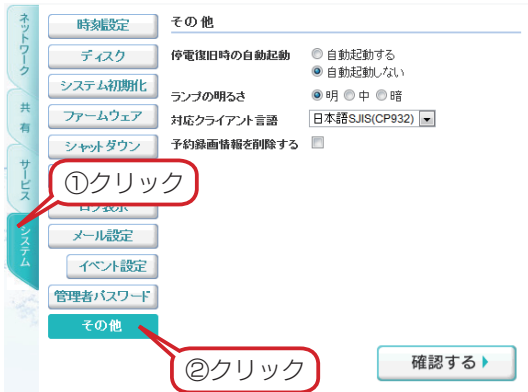
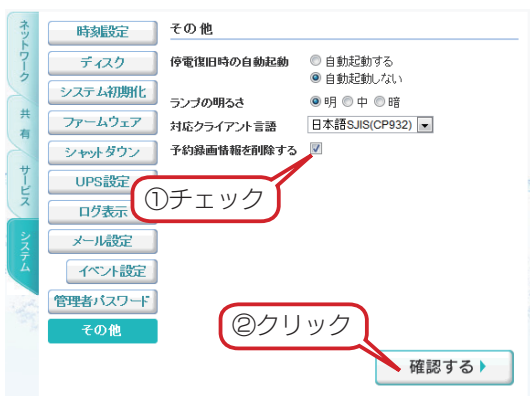
LAN DISK に接続するパソコンの言語を本製品に設定します。（出荷時設定：日本語 SJIS(CP932)）
※設定画面の表示言語を日本語から他言語へ変更した場合の使用は、サポート対象外となります。

1	設定画面の [システム] タブをクリックし、[その他] ボタンをクリックします。

2	[対応クライアント言語] で本製品に接続するパソコンの言語を選択し、[確認する] ボタンをクリックします。

3	設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、本製品の言語の設定は完了です。

予約録画情報を削除する

スカパー！プレミアムサービスチューナーを初期化した場合など、チューナー側の予約録画情報と本製品の予約録画情報に差異が生じた場合、本製品の予約録画情報を削除し、チューナー側で録画予約を設定しなおす必要があります。
この場合に、本製品の予約録画情報を削除します。

1 設定画面の [システム] タブをクリックし、[その他] ボタンをクリックします。

2 [予約録画情報を削除する] にチェックし、[確認する] ボタンをクリックします。

3 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、本製品の予約録画情報の削除は完了です。
チューナー側で、録画予約をしなおしてください。

出荷時設定に戻す

出荷時設定への戻し方

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。
・本製品の IP アドレスがわからなくなった場合
・管理者の情報（[管理者パスワード]）がわからなくなった場合
本製品の出荷時設定への戻し方には 2 通りの方法があります。

方法1　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

本製品背面の RESET ボタンで IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。
初期化される項目は下記の2つのみです。

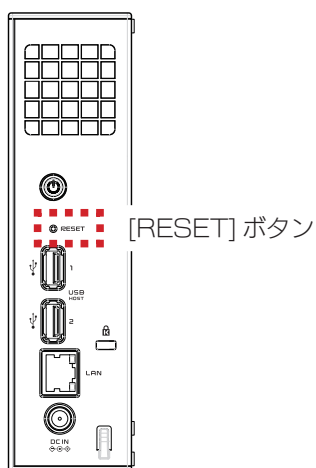
IP アドレス	［DHCP クライアント］設定を［on］にします。 IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定します。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

ご注意
●上記以外のすべての設定情報は変更されません。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
●ネットワークに接続したまま行うことができます。

1 本製品の電源が入っていること（STATUS ランプが点灯していること）を確認します。
電源が入っていない場合は、電源を入れます。

ご注意
●初期化は、本製品の電源が入っている状態で行います。
● STATUS ランプ緑点滅中には、初期化しないでください。

2 本製品背面の RESET ボタンを先の細いもので約 1 秒以上、STATUS ランプが緑点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。

[RESET] ボタン

3 STATUS ランプが緑点灯するまでお待ちください。

これで IP アドレスと管理者パスワード、フレームサイズが初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

方法２　本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面の［システム初期化］で本製品のすべての設定を出荷時設定にもどし（初期化）、さらに、内蔵ハードディスクをフォーマットします。

初期化される項目は下記のとおりです。

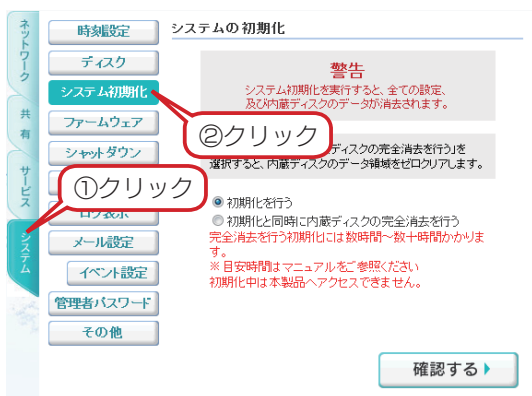
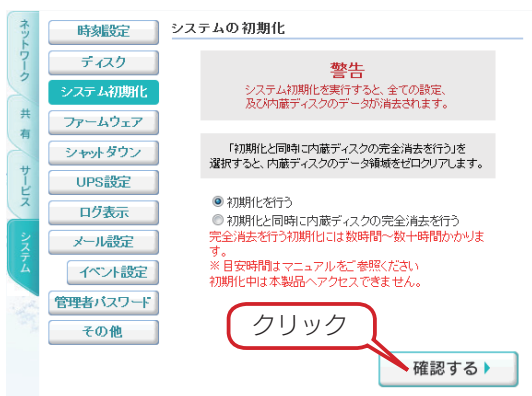
・すべての装置設定

・内蔵ハードディスクの全データ

※ HDL-A1.0 の場合で約３分かかります。（製品のモデル容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。ご使用のモデルにあわせ目安としてください。）

ご注意

事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。

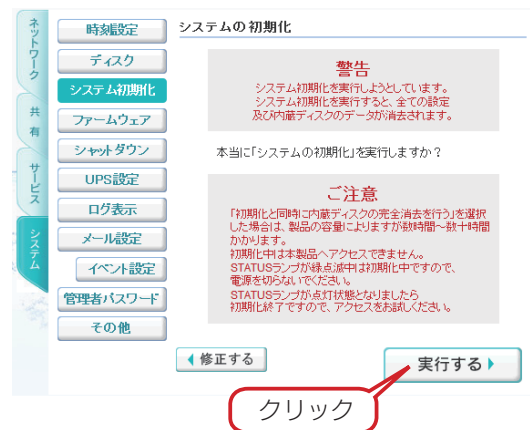
1　本製品の設定画面の［システム］タブをクリックし、［システム初期化］ボタンをクリックします。

2　内容を確認し、［確認する］ボタンをクリックします。

ご注意

［初期化と同時に内蔵ディスクの完全消去を行う］をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、すべてのデータ領域に０（ゼロ）を書き込みます。

本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。

・HDL-A1.0：約３時間

（製品のモデル容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。ご使用のモデルにあわせ目安としてください。）

3　［実行する］ボタンをクリックします。

4　システム初期化が開始されます。
自動的に本製品の再起動を行いますので、Web ブラウザーを閉じ、本製品の STATUS ランプの点滅が終わるまでお待ちください。

ご注意

●結果画面が表示された後、自動的に本製品が再起動しますが、再起動後にもシステム初期化処理を続行しています。
STATUS ランプが緑点灯になるまで、そのまましばらくお待ちください。

●システム初期化処理中に電源を切ると、本製品が正常に起動しなくなります。
STATUS ランプが緑点灯になるまで、何も操作しないでください。

これですべての設定が初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

ランプ・ブザー別の対応

ランプやブザーによって、現在の状態や操作が正常か、あるいは、エラーが発生しているかを知ることができます。

ランプの表示

STATUS ランプ	緑点灯	正常に使用可能な状態であることを示します。
	緑点滅	システムが起動中、またはシステム設定処理を行っている状態であることを示します。 ※システム処理中は同時に他の設定の変更を行うことはできません。 ※ディスクに対する操作（フォーマット）の実行中は、共有サービスが停止しており、共有フォルダーのファイルにアクセスすることはできません。
	緑点滅 (ゆっくり)※1	新しいファームウェアバージョンが存在していることを通知しています。 ※本製品がインターネット接続環境につながっている必要があります。
	橙点灯	スカパー ! プレミアムサービスチューナーから録画中、または DTCP-IP 対応機器からのダビング中であることを示します。
	赤点灯※2	USB ハードディスクの接続失敗など、エラーが発生したことを示します。
	赤点滅	本製品にとって重大な問題が発生していることを示します。
	消灯	本製品の電源が入っていないことを示します。

※１　ファームウェア更新の通知を示す STATUS ランプの緑点滅（ゆっくり）は、電源ボタンを短押しすると止まります。
※２　軽微なエラーの発生を示す STATUS ランプの赤点灯は、電源ボタンを短押しすると止まります。

ブザーによる状態通知

状態・操作	ブザー	STATUS ランプ	状態
電源投入後	ピポ	緑点滅	システム起動中です。
	ピピピ（繰り返し）	赤点滅	システム起動不能状態です。 いったん電源を切り、再度同じ状態の場合は、修理を依頼してください。
システム起動直後	ピー	緑点灯	正常起動完了です。
	ピー (３回)	緑点灯	IP アドレスの取得に失敗しました。固定の IP を設定するか、本製品を接続したルーターが正常に起動していることを確認後、再度電源を入れなおしてください。
使用中	ピー (３回)	赤点灯	本製品でエラーが発生したことを示します。本製品の「ログ表示」を確認してください。
	ピー（繰り返し）※	赤点滅	本製品の温度が異常となりました。 ※安全のため、５分程度で本製品の電源が自動的に切れます。
設定操作を実行中	なし	緑点滅	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。 STATUS ランプ点滅中は設定画面による操作はできません。
設定完了時	ピッ	緑点灯	設定変更が完了しました。

※　ブザーは、電源ボタンを軽く押すと停止します。

USB 機器の接続時

状態・操作	ブザー	STATUS ランプ	状態
USB 機器接続直後	ピー（３回）	赤点灯	使用できない USB 機器を接続しました。
デジカメコピー実行中	なし	緑点滅	デジカメコピーを実行しています。
デジカメコピー終了	ピッ（３回）	緑点灯	デジカメコピーが正常終了しました。
デジカメコピー異常終了	ピー（３回）	赤点灯	デジカメコピーが異常終了しました。
バックアップ終了	ピッ（３回）	緑点灯	バックアップが正常終了しました。
バックアップ異常終了	ピー（３回）	赤点灯	バックアップが異常終了しました。

仕様

ハードウェア仕様

<table>
<tr><td rowspan="12">インターフェイス</td><td rowspan="7">LAN
インターフェイス</td><td>転送規格</td><td>1000BASE-T /100BASE-TX/10BASE-T</td></tr>
<tr><td>最大転送速度</td><td>1000/100/10Mbps</td></tr>
<tr><td>コネクター</td><td>RJ-45x1</td></tr>
<tr><td>アクセス方法</td><td>CSMA/CD</td></tr>
<tr><td>MDI/MDI-X</td><td>自動切換</td></tr>
<tr><td>Wake On LAN 機能</td><td>対応</td></tr>
<tr><td>適合ケーブル</td><td>UTP カテゴリ 5e 以上、100m 以下</td></tr>
<tr><td rowspan="5">USB ポート</td><td>転送規格</td><td>USB2.0(1.1 含む)</td></tr>
<tr><td>最大転送速度</td><td>480Mbps</td></tr>
<tr><td rowspan="3">コネクター</td><td>USB A コネクター x 2</td></tr>
<tr><td>※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td rowspan="13">ネットワーク</td><td colspan="2">ファイルサーバー機能</td><td>DLNA 共有機能（DiXiM DMS3)
Windows ファイルサービス (Samba)
Mac OS ファイルサービス（AppleShare)
FTP ファイルサービス
iTunes 共有機能</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応プロトコル</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応規格</td><td>DLNA1.5、DTCP-IP1.2</td></tr>
<tr><td colspan="2">同時録画 / 再生 / ダビング数</td><td>2 ストリームまで</td></tr>
<tr><td rowspan="6">クライアント設定</td><td>最大ユーザー数</td><td>100</td></tr>
<tr><td>最大グループ数</td><td>100</td></tr>
<tr><td>最大グループメンバー数</td><td>100</td></tr>
<tr><td>作成可能な共有数</td><td>100</td></tr>
<tr><td rowspan="2">同時接続台数</td><td>Windows：接続制限なし（推奨接続台数：16 台)</td></tr>
<tr><td>Mac OS：同時に 16 台まで接続可能（推奨接続台数：8 台)</td></tr>
<tr><td colspan="2">IP アドレス設定</td><td>自動取得 (DHCP クライアント機能)
手動設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">時刻合わせ</td><td>NTP 対応 (内蔵電池による時刻保持にも対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他機能</td><td colspan="2">省電力機能</td><td>省電力モード搭載</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジカメコピー機能</td><td>マスストレージ、PTP 両対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">UPS 対応</td><td>APC 社製 UPS、OMRON 社製 UPS ※1</td></tr>
<tr><td rowspan="7">一般仕様</td><td rowspan="2">電源</td><td>定格</td><td>DC12V　1.1A（TYP)</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>36W（最大)、17W（平均)</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>約 45(W) x 138(D) x 168(H) mm(突起部除く)</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 1.2kg(本体のみ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度範囲（℃)</td><td>5 ～ 35</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用湿度範囲（%)</td><td>20 ～ 85(結露無きこと)</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置方向</td><td>縦置き / 横置き</td></tr>
</table>

※１　対応機種については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

動作環境

本製品は、「LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP が正常に動作する機器」に対応しています。

また、以下の OS でご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただいております。

※最新の対応機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

サポート対象機種・OS

機種	OS	
DOS/V マシン	Windows 10※1※2	Windows 8.1 (32/64ビット)※1※2
	Windows 8(32/64ビット)※1※2	Windows 7(32/64ビット)
	Windows Vista(32/64ビット)	Windows XP
	Windows Server 2012/R2※3※4	Windows Server 2008/R2※4※5
	Windows Server 2003 SP1/R2※4※6	Windows RT※1※2※7
Apple Macintosh シリーズ	Mac OS X 10.5 ～ 10.11※8	

※ 1 設定画面は、デスクトップモードで、Internet Explorer の互換モードを有効にしてご利用ください。

※ 2 Windows にて Microsoft アカウント (@ が含まれるアカウント) で使用される場合は、こちらをご確認ください。

※ 3 Standard のみ対応、フルインストールのみ対応。

※ 4 本製品上に作成した共有フォルダーへのアクセス、および NT ドメインログオン・Active Directory ログオン機能のみ対応し、添付ソフトウェア、Web ブラウザーによる設定画面操作等その他機能はサポート対象外です。

Windows Server 2003 系（共有アクセス、NT ドメイン、Active Directory に対応）

Windows Server 2008 系（共有アクセス、Active Directory のみ対応）

※ 5 Standard/Enterprise のみ対応、Server Core モードには対応していません。

※ 6 Standard（32 ビット）/Enterprise（32 ビット）のみ対応。

※ 7 Windows ファイル共有サービス、Web ブラウザーによる操作（Remote Link2 機能含む）のみ対応しています。

※ 8 Mac OS X 10.11 では、net.USB 機能はご利用いただけません。

※対応 OS は、日本語版のみとなります。

※設定画面の表示言語を日本語以外に変更した場合、サポート対象外となります。

※ファームウェア、サポートソフトは最新版をご利用ください。

テレビ、チューナー	
弊社ホームページでご確認ください。	http://www.iodata.jp/dtcpip/

携帯端末	OS
iPhone / iPad / iPod touch	iOS 4.2 ～ 9.0
Android 搭載スマートフォン	Android 2.1 ～ 6.0

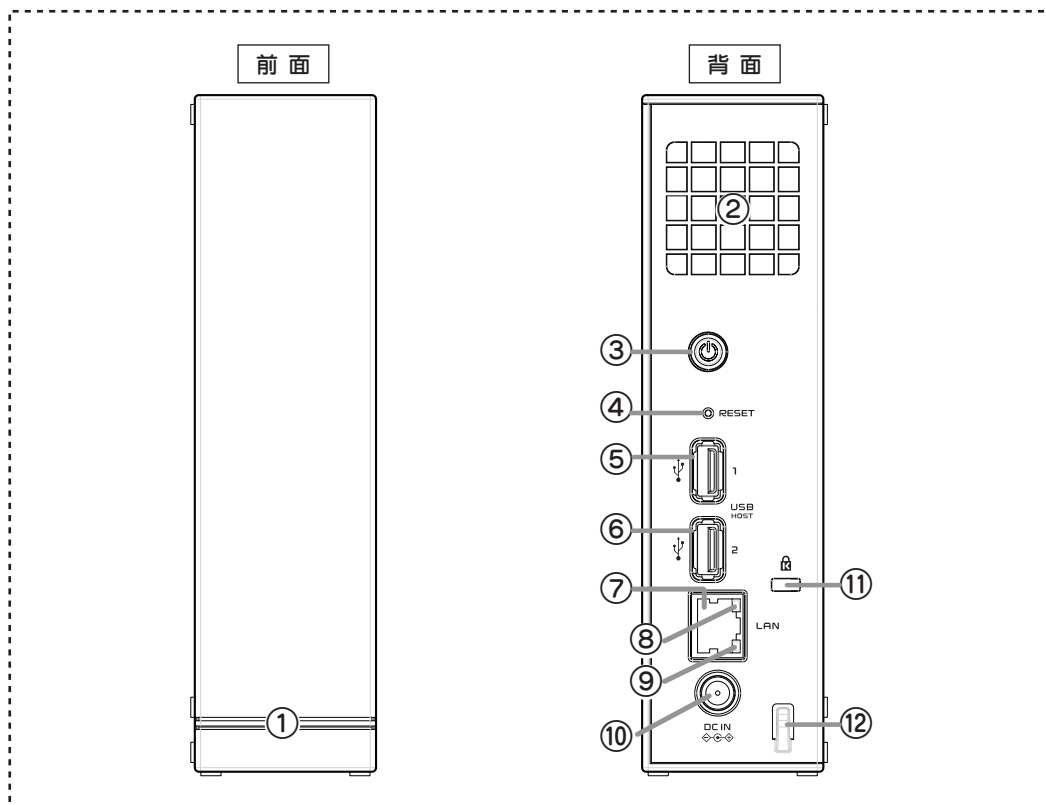
※「Remote Link 2」機能を使用します。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンの Web ブラウザーが必要です。

- Internet Explorer バージョン 7 ～ 11
- Safari バージョン 3.0 ～ 9.0

※一部の設定は、対応テレビに搭載の Web ブラウザーに対応しています。

各部の名称・機能

名称	機能・状態	
① STATUS ランプ	【ランプ・ブザー別の対応】(21-137 ページ) をご覧ください。	
②ファン	本製品全体を冷却します。ふさがないでください。	
③電源ボタン	本製品の電源を入 / 切します。 ※エラー発生時の STATUS ランプの赤点灯やブザー音は電源ボタンを短押しすると止まります。	
④ RESET ボタン	本製品の IP アドレスと管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。 【出荷時設定に戻す】(20-135 ページ) をご覧ください。	
⑤ USB ポート 1	USB 機器を接続します。 ※動作確認済み機種については、弊社ホームページ (http://www.iodata.jp/) をご覧ください。	
⑥ USB ポート 2		
⑦ LAN ポート	添付の LAN ケーブルを接続します。	
⑧ Link/Act ランプ	点灯	Link 状態
	点滅	Act 状態
⑨ Link Speed ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	緑点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	10BASE-T で接続または未接続
⑩ DC ジャック	添付の AC アダプターを接続します。	
⑪セキュリティースロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑫ケーブルフック	AC アダプターの抜け防止用フックです。引っ掛けて使用します。	

文字制限一覧

各項目には、以下の使用文字の制限があります。

設定画面上での文字制限

<table>
<tr><th rowspan="2">項目名</th><th colspan="3">文字数 (byte)</th><th rowspan="2">使用できる文字</th><th rowspan="2">使用できない文字</th></tr>
<tr><th>最小値</th><th>最大値</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">LAN DISK の名前</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">14</td><td rowspan="2">半角</td><td>英数字（0-9 A-Z a-z）
アンダーバー _
ハイフン -</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※数字で始まる文字列は、使用できません。
※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コメント</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">48</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥˜$:,””|’[]</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">パスワード</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥:,;*<>|’[]=+.`()˜$””/? 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォルダー名</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">半角</td><td>英数字（0-9 A-Z a-z）
アンダーバー _
ハイフン -</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※システム内部で使用されているフォルダー名は、使用できません。（usb1,usb2,remotelink,bittorrent）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォルダーコメント</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">48</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥˜$:,””|’[]</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ユーザー名</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥˜$/:,’;*?””<>|`[]=+.@()#%^!&{} 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※数字のみの文字列は、使用できません。
※アルファベットの大文字は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グループ名</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥˜$/:,’;*?””<>|`[]=+.@()#%^!&{} 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※数字のみの文字列は、使用できません。
※アルファベットの大文字は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ワークグループ名（「参加方法の設定」が「ワークグループ」の時のみ）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,./:;<=>?@[¥]^``{|}˜ 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※「LAN DISK の名前」と同一の文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドメイン名（「参加方法の設定」が「NT ドメイン」の時のみ）</td><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,/:;<=>?@[¥]^``{|}˜</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※「LAN DISK の名前」と同一の文字列は、使用できません。
※ピリオドから始まる文字列は、使用できません。
※ピリオドが連続する文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドメインコントローラーの名前（「参加方法の設定」が「NT ドメイン」の時のみ）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,./:;<=>?@[¥]^``{|}˜ 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※「LAN DISK の名前」と同一の文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドメイン名（NetBIOS 名）（「参加方法の設定」が「Active Directory」の時のみ）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,/:;<=>?@[¥]^``{|}˜</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※「LAN DISK の名前」と同一の文字列は、使用できません。
※ピリオドから始まる文字列は、使用できません。
※ピリオドが連続する文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドメイン名（フル DNS 名）（「参加方法の設定」が「Active Directory」の時のみ）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">155</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,/:;<=>?@[¥]^``{|}˜</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ピリオドで区切られた各フィールドは、63 文字以内です。</td></tr>
<tr><td>ドメインコントローラーの名前（「参加方法の設定」が「Active Directory」の時のみ）</td><td>1</td><td>63</td><td>半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,./:;<=>?@[¥]^``{|}˜ 空白</td></tr>
<tr><td>管理者ユーザー名（「参加方法の設定」が「Active Directory」の時のみ）</td><td>1</td><td>20</td><td>半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>!”#$%&’()*+,./:;<=>?@[¥]^``{|}˜ 空白</td></tr>
<tr><td>管理者パスワード（「参加方法の設定」が「Active Directory」の時のみ）</td><td>0</td><td>20</td><td>半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>”&’<>¥`</td></tr>
<tr><td rowspan="2">WINS サーバーアドレス</td><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)
ピリオド .</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ WINS サーバーの IP アドレス以外の文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バックアップ元ホスト名（ネットワークバックアップ設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">63</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>< > ; : ” * + = ¥ | ? @ , 空白</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※数字のみの文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バックアップ元共有名（ネットワークバックアップ設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">80</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>* | : ” < > ? ¥ , / = + [ ] ; .</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※全角文字が、使用できます。
※空白で始まる文字列は、使用できません。
※空白で終わる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バックアップ元ユーザー名（ネットワークバックアップ設定）</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">84</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥ / ” [ ] : | < > + = ; , ? *</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※全角文字が、使用できます。
※空白で始まる文字列は、使用できません。
※空白で終わる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td>バックアップ元パスワード（ネットワークバックアップ設定）</td><td>0</td><td>127</td><td>半角</td><td>半角文字全て</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">接続名（Remote Link 2 設定）</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">16</td><td rowspan="2">半角</td><td>英数字（0-9 a-z）
ハイフン -</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考 ※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※ハイフン - で終わる文字列は、使用できません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">パスワード（Remote Link 2 設定）</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">半角</td><td>英数字（0-9 a-z）
ハイフン -</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。
※ハイフン - で終わる文字列は、使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポート番号 1（Remote Link 2 設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ポート番号（0-65535）を指定してください。
※ポート番号（0-1023、1024、1900、2049、3260、3689、4700、5353、30000、30001、51065、58080）は、使用できません。
※他のサービスで使われているポート番号は、使用でききません。
※本サービスのポート番号の初期値は、50002 です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポート番号 2（Remote Link 2 設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ポート番号（0-65535）を指定してください。
※ポート番号（0-1023、1024、1900、2049、3260、3689、4700、5353、30000、30001、51065、58080）は、使用できません。
※他のサービスで使われているポート番号は、使用できません。
※本サービスのポート番号の初期値は、50004 です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">受信ポート番号（BitTorrent 設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ポート番号（0-65535）を指定してください。
※ポート番号（0-1023、1024、1900、2049、3260、3689、4700、5353、30000、30001、51065、58080）は、使用できません。
※他のサービスで使われているポート番号は、使用できません。
※本サービスのポート番号の初期値は、6880 です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポート番号（FTP 設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ポート番号（0-19、22-24、26-586、588-1024、1900、2049、3260、3689、4700、5353、30000、30001、51055、51065）は、使用できません。
※他のサービスで使われているポート番号は、使用できません。
※本サービスのポート番号の初期値は、21 です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SMTP ポート番号（メール設定）</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">半角</td><td>数字 (0-9)</td><td>[使用可] 以外</td></tr>
<tr><td></td><td>※ポート番号（0-65535）を指定してください。
※ポート番号（0-19、22-24、26-586、588-1024、1900、2049、3260、3689、4700、5353、30000、30001、51065、58080）は、使用できません。
※他のサービスで使われているポート番号は、使用できません。
※本サービスのポート番号の初期値は、25 です。</td></tr>
</table>

BitTorrent クライアント機能での文字制限（インターネットからの操作）

<table>
<tr><td rowspan="2">項目名</td><td colspan="3">文字数 (byte)</td><td rowspan="2">使用できる文字</td><td rowspan="2">使用できない文字</td></tr>
<tr><td>最小値</td><td>最大値</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">パスワード</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">半角</td><td>[使用不可] 以外</td><td>¥:,;*<>|'[]=+.`()~$""/? 空白</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>※ハイフン - で始まる文字列は、使用できません。</td></tr>
</table>

ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイル名やフォルダー名は、OS により以下の文字までとなっております。

【Windows の場合】 半角 255 文字（全角 85 文字）まで

使用する文字種によっては、上記の数値よりも少なくなる場合があります。

Windows 7、Vista では他の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows 7、Vista と他の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004) 対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をする必要があります。

【Mac OS の場合】 Mac OS X では半角 255 文字（全角 85 文字）まで

ログ一覧

分類	出力形式 (*** は追加メッセージ)	追加メッセージ	内容
パスワード認証	ログオン：***	IP アドレス	ログオンに成功した時に出力されます
	ログオフ：***	IP アドレス	ログオフした出力されます
	ログオン失敗：***	IP アドレス	ログオンに失敗した時に出力されます
管理者パスワード変更	管理者パスワード：変更		管理者パスワードの変更を行った時に出力されます
はじめて設定	はじめて設定：変更		はじめて設定の変更を行った時に出力されます
ネットワーク設定	ネットワーク設定：変更		ネットワーク設定の変更を行った時に出力されます
グループ設定	グループ：登録：***	グループ名	グループの新規登録を行った時に出力されます
	グループ：登録エラー：***	グループ名	グループの新規登録を失敗した時に出力されます
	グループ：変更：***	グループ名	グループの変更を行った時に出力されます
	グループ：変更エラー：***	グループ名	グループの変更を失敗した時に出力されます
	グループ：削除：***	グループ名	グループの削除を行った時に出力されます
	グループ：削除エラー：***	グループ名	グループの削除を失敗した時に出力されます
ユーザー設定	ユーザー：登録：***	ユーザー名	ユーザーの新規登録を行った時に出力されます
	ユーザー：登録エラー：***	ユーザー名	ユーザーの登録を失敗した時に出力されます
	ユーザー：パスワード変更：***	ユーザー名	ユーザーのパスワード変更を行った時に出力されます
	ユーザー：パスワード変更エラー：***	ユーザー名	ユーザーのパスワード変更を失敗した時に出力されます
	ユーザー：削除：***	ユーザー名	ユーザーの削除を行った時に出力されます
	ユーザー：削除エラー：***	ユーザー名	ユーザーの削除を失敗した時に出力されます
共有フォルダー設定	共有フォルダー：作成：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの新規作成を行った時に出力されます
	共有フォルダー：作成エラー：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの新規作成を失敗した時に出力されます
	共有フォルダー：変更：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの設定変更を行った時に出力されます
	共有フォルダー：変更エラー：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの設定変更を失敗した時に出力されます
	共有フォルダー：削除：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの削除を行った時に出力されます
	共有フォルダー：削除エラー：***	共有フォルダー名	共有フォルダーの削除を失敗した時に出力されます
DLNA 設定	DLNA：公開：***	共有フォルダー名	DLNA 公開フォルダーの追加を行った時に出力されます
	DLNA：公開終了：***	共有フォルダー名	DLNA 公開フォルダーの削除を行った時に出力されます
	DLNA：アクセス許可設定：変更		DLNA アクセス許可設定の変更を行った時に出力されます
	DLNA：DLNA 表示設定：変更		DLNA 表示設定の変更を行った時に出力されます
iTunes 設定	iTunes：公開：***	共有フォルダー名	iTunes 公開フォルダーの追加を行った時に出力されます
	iTunes：公開終了：***	共有フォルダー名	iTunes 公開フォルダーの削除を行った時に出力されます
	iTunes：データベース更新：開始		iTunes データベースの更新を開始した時に出力されます
	iTunes：データベース更新：終了		iTunes データベースの更新が終了した時に出力されます
時刻設定	時刻設定：変更		時刻設定の変更を行った時に出力されます
	タイムサーバー：同期：***	サーバーアドレス	タイムサーバーとの同期に成功した時に出力されます
	タイムサーバー：同期失敗：***	サーバーアドレス	タイムサーバーとの同期に失敗した時に出力されます
省電力設定	省電力設定：変更		省電力設定の変更を行った時に出力されます
メール基本設定	メール基本設定：変更		メール基本設定の変更を行った時に出力されます
メールイベント設定	メールイベント設定：変更		メールイベント設定の変更を行った時に出力されます
USB 処理	USB デバイス：接続：***	デバイスタイプ（STOR or PTP）	システム側で USB デバイスの接続処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
	USB デバイス：切断：***	デバイスタイプ（STOR or PTP）	システム側で USB デバイスの切断処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
	USB デバイス：タイムアウト：***	デバイスタイプ（STOR or PTP）	設定処理中に USB デバイスの接続し WAIT 状態となり、その後処理されずタイムアウトとなった場合に出力されます。
	USB デバイス：マウント失敗：***	デバイスタイプ（STOR or PTP）	システム側で USB デバイスのマウントに失敗した時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。
デジカメコピー処理	デジカメコピー：開始		デジカメコピーを開始した時に出力されます
	デジカメコピー：終了		デジカメコピーが正常終了した時に出力されます
	デジカメコピー：異常終了		デジカメコピーが異常終了した時に出力されます
クイックコピー処理	クイックコピー：開始		クイックコピーを開始した時に出力されます
	クイックコピー：終了		クイックコピーが正常終了した時に出力されます
	クイックコピー：異常終了		クイックコピーが異常終了した時に出力されます
ファームウェア更新処理	ファームウェア：更新：***	バージョン	ファームウェアの更新を行った時に出力されます
	ファームウェア設定：変更		ファームウェアの設定を変更したときに出力されます
USB フォーマット処理	USB フォーマット：開始		USB フォーマットを開始した時に出力されます。
	USB フォーマット：終了		USB フォーマットが正常終了した時に出力されます。
	USB フォーマット：異常終了		USB フォーマットが異常終了した時に出力されます。
リセット処理	リセット：実行		リセット処理を行った時に出力されます
テストメール	テストメール：送信：***	送信先メールアドレス	テストメールの送信に成功した時に出力されます
	テストメール：送信失敗：***	送信先メールアドレス	テストメールの送信に失敗した時に出力されます
ログメール	ログメール：送信：***	送信先メールアドレス	ログメールの送信に成功した時に出力されます
	ログメール：送信失敗：***	送信先メールアドレス	ログメールの送信に失敗した時に出力されます
お知らせメール	お知らせメール：送信：***	送信先メールアドレス	お知らせメールの送信に成功した時に出力されます
	お知らせメール：送信失敗：***	送信先メールアドレス	お知らせメールの送信に失敗した時に出力されます

システム	システム：起動		システムが起動した時に出力されます
	システム：終了		システムの終了処理が開始された時に出力されます
	システム：マウント失敗		システム起動時、内蔵ドライブがマウントされていない時に出力されます
	システム：温度異常		温度異常を検知した時に出力されます。
DHCP 自動取得	DHCP 自動取得：成功		DHCP サーバーから取得に成功した時に出力されます
	DHCP 自動取得：失敗		DHCP サーバーから取得に失敗した時に出力されます
Remote Link2 設定	Remote Link2 設定：変更		iobb.net 設定の変更を行った時に出力されます
	Remote Link2 設定：失敗：***	エラーメッセージ　※１	iobb.net 有効化コマンドに失敗した時に出力されます
	Remote Link2 設定：無効		iobb.net 設定がコマンドから無効にされた時に出力されます
Remote Link2 更新通知	Remote Link2 更新：成功		iobb.net 更新通知に成功した時に出力されます
	Remote Link2 更新：失敗：***	エラーメッセージ　※２	iobb.net 更新通知に失敗した時に出力されます
ポート通知	ポート通知：成功		ポート通知に成功した時に出力されます
	ポート通知：失敗 :***	エラーメッセージ　※３	ポート通知に失敗した時に出力されます
ポートオープン	UPnP ポートオープン：失敗		UPnP ポートオープンに失敗した時に出力されます
EasySetup on USB	EasySetupOnUSB：成功		EasySetup on USB が成功した時に出力されます
	EasySetupOnUSB：失敗		EasySetup on USB に失敗した時に出力されます
	EasySetupOnUSB：書込失敗		EasySetupOnUSB.ini の書込に失敗した時に出力されます
	EasySetupOnUSB：読込失敗		EasySetupOnUSB.ini の読込に失敗した時に出力されます
iTunes 更新	iTunes 更新設定：変更		iTunes 更新の設定を行った時に出力されます
ＵＳＢポートモード設定	USB ポートモード：設定：デジカメコピーモード		ＵＳＢポートモード設定でデジカメコピーモードに変更を行った時に出力されます。
	USB ポートモード：設定：クイックコピーモード		ＵＳＢポートモード設定でクイックコピーモードに変更を行った時に出力されます。
	USB ポートモード：設定：共有モード		ＵＳＢポートモード設定で共有モードに変更を行った時に出力されます。
	USB ポートモード：設定：net.USB モード		ＵＳＢポートモード設定で net.USB モードに変更を行った時に出力されます。
デジカメコピー設定	デジカメコピー：設定変更		デジカメコピー設定の変更を行った時に出力されます
クイックコピー設定	クイックコピー：設定変更		クイックコピー設定の変更を行った時に出力されます
バックアップ設定	バックアップ設定：変更		バックアップ設定の変更を行った時に出力されます
	バックアップ：開始		バックアップを開始した時に出力されます
	バックアップ：終了		バックアップが正常終了した時に出力されます
	バックアップ：失敗		バックアップが異常終了した時に出力されます
ネットワークバックアップ設定	ネットワークバックアップ設定：変更		ネットワークバックアップ設定の変更を行った時に出力されます
	ネットワークバックアップ：開始		ネットワークバックアップを開始した時に出力されます
	ネットワークバックアップ：終了		ネットワークバックアップが正常終了した時に出力されます
	ネットワークバックアップ：異常終了		ネットワークバックアップが異常終了した時に出力されます
	ネットワークバックアップ：失敗(***1, ***2, ***3)	***1：host ***2：share ***3：error message	ネットワークバックアップが異常終了した時に出力されます
Dropbox	Dropbox：同期失敗：***	共有名	Dropbox の共有フォルダーとの同期に失敗した時に出力されます
	Dropbox：サーバー容量不足		Dropbox 上の共有フォルダーに空きがない時に出力されます
	Dropbox：共有フォルダー容量不足：***	共有名	本製品上の共有フォルダーに空きがない時に出力されます
	Dropbox：スキップ：***	ファイル名、フォルダー名	ファイル・フォルダーを正しく同期できなかった時に出力されます
	Dropbox：スキップ：アップロードサイズ超過：***	ファイル名	ファイルサイズがアップロードできる容量を超えている時に出力されます
フレッツ・あずけ～る	あずけ～る：同期失敗：***	共有名	フレッツ・あずけ～るの共有フォルダーとの同期に失敗した時に出力されます
	あずけ～る：サーバー容量不足		フレッツ・あずけ～る上の共有フォルダーに空きがない時に出力されます
	あずけ～る：共有フォルダー容量不足：***	共有名	本製品上の共有フォルダーに空きがない時に出力されます
	あずけ～る：スキップ：***	ファイル名、フォルダー名	ファイル・フォルダーを正しく同期できなかった時に出力されます
	あずけ～る：スキップ：アップロードサイズ超過：***	ファイル名	ファイルサイズがアップロードできる容量を超えている時に出力されます
BitTorrent	BitTorrent 設定：変更		BitTorrent の設定が変更されたときに出力されます。
UPS	UPS 設定：変更		UPS 設定を更新した時に出力されます
	UPS 監視：開始		UPS 監視サービスが起動された時に出力されます
	UPS 監視：停止		UPS 監視サービスが停止された時に出力されます
	UPS 監視：UPS 状態を確認してください		起動時に UPS 機器が接続されていない場合、運用中に UPS の未接続が検出された場合に出力されます ※「UPS 警告機能」が有効な場合に限ります
	UPS 監視：バッテリーでの運用を開始		UPS 監視サービスがバッテリー運用への移行を検知した時に出力されます。
	UPS 監視：商用電源での運用に復旧		UPS 監視サービスが商用電源運用への移行を検知した時に出力されます。
	UPS 監視：停電後、指定した経過時間を超えました		UPS 監視サービスが停電状態から指定時間経過したことを検出した時に出力されます。
	UPS 監視：UPS のバッテリーローを検出しました		UPS 監視サービスが停電状態でバッテリーローを検出した時に出力されます。
その他システム設定	その他：変更		その他システム設定の変更を行ったときに出力されます。
	その他：設定失敗		その他システム設定に失敗したときに出力されます。

Microsoft ネットワーク設定	Microsoft ネットワーク設定：変更		Microsoft ネットワーク設定の変更を行ったときに出力されます。
	Microsoft ネットワーク設定：失敗		Microsoft ネットワーク設定に失敗したときに出力されます。
TimeMachine 設定	Time Machine 設定：変更		Time Machine 設定の変更を行ったときに出力されます。
	Time Machine 設定：失敗		Time Machine 設定に失敗したときに出力されます。
FTP 設定	FTP 設定：変更		FTP 設定の変更を行った時に出力されます
	FTP 設定：失敗		FTP 設定に失敗したときに出力されます。
チェックディスク	チェックディスク：開始		チェックディスクを開始した時に表示されます。
	チェックディスク：異常なし		チェックディスクが正常終了した時に表示されます。
	チェックディスク：異常終了		チェックディスクが異常終了した時に表示されます。
リモートリンク	Remote Link2：ログオン：***	ユーザー名	Remote Link2 にログオンした時に出力されます
	Remote Link2：ログオフ：***	ユーザー名	Remote Link2 からログオフした時に出力されます
	Remote Link2：メール共有：送信：***	ファイル名	Remote Link2 からメールの送信に成功した時に出力されます
	Remote Link2：メール共有：送信失敗：***	ファイル名	Remote Link2 からメールの送信に失敗した時に出力されます
	Remote Link2：メール共有：検出エラー：***	ファイル名	Remote Link2 からメールの送信時、存在しないファイルを指定された時に出力されます
NarSuS	NarSuS：定期通知		定期的に行う NarSuS サーバーへの状態通知が正常に終了した時に出力されます
	NarSuS：接続失敗		NarSuS サーバーへの接続に失敗した時に出力されます
	NarSuS：利用コードが不正		入力された利用コードが不正なコードだった時に出力されます
	NarSuS 設定：変更		NarSuS 設定が変更された時に出力されます
	NarSuS 設定：失敗		NarSuS 設定に失敗した時に出力されます
プロキシ	プロキシ設定：変更		プロキシ設定が変更された時に出力されます

お知らせメール一覧

分類	送信条件	送信内容
起動処理	マウント失敗	データパーティションのマウントに失敗しました
フォーマット処理	フォーマット失敗	データパーティションのフォーマットに失敗しました
	マウント失敗	データパーティションのマウントに失敗しました
	アンマウント失敗	データパーティションのアンマウントに失敗しました
iobb.net 更新コマンド	iobb.net 設定無効	Remote Link2 が無効になりました
バックアップ	バックアップ成功	バックアップが完了しました
	バックアップ失敗	バックアップに失敗しました
	バックアップ実行失敗	バックアップ 実行失敗
ネットワークバックアップ	ネットワークバックアップ成功	ネットワークバックアップが完了しました
	ネットワークバックアップ失敗	ネットワークバックアップに失敗しました
	ネットワークバックアップ実行失敗	ネットワークバックアップ 実行失敗
温度異常	温度異常	温度異常を検知しました
チェックディスク処理	マウント失敗	データパーティションのマウントに失敗しました
	アンマウント失敗	データパーティションのアンマウントに失敗しました
ファームウェア通知	新しいファームウェアが見つかった時	新しいファームウェアが公開されています

設定画面のリファレンス

設定画面全体

▼本製品のステータス

項目	内容
名前	LAN DISK の名前を表示します。
IP アドレス	本製品に設定されている IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
UPS 接続状態	UPS の接続状況を表示します。
UPS 充電容量	本製品を接続した UPS の充電状況を表示します。

▼ディスク状況

項目	内容
内蔵	内蔵ディスクの状態を表示します。
全体	ハードディスクの総容量を表示します。
空き	ハードディスクの空き容量を表示します。
状態	ディスクの状態を表示します。

▼ボタン

項目	内容	
新規ユーザー	新しいユーザーの登録を行います。 【ユーザー設定】(23-153 ページ)	
新規グループ	新しいグループの登録を行います。 【グループ設定】(23-154 ページ)	
新規共有	新しい共有フォルダーの作成を行います。 【共有フォルダー設定】(23-151 ページ)	
DLNA 設定	DLNA 公開フォルダーの一覧を表示します。 【DLNA 設定】(23-155 ページ)	
iTunes 設定	iTunes 公開フォルダーの一覧を表示します。 【iTunes 設定】(23-156 ページ)	
iTunes 更新	iTunes Server のデータベースを更新します。	
USB ポート設定	USB ポートのモード設定を行います。 【USB ポート設定】(23-157 ページ)	
ログ表示	ログ一覧を表示します。	
USB 取り外し	USB1 取り外し	USB1 が共有モードの時に接続した USB 機器の取り外し処理を行います。
	USB2 取り外し	USB2 が共有モードの時に接続した USB 機器の取り外し処理を行います。
メロディー	ブザーを鳴らして本製品の位置を知らせます。	
	メロディ開始	ブザーを鳴らします。
	メロディ終了	ブザーを止めます。
ログオフ	ログオフして、Top ページに戻ります。	

ネットワーク

TCP/IP 設定

▼本製品の名前

項目	設定する内容	出荷時設定
LAN DISK の名前	ネットワーク上で表示される名前を入力します。 →ネットワーク上に同じ名前が存在しないよう設定します。 出荷時設定では、製品個々に LANDISK-xxxxxx（xxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）が設定されています。	LANDISK- xxxxxx
コメント	Windows ネットワークから本製品を参照したときに表示されるコメントです。（入力しなくてもかまいません。）	LAN DISK A series

▼ TCP/IP 設定

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="5">DHCP 有効 / 無効</td><td colspan="2">本製品の IP アドレスを、ルーターなどの DHCP サーバーから自動取得する場合に選択します。
※ DHCP サーバーからの自動取得に失敗した場合、本製品は「169.254.xxx.xxx」の自動 IP アドレスが自動的に設定されます。
[手動で設定する（DHCP 無効）] にした場合は、以下を設定します。</td><td rowspan="5">自動で取得する
（DHCP 有効）</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>本製品に設定する IP アドレスを入力します。
(Auto IP 自動割当は、169.254.xxx.xxx)</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>本製品に設定するサブネットマスクを入力します。
(Auto IP アドレスは、255.255.0.0)</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td><td>本製品が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。一般にインターネットと接続しているルーターの IP アドレスを入力します。</td></tr>
<tr><td>DNS サーバー</td><td>本製品が所属しているネットワークの DNS サーバーアドレスを入力します。</td></tr>
<tr><td>フレームサイズ</td><td colspan="2">本製品が通信する際に送り出す 1 回分のデータの最大値を指定します。
ネットワーク上すべての製品が 1000BASE-T でジャンボフレームに対応している場合のみご利用いただけます。
ネットワーク上のすべての機器が同一の値でないと通信できません。設定値が正しいかどうかご確認ください。</td><td>未使用：1500byte</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Wake on LAN</td><td colspan="2">Wake on LAN の有効 / 無効を設定します。</td><td rowspan="3">有効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>Wake on LAN を有効にします。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>Wake on LAN を無効にします。</td></tr>
</table>

Microsoft ネットワーク

項目		設定する内容	出荷時設定
参加方法の設定	ワークグループ	ワークグループを使用する場合に選択します。	ワークグループ
	NT ドメイン	NT ドメインを使用する場合に選択します。	
	Active Directory	Active Directory を使用する場合に選択します。	

▼ワークグループ

項目	設定する内容	出荷時設定
ワークグループ名	ワークグループ名を入力します。	WORKGROUP
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーの IP アドレスを入力します。	-

▼ NT ドメイン

項目	設定する内容	出荷時設定
ドメイン名	ドメイン名を入力します。	WORKGROUP
ドメインコントローラーの名前	ドメインコントローラーの名前を入力します。	-
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーの IP アドレスを入力します。	-

▼ Active Directory

項目	設定する内容	出荷時設定
ドメイン名 (NetBIOS 名)	ドメイン名 (NetBIOS 名) を入力します。	-
ドメイン名 (フル DNS 名)	ドメイン名 (フル DNS 名) を入力します。	
ドメインコントローラー名	ドメインコントローラーの名前を入力します。	
管理者ユーザー名	ドメインコントローラーの管理者ユーザー名を入力します。	
管理者パスワード	ドメインコントローラーの管理者パスワードを入力します。	
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーの IP アドレスを入力します。	

プロキシ設定

項目	設定する内容	出荷時設定
使用しない	プロキシ設定を使用しません。	使用しない
自動スクリプトを使用する	[自動設定スクリプト URL] を入力し設定します。 ※指定する URL については、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。	
手動で設定する	[HTTP アドレス] と [HTTP ポート] を入力し設定します。 ※指定する HTTP アドレス、HTTP ポートについては、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。	

共有

共有フォルダー設定

項目	設定する内容		出荷時設定
新しい共有フォルダーの作成	新しい共有フォルダーを作成します。		-
共有フォルダー一覧	共有フォルダーのリストを表示します。 ※出荷時に作成されている共有フォルダー：disk、contents、itunes、usb1、usb2		
	アイコン	共有フォルダーに設定したサービスをアイコンで表示します。	
		Windows ネットワークファイル共有サービスで利用可能です。	
		Mac OS ネットワークファイル共有サービスで利用可能です。	
		FTP によるファイル転送サービスで利用可能です。	
		DLNA サービスとして公開されます。	
		iTunes サービスとして公開されます。	
		リモートアクセス共有サービスで利用可能です。	
		クラウドストレージサービス「Dropbox」または「フレッツ・あずけ～る」と同期する共有フォルダーとして利用可能です。	
	各共有フォルダー	各々の共有フォルダー名をクリックすることで、共有フォルダーの詳細を表示します。	
変更	共有フォルダーの設定を変更します。		
削除	共有フォルダーを削除します。 ※出荷時に作成されている共有フォルダーの内 [usb1] および [usb2] は、削除できません。		

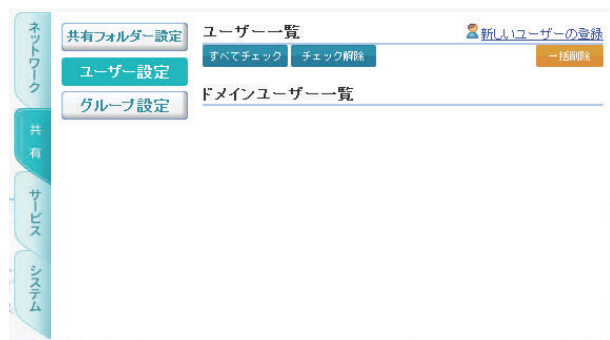
▼作成済み共有フォルダー一覧

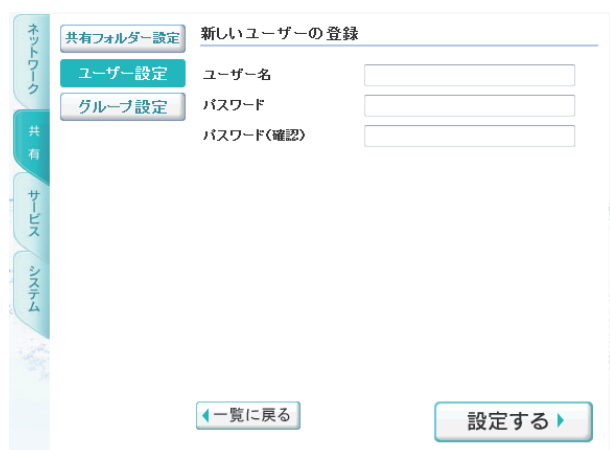
フォルダー名	項目	出荷時設定
disk	フォルダーコメント	LAN DISK share
	読み取り専用設定	チェックなし（無効）
	サービス	Microsoft ネットワーク共有 AppleShare ネットワーク共有
	ごみ箱機能	無効
	隠し共有機能	無効
	詳細アクセス権設定	無効
contents	フォルダーコメント	LAN DISK dlna share
	読み取り専用設定	チェックなし（無効）
	サービス	Microsoft ネットワーク共有 AppleShare ネットワーク共有 DLNA 共有
	ごみ箱機能	無効
	隠し共有機能	無効
	詳細アクセス権設定	無効
itunes	フォルダーコメント	LAN DISK iTunes share
	読み取り専用設定	チェックなし（無効）
	サービス	Microsoft ネットワーク共有 AppleShare ネットワーク共有 iTunes 共有
	ごみ箱機能	無効
	隠し共有機能	無効
	詳細アクセス権設定	無効

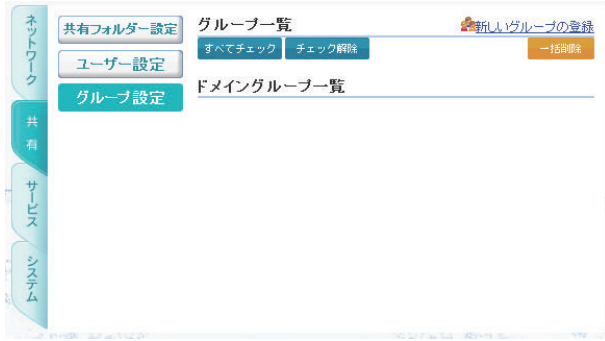
フォルダー名	項目	出荷時設定
usb1	フォルダーコメント	LAN DISK USB share
	読み取り専用設定	チェックなし（無効）
	サービス	Microsoft ネットワーク共有 AppleShare ネットワーク共有
	ごみ箱機能	無効
	隠し共有機能	無効
	詳細アクセス権設定	無効
usb2	フォルダーコメント	LAN DISK USB share
	読み取り専用設定	チェックなし（無効）
	サービス	Microsoft ネットワーク共有 AppleShare ネットワーク共有
	ごみ箱機能	無効
	隠し共有機能	無効
	詳細アクセス権設定	無効

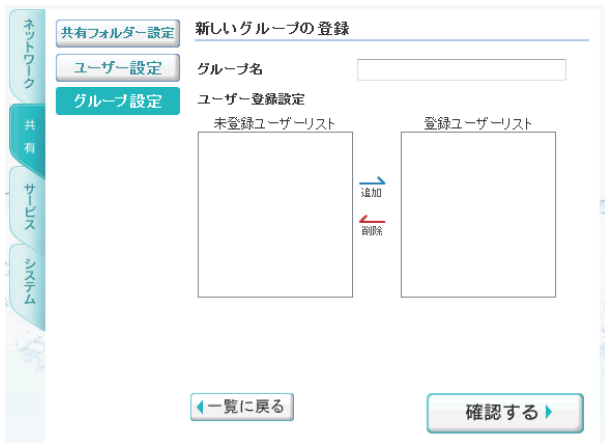
▼ [新しい共有フォルダーの作成]

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="4">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>フォルダー名</td><td colspan="4">共有フォルダーの名前を入力します。この名前が、ネットワーク上（[マイネットワーク] や [ネットワークコンピュータ] など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) をご覧ください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>フォルダーコメント</td><td colspan="4">Windows 用です。入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ) をご覧ください。</td><td>LAN DISK share</td></tr>
<tr><td>読み取り専用設定</td><td colspan="4">本製品にアクセスできるすべてのユーザーから読み取りのみできるよう（書き込み禁止）にする設定です。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="14">サービス</td><td colspan="4">この共有で利用するネットワークサービスを選択します。</td><td rowspan="14">Microsoft ネットワーク共有
AppleShare ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>Microsoft ネットワーク共有</td><td colspan="3">Windows からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td><td colspan="3">Mac OS からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>FTP 共有</td><td colspan="3">FTP 共有機能有効にする場合にチェックをつけます。</td></tr>
<tr><td>DLNA 共有</td><td colspan="3">DLNA 準拠機器からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>iTunes 共有</td><td colspan="3">iTunes からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>リモートアクセス共有</td><td colspan="3">Remote Link 2 機能でこのフォルダーを利用する場合にチェックをつけます。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">クラウドストレージ同期</td><td colspan="3">本製品の共有フォルダーと各クラウドストレージサービス間でデータを同期する場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Dropbox 同期</td><td colspan="2">Dropbox と同期する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>Dropbox アカウントを設定する</td><td>Dropbox のアカウントを新たに設定する場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">フレッツ・あずけ～る同期</td><td colspan="2">フレッツ・あずけ～ると同期する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>NTT東日本
NTT西日本</td><td>ご利用のフレッツ光回線サービス事業者を選択します。</td></tr>
<tr><td>ログイン ID</td><td rowspan="2">フレッツ･あずけ～るのログインID、パスワードを入力します。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td></tr>
<tr><td>ごみ箱機能</td><td colspan="4">Windows（Microsoft ネットワーク共有）でのみ利用できます。
作成する共有フォルダーについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん [TrashBox] フォルダーに保管されます。
[TrashBox] フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに [TrashBox] フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に [TrashBox] フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。
[TrashBox] フォルダーの使い方については、【[TrashBox] フォルダーからファイルを戻す】(4-55 ページ) をご覧ください。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>隠し共有機能</td><td colspan="4">Windows（Microsoft ネットワークファイル共有）でのみ利用できます。
隠し共有を設定した共有フォルダーは¥¥LAN DISK 名で検索してもエクスプローラに表示されません。¥¥LAN DISK 名¥共有フォルダー名で検索すると表示され、アクセス可能になります。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="3">詳細アクセス権設定</td><td colspan="4">各共有フォルダーに対し、ユーザー・グループごとにアクセス権限を設定することができます。</td><td rowspan="5">無効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td colspan="3">詳細アクセス権を有効にする場合に選択します。
【共有フォルダーのアクセス権】(4-51 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td colspan="3">詳細アクセス権を無効にする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>ユーザー許可設定</td><td colspan="4">許可したユーザーリストへの追加 / 削除をおこないます。
「許可しないユーザー」を選択して、「読み取りで追加」をクリックすると読み取り専用で、「読み書きで追加」をクリックすると読み書き可能で、「許可したユーザー」に移動されます。
「許可したユーザー」を選択して「削除」をクリックすると、「許可しないユーザー」に移動されます。</td></tr>
<tr><td>グループ許可設定</td><td colspan="4">許可したグループリストへの追加 / 削除をおこないます。
「許可しないグループ」を選択して、「読み取りで追加」をクリックすると読み取り専用で、「読み書きで追加」をクリックすると読み書き可能で、「許可したグループ」に移動されます。
「許可したグループ」を選択して「削除」をクリックすると、「許可しないグループ」に移動されます。</td></tr>
</table>

ユーザー設定

項目	設定する内容		出荷時設定
新しいユーザーの登録	新しいユーザーを作成します。		-
ユーザー一覧	ユーザーのリストを表示します。		
	[すべてチェック] ボタン	すべてにチェックをつけます。	
	[チェック解除] ボタン	チェックを解除します。	
	[一括削除] ボタン	チェックのついたユーザーを一括で削除します。	
ドメインユーザー一覧	ドメインモード（NT ドメイン・Active Directory）で取得した、ユーザーを表示します。		

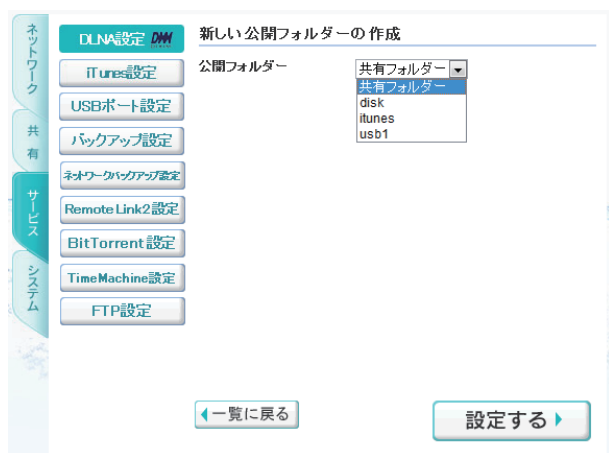
▼［新しいユーザーの登録］

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	－
パスワード	パスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（22-141 ページ）をご覧ください。	－
パスワード（確認）	確認のため再度パスワードを入力します。	－

グループ設定

項目	設定する内容		出荷時設定
新しいグループの登録	新しいグループを作成します。		-
グループ一覧	グループのリストを表示します。		
	[すべてチェック] ボタン	すべてにチェックをつけます。	
	[チェック解除] ボタン	チェックを解除します。	
	[一括削除] ボタン	チェックのついたグループを一括で削除します。	
ドメイングループ一覧	ドメインモード（NT ドメイン・Active Directory）で取得した、グループを表示します。		

▼ ［新しいグループの登録］

項目	設定する内容		出荷時設定
グループ名	グループ名を入力します。		−
ユーザー登録設定	グループに所属するユーザー登録を行います。あらかじめユーザー登録をしておく必要があります。		−
	[追加] ボタン	グループへユーザーを追加します。 「未登録ユーザーリスト」からグループへ登録したいユーザーを選択して「追加」をクリックすると、「登録ユーザーリスト」に移動されます。	
	[削除] ボタン	グループからユーザーを削除します。 「登録ユーザーリスト」からユーザーを選択して「削除」をクリックすると、「未登録ユーザーリスト」に移動されます。	

DLNA 設定

項目	設定する内容	出荷時設定
公開フォルダー一覧	DLNA クライアントに公開されているフォルダーを表示します。	contents
公開フォルダーを追加する	DLNA クライアントへ公開するフォルダーを追加します。以下をご覧ください。	
アクセス制限を設定する	DLNA クライアントのアクセス制限をします。【DLNA サーバー機能を利用する】(8-93 ページ) をご覧ください。	-
DLNA 表示設定	表示言語を設定します。以下をご覧ください。	
削除	共有フォルダーの公開を中止します。	

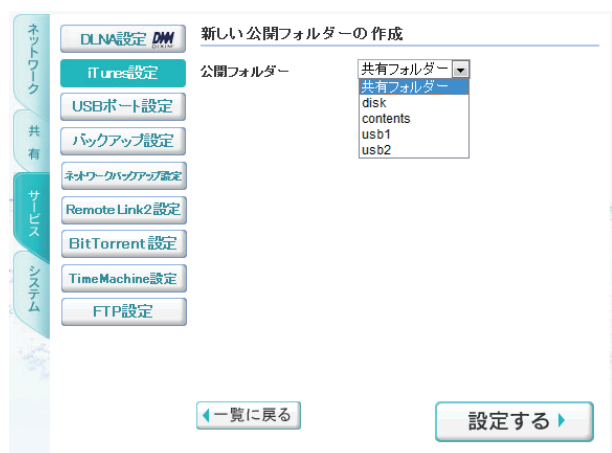
▼ [公開フォルダーを追加する]

項目	設定する内容	出荷時設定
公開フォルダー	DLNA クライアントへ公開する共有フォルダーを追加します。	-

▼ [DLNA 表示設定]

項目	設定する内容	出荷時設定
カテゴリー表示	DTCP-IP 対応機器でコンテンツを再生する際、コンテンツの各種カテゴリー表示を英語 / 日本語にするか設定します。	英語

iTunes 設定

項目	設定する内容	出荷時設定
公開フォルダー一覧	iTunes で公開されているフォルダーを表示します。	iTunes
公開フォルダーを追加する	新しい iTunes 公開フォルダーを作成します。以下をご覧ください。	-
iTunes 更新	今すぐ iTunes 更新をおこないます。	
Tunes 更新スケジュール設定	iTunes更新スケジュールを設定します。【iTunesサーバー機能を利用する】(9-98 ページ)をご覧ください。	
削除	共有フォルダーの公開を中止します。	

▼ [公開フォルダーを追加する]

項目	設定する内容	出荷時設定
公開フォルダー	iTunes へ公開する共有フォルダーを追加します。	-

USB ポート設定

項目	設定する内容		出荷時設定
USB1	USB ポート 1 に関する設定です。		共有モード
	デジカメコピー	デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続すると、デジカメや USB メモリー内のデータを、あらかじめ指定した本製品の共有フォルダー内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。	
	クイックコピー	デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続すると、データをあらかじめ指定した本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。	
	共有モード	USB ハードディスクを USB ポートに接続すると、共有モードで使用することができます。 ※バックアップやネットワークバックアップで、スケジュール機能を使用する場合は、あらかじめ [共有モード] に設定が必要です。	
	net.USB	net.USB を利用することができます。	
デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダー	「デジカメコピー」、「クイックコピー」の転送先のフォルダーを指定します。		
USB2	USB ポート 2 に関する設定です。		デジカメコピー
	デジカメコピー	デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続すると、デジカメや USB メモリー内のデータを、あらかじめ指定した本製品の共有フォルダー内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。	
	クイックコピー	デジカメや USB メモリーを USB ポートに接続すると、データをあらかじめ指定した本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。	
	共有モード	USB ハードディスクを USB ポートに接続すると、共有モードで使用することができます。 ※バックアップやネットワークバックアップで、スケジュール機能を使用する場合は、あらかじめ [共有モード] に設定が必要です。	
	net.USB	net.USB を利用することができます。	
デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダー	「デジカメコピー」、「クイックコピー」の転送先のフォルダーを指定します。		disk

バックアップ設定

項目	設定する内容		出荷時設定
バックアップを今すぐ実行する	今すぐにバックアップを実行します。		チェックなし（無効）
バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする	バックアップ終了後に自動的にシャットダウンします。		チェックなし（無効）
バックアップ方法	同期する	バックアップ元とバックアップ先でバックアップデータが同じになるように反映されます。消去したファイルは消去されます。	同期する
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。	
保存する履歴数	保存する履歴数を「1、2、3、4、5、10、すべて」から選択します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※バックアップ方法で「履歴モード」選択時のみ、保存する履歴数の選択ができます。		
スケジュール機能	使う	スケジュール機能を有効にする場合に選択します。 [使う] を選択すると、以下の [曜日設定]、[時刻設定] ができます。	使わない
	使わない	スケジュール機能を無効にする場合に選択します。	
	曜日指定	バックアップする曜日を指定します。 ※複数の指定ができます。	
	時刻指定	バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例）午後 9 時の場合は、[21] 時 [00] 分	
	※スケジュール設定は、1 日に 1 回のタイミングに限られます。（1 日に複数回設定することはできません。）		
バックアップ方向	内蔵ディスク→ USB	内蔵ディスクのデータを USB 機器へバックアップする場合に選択します。	内蔵ディスク→ USB
	USB →内蔵ディスク	USB 機器のデータを内蔵ディスクへバックアップする場合に選択します。	
バックアップ元	バックアップ元に指定するフォルダーを指定します。		－
	追加	バックアップ元に指定するフォルダーを、本設定へ追加します。 「フォルダーリスト」を選択して「追加」をクリックすると、「バックアップ元共有フォルダー」に移動されます。	
	削除	バックアップ元に指定したフォルダーを、本設定から削除します。 「バックアップ元共有フォルダー」を選択して「削除」をクリックすると、「フォルダーリスト」に移動されます。	
バックアップ先	バックアップ先に指定するフォルダーを選択します。		USB1

ネットワークバックアップ設定

▼バックアップ元共有の選択画面

項目		設定する内容	出荷時設定
バックアップを今すぐ実行する		今すぐにバックアップを実行します。	チェックなし（無効）
バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする		バックアップ終了後に自動的にシャットダウンします。	チェックなし（無効）
バックアップ方法	差分を上書きする	バックアップ元とバックアップ先を比較し、差分（追加ファイル、編集したファイル）をバックアップします。 また、バックアップ元で消去したファイルも、バックアップ先に残ります。	差分を上書きする
	履歴モード	毎回バックアップ元のデータを丸ごとバックアップします。保存する履歴数に応じて過去のバックアップデータはそのまま残します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※削除するタイミングは、バックアップ完了後になります。そのため、バックアップ先の空き容量は、指定履歴回数＋余分の容量が必要です。	
保存する履歴数		保存する履歴数を「1、2、3、4、5、10、すべて」から選択します。 選択された履歴数より多くのバックアップが取られた場合、古いものから削除されます。 ※バックアップ方法で「履歴モード」選択時のみ、保存する履歴数の選択ができます。	
スケジュール機能	使う	スケジュール機能を有効にする場合に選択します。 [使う] を選択すると、以下の [曜日設定]、[時刻設定] ができます。	使わない
	使わない	スケジュール機能を無効にする場合に選択します。	
	曜日指定	バックアップする曜日を指定します。 ※複数の指定ができます。	
	時刻指定	バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例）午後 9 時の場合は、[21] 時 [00] 分	
	※スケジュール設定は、1 日に 1 回のタイミングに限られます。（1 日に複数回設定することはできません。）		
バックアップ元		バックアップ元に指定するフォルダーを指定します。 [詳細] ボタンをクリックし、バックアップ元共有の選択画面を開きます。	−
バックアップ先		バックアップ先に指定するフォルダーを選択します。	

▼バックアップ元共有の選択画面

項目	設定する内容	出荷時設定
バックアップ元ホスト名	パソコンの [コンピューター名]、LAN DISK の [LAN DISK 名] または [IP アドレス] を入力します。 IP アドレスの入力は、数字と .（ピリオド）のみです。 LAN DISK の場合は [LAN DISK 検索] ボタンをクリックすると、検索できます。	−
バックアップ元共有名	バックアップ元共有フォルダーを指定します。 ※バックアップ元に指定できる共有名（フォルダー）は最大１０個までです。	
バックアップ元ユーザー名	アクセス権を設定していない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、ユーザー名は任意のものを使用できます。	
バックアップ元パスワード	アクセス権設定をしていない共有フォルダーをバックアップ元に設定する場合は、パスワードは任意に設定してください。	

Remote Link2 設定

▼ [外部ポート設定] を [する] にした場合

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>ステータス</td><td colspan="2">現在の状態を表示します。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">iobb.net へ登録・更新</td><td colspan="2">iobb.net へ登録・更新の有無を設定します。</td><td rowspan="19">無効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>iobb.net への登録・更新を有効にします。
[有効] を選択すると、以下の [ポート番号 1]、[ポート番号 2] 、[接続名]、[パスワード]、[パスワード（確認）]、[UPnP 機能] の設定ができます。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>iobb.net への登録・更新を無効にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポート番号 1</td><td colspan="2">ポート番号 1 の値を入力します。
※通常、初期設定値から変更する必要はありません。
※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 50002）
※ポート番号 1、ポート番号 2 では、初期値が異なります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポート番号 2</td><td colspan="2">ポート番号 2 の値を入力します。
※通常、初期設定値から変更する必要はありません。
※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 50004）
※ポート番号 1、ポート番号 2 では、初期値が異なります。</td></tr>
<tr><td>接続名</td><td colspan="2">iobb.net に登録する接続名を入力します。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td colspan="2">iobb.net に登録するパスワードを入力します。</td></tr>
<tr><td>パスワード（確認）</td><td colspan="2">確認のため再度パスワードを入力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">UPnP 機能</td><td colspan="2">ルーターに対するポート設定を、UPnP 機能を使用するかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>使う</td><td>UPnP 機能を使用してポート設定をします。</td></tr>
<tr><td>使わない</td><td>UPnP 機能を使用してポート設定ができない場合、「使わない」に設定します。
※お使いのルーターから、手動でポートの解放を設定してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部ポート設定</td><td>する</td><td>ソフトバンクの Android スマートフォンで 3G 網をお使いの場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>しない</td><td>上記以外の場合や、ルーターが外部に公開するポート番号を、NAS が公開するポート番号（[ポート番号 1]［ポート番号 2]）とは別に設定したい場合に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部ポート番号 1</td><td colspan="2">ルーターのポート設定を「する」設定した場合に表示されます。
※通常、初期設定値から変更する必要はありません。
※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 80）
※外部ポート番号 1、外部ポート番号 2 では、初期値が異なります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部ポート番号 2</td><td colspan="2">ルーターのポート設定を「する」設定した場合に表示されます。
※通常、初期設定値から変更する必要はありません。
※変更する場合は、他で設定済みのポート番号以外の番号を設定してください。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 443）
※外部ポート番号 1、外部ポート番号 2 では、初期値が異なります。</td></tr>
</table>

BitTorrent 設定

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="3">BitTorrent 機能</td><td colspan="2">BitTorrent 機能の有効 / 無効を設定します。</td><td rowspan="9">無効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>BitTorrent への登録・更新を有効にします。
[有効] を選択すると、以下の [保存先共有フォルダー]、[受信ポート番号] 、[UPnP 機能] の設定ができます。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>BitTorrent への登録・更新を無効にします。</td></tr>
<tr><td>保存先共有フォルダー</td><td colspan="2">ダウンロードしたファイルを保存する共有フォルダーを指定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">受信ポート番号</td><td colspan="2">BitTorrent 機能で使用するポート番号を指定します。
受信ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 6880）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">UPnP 機能</td><td colspan="2">ルーターに対するポート設定を、UPnP 機能を使用するかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>使う</td><td>UPnP 機能を使用してポート設定をします。</td></tr>
<tr><td>使わない</td><td>UPnP 機能を使用してポート設定ができない場合、「使わない」に設定します。
※お使いのルーターから、手動でポートの解放を設定してください。</td></tr>
</table>

▼詳細設定画面

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>ダウンロード速度</td><td colspan="2">ダウンロード速度の制限値を入力します。-1 を設定した場合は、制限なしです。</td><td>無制限</td></tr>
<tr><td>アップロード速度</td><td colspan="2">アップロード速度の制限値を入力します。-1 を設定した場合は、制限なしです。</td><td>無制限</td></tr>
<tr><td>シードアップロード速度</td><td colspan="2">シードアップロード速度の制限値を入力します。-1 を設定した場合は、制限なしです。</td><td>無制限</td></tr>
<tr><td rowspan="4">シード（Seeds）設定</td><td colspan="2">ダウンロードしたファイルがアップロード可能な状態をシード (Seeds) と呼び、シード（Seeds）設定では、[シード (Seeds)] の保持期間を設定します。</td><td rowspan="8">削除するまでシード</td></tr>
<tr><td>削除するまでシード</td><td>ダウンロードリストからを削除するまでシードを続けます。</td></tr>
<tr><td>設定したアップロード比率でシードを中止する</td><td>ダウンロードしたバイト数に対するアップロードしたバイト数の比率が設定した比率に達したらシードを中止します。</td></tr>
<tr><td>設定時間経過後にシードを中止する</td><td>設定した時間 (分) が経過したら自動的にシードを中止します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シード中止アップロード比率</td><td colspan="2">シードを中止するアップロードの比率を % で設定します。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 100）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シード中止時間</td><td colspan="2">シードを中止する経過時間 (分) を設定します。</td></tr>
<tr><td>[初期値] ボタン</td><td>初期値に戻ります。（初期値 60）</td></tr>
</table>

Time Machine 設定

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="3">Time Machine 機能</td><td colspan="2">Time Machine 機能の有効 / 無効を設定します。</td><td rowspan="3">無効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>Time Machine 機能を有効にする場合に選択し、保存先共有フォルダーを指定します。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>Time Machine 機能を無効にする場合に選択します。</td></tr>
</table>

FTP 設定

項目	設定する内容	出荷時設定
ポート番号	ネットワーク環境に応じて変更してください。通常は変更する必要はありません。	21
エンコード	使用するクライアントに合わせて、エンコードを選択します。 [対応クライアント言語] は、設定画面の [システム] → [その他] で設定のクライアント言語となります。 ※接続する FTP クライアントによっては、ファイル名が文字化けする場合があります。	UTF-8

システム

時刻設定

項目	設定する内容		出荷時設定
設定時刻	本製品の日付と時刻を設定します。		手動設定
	［PC の時刻を設定］ボタン	パソコンに設定されている時刻を設定します。	
サーバーと同期	本製品の時刻をタイムサーバーから取得するかどうかを選択します。		同期する
	同期しない	タイムサーバーを利用しないで、本製品の時刻設定します。	
	同期する	タイムサーバーを利用して、本製品の時刻設定する場合に選択します。 ※設定と同時に同期を開始します。	
利用するタイムサーバー	タイムサーバー名かタイムサーバーの IP アドレスを入力します。通常は初期設定のタイムサーバーをお使いください。		ntp.nict.jp
同期するタイミング	どんな時に時刻同期を行なうかを設定します。" 起動時 "/ " 毎日 " の両方を同時に選択することも可能です。		起動時 毎日 5 時 00 分
	起動時	本製品起動時にタイムサーバーとの時刻同期を行います。	
	毎日	指定した時間（24 時間表記で入力します）にタイムサーバーとの時刻同期を行ないます。本製品を 24 時間稼働させる場合はこちらを選択してください。	
対応タイムゾーン	タイムゾーンを指定します。 日本国内では GMT+9 以外に変更しないでください。		GMT+9

ディスク

項目	設定する内容	出荷時設定
省電力設定	省電力モードに関する設定をおこないます。	-
チェックディスク	チェックディスクをおこないます。	
フォーマット	フォーマットをおこないます。	

▼省電力設定

項目	設定する内容		出荷時設定
省電力モード設定	一定時間、本製品にアクセスがない場合にハードディスクの動作を停止させる機能です。 内蔵ディスクと USB ハードディスクそれぞれの省電力モードを設定することができます。		無効
	有効	省電力機能を有効にします。	
	無効	省電力機能を無効にします。	
省電力モード切替時間	省電力モードを有効にした場合にのみ表示されます。 ※設定した時間内にハードディスクにアクセスしなくても本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクの動作は停止しません。		-

▼チェックディスク

対象ボリュームに理論的なエラーが発生してしてないか調査します。

エラーがあった場合は、ファイル構造を修復します。

項目	設定する内容		出荷時設定
チェックディスク対象ボリューム	チェックディスクの対象ボリュームを選択します。		内蔵ディスク
	内蔵ディスク	本製品の内蔵ディスクを、チェックディスクする場合に選択します。	
	USB1	USB ポート 1 に接続の USB 機器を、チェックディスクする場合に選択します。 ※ USB ポート 1 に、USB 機器が接続されている場合に表示されます。	
	USB2	USB ポート 2 に接続の USB 機器を、チェックディスクする場合に選択します。 ※ USB ポート 2 に、USB 機器が接続されている場合に表示されます。	

▼フォーマット

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="4">フォーマット対象ボリューム選択</td><td colspan="3">フォーマット対象のボリュームを選択します。</td><td rowspan="8">内蔵ディスク</td></tr>
<tr><td>内蔵ディスク</td><td colspan="2">本製品の内蔵ディスクをフォーマットする場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>USB1</td><td colspan="2">USB ポート 1 に接続している USB 機器を、フォーマットする場合にチェックします。
※ USB ポート 1 に、USB 機器が接続されている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>USB2</td><td colspan="2">USB ポート 2 に接続している USB 機器を、フォーマットする場合にチェックします。
※ USB ポート 2 に、USB 機器が接続されている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フォーマットの選択</td><td colspan="3">フォーマット形式を選択します。
[フォーマット対象ボリューム選択] で [内蔵ディスク] を選択した場合、[USB1] または [USB2] を選択した場合で、表示されるフォーマット形式が異なります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[フォーマット対象ボリューム選択] で [USB1] または [USB2] を選択した場合</td><td>FAT</td><td>本製品に接続のUSB機器を､FAT形式でフォーマットする場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>専用フォーマット</td><td>本製品に接続の USB 機器を、専用フォーマット形式でフォーマットする場合にチェックします。</td></tr>
</table>

システム初期化

本製品の全ての設定を出荷時状態に戻すことができます。

IPアドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す場合は、【方法1　IPアドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(20-135ページ) をご覧ください。

ご注意

- ●ハードディスク内に必要なデータがある場合は、必ず初期化前にデータをバックアップしてください。
- ●初期化中は、本製品へアクセスできません。
- ●[初期化と同時に内蔵ディスクの完全消去を行う] を実行する場合、完全消去に時間がかかります。
  （目安として、1Tバイトあたり約4時間ほど要します。）
- ●本製品を廃棄や譲渡する場合、[初期化と同時に内蔵ディスクの完全消去を行う] を実行してください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>初期化を行う</td><td>本製品の全ての項目を出荷時設定値に戻し、内蔵ディスクもフォーマットします。</td><td rowspan="2">初期化を行う</td></tr>
<tr><td>初期化と同時に内蔵ディスクの完全消去を行う</td><td>本製品の全ての項目を出荷時設定へ戻すと同時に、内蔵ディスクの全てのデータ領域に0（ゼロ）を書き込みます。</td></tr>
</table>

ファームウェア

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>現在のファームウェアバージョン</td><td colspan="2">本製品に適用のファームウェアのバージョンを表示します。</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ファームウェア通知機能</td><td colspan="2">ファームウェア通知機能の有効 / 無効を設定します。</td><td rowspan="3">有効</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>ファームウェア通知機能を有効に設定します。
最新ファームが公開されている場合、本製品のSTATUSランプが緑点滅（ゆっくり）し、現在のファームウェアバージョンより新しいバージョンのファームウェアが公開されていることをお知らせします。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>ファームウェア通知機能を無効にします。</td></tr>
</table>

シャットダウン

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>シャットダウン</td><td>シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。STATUS ランプが消灯するまでそのままお待ちください。STATUS ランプが消灯することを確認するまでは電源コードを抜かないでください。</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>再起動</td><td>本製品を再起動します。</td></tr>
</table>

UPS 設定

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>UPS 警告機能を使用する</td><td colspan="2">UPS 警告機能を使用するに設定すると、UPS の接続が確認できない、または、停電状態を検出すると、ブザーと STATUS ランプ（赤点滅) でお知らせします。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="4">シャットダウン条件設定</td><td colspan="2">停電を検出後、指定時間が経過すると、本製品のシャットダウンを開始します。
※本設定は、本製品に対応した UPS 装置を USB 接続したときのみ有効です。</td><td rowspan="4">１ 分後にシャットダウン</td></tr>
<tr><td>１ 分後にシャットダウン</td><td>停電を検出後、１ 分後に本製品のシャットダウンを開始します。</td></tr>
<tr><td>５ 分後にシャットダウン</td><td>停電を検出後、５ 分後に本製品のシャットダウンを開始します。</td></tr>
<tr><td>１０ 分後にシャットダウン</td><td>停電を検出後、１０ 分後に本製品のシャットダウンを開始します。</td></tr>
</table>

ログ表示

項目	設定する内容	出荷時設定
日付	ログを記録した日付を表示します。	–
時間	ログを記録した時刻を表示します。	
メッセージ	ログ内容を表示します。 ログ内容の詳細については、【ログ一覧】（22-143 ページ）をご覧ください。	

メール設定

項目		設定する内容	出荷時設定
メール通知		ログ情報やバックアップ完了通知などをメールで送信するかどうかを設定します。 以下の項目は「通知する」を選択した場合にのみ入力可能となります。	通知しない
	SMTP サーバー	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。	
	差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定します。	
	文字コード	メール本文のエンコード方式を選択します。通常は、[ISO-2022-JP] で使用します。	
	SSL(STARTTLS)	SSL 暗号化通信を使用する / しないを選択します。 ※使用する場合の暗号化方式は STARTTLS です。	
	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を入力します。	
	メール送信時認証設定	メール送信時の認証方式を選択できます。指定する SMTP サーバーが、サポートしている認証方式を設定してください。	
	ユーザー名	プロバイダや会社などで、取得したアカウント名を入力します。	
	パスワード	プロバイダや会社などで、メールアドレス取得時のパスワードを入力します。	
	メールの送信テストを行う	上記の設定情報が正しく機能するか、実際にメールを送信してテストすることができます。 チェックボックスにチェックを入れ、テストメールの送信先アドレスを設定します。	

イベント設定

項目	設定する内容	出荷時設定
システムログ送信先	ログや通知情報を送信するメールアドレスを指定します。	−
お知らせ通知先	エラー通知、バックアップの正常終了 / 失敗を通知するメールアドレスを指定します。	−

NarSuS 設定（HDL-AH シリーズのみ）

項目	設定する内容	出荷時設定
有効	クラウド状態管理「NarSuS（ナーサス）」へ、本製品のステータス情報を通知する設定を有効にします。	無効
無効	NarSuS 設定を無効にします。	

管理者パスワード

項目	設定する内容	出荷時設定
現在のパスワード	管理者の現在のパスワードを入力します。	−
新しいパスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(22-141 ページ)をご覧ください。	−
新しいパスワード(確認)	管理者の確認パスワードを入力します。	−

その他

項目	設定する内容		出荷時設定
停電復旧時の自動起動	停電から復旧したときに、本装置を自動起動するかどうかを設定します。 UPS と併用すると停電時自動シャットダウンし、停電から復旧した時に自動起動させることができます。		自動起動しない
	自動起動する	停電復旧時に、本製品の自動起動をする場合に選択します。	
	自動起動しない	停電復旧時に、本製品の自動起動をさせない場合に選択します。	
ランプの明るさ	STATUS ランプの明るさを設定します。		明
	明	最も明るい設定です。	
	中	若干明るさを抑えた設定です。	
	暗	最も暗い設定です。	
対応クライアント言語	本製品に接続するクライアントで使用する言語を設定します。 ※本製品では、「日本語 SJIS(CP932)」以外の言語での使用はサポートしておりません。		日本語 SJIS(CP932)
予約録画情報を削除する	スカパー!プレミアムサービスチューナーを初期化した場合など、チューナー側の予約録画情報と本製品の予約録画情報に差異が生じた場合、本製品の予約録画情報を削除し、チューナー側で録画予約を設定しなおす必要があります。この場合に、本製品の予約録画情報を削除します。 チェックを付け設定すると予約録画情報が削除されます。(次回本画面を開くとチェックは外れます。)		チェックなし

困ったときには

アイ・オー・データホームページをご覧ください

http://www.iodata.jp/support/

製品型番などで検索してください。サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

本製品起動時のトラブル

セットアップ時のトラブル

本製品へのアクセス時のトラブル

設定画面に関するトラブル

本製品の IP アドレスについて

ファイルの保存について

ランプやブザーについて

バックアップ機能使用時のトラブル

ネットワークバックアップ使用時のトラブル

DLNA サーバー機能使用時のトラブル

iTunes サーバー機能使用時のトラブル

Remote Link 2 機能使用時のトラブル

内蔵および外付ハードディスクについて

タイムサーバー機能使用時のトラブル

NT ドメイン・Active Directory 使用時のトラブル

Dropbox 使用時のトラブル

フレッツ・あずけ〜る使用時のトラブル

FTP 共有使用時のトラブル

BitTorrent 機能使用時のトラブル

メール送信でのトラブル

パソコンのネットワーク設定について

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと鳴った

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。

セットアップ時のトラブル

Mac と Windows が混在している環境の場合どのパソコンで設定したらよいですか？

対処	本製品は、本製品と同一ネットワーク内の１台のパソコンからすべての設定を行うことができます。 ご利用環境に、Windows と Mac OS のどちらもある場合は、一方のパソコンからすべての設定を行うことができますが、Windows パソコンから設定することをおすすめします。

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法１】あるいは【方法2】などの手順で確認できます。

【方法1】パソコンの IP アドレスの設定で確認

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
(IP アドレスの設定が” DHCP サーバーから取得する” 設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。)

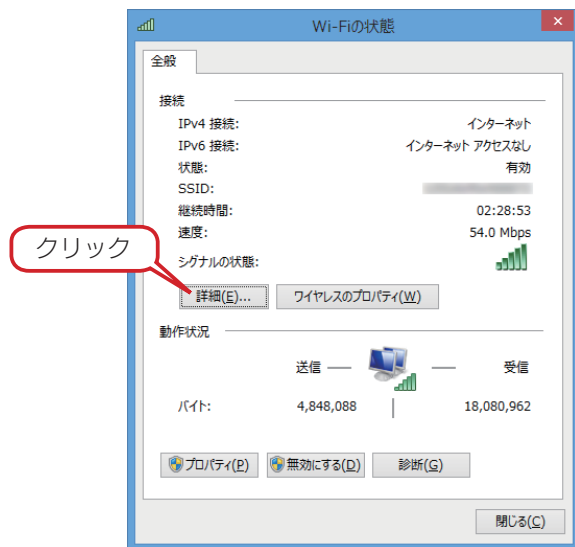
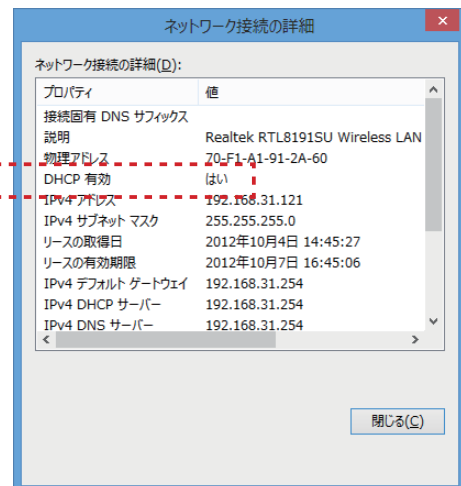
● Windows 10/8 の場合

1 コントロールパネルを開きます。
Windows 10 の場合、[スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
Windows 8 の場合、画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。その後、[コントロールパネル] をクリックします。

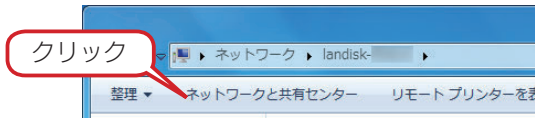
2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。

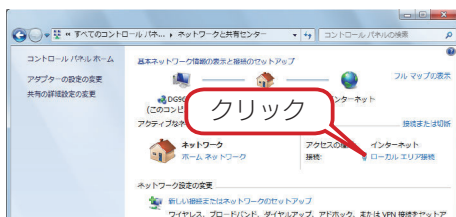
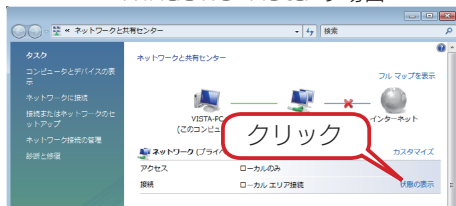
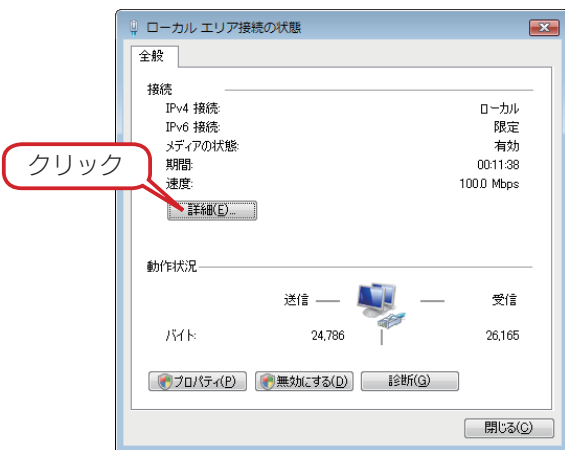
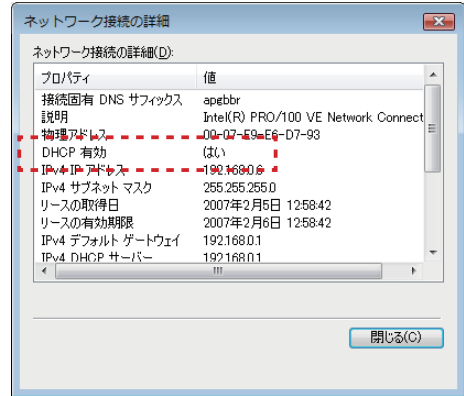
3 [ネットワークと共有センター] をクリックします。

4 [接続] をクリックします。

5 [詳細] をクリックします。

6 [DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

● Windows 7、Vista の場合

1	Windows 7 の場合は、[スタート] → [コンピューター] → [ネットワーク] をクリックします。 Windows Vista の場合は、[スタート] → [ネットワーク] をクリックします。

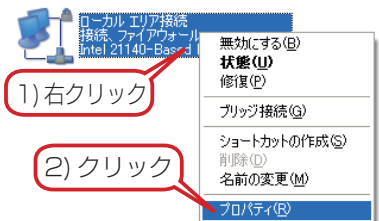
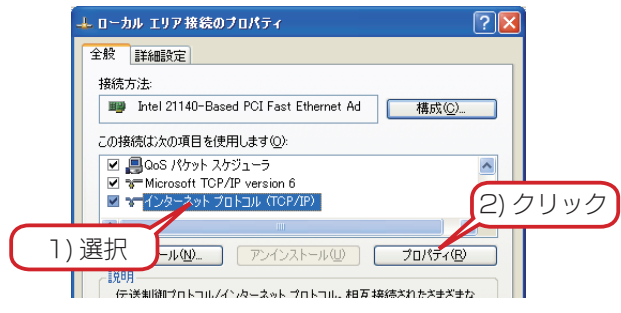
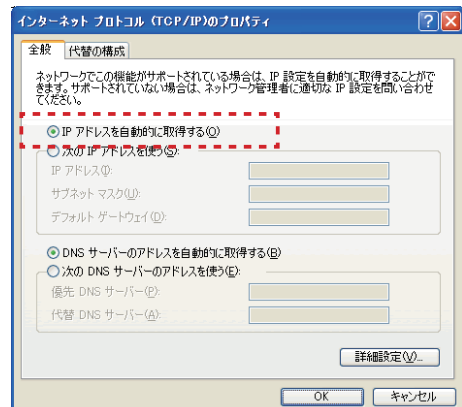
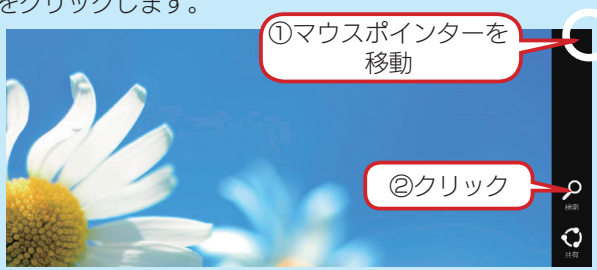
2	[ネットワークと共有センター] をクリックします。

3	Windows 7 の場合は、[ローカル エリア接続] をクリックします。 Windows Vista の場合は、[状態の表示] をクリックします。

▼ Windows 7 の場合

▼ Windows Vista の場合

4	[詳細] をクリックします。

5	[DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

● Windows 10、8、7、Vista 以外の場合

1	パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

Windows XP の例

①[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] をクリックします。

②[ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] を開きます。

③[インターネット プロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

2	パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得(する)] や [DHCP サーバーを参照] となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。

【方法 2】Windows 標準添付のツールを使って確認する（Windows のみ）

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

1

● Windows 10 の場合

［スタート］を右クリックし、表示された［コマンドプロンプト］をクリックします。

● Windows 8 の場合

画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索]→ [コマンドプロンプト] をクリックします。

● Windows 7、Vista、XP の場合

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2

ipconfig /all（g と / の間にスペースが入ります。）と入力して、［Enter］キーを押します。

3

［DHCP サーバー］（または［DHCP Server]）欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

```
イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . :
   説明. . . . . . . . . . . . . . . :

   物理アドレス. . . . . . . . . . . :
   DHCP 有効 . . . . . . . . . . . . : はい
   自動構成有効. . . . . . . . . . . : はい
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . :
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . :
   サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
   リース取得. . . . . . . . . . . . : 2009年10月23日 10:58:23
   リースの有効期限. . . . . . . . . : 2009年10月24日 10:58:23
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.111.1
   DHCP サーバー . . . . . . . . . . : 192.168.111.1
   DHCPv6 IAID . . . . . . . . . . . :
   DHCPv6 クライアント DUID. . . . . . . :

   DNS サーバー. . . . . . . . . . . : 192.168.111.1
   NetBIOS over TCP/IP . . . . . . . : 有効
```

```
Windows IP Configuration

        Host Name . . . . . . . . . . . . :
        Primary Dns Suffix  . . . . . . . :
        Node Type . . . . . . . . . . . . :
        IP Routing Enabled. . . . . . . . :
        WINS Proxy Enabled. . . . . . . . :

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        Description . . . . . . . . . . . :

        Physical Address. . . . . . . . . :
        Dhcp Enabled. . . . . . . . . . . :
        Autoconfiguration Enabled . . . . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . :
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . :
        Default Gateway . . . . . . . . . :
        DHCP Server . . . . . . . . . . . :
        DNS Servers . . . . . . . . . . . :
        Lease Obtained. . . . . . . . . . :
        Lease Expires . . . . . . . . . . :
```

[Magical Finder] で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが緑色に点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（STATUS ランプが緑色に点灯するまで）お待ちください。

原因	セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 （詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

<参考：Windows 10 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) 参照)

②［スタート］を右クリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

③コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。

④「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。

⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows 8 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) 参照)

②画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

③ [コントロールパネル] アイコンをクリックします。

④コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。

⑤「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。

⑥一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows 7 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) 参照)

②［スタート］-［コントロールパネル］を開き、コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」と入力します。

③ [Windows ファイアウォール]-[許可されたプログラム] の画面が開いたら、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。

④一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows Vista の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) 参照)

②［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。
※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。

③［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。

④一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows XP Service Pack 3 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】(2-20 ページ) 参照)

②［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。

③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。

④［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。

⑤一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

パソコンに直接接続した後、本製品の設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが緑色に点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

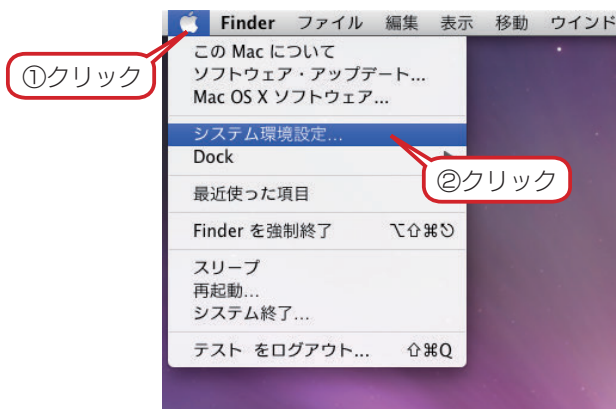
原因	本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレスの設定があっていない。
対処	パソコンと本製品を直接接続して設定画面を開くには、以下の設定にする必要があります。 ①Magical Finder を起動し、[IP 設定] ボタンをクリックします。 （Magical Finder の起動方法は、【設定する】（2-9 ページ）をご覧ください。） ②何も入力せずに [OK] ボタンをクリックします。 ③ [次の IP アドレスを使う] にチェックして、[IP アドレス]、[サブネットマスク] に [このコンピュータの IP アドレス] に表示されている IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスを設定します。 例） 「このコンピュータの IP アドレス」 IP アドレス　192.168.0.116 サブネットマスク　255.255.255.0 と表示されていた場合、 「LAN DISK の IP アドレスの設定」 IP アドレス　192.168.0.200 サブネットマスク　255.255.255.0 と入力します。 入力完了後、[OK] ボタンをクリックします。 ④ [ブラウザ] ボタンをクリックします。 ⑤ログオン画面が表示されますので、何も入力せず [ログオン] ボタンをクリックします。 以上で設定画面が開くようになりました。 本製品をネットワークに戻す前に、③の画面で [IP アドレスを自動的に取得する] にチェックがついていた場合は、再度 [IP アドレスを自動的に取得する] にチェックを戻しルーターなどの機器につなぎなおしてください。

原因	セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。 ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

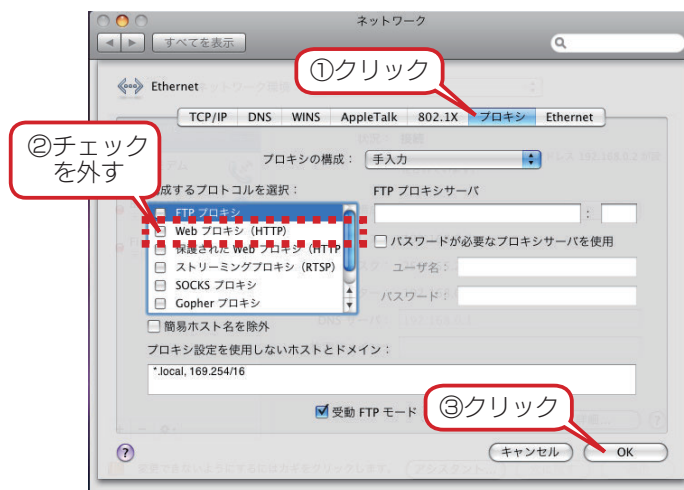
原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	RESET ボタンで、本製品の LAN ポートの IP アドレスを出荷時設定に戻してください。 【方法1　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(20-135 ページ) 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。 Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 Mac OS をお使いの場合は次ページの【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】をご覧ください。

Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定

1 [アップルメニュー] → [システム環境設定] をクリックします。

2 [ネットワーク] を開きます。

3 [詳細] をクリックします。

4 [プロキシ] タブをクリックし、以下の設定を行います。

以上で設定は完了です。

LAN DISK の名前を変更したい

対処	【初期設定する】内【はじめて設定をする】（2-19 ページ）をご覧ください。

ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

対処	137 ～ 139 番、445 番のポートに対してアクセスを許可する設定を行ってください。 詳しい設定方法については、アプリケーションメーカーにご確認ください。

パソコンの IP アドレスがわからない

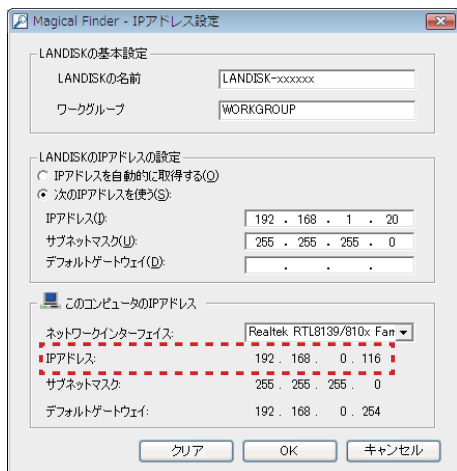
対処	添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。 以下をご覧ください。

Magical Finder でパソコンの IP アドレスを確認する

1	「Magical Finder」を起動します。

2	[IP 設定] ボタンをクリックします。

3	管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK] ボタンをクリックします。

4	表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピューターの IP アドレス］で確認できます。

本製品へのアクセス時のトラブル

「LAN DISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される

原因	共有フォルダーにアクセス権限の設定を行っていて、本製品に登録したユーザー名、パスワードと、パソコンからログオンしたユーザー名とパスワードが一致していない。
対処	ネットワークログオン時に入力する［ユーザー名］、［パスワード］と本製品に登録したユーザーの［ユーザー名］、［パスワード］が一致するように、本製品とパソコンの設定をご確認ください。 パソコンの設定については、次を確認してください。 ▼ Windows の場合 OS 側にユーザー登録しなおします。 ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録した［ユーザー名］［パスワード］と同じユーザーアカウントを作成してください。 ▼ Mac OS の場合 ［移動］→［サーバへ接続…］で本製品の IP アドレスを設定後、［接続］ボタンをクリックした際に表示される画面で、［登録ユーザー］を選択し、［名前］と［パスワード］に本製品に登録した［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。

Mac OS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ Mac OS からファイル保存ができなくなる

原因	本製品のシステムに採用されている Windows サービスと Mac OS サービス間のファイル保存情報に不整合が生じるため。
対処	Mac OS のデスクトップ上にマウントした共有を一度、ゴミ箱へ捨て再度、Finder から本製品の共有へアクセスしてください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

対処	本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。 ・Windows パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 16 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。） ・Mac OS パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 8 台まで（最大１６台まで）

LAN DISK にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合）

対処

すでに別のパソコンが LAN DISK にアクセスできている場合、LAN DISK 自体の動作、設定には問題がないため、LAN DISK 自体の設定変更を行う必要はありません。
LAN DISK に接続できないパソコンで以下の点をご確認ください。

▼ Windows の場合
「コンピューターの検索」にて LAN DISK の名前ではなく、本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってみてください。
● IP アドレスの検索で見つかる場合
TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。
また、検索の結果表示された共有フォルダーへのアクセスをお試しください。
● IP アドレスの検索で見つからない場合
検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない、または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。
<本製品の IP アドレスに PING を実行する>
① [コマンドプロンプト] を起動します。
・Windows 10 の場合
　[スタート] を右クリックし、表示された
　[コマンドプロンプト] をクリックします。
・Windows 8 の場合
　画面の右上 (下) にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] → [コマンドプロンプト] をクリックします。

・Windows 7、Vista の場合
　[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。
・Windows XP の場合
　[スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。
②「ping」と入力し、スペースを 1 文字あけてから、本製品の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。
　入力例） C:\xxxxxx>ping　192.168.0.200　[Enter]
③応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。
<「Reply from・・・」と応答があった場合>
OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。
お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてどうかお試しください。
<「Request time out」と応答があった場合>
・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。
[Magical Finder] より確認することができます。
・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてどうかご確認ください。
▼ Mac OS の場合
【(Mac OS) [landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない】(24-187 ページ) をご確認ください。

〈レグザ〉やスカパー！プレミアムサービスチューナーから本製品が見つからない

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源がはいっているか（STATUS ランプが点灯しているか)、LAN ケーブルが接続されているかを確認してください。ブロードバンドルーターや、ハブ経由で接続している場合は、LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	スカパー！ブランドのスカパー！ プレミアムサービスチューナー (SP-HR200H、SP-HR250H) で「HD 録画機器が見つかりません」と表示される場合、以下の手順でチューナーの [ネットワーク設定] を変更し、機器の登録を設定し直してください。 ①リモコンの を押します。 ② で [端末設定] を選択後、 で [LAN 設定] を選択し、 を押します。 ③ でネットワーク設定を [LAN] へ、アドレス取得方法を [DHCP 使用] へ変更　後、[設定] を選択し、 を押します。 　スカパー！プレミアムサービスチューナーと本製品を直接接続している場合、「AutoIP で設定します。」のメッセージが表示されます。メッセージが消えたら、[設定] を選択し、 を押してください。

ソニー製スカパー！プレミアムサービスチューナー (DST-HD1) で本製品が表示されない

原因	録画機器の登録の際に [サーバー機器一覧]、または、[録画先サーバー一覧] に 本製品 が表示されない。
対処	以下の手順にしたがい、正常に認識するかお試しください。 ①ソニー製スカパー！プレミアムサービスチューナー (DST-HD1) と 本製品の電源を OFF にします。 ②本製品の電源を ON にします。 ③しばらくすると、本製品が「ピーッ」と鳴りますので、そのブザーを確認してから、 ソニー製スカパー！プレミアムサービスチューナー (DST-HD1) の電源を ON にします。 ④ソニー製スカパー！プレミアムサービスチューナー (DST-HD1) 前面パネルの [リセット] ボタンを押して再起動します。

(Windows)[コンピューターの検索] で [landisk-xxxxxx] が見つからない

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか確認してください。(本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」※）や本製品の IP アドレス（DHCP から IP 自動取得）を使用できるように設定してください。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[landisk-xxxxxx](LAN DISK の名前) の文字での検索では検索されない。
対処	本製品に設定されている IP アドレスを入力して検索してみてください。 ※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。 表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	●ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。 ● DHCP サーバーがない場合 本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。 ・本製品のワークグループ名 詳細設定画面の【ネットワーク】(23-148 ページ) 参照 ・パソコンのワークグループ名 【Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない】(24-213 ページ) 参照

Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

原因	Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした。
対処	Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されます。（例：「.AppleDouble」、「.AppleDB」など、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイル、フォルダーになります。） このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

原因	アプリケーションが作業中に作成・削除した。
対処	アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。 そのため、[TrashBox] フォルダーにファイルやフォルダーがある場合があります。

（Windows）ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない

原因	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードと、Windows に登録したユーザー名とパスワードが 一致していない可能性が考えられます。
対処	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードを、Windows でも作成し、OS ログオン時にそのユーザー名・パスワードを使ってログオンしてください。

（Mac OS）[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない

原因	本製品がネットワークへ正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」）や本製品の IP アドレスを使用できるように設定してください。 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	LAN DISK の名前で検索できない。
対処 1	［サーバへ接続］画面で、本製品の IP アドレスを使用して接続してください。 入力する IP アドレスは、本製品に設定されている IP アドレスを入力します。 ※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。 → IP アドレスを指定して接続する場合：　afp://192.168.0.200/
対処 2	Web ブラウザー「Safari」を起動し、ブックマークの［Bonjour］（または、[Rendezvous]）に LANDISK-xxxxxx ※が表示されていることを確認します。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁 ※本製品の［LAN DISK の名前］を変更している場合は、変更後の名前

設定画面に関するトラブル

（Windows）ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

対処 1	［Magical Finder］を起動し、本製品を検索してみてください。 詳しくは、【設定画面を開く】（2-27 ページ）をご覧ください。

対処 2	セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 （詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

<参考：Windows 10 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】（2-20 ページ）参照)
②［スタート］を右クリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
③コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。
④「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。
⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows 8 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】（2-20 ページ）参照)
②画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。
③ [コントロールパネル] アイコンをクリックします。
④コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。
⑤「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。
⑥一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows 7 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】（2-20 ページ）参照)
②［スタート］-［コントロールパネル］を開き、コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」と入力します。
③ [Windows ファイアウォール]-[許可されたプログラム] の画面が開いたら、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。
④一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows Vista の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】（2-20 ページ）参照)
②［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。
※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

<参考：Windows XP Service Pack 3 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。(【サポートソフトのインストールについて】（2-20 ページ）参照)
②［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。
④［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

（Mac OS）ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが緑色に点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。 ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	（本製品に固定の IP アドレスを設定した場合） 本製品と設定用パソコンの IP アドレスのネットワークアドレス部が合っていない。
対処	お使いのパソコンの IP アドレスが例えば「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品の IP アドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレスが合っていないことが考えられます。 本製品の IP アドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定し直してください。 【設定する】（2-9 ページ）

原因	本製品が DHCP クライアントに設定されているため、IP アドレスがわからない。
対処	本製品の IP アドレスは、Magical Finder で確認することができます。表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。

原因	設定画面を開こうとしているパソコンの IP アドレス設定が間違っている。
対処	設定画面を開こうとしている以外のパソコンで、設定画面が開けないかお試しください。 開ける場合は、開けなかったパソコン側の IP アドレスの設定が本製品にアクセスできる設定になっていない可能性があります。本製品を設定時にパソコンの IP アドレスやサブネットマスクを一時的に変更していた場合などは、本製品設定前の IP アドレスやサブネットマスクに戻してください。

原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	[RESET] ボタンで、本製品の IP アドレスを出荷時設定に戻してください。 【方法１　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（20-135 ページ） 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。 【初期設定する】内【はじめて設定をする】（2-19 ページ）をご覧ください。

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。 次のページをご覧になり、Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】（24-181 ページ）

設定画面で一部表示されない項目がある

原因	セキュリティー関連のソフトウェアの影響により表示されない。
対処	セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。 ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイアウォール機能に関する設定については、ソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	Web ブラウザーのセキュリティレベルが高く設定されている。
対処	本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。 設定後は、元の「高」設定に戻してください。 ■ Internet Explorer 7（Windows）をご利用の場合 ①「Internet Explorer」のメニューバーにある [ツール] をクリックし、[インターネットオプション] もしくは [インターネットのプロパティ] を開いてください。 ② [セキュリティ] タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に合わせます。 ③「OK」ボタンをクリックします。

空き容量が実際より少なく見える

原因	［ごみ箱］フォルダーのファイルが多数ある。
対処	各共有の［ごみ箱］（TrashBox）フォルダーを空にしてください。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。 【文字制限一覧】（22-141 ページ）をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限一覧】（22-141 ページ）をご覧ください。

パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない

原因	パスワードが間違っている。
対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【方法 1　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（20-135 ページ）をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

原因	空白 (スペース) のみのパスワードになっている。
対処	パスワード無しに設定したつもりで、空白 (スペース) で設定されていることがありますので、空白 (スペース) を入力してみてください。ログオンできない場合は、上の対処をご覧ください。

設定画面にログオンするためのパスワードがわからない

対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【方法 1　IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（20-135 ページ）をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

「現在処理中です。」とメッセージが表示された

原因	設定処理実行中に他の設定をしようとした。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。

原因	ファームウェアーが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化してください。詳しくは、【出荷時設定に戻す】（20-135 ページ）をご覧ください。

設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

対処	ハードディスクに問題はありません。本製品が使用するファームウェアーの制限です。

設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。 以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。 ・ファイル共有サービス転送中 / 再生中　・DLNA データベース更新中　・iTunes データベース更新中 ・スピンアップ中　・バックアップ中　など
対処	処理が終了するまでお待ちください。

テレビに搭載のブラウザーから操作中にタイムアウトエラーが発生した

原因	大量のファイル削除など、処理動作に時間がかかる操作を行った場合、お使いのテレビに搭載のブラウザーによっては、タイムアウトとなる。
対処	しばらくお待ちの後、再度設定画面を表示してください。 なお、タイムアウトエラーになっても、再度設定画面を開いた際に処理動作が完了している場合があります。また、複数のファイルを選択した上での操作の場合は、選択するファイル数を少なくして操作するなどしてください。

本製品ログオン後に、NarSuS 登録の案内画面が毎回表示されるので、表示しないようにしたい

対処	[NarSuS 登録] または、[ユーザー登録] をおこなうと、NarSuS 登録の案内画面が表示されなくなります。 登録方法は、【NarSuS に登録する】（2-13 ページ）をご覧ください。

設定画面が崩れたり、画面内の文章が正しく表示されない

対処	ブラウザーの互換表示ボタンで、問題が解消されます。 ▼ IE9 の例

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

ご注意

DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処 1	添付ユーティリティー Magical Finder を起動してください。 表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。

対処2	(DHCP サーバーのあるネットワークの場合) DHCP サーバー内の情報から確認します。 ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

ファイルの保存について

本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない

対処	製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティー設定はできません。 ファイルやフォルダーに属性やセキュリティー設定は行わないでください。

ファイル名やフォルダー名の制限について

対処	本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。以下をご覧ください。 【文字制限一覧】(22-141 ページ)をご覧ください。

ファイルを削除するとごみ箱にいったん入りますか?

対処	本製品の「ごみ箱機能」を有効(初期値は無効)に設定した場合は、該当フォルダーの中に [TrashBox] フォルダーにいったん削除したファイルが入ります。 ごみ箱機能を無効にして削除した場合は、そのまま削除されます。

共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか?

対処	特に制限はありません。

ランプやブザーについて

STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。しばらくして緑点灯に変わります。

原因	デジカメコピーが異常終了した。
対処 1	デジカメコピーの設定を再度確認してコピーし直してください。
対処 2	マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種はマスストレージモードでご使用ください。PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。

ランプとブザーの動作について知りたい

対処	【ランプ・ブザー別の対応】(21-137 ページ)をご覧ください。

バックアップ機能使用時のトラブル

バックアップ中に、ブザーが「ピー（3 回）」となり、[STATUS] ランプが赤点灯している

原因	バックアップ元またはバックアップ先となる USB ポートへ、機器が接続されていない、もしくは正しく接続されていない。
対処	バックアップ元またはバックアップ先となる USB ポートへ、機器が正しく接続されていることを確認してください。

原因	バックアップ先が FAT32 形式の USB ハードディスクの場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルはバックアップできない。
対処	ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルがないか確認してください。

原因	バックアップ先に、空き容量がない。
対処	バックアップ先に、十分な空き容量があるか確認してください。 設定画面のディスク状況で、バックアップ先の空き容量を確認することができます。

原因	バックアップ先の機器が、読み込みのみ可能な NTFS 形式の機器が接続されている。
対処	本製品のバックアップ機能で使用できる機器は、FAT と専用フォーマットのみとなります。バックアップ先を、FAT または専用フォーマットの機器へつなぎ直してください。

原因	バックアップ元またはバックアップ先となる USB ポートの動作モードが、[共有モード] 以外に設定されている。
対処	バックアップ元またはバックアップ先となる USB ポートの動作モードを、[共有モード] に設定してください。

バックアップされない

原因	本製品で USB 機器をフォーマットした場合、バックアップ設定のスケジュール機能が [使わない] に変更される。
対処	バックアップ設定を、再度 [使う] に設定する必要があります。 本製品の設定画面から、[バックアップ 設定] を開き、スケジュール機能を [使う] に設定しなおしてください。

バックアップ後にデータを参照したい

対処	【バックアップしたデータを確認する】（7-80 ページ）をご覧ください。

バックアップデータを見せないようにしたい

対処	見せないようにはできません。 ただし、セキュリティ上、他の人からアクセスができないようにしたい場合は、バックアップ先としている共有フォルダー（あるいは増設ハードディスク）を、バックアップデータにアクセスできるユーザー（管理者などバックアップデータを参照できるユーザー）専用に設定することで、アクセス権が無いユーザーからアクセスできないようにすることができます。 <参考：バックアップ先をユーザー専用に設定する手順> ①バックアップデータにアクセスできるユーザー（管理者などバックアップデータを参照できるユーザー）専用の共有フォルダーを事前に作成します。【共有フォルダーを作成・変更・削除する】（4-60 ページ） ②バックアップ設定で、バックアップ先を上記手順で作成した共有フォルダーに設定します。 【バックアップする】（7-76 ページ） これで、バックアップ先は特定ユーザーのみがアクセスできるようになります。 すでにバックアップしたデータがある場合は、アクセス権のあるユーザーでネットワークにログオン後、この共有フォルダーにデータを移してください。 **ご注意** ●ユーザー専用などのアクセス権を設定できるのは、設定画面で作成する共有フォルダーのみです。共有フォルダー下に、ネットワーク上などから作成するフォルダーにアクセス権を設定することはできません。 ●増設ハードディスク（USB ハードディスク）にアクセス権を設定した場合、その増設ハードディスク全体がユーザー専用となります。

バックアップ結果をログで確認したい

対処	バックアップ方法を［同期する］にした場合は、ログファイルを見ることでバックアップの状況を確認できます。 バックアップ方法を［履歴モード］にした場合は、ログファイルに詳細な状況が残らないため、バックアップの状況を確認できません。 バックアップ方法が［同期する］であった場合の、ログファイルの確認方法をご案内します。 ①［_backup］→共有フォルダー名→ YYYYMMDD-hhmmss.log（例：20151213-031731.log）をメモ帳で開く ②「ERROR」を検索し、ファイルコピーの失敗がないか確認する COPYERROR ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 何らかの原因でファイルコピーに失敗しています。 COPYERROR(SIZE) ・・・・・・・・・・・ 4G 超えのファイルです。FAT フォーマットのハードディスクにコピーしようとして失敗しています。 COPYERROR(OVERWRITE) ・・・ 上書きしようとしたファイルが使われており、ファイルコピーに失敗しています。

デジカメコピーの結果をログで確認したい

対処	ログファイルの確認方法をご案内します。 ①［cameracopy］→ YYYYMMDD-hhmmss.log（例：20151213-031731.log）をメモ帳で開く ②「ERROR」を検索し、ファイルコピーの失敗がないか確認する COPYERROR ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 何らかの原因でファイルコピーに失敗しています。 COPYERROR(RENAME) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ コピーするファイルの名前を変更するのに失敗しています。 COPYERROR(RENAME：新ファイル名) ・・・ ファイルの名前を変更できず、コピーにも失敗しています。 ERROR(xxx files copied.) ・・・・・・・・・・・・・・・・・ いくつかのファイルコピーに失敗したが、デジカメコピー終了。xxx 個のファイルをコピーしました。

ネットワークバックアップ使用時のトラブル

バックアップ中に、ブザーが「ピー（3 回）」となり、[STATUS] ランプが赤点灯している

原因	バックアップ先となる USB ポートへ、機器が接続されていない、もしくは正しく接続されていない。
対処	バックアップ先となる USB ポートへ、機器が正しく接続されていることを確認してください。

原因	バックアップ先が FAT32 形式の USB ハードディスクの場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルはバックアップできない。
対処	ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルがないか確認してください。

原因	バックアップ先に、空き容量がない。
対処	バックアップ先に、十分な空き容量があるか確認してください。 設定画面のディスク状況で、バックアップ先の空き容量を確認することができます。

原因	バックアップ先となる USB ポートの動作モードが、[共有モード] 以外に設定されている。
対処	バックアップ先となる USB ポートの動作モードを、[共有モード] に設定してください。

バックアップされない

原因	本製品で USB 機器をフォーマットした場合、ネットワークバックアップ設定のスケジュール機能が [使わない] に変更される。
対処	ネットワークバックアップ設定を、再度 [使う] に設定する必要があります。 本製品の設定画面から、[ネットワークバックアップ 設定] を開き、スケジュール機能を [使う] に設定しなおしてください。

バックアップ後にデータを参照したい

対処	【ネットワークバックアップしたデータを確認する】（7-85 ページ）

バックアップデータを見せないようにしたい

対処	見せないようにはできません。 ただし、セキュリティ上、他の人からアクセスができないようにしたい場合は、バックアップ先としている共有フォルダー（あるいは増設ハードディスク）を、バックアップデータにアクセスできるユーザー（管理者などバックアップデータを参照できるユーザー）専用に設定することで、アクセス権が無いユーザーからアクセスできないようにすることができます。 <参考：バックアップ先をユーザー専用に設定する手順> ①バックアップデータにアクセスできるユーザー（管理者などバックアップデータを参照できるユーザー）専用の共有フォルダーを事前に作成します。【共有フォルダーを作成・変更・削除する】（4-60 ページ） ②バックアップ設定で、バックアップ先を上記手順で作成した共有フォルダーに設定します。 【バックアップする】（7-76 ページ） これで、バックアップ先は特定ユーザーのみがアクセスできるようになります。 すでにバックアップしたデータがある場合は、アクセス権のあるユーザーでネットワークにログオン後、この共有フォルダーにデータを移してください。 **ご注意** ●ユーザー専用などのアクセス権を設定できるのは、設定画面で作成する共有フォルダーのみです。共有フォルダー下に、ネットワーク上などから作成するフォルダーにアクセス権を設定することはできません。 ●増設ハードディスク（USB ハードディスク）にアクセス権を設定した場合、その増設ハードディスク全体がユーザー専用となります。

バックアップ結果をログで確認したい

<table>
<tr><td>対処</td><td>ログファイルの確認方法をご案内します。
① ログファイルを Web ブラウザーで開く
差分を上書きする　［__netbackup］→ホスト名→共有フォルダー名 _YYYYMMDD-hhmmss.log
（例：disk_20151213-031731.log）
履歴モード　［__netbackup］→ YYYYMMDDhhmmss →ホスト名→共有フォルダー名 _YYYYMMDD-hhmmss.log
（例：20151213031731）　（例：disk_20151213-031731.log）
②「fail」を検索し、ファイルコピーの失敗がないか確認する
dmget:fail ······················ 何らかの原因でファイルコピーに失敗しています。
Connection to ホスト名 failed ·· ホストへの接続に失敗しています。
tree connect failed: ·········· 共有フォルダーにアクセスできませんでした。
③「fail」の付近を確認し、問題を把握する
NT_STATUS_ACCESS_DENIED ··· ファイルやフォルダーへのアクセス権限がありません。
Connection to（ホスト名）failed ·· ホストへの接続に失敗しています。</td></tr>
</table>

DLNA サーバー機能使用時のトラブル

ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが点灯しているか）、LAN ケーブルが接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) また、ネットワークメディアプレーヤー側の電源が入っているか、LAN ケーブルが接続されているか（LAN ポートのランプが点灯または点滅しているか）確認してください。

原因	ネットワークメディアプレーヤーまたは本製品の IP アドレスの設定が間違っている。
対処	ネットワークメディアプレーヤーと本製品の IP アドレスを確認し、同じネットワークアドレス（セグメント）で別々の IP アドレスとなっているかを確認してください。 ●ネットワークメディアプレーヤーの IP アドレス：ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書を参照ください。 ●本製品の IP アドレス：【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（24-192 ページ）参照

原因	本製品の「DLNA Server」設定が有効になっていない。
対処	設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダーに［contents］フォルダーが表示されていることをご確認ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（STATUS ランプが緑色に点灯するまで）お待ちください。

ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

原因	ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応していないファイルフォーマットである。
対処	お使いのネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）の取扱説明書などで確認してください。 ※本製品が対応しているファイルフォーマットであっても、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）側が対応していない場合は再生できません。

原因	本製品が対応していないファイルフォーマットである。
対処	本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。 ※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

種類	ファイル拡張子
動画	3gp avi divx mp4 m4v mov mpg m2p mpe mpeg vob ts tts mts m2ts asf dvr-ms wmv
写真	bmp gif jpg jpeg png tiff tif
音楽	ogg lpcm pcm m4a m4b mp3 m3u wav wma flac

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

原因	DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。
対処	DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、初回接続時や共有内ファイル操作時にネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、DLNA 用データベースの更新が行われていますので、しばらくお待ちください。 ※1万ファイル以内でご利用ください。

原因	本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。
対処	しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。

ネットワークメディアプレーヤーで再生できる本製品のファイルについて

<table>
<tr><td>対処</td><td>ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。
※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。
<table>
<tr><td>種類</td><td>ファイル拡張子</td></tr>
<tr><td>動画</td><td>3gp avi divx mp4 m4v mov mpg m2p mpe mpeg vob ts tts mts m2ts asf dvr-ms wmv</td></tr>
<tr><td>写真</td><td>bmp gif jpg jpeg png tiff tif</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>ogg lpcm pcm m4a m4b mp3 m3u wav wma flac</td></tr>
</table>
※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。
お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。</td></tr>
</table>

AveL Link Player から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

原因	DLNA に対応していない AveL Link Player である。
対処	DLNA に対応していない AveL Link Player からは、本製品のファイルやフォルダーを見ることはできません。

<table>
<tr><td>原因</td><td>本製品側で「DLNA Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>公開したいフォルダーの [DLNA 共有] の設定が有効になっていることを確認します。

①設定画面から［DLNA 設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダー一覧に公開したいフォルダーのフォルダー名が表示されていることを確認します。
②表示されていなかった場合、[公開フォルダーを追加する] をクリックし、表示される [新しい公開フォルダーの作成] 画面で公開したいフォルダーを選択します。

以上の設定を行いましたら、AveL Link Player のログイン先選択画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。
表示されましたら、そのログイン名を選択し、本製品上のファイルの参照をお試しください。</td></tr>
</table>

原因	本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。
対処	しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。

iTunes サーバー機能使用時のトラブル

iTunes に本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（STATUS ランプが点灯しているか)、LAN ケーブルが接続されているか確認してください。(本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	iTunes を実行するパソコンと本製品が通信できない設定になっている。
対処	iTunes を実行するパソコンより、本製品の設定画面を開けることを確認してください。 【設定画面を開く】(2-27 ページ)

原因	本製品の「iTunes Server」設定が有効になっていない。
対処	設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダーに［itunes］が表示されていることをご確認ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（STATUS ランプが緑色に点灯するまで）お待ちください。

iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

<table>
<tr><td>原因</td><td>本製品が対応していないファイルフォーマットである。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。
※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。
<table>
<tr><th>種類</th><th>ファイル拡張子</th></tr>
<tr><td>音楽</td><td>mp3　m4a　m4p</td></tr>
</table>
※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。</td></tr>
</table>

原因	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。
対処	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、iTunes 用データベースの更新が行われている場合がありますので、しばらくお待ちください。 ※1 万ファイル以内でご利用ください。

iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

原因	本製品側で「iTunes Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。
対処	以下の手順を行います。 ①設定画面から［iTunes 設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダー一覧に公開したいフォルダーのフォルダー名が表示されていることを確認します。 ②表示されていなかった場合、[公開フォルダーを追加する] をクリックし、表示される [新しい公開フォルダーの作成] 画面で公開したいフォルダーを選択します。 この設定で、iTunes 画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。 表示されたら、アイコンをクリックし、本製品上のファイルの再生をお試しください。

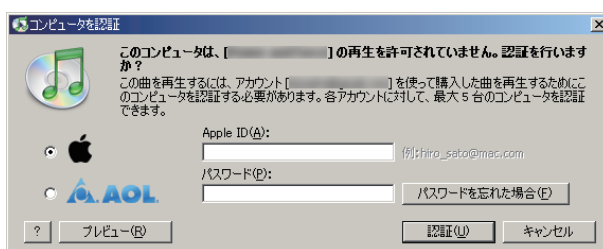
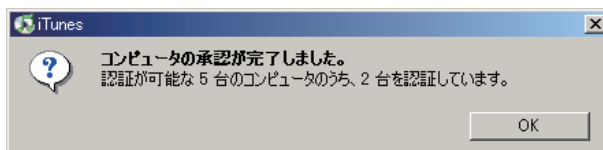
iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある

原因	iTunes Server 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、iTunes Server のデータベースの更新を行ってない。
対処	iTunes Server 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、本製品の設定画面上の [iTunes 更新] ボタンをクリックしてデータベースの更新を行う必要があります。

原因	MP3 の ID3 タグ情報の文字は UTF-16 のエンコーディングに対応しています。 UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。
対処	曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けするファイルをいったん本製品の共有フォルダーから、iTunes を実行するパソコンに移動し、iTunes にて「ID3 タグを変換」を行ってください。

<table>
<tr><td>原因</td><td>iTunes Store で購入したファイルを購入したパソコンの iTunes 以外の、iTunes にて再生しようとしている。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると「コンピュータを認証」画面が表示される場合があります。

これは iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータを認証」画面にて認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。

</td></tr>
</table>

Remote Link 2 機能使用時のトラブル

リモートアクセスが接続できなくなった

原因	[Remote Link2 設定] が無効に設定される。 iobb.net との通信で問題がある。
対処	インターネットアクセスを確認し、[iobb.net 設定] を再度有効に設定してください。

原因	本製品で USB 機器をフォーマットした場合、Remote Link 2 設定が無効に変更される。
対処	Remote Link 2 設定を、再度 [有効] に設定する必要があります。 本製品の設定画面から、[Remote Link 2 設定] を開き、iobb.net へ登録・更新を [有効] に設定しなおしてください。

Remote Link 2 使用中にエラーが発生する

原因	インターネット回線の状態が一時的に悪化し、操作中の処理が失敗した。
対処	いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてから操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

原因	自宅のルーターのグローバル IP アドレスが更新された。
対処	いったんログアウトし、10 分以上待ってから再度ログインし操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

コンテンツの再生ができない

原因	インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常に行えない場合がある。
対処	インターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。

Remote Link 2 にアクセスができない

原因	ルーターの UPnP が無効になっている。
対処	ルーターの UPnP を確認し、有効になっているか確認してください。

原因	動作未確認のルーターのため、UPnP 使用できない。
対処	お使いのルーターが、UPnP 対応かを以下のサイトでご確認ください。 ▼ UPnP 対応ルーター http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm#list4 上記サイトに記載が無い場合は、以下の手順で改善する場合があります。 ① LAN DISK の IP アドレスを固定にします。（【設定する】（2-9 ページ）参照） ② Remote Link 2の設定で、UPnP 機能を [使わない] に設定します。 （【ステップ2　Remote Link 2 を設定する】（5-63 ページ）参照） ③ご利用のルーターの設定で、LAN DISK の IP アドレスのポート番号 1（初期値 50002）、ポート番号 2（初期値 50004）を開放します。 ※方法は、ルーターの取扱説明書等でご確認ください。

内蔵および外付ハードディスクについて

外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピー（3 回）」と鳴り、STATUS ランプが赤点滅したままとなる

原因	FAT/NTFS/ 専用以外のフォーマット形式の外付ハードディスクを接続した。 FAT/NTFS/ 専用以外のフォーマット形式としては以下のような場合があります。 ・Mac OS で使用していたハードディスク ・未フォーマット状態のハードディスク ・他の LAN DISK 製品で専用フォーマットにした外付ハードディスク
対処	詳細設定よりフォーマットを行ってください。 ※フォーマットをすると､接続したハードディスク内のデータはすべて消去されます｡あらかじめバックアップをとってから､フォーマットをしてください。 フォーマット方法は、【フォーマット方法】（6-74 ページ）をご覧ください。

外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT32 や NTFS 形式のハードディスクは、そのまま Windows パソコンでもご利用になれます。 再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの外付ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットをすると、データはすべて消去されます。あらかじめバックアップをとってから、フォーマットを行ってください。

本製品に接続可能なハードディスクについて

対処	【増設できるハードディスク】（6-71 ページ）をご覧ください。

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありません。

省電力機能が働かない

原因	本製品のシステムがアクセスしている。
対処	本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［ネットワーク設定］で正しく設定されていない。
対処	「ネットワーク設定」で「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を DHCP サーバーから自動で取得していない場合は、以下を確認してください。 設定画面の［ネットワーク設定］で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を正しく設定してください。 入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。 以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「ネットワーク設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。 【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】 ● Windows 10 の場合 ① ［スタート］を右クリックし、表示された［コマンドプロンプト］をクリックします。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows 8 の場合 ①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。 ② [コマンドプロンプト] をクリックします。 ③ ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ④ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows 7、Vista の場合 ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows XP の場合 ① ［スタート］ → ［(すべての) プログラム］ → ［アクセサリ］ → ［コマンドプロンプト］ を開きます。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [Default Gateway] と [DNS Servers] の IP アドレスを確認します。 ● Mac OS X の場合 ① ［アップルメニュー］ → ［システム環境設定］ で ［ネットワーク］ を開きます。 ② ［Ethernet］ を選択し、表示された ［ルーター］ ［DNS サーバ］ の IP アドレスを確認します。

NT ドメイン・Active Directory 使用時のトラブル

NT ドメインへの参加ができない

対処	本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ → [TCP/IP 設定] ボタンをクリックし、[DNS サーバー] が正しく設定されていることを確認してください。

対処	本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ → [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[ドメイン名] および [ドメインコントローラー名] が正しく設定されている事を確認してください。

対処	ご利用のネットワークに BDC(バックアップドメインコントローラー) がない場合、以下について確認してください。 ①いったん、[参加方法の設定] を [NT ドメイン] から [ワークグループ] に変更します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ → [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [ワークグループ] を選択し設定します。 ②[参加方法の設定] を、再度 [NT ドメイン] に設定します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ → [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [NT ドメイン] を選択し設定します。

対処	ご利用のネットワークに BDC(バックアップドメインコントローラー) がある場合、以下について確認してください。 ①いったん、[参加方法の設定] を [NT ドメイン] から [ワークグループ] に変更します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [ワークグループ] を選択し設定します。 ② PDC(プライマリードメインコントローラー) を再起動します。 ③[参加方法の設定] を、再度 [NT ドメイン] に設定します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [NT ドメイン] を選択し設定します。

ドメインモード (NT ドメイン・Active Directory) に切り替えると共有にアクセスできなくなった

対処	ドメインモード（NT ドメイン・Active Directory）では、ユーザー認証をドメインコントローラーで行います。そのため、本製品に登録しているユーザーやグループに詳細アクセス権設定を「有効」にした共有フォルダーは、Windows ネットワーク共有サービスから利用できなくなります。ただし、共有フォルダーの詳細アクセス権設定を「無効」に設定されている場合は、アクセス可能です。

Active Directory への参加ができない

対処	本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ → [TCP/IP 設定] ボタンをクリックし、[DNS サーバー] が正しく設定されていることを確認してください。

対処	本製品の設定画面を開き、[ネットワーク] タブ → [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[ドメイン名 (NetBIOS 名)]、[ドメイン名（フル DNS 名）]、[ドメインコントローラー名]、[管理者ユーザー名]、[管理者パスワード] が正しく設定されていることを確認してください。

対処	指定の管理者ユーザーがドメインコントローラー上で Administrator 権限を有していることを確認してください。

対処	Active Directory の仕様により、ドメインコントローラーの Administrator パスワードが一度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。その場合は Administrator パスワードを変更してから再度設定を行ってください。

対処	ご利用のネットワークに BDC（バックアップドメインコントローラー）がない場合、以下について確認してください。 ①いったん、[参加方法の設定] を [Active Directory] から [ワークグループ] に変更します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [ワークグループ] を選択し設定します。 ②[参加方法の設定] を、再度 [Active Directory] に設定します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [Active Directory] を選択し設定します。

対処	ご利用のネットワークに BDC(バックアップドメインコントローラー) がある場合、以下について確認してください。 ①いったん、[参加方法の設定] を [Active Directory] から [ワークグループ] に変更します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [ワークグループ] を選択し設定します。 ② PDC(プライマリードメインコントローラー) を再起動します。 ③ [参加方法の設定] を、再度 [Active Directory] に設定します。 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] → [ネットワーク] タブ→ [Microsoft ネットワーク] ボタンをクリックし、[参加方法の設定] で [Active Directory] を選択し設定します。

対処	ドメインコントローラーの時刻設定と LAN DISK の時刻設定が 5 分以上離れているとログオンは失敗します。両者の時刻設定を合わせてから設定を行ってください。

Dropbox 使用時のトラブル

Dropbox 設定時、「Dropbox サーバーとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る

対処	以下の内容についてご確認ください。 1. 本製品がインターネット接続できる環境、ネットワーク設定であることをご確認ください。 2.Dropbox 側のサーバーが、正常に動作しているか確認してください。 3. プロキシを利用しているか確認してください。 プロキシを利用している場合、本製品のプロキシ設定を、有効に設定してください。 【プロキシ設定をする】（13-108 ページ）をご覧ください。

Dropbox で同期に失敗する

対処	以下の内容についてご確認ください。 1. 本製品がインターネット接続できる環境 / ネットワーク設定であることをご確認ください。 2. Dropbox サーバーが、正常に動作していることをご確認ください。 3. 一時的に Dropbox サーバーと通信ができなくなっている可能性があります。しばらく時間をおいて同期されるかをご確認ください。 4. 本製品のファームウェアを最新版に更新してください。

パソコンやスマートフォンなどでファイルを削除した場合はどうなりますか？

対処	削除したファイルは Dropbox から削除され、同時に本製品の共有フォルダーからも削除されます。ただし、Dropbox の Web UI で過去 1 ヶ月までさかのぼることができます。

Dropbox でファイルが同期されない

対処	本製品の設定画面から [ログ表示] を選択し、エラーがある場合は内容をご確認の上対処してください。

対処	ファイル数が多いと同期に非常に時間がかかる可能性があります。少ないファイルにてお試しください。

対処	ご使用中の Dropbox アカウントから、本製品へのアクセス許可がされていない可能性があります。 [共有フォルダー設定] の [Dropbox アカウントを設定する] にチェックを付け、設定してください。

対処	増設ハードディスクの共有を Dropbox 共有とする場合、USB ポートの動作モードが、[共有モード] である必要があります。 設定をご確認ください。

対処	増設ハードディスクの共有を Dropbox 共有とする場合、専用フォーマット形式のドライブを接続する必要があります。 専用フォーマットのドライブが正しく接続されていることをご確認ください。

Dropbox 共有へ置いたファイルのタイムスタンプが変更される

対処	本製品の仕様です。 本製品の Dropbox 共有へコピーしたファイルは、Dropbox アカウントに同期（アップロード）され、その時の時刻に変更されますのでご注意ください。

内蔵 HDD のフォーマットした後、Dropbox 共有ができなくなった

原因	本製品の共有設定が、工場出荷時設定に戻ります。
対処	Dropbox との同期を有効にする設定を再度設定してください。 【Dropbox と同期する】（11-103 ページ）参照

フレッツ・あずけ～る使用時のトラブル

フレッツ・あずけ～る設定時、「フレッツ・あずけ～るサーバーとの通信に失敗しました。インターネットに接続されているかご確認ください。」とエラーが出る

対処	以下の内容についてご確認ください。 1. 本製品がインターネット接続できる環境、ネットワーク設定であることをご確認ください。 2. フレッツ・あずけ～る側のサーバーが、正常に動作しているか確認してください。 3. プロキシを利用しているか確認してください。 プロキシを利用している場合、本製品のプロキシ設定を[有効]にしてください。【プロキシ設定をする】(13-108 ページ)をご覧ください。

フレッツ・あずけ～るで同期に失敗する

対処	以下の内容についてご確認ください。 1. 本製品がインターネット接続できる環境 / ネットワーク設定であることをご確認ください。 2. フレッツ・あずけ～る サーバーが、正常に動作していることをご確認ください。 3. 一時的にフレッツ・あずけ～る サーバーと通信ができなくなっている可能性があります。しばらく時間をおいて同期されるかをご確認ください。

フレッツ・あずけ～るでファイルが同期されない

対処	本製品の設定画面から [ログ表示] を選択し、エラーがある場合は内容をご確認の上対処してください。

対処	ファイル数が多いと同期に非常に時間がかかる可能性があります。少ないファイルにてお試しください。

対処	増設ハードディスクの共有をフレッツ・あずけ～る共有とする場合、USB ポートの動作モードが、[共有モード] である必要があります。 設定をご確認ください。

対処	増設ハードディスクの共有をフレッツ・あずけ～る共有とする場合、専用フォーマット形式のドライブを接続する必要があります。 専用フォーマットのドライブが正しく接続されていることをご確認ください。

フレッツ・あずけ～る共有へ置いたファイルのタイムスタンプが変更される

対処	本製品の仕様です。 本製品のフレッツ・あずけ～る共有へコピーしたファイルは、フレッツ・あずけ～るアカウントに同期（アップロード）され、その時の時刻に変更されますのでご注意ください。

内蔵 HDD のフォーマットした後、フレッツ・あずけ～る共有ができなくなった

原因	本製品の共有設定が、工場出荷時設定に戻ります。
対処	フレッツ・あずけ～るとの同期を有効にする設定を再度設定してください。 【フレッツ・あずけ～る との同期を有効にする】（12-107 ページ）参照

NTT 西日本の「フレッツ・あずけ～る」を利用できない

対処	本製品のファームウェアを最新のものに更新してください。 【ファームウェアを更新する】（19-126 ページ）参照

FTP 共有使用時のトラブル

FTP 共有機能を使用すると、フォルダーやファイル名が文字化けしてしまう

<table>
<tr><td>対処</td><td>お使いの FTP クライアントソフトに合わせて、エンコード設定を変更する必要がある場合があります。[FTP 設定] の [エンコード] より設定してご利用ください。
<table>
<tr><th>エンコード設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>UTF-8</td><td>UTF-8 対応の FTP クライアントソフトを利用する場合に設定します。
クライアントソフトのエンコード設定も UTF-8 にあわせる必要があります。</td></tr>
<tr><td>対応クライアント言語</td><td>UTF-8 に対応していない FTP クライアントソフトを利用する場合に設定します。
対応クライアント言語の設定と FTP クライアントソフトのエンコード設定もあわせる必要があります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

BitTorrent 機能使用時のトラブル

BitTorrent 機能が使用できなくなった

原因	本製品で USB 機器をフォーマットした場合、BitTorrent 設定が無効に変更される。
対処	BitTorrent 設定を、再度 [有効] に設定する必要があります。 本製品の設定画面から、[BitTorrent 設定] を開き、BitTorrent 設定を [有効] に設定しなおしてください。

メール送信でのトラブル

メール送信テストでエラーとなる

原因	[TCP/IP 設定] で正しく設定されていない。
対処	[ネットワーク] タブ→ [TCP/IP 設定] で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。 入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。 以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「TCP/IP 設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とログメールの送信ができるかどうかご確認ください。 【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】 ● Windows 10 の場合 ① [スタート] を右クリックし、表示された [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows 8 の場合 ①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。 ② [コマンドプロンプト] をクリックします。 ③ ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ④ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows 7、Vista の場合 ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ● Windows XP の場合 ① [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。 ② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。 ③ [Default Gateway] と [DNS Servers] の IP アドレスを確認します。 ● Mac OS X の場合 ① [アップルメニュー] → [システム環境設定] で [ネットワーク] を開きます。 ② [Ethernet] を選択し、表示された [ルーター] [DNS サーバ] の IP アドレスを確認します。

原因	[メール基本設定] で、[メール通知] が [通知しない] になっている。
対処	メール通知を [通知する] に設定し、[SMTP サーバー] などを設定してください。

パソコンのネットワーク設定について

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（24-192 ページ）をご覧ください。

Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない

対処	● Windows 10 の場合 ①［スタート］を右クリックし、表示された［システム］をクリックします。 ②「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。 ● Windows 8 の場合 ①画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。 ②［コンピューター］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。 ③「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。 ①マウスポインターを移動 ②クリック ● Windows 7 の場合 ①［スタート］をクリック後、［コンピューター］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。 ②「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。 ● Windows Vista の場合 ①［スタート］をクリック後、［コンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。 ②「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。 ● Windows XP の場合 ①［スタート］をクリック後、［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。 ②［システムのプロパティ］画面で［コンピュータ名］タブをクリックすれば確認できます。

（Windows）ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

対処	①本製品の共有フォルダーの一覧を開きます。 ②［disk］フォルダーを右クリックし、表示されたメニューの［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。 ③ネットワークドライブを割り当てます。 1．[ドライブ] で本製品に割り当てる文字を選びます。 （画面例では、L を選択しています。） 2．[サインイン時に再接続する]（または [ログオン時に再接続する]）にチェックを付けます。 3．[完了]（ または [OK]）ボタンをクリックします。 ※ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。 ④ [コンピューター] を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。ネットワークドライブは、パソコンのハードディスクと同様にアクセスできます。

（Windows）[ローカルエリア接続] アイコンに×マークが付いている

原因	LAN ケーブルが正しく接続されていない。
対処	パソコンに LAN ケーブルが接続されているか、また、パソコン接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）に LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。

原因	LAN ケーブルに問題がある。
対処	LAN ケーブルを交換してお試しください。

パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

対処	以下をご覧ください。

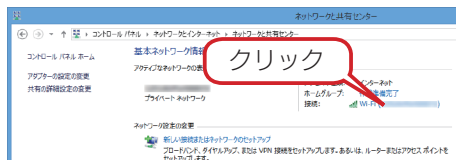
パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法

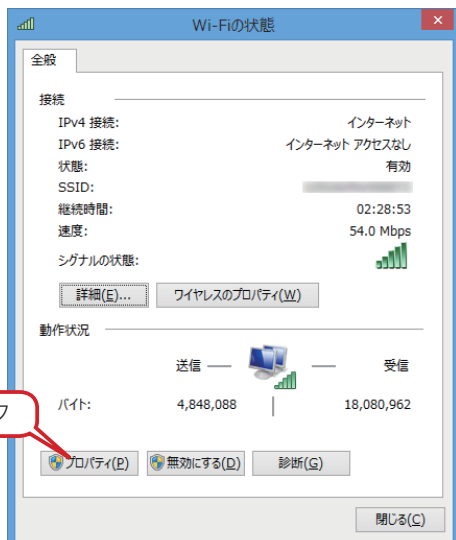
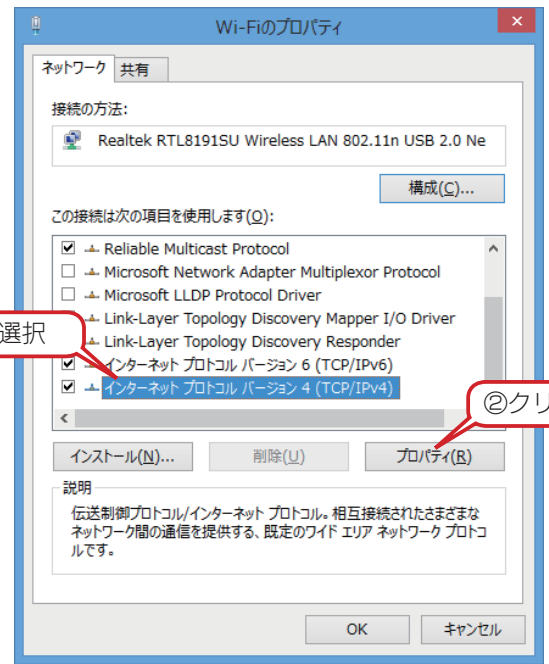
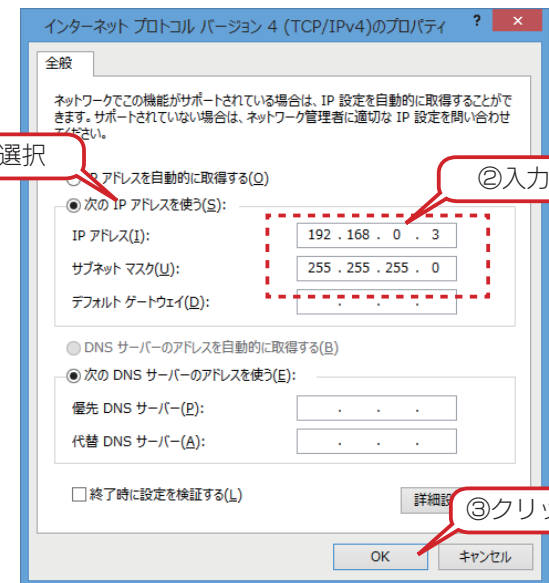
以下は、パソコンに固定の IP アドレス（例は「192.168.0.3」）を設定する場合の例です。
一時的に変更する場合などは、必ず以前の [IP アドレス]［サブネットマスク］［デフォルトゲートウェイ］などのアドレスはメモしてください。
ネットワーク内に DHCP サーバーが無い場合（本製品が「192.168.0.200」の IP アドレスで起動した場合）などに、パソコンから設定画面を開く際には、パソコン側は同じネットワークアドレスで別の IP アドレスを設定する必要があります。

Windows 10/8 の場合

1 コントロールパネルを開きます。
Windows 10 の場合、[スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
Windows 8 の場合、画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。その後、[コントロールパネル] をクリックします。

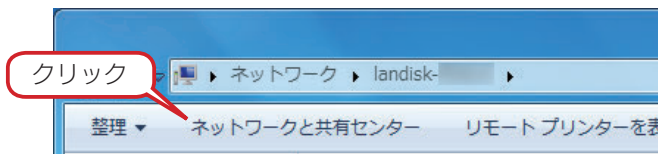
2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。

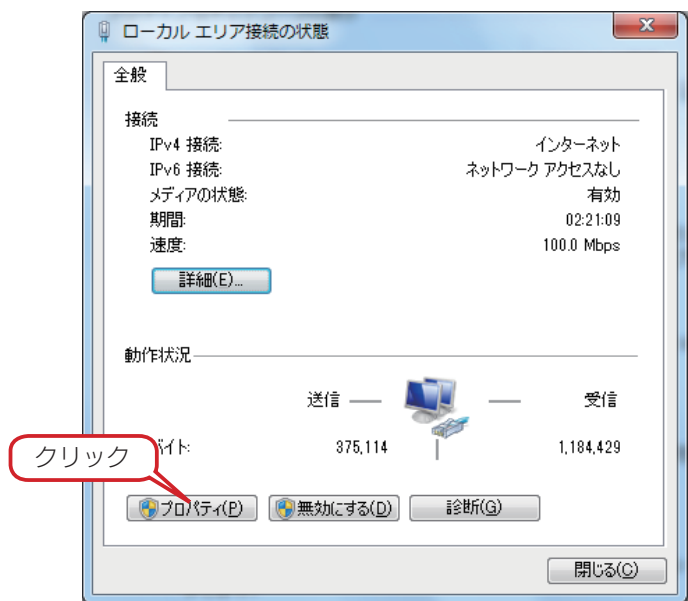
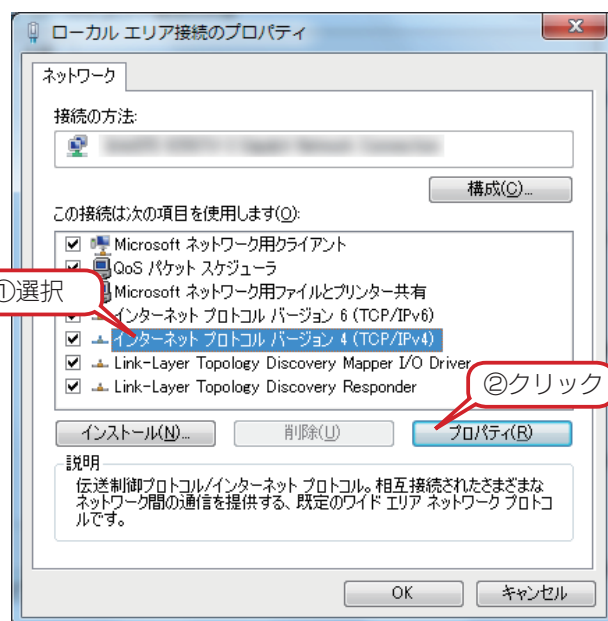
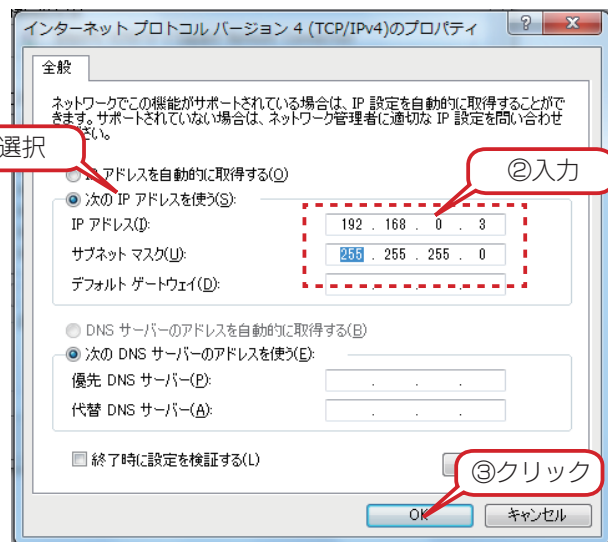
3 [ネットワークと共有センター] をクリックします。

4 [接続] をクリックします。

5 [プロパティ] をクリックします。

6 [インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

7 [次の IP アドレスを使う] をチェック後、[IP アドレス][サブネットマスク] を設定後、[OK] ボタンをクリックします。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

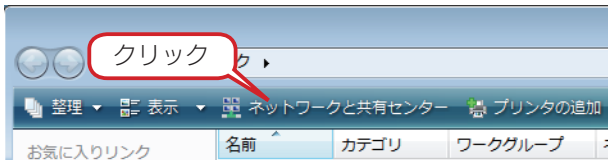
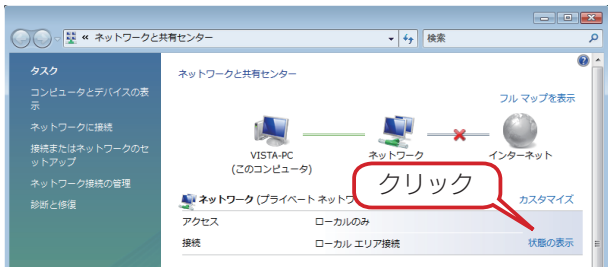
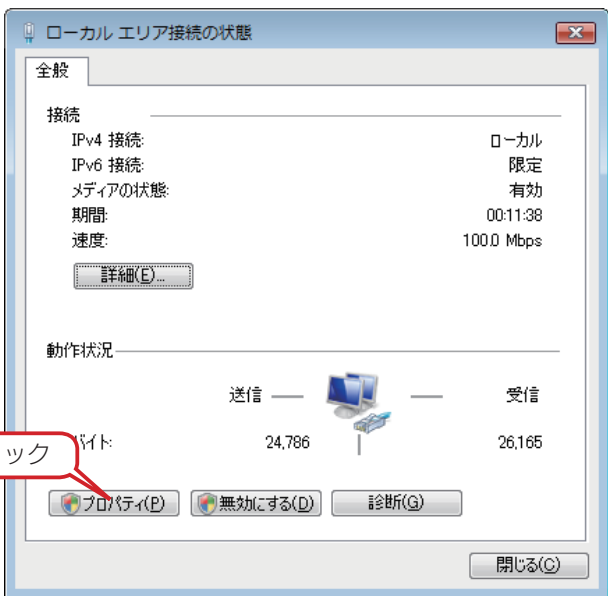
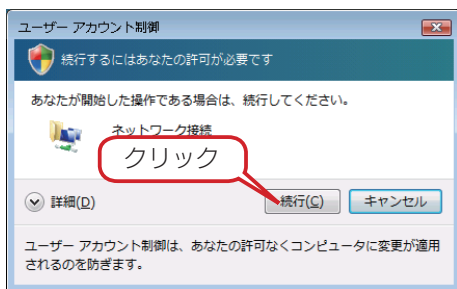
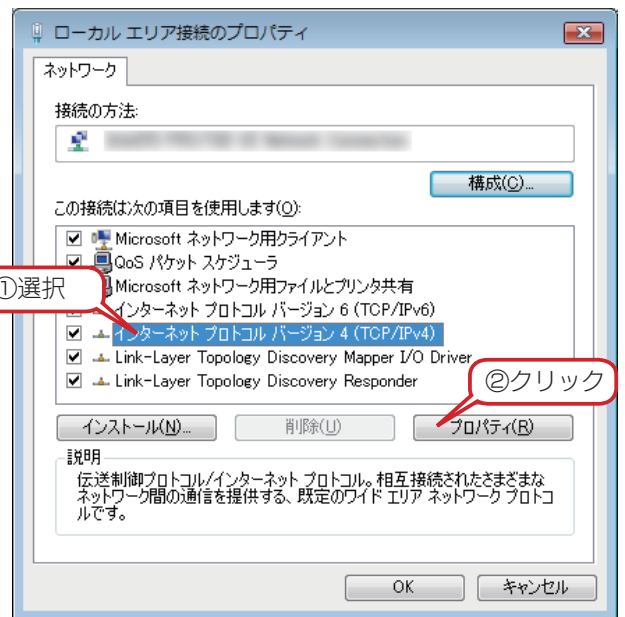
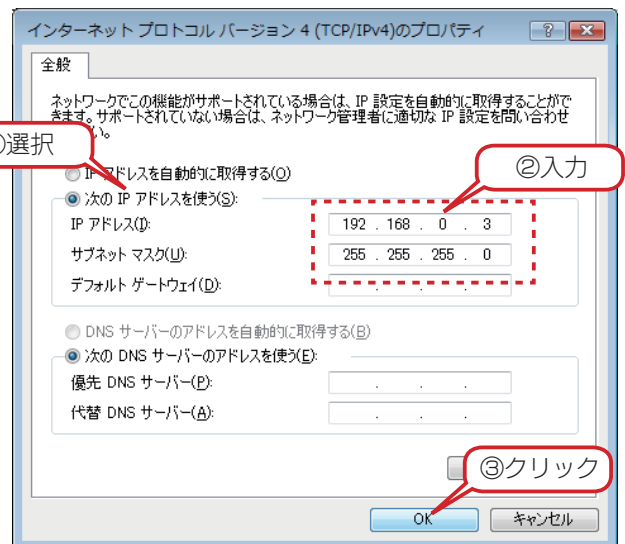
Windows 7 の場合

1 [スタート] → [コンピューター] → [ネットワーク] をクリックします。

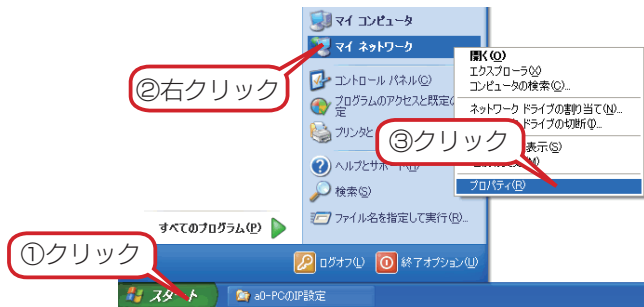
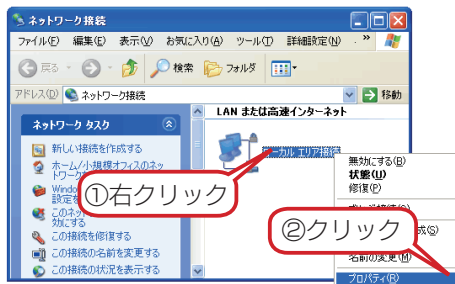
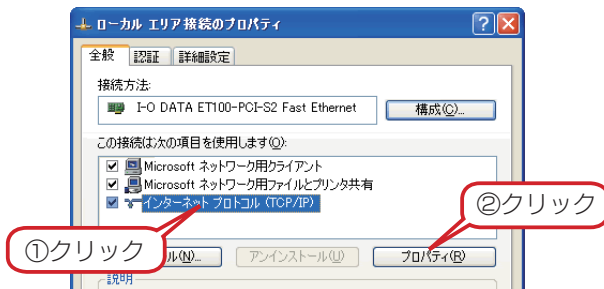
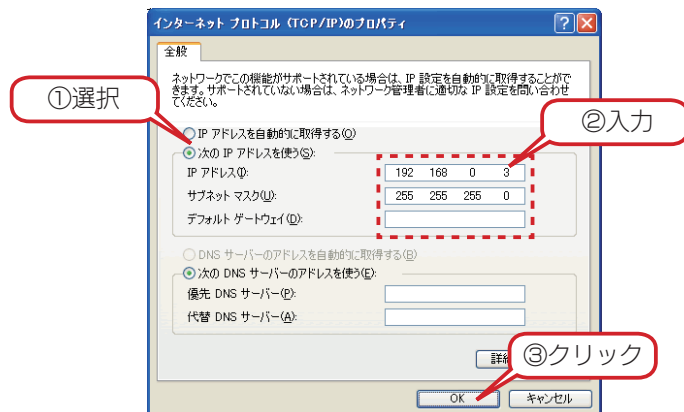
2 [ネットワークと共有センター] をクリックします。

3 [ローカルエリア接続] をクリックします。

4 [プロパティ] をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

6 [次の IP アドレスを使う] をチェック後、[IP アドレス][サブネットマスク] を設定後、［OK］ボタンをクリックします。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Windows Vista の場合

1 ［スタート］→［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。

2 ［状態の表示］をクリックします。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 以下の確認画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

6 ［次の IP アドレスを使う］を選択後、［IP アドレス］［サブネットマスク］を設定後、［OK］ボタンをクリックします。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

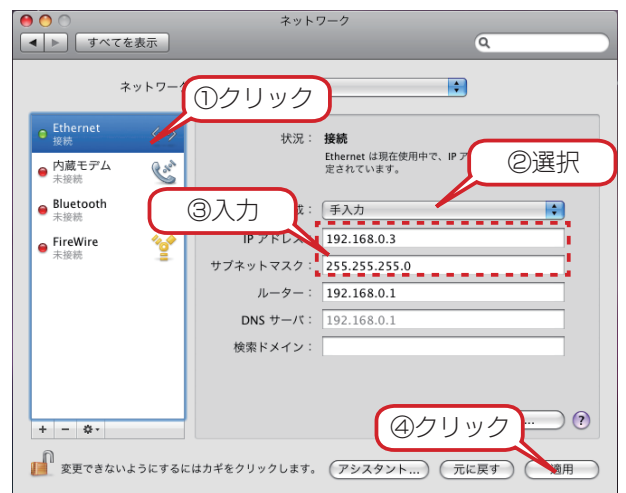
Windows XP の場合

1	［スタート］→［マイネットワーク］を右クリック後、［プロパティ］をクリックします。

2	［ローカルエリア接続］アイコンを右クリック後、［プロパティ］をクリックします。

3	［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択後、［プロパティ］ボタンをクリックします。

4	［次の IP アドレスを使う］を選択後、[IP アドレス]［サブネットマスク］を設定後、［OK］ボタンをクリックします。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Mac OS X の場合

1	［アップルメニュー］→［システム環境設定］をクリックし、［ネットワーク］を選択します。

2	［ネットワーク］を開きます。

3	①左の欄で [Ethernet] を選択します。 ②［構成］を［手入力］に変更します ③以下を設定します。 IP アドレス：192.168.0.3 サブネットマスク：255.255.255.0 ④［適用］ボタンをクリックします。

4	画面を閉じて、パソコンを再起動します。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

アフターサービス

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ **http://www.iodata.jp/support/**

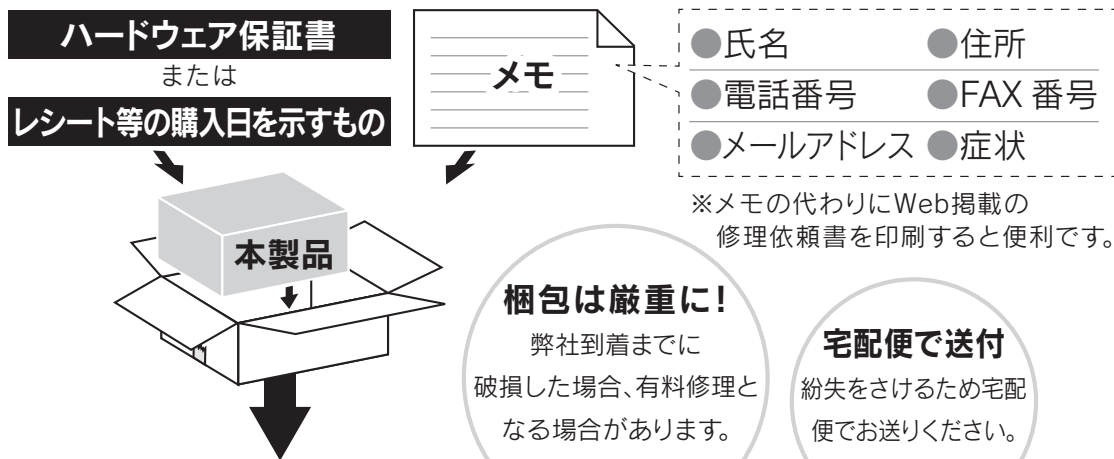
最新のソフトウェアをダウンロード
➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3025
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>
製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
6) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
7) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

※本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991 に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
※本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。
本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).